

令和 7 年度 仕様書

工事名称 川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その 2）

工事場所 川越市御成町 1 番ほか

【工事の概要】

川越地区消防局・川越北消防署新築に伴う外構整備工事（その 2）である。

- ・ 建築工事 一式
- ・ 電気設備工事 一式
- ・ 機械設備工事 一式

本工事は、「週休 2 日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

川越地区消防局・川越北消防署 新築外構整備工事（その2）

2025年10月

✕ 安井建築設計事務所

[illegible]

川越地区消防局・川越北消防署

新築外構整備工事（その2）

工事設計図

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

埼玉県川越市御成町1番 ほか

2. 敷地面積

20,874.99㎡

3. 工事種目

1. 建物

1) 消防用自動車車庫

構造 鉄骨造

規模 地上1階

建築面積 193.32㎡

延べ面積 214.80㎡

新築1棟

2. 工作物

1) 囲障

2) 植込み土留

3) 屋外サイン

4) 擁壁

新設一式

新設一式

新設一式

新設一式

3. 外構

1) 舗装（緑石とも）

2) 屋外電気設備

3) 屋外給水設備

4) 屋外排水設備

5) 路面標示

6) ヘリポート

新設一式

新設一式

新設一式

新設一式

新設一式

新設一式

4. 指定部分

・有 ○無 対象部分（ ）

指定部分工期 年 月 日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうちの工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

項目		
2 仮設工事	○	
3 土工事	○	
4 地業工事	○	
5 鉄筋工事	○	
6 コンクリート工事	○	
7 鉄骨工事		
8 コンクリート・ALCパネル・押出成形セメント板工事		
9 防水工事		
10 石工事		
11 タイル工事		
12 木工事		
13 屋根及びとい工事	○	
14 金属工事	○	
15 左官工事		
16 建具工事		
17 カーテンウォール工事		
18 塗装工事	○	
19 内装工事		
20 ユニット及びその他の工事	○	
21 排水工事	○	
22 舗装工事	○	
23 植栽及び屋上緑化工事		

II. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○は共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）（以下、「標準仕様書」という。）
○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。・印のみの場合は適用しない。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) [G] 印は、特定調達品目を示す。これらを調達する場合は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和3年2月19日変更閣議決定）」に定める判断の基準等を満たすものとする。

	項目	特記事項
① 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速（Vo= 32 m/s） （ ・ I ・ II ・ III ・ IV ） ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ニ）	
② 環境への配慮	(1. 4. 1) (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含むし難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20 条の7 第4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20 条の7 第3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	
③ 材料の品質等	(1. 4. 2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写真等）を監督職員の承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、防水剤、錠前類、クローザ類、自動扉機構、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切り、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、鋳鉄製ふた、グレーチング、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切り、トップライト (6) プレゼンボード（カラースキムボード）の作成 外装や内装仕上材の見本張りボードの作成に対する協力を行い、材料発注前に仕上材の型番や色調等について監督職員の承認を受けること。(1. 5. 9)	
4 室内空気中の化学物質の濃度測定	(1. 5. 9) (1) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 (2) 測定対象室及び測定箇所数は仕上表による。 (3) 測定は、バッシブ型採集機器により行う。 (4) 測定方法及び測定結果の報告は、厚生労働省のガイドライン又は国土交通省が認める代替測定法により（許容濃度は25℃の場合とし）、報告書は3部提出すること。 測定時期は着工時、完成引き渡しの日1か月前、家具備品などの搬入前とする。 施工条件については、下記及び標準仕様書による。 ※工事は原則として8時～17時、週休2日とする。 本工事は「週休2日制適用工事（現場閉鎖型）」の対象工事である。 実施は、川越地区消防組合週休2日制適用工事要領（建築工事）（令和6年11月1日施行）によるものとする。要領は、川越地区消防組合ホームページで確認のこと。 ※建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 ※本工事は川越地区消防組合ワンダーレスホンス対象工事である。 ※再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）、工事登録証明書（「コプリス・プラス」で入力したことの証明）を、施工計画作成時（施工完了後）に遅延なく提出すること。 ※一般財団法人日本建設情報総合センター工事実績情報システム「CORINS」により、受注登録、竣工登録等を行い、登録内容確認書を提出すること。 ※着手に先立ち、工事打合せ用図面（A3二つ折り製本）を5部提出すること。 ※中間検査を実施する。原則回数は2回とする。	
⑤ 施工条件		

6 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出媒体（CD-R）	画素数及び画質等	撮影者
外観正面：(15)箇所	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）	(3)枚	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
上記と異なる外部：()箇所、	電子データ（JPEGフルカラー）	(3)枚	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意

⑦ 他工事又は他工種との取合い

2 仮設工事

① 足場その他

(2. 2. 4)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における20の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。
工事区画はバリエード等で随時養生を行い、安全に配慮すること。
工事搬出入経路は必要に応じて鉄板敷き等により、適切に経路を確保すること。
必要に応じて工事搬出入路付近に交通誘導員を配置すること。

3 土工事

① 埋戻し及び盛土

(3. 2. 3)
材料及び工法
※標準仕様書表3. 2.1による
種別
・ A種 適用場所（ ）
○B種 適用場所（埋戻しが発生する全箇所）
・ C種 適用場所（ ）土質（ ）受渡場所（ ）
・ D種 適用場所（ ）
（品質）細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50％未満とする。
六価クロム溶出試験 ・ 行う（現場説明書による） ・ 行わない
・ 材料（ ）工法（ ）

② 建設発生土の処理

(3. 2. 5)
※ 現場説明書による ○構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し
○埋戻し及び盛土として利用するもの以外は構外搬出とする。
本工事により発生する建設発生土については、下記に示す土質改良プラントへの搬出を想定しているが、別施設を選定する場合には事前に監督員の承認を得ること。
(1) 受入側名称（土質改良プラント）
㈱ホトー 川越リサイクルプラント
川越市大字下赤坂1800-3
(2) 土質及び処分量
第3種建設発生土 402m³
(3) 搬出時期
令和8年6月

(3. 3. 3)
鋼矢板等の抜き後の処理 ※直ちに砂で充填する ・
山留めの存置 ・ 行う（存置範囲 ※図示 ・ ）

4 地業工事

5 鉄筋工事

6 コンクリート工事

7 鉄骨工事

特記仕様書（その2）による

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

(8. 2. 2、3、5)
ブロックの種類等
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) 呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考
・ 長さ 高さ ・ 無 ・ 有
・ ・ ・ 無 ・ 有
モルタルの割合 (容積比)
・ セメント () ・ 砂 ()
各部の配筋
※図示による () ・
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
※図示による () ・

2 コンクリートブロック 横壁及び塀

(8. 3. 2～4)
ブロックの種類等
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) 呼び寸法 (mm) 化粧の有無 (表8. 3. 1) 以外の適用箇所 備考
・ 空洞ブロック C(16) ・ 無 ・ 有
・ 型枠状ブロック 20 ・ 無 ・ 有
・ ・ ・ 無 ・ 有
・ ・ ・ 無 ・ 有
塀の厚さ (mm)
塀の高さが2m以下 ※120 ・
塀の高さが2m超え ※150 ・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示による () ・
各部の配筋
※図示による () ・

3 ALCパネル

(8. 4. 2～5)
パネルの区分 単位荷重 (N/㎡) 厚さ (mm) 長さ (mm) 幅 (mm) 耐火性能 表面加工 構法の種別
・ 外壁パネル ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ 平 ・ A種 ・ B種
・ 間仕切壁パネル ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ 平 ・ C種 ・ D種
・ 屋根パネル ・ 100 有 (0. 5) 時間 平 F種
・ 床パネル ・ 100 ・ 有 () 時間
パネルの相互の接合部に充填する耐火目地材 ()
外壁、屋根パネルの構法
1-1 適用区分による風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した構法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・ 図示 ・ (mm)
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅、隅のパネル接合部、パネルと他部材との取合い部の目地幅 (mm) ※10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・ 適用する ・ 適用しない
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

4 押出成形セメント板（ECP）

(8. 5. 2～5)
パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考
・ 外壁パネル ・ F (フタル酸系) ・ 50 ・ 60 ・ 600 ・ A 種 ・ B 種
・ 間仕切壁パネル ・ F (フタル酸系) ・ 50 ・ 60 ・ 600 ・ B 種 ・ C 種
・ D (ダイイソバ系) ・ 50 ・ 60
・ T (タイタニウム系) ・ 60
外壁パネルの工法
1-1 適用区分による風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・ 図示 ・ (mm)
パネル相互の目地幅 (mm) ・ 長辺 () 短辺 ()
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 ※15mm程度 ・ (mm)
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様 ・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。

	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口	短辺 ・ 図示 ・	・ 図示 ・
各段ける場合	長辺 ・ 図示 ・	・ 図示 ・
パネルを切り	短辺 ・ 図示 ・	・ 図示 ・
欠く場合	長辺 ・ 図示 ・	・ 図示 ・

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

gA(2)

G02

特記仕様書（その1-1）

安井建築設計事務所

5 乾式工法	(10. 2. 2) (10. 5. 2、3) (表10. 2. 4)		11 タイル 工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11. 1. 3) (表11. 1. 1)	位置 ※標準仕様書表11. 1. 1による 目地寸法 ※標準仕様書9. 7. 3による	3 造作用集成材	・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存処理 ※1等 ※10%以下 ※1等 ※10%以下 ・
--------	-------------------------------------	--	-----------------	--------------------	------------------------	--	----------	---

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

gA (2)

G04 特記仕様書（その1-3）

安井建築設計事務所

[illegible]

		形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ※±3mm ・ 対角線長の差 ※0～+5mm ・ 版厚 ※±2mm ・ 開口部内法寸法 ※±2mm ・ ねじれ、反り ※0～+5mm ・ 曲がり ※0～+3mm ・ 面の凹凸 ※0～+3mm ・ 先付け金物の位置 ※0～+5mm ・ PCカーテンウォールの仕上げ ・ 構造がスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ・ 取付け 躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm ・ 水平方向 ※±25mm ・ カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±5mm ・ 目地の心の通り ※0～+3mm ・ 目地両側の段差 ※0～+4mm ・ 各階の基準墨から各部材までの距離 ※±5mm ・	4 特殊機能床材 (19. 2. 2) <table><tr><th>シート種別</th><th>厚さ、寸法、形状 (mm)</th><th>性能</th><th>種類</th></tr><tr><td>・帯電防止床シート</td><td>×</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・帯電防止床タイル</td><td>×</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・視覚障害者用床タイル</td><td>(mm)</td><td>視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251による</td><td></td></tr><tr><td>・耐動荷重性床シート</td><td>(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・防滑性床シート</td><td>(mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・防滑性床タイル</td><td>×</td><td></td><td></td></tr></table> (19. 2. 2) 5 ビニル幅木 6 ゴム床タイル (19. 2. 2) <table><tr><td>材質</td><td>・ 軟質</td><td>・ 硬質</td><td></td></tr><tr><td>高さ (mm)</td><td>※ 60</td><td>・ 75</td><td>・ 100</td></tr><tr><td>厚さ (mm)</td><td>※ 1.5以上</td><td></td><td></td></tr></table> (19. 2. 2) <table><tr><td>種類</td><td>・ 単層</td><td>・ 積層</td><td></td></tr><tr><td>色柄 ()</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>厚さ (mm)</td><td>・ 3.0</td><td>・ 4.5</td><td>・ 6.0</td></tr><tr><td>寸法 (mm) ()</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (19. 3. 2、3) (表 19. 3. 1) 7 カーベツト敷き <table><tr><th>織り方</th><th>パイル形状</th></tr><tr><td>・ウェルトンカーベツト</td><td>・カットパイル</td></tr><tr><td>・ダブルフェースカーベツト</td><td>・ループパイル</td></tr><tr><td>・アキスミンスターカーベツト</td><td>・カット、ループ併用</td></tr></table> 色柄 ※模様のない無地 ・ パイル糸の種類 ※標準仕様書表19. 3. 1による (種別 : ・ A種 ・ B種 ・ C種) ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm ・ ・タフテッドカーベツト <table><tr><th>パイル形状</th><th>パイル長さ (mm)</th><th>工法</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr><tr><td>・カットパイル</td><td>・</td><td>・ 全面接着工法</td><td>・ 適用する</td><td></td></tr><tr><td>・ループパイル</td><td>・</td><td>・ グリッパー工法</td><td>・ 適用しない</td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・ニードルパンチカーベツト 厚さ (mm) () ・ 帯電性 ・適用する ・適用しない 備考 () ・ ・タイルカーベツト <table><tr><th>パイル形状</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>寸法</th><th>総厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ ループパイル</td><td>※ 第一種 ・ 第二種</td><td></td><td>※ 500×500 ・</td><td>※ 6.5 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ カットパイル</td><td>・ 第一種 ・ 第二種</td><td></td><td>※ 500×500 ・</td><td>※ 6.5 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ カット・ループ併用</td><td>・ 第一種 ・ 第二種</td><td></td><td>※ 500×500 ・</td><td>※ 6.5 ・</td><td></td></tr></table> タイルカーベツトの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※図示 ・ 8 合成樹脂塗装 (表 (19. 4. 2、5)) <table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>工法</th><th>仕上げの種類</th></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 (弾性リッチ樹脂系塗床)</td><td></td><td></td><td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 (1k 杉樹脂系塗床)</td><td></td><td>・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂もみり工法</td><td>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td></tr><tr><td>・厚膜型塗床材 (1k 杉樹脂系塗床)</td><td></td><td></td><td>※平滑仕上げ</td></tr><tr><td>・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)</td><td></td><td>※ 製造所の指定による</td><td>工程 塗布量 (kg/m²) ※ 0.25kg/m²以上 表面仕上げ ※ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ※ 水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ※ 標準色 ・ 1 1</td></tr></table> 塗料のホルムルデヒド放散量 ※規制対象外	シート種別	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類	・帯電防止床シート	×			・帯電防止床タイル	×			・視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251による		・耐動荷重性床シート	(mm)			・防滑性床シート	(mm)			・防滑性床タイル	×			材質	・ 軟質	・ 硬質		高さ (mm)	※ 60	・ 75	・ 100	厚さ (mm)	※ 1.5以上			種類	・ 単層	・ 積層		色柄 ()				厚さ (mm)	・ 3.0	・ 4.5	・ 6.0	寸法 (mm) ()				織り方	パイル形状	・ウェルトンカーベツト	・カットパイル	・ダブルフェースカーベツト	・ループパイル	・アキスミンスターカーベツト	・カット、ループ併用	パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	・	・ 全面接着工法	・ 適用する		・ループパイル	・	・ グリッパー工法	・ 適用しない		・カット、ループ併用	・				パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備 考	※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 (弾性リッチ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 (1k 杉樹脂系塗床)		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂もみり工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・厚膜型塗床材 (1k 杉樹脂系塗床)			※平滑仕上げ	・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※ 製造所の指定による	工程 塗布量 (kg/m ²) ※ 0.25kg/m ² 以上 表面仕上げ ※ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ※ 水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ※ 標準色 ・ 1 1	9 フローリング張り 単層フローリング ・フローリングボード1等 <table><tr><td>工法</td><td>・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)</td><td>・ 接着工法</td></tr><tr><td>樹種</td><td>※ なら</td><td></td></tr><tr><td>厚さ、大きさ</td><td>※標準仕様書 表19. 5. 1による</td><td></td></tr><tr><td>仕上塗装</td><td>・ 塗装品</td><td>・ 無塗装品</td></tr><tr><td>間伐材等の適用</td><td>・ 適用する</td><td>・ 適用しない</td></tr></table> ・フローリングブロック 1 等 <table><tr><td>工法</td><td>※接着工法</td></tr><tr><td>樹種</td><td>※ なら</td></tr><tr><td>厚さ、大きさ</td><td>※標準仕様書 表19. 5. 1による</td></tr><tr><td>仕上塗装</td><td>・ 塗装品</td><td>・ 無塗装品</td></tr><tr><td>間伐材等の適用</td><td>・ 適用する</td><td>・ 適用しない</td></tr></table> 複合フローリング ・天然木化粧複合フローリング <table><tr><td>工法</td><td>・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)</td><td>・ 接着工法</td></tr><tr><td>樹種</td><td>※ なら</td><td></td></tr><tr><td>種別 (表19. 5. 2)</td><td>・ A種</td><td>・ B種</td></tr><tr><td>仕上塗装</td><td>・ 塗装品</td><td>・ 無塗装品</td></tr><tr><td>間伐材等の適用</td><td>・ 適用する</td><td>・ 適用しない</td></tr></table> フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の表面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り 10 畳敷き (19. 6. 2) (表 19. 6. 1) <table><tr><td>種別</td><td>・ A種</td><td>・ B種</td><td>・ C種</td><td>・ D種 (畳床 : ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)</td></tr><tr><td>下地の種類</td><td>・ 標準仕様書 表12. 6. 1による床板</td><td></td><td></td><td>・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア)</td></tr></table> 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びヒステレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 11 せっこうボードその他のボード張り及び合板張り (19. 7. 2、3) (表 19. 7. 1) 適用は以下によるほか、図示による。 合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 木質系セメント板 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ 硬質木毛セメント板</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td></tr><tr><td>・ 中質木毛セメント板</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td></tr><tr><td>・ 普通木毛セメント板</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td></tr><tr><td>・ 硬質木片セメント板</td><td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・</td></tr><tr><td>・ 普通木片セメント板</td><td>・ 30 ・</td></tr></table> 繊維強化セメント板 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ けい酸カルシウム板</td><td>タイプ 2 (無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 12</td></tr></table> 火山性ガラス質複合板 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ 火山性ガラス質複合板</td><td></td></tr></table> 繊維板 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ ハードボード (素地)</td><td>・ 夾研磨板 (・ スラット ・ フレーム) RN ・ 研磨板 (・ スラット ・ フレーム) RS</td></tr><tr><td>・ ハードボード (化粧)</td><td>・ 内装用 D1 ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</td></tr><tr><td>・ ミディアムデンシティファイバーボード</td><td>・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・</td></tr><tr><td>インシュレーションボード</td><td>A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td></tr></table> パーティクルボード ・ 単板張りパーティクルボード <table><tr><td>・ 無研磨板 VN</td><td>・ 研磨板 VS</td></tr><tr><td>・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td><td></td></tr></table> ・ 化粧パーティクルボード <table><tr><td>・ 単板オーバーレイ D O</td><td>・ プラスチックオーバーレイ D O</td></tr><tr><td>・ 塗装 D C</td><td>・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・</td></tr></table> 吸音材料 ・ ロックウール化粧吸音板 <table><tr><td>・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・)</td><td></td></tr><tr><td>・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)</td><td></td></tr></table> ・ ロックウール吸音ボード 1号 <table><tr><td>・ 25 ・</td><td></td></tr></table> ・ グラスウール吸音ボード 32K <table><tr><td>・ 25 (ガラスクロス包) ・</td><td></td></tr></table> せっこうボード製品 <table><tr><td>・ せっこうボード</td><td>・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td></tr><tr><td>・ 不燃積層せっこうボード</td><td>9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)</td></tr><tr><td>・ シーリングせっこうボード</td><td>12.5 (※ 不燃 ・ 準不燃)</td></tr><tr><td>・ 強化せっこうボード</td><td>・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td></tr><tr><td>・ せっこうラスボード</td><td>9.5</td></tr><tr><td>・ 化粧せっこうボード (木目)</td><td>12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り</td></tr><tr><td>・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td><td>9.5 (準不燃)</td></tr></table>	工法	・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)	・ 接着工法	樹種	※ なら		厚さ、大きさ	※標準仕様書 表19. 5. 1による		仕上塗装	・ 塗装品	・ 無塗装品	間伐材等の適用	・ 適用する	・ 適用しない	工法	※接着工法	樹種	※ なら	厚さ、大きさ	※標準仕様書 表19. 5. 1による	仕上塗装	・ 塗装品	・ 無塗装品	間伐材等の適用	・ 適用する	・ 適用しない	工法	・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)	・ 接着工法	樹種	※ なら		種別 (表19. 5. 2)	・ A種	・ B種	仕上塗装	・ 塗装品	・ 無塗装品	間伐材等の適用	・ 適用する	・ 適用しない	種別	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種 (畳床 : ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)	下地の種類	・ 標準仕様書 表12. 6. 1による床板			・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア)	種 類	厚さ (mm)、規格等	・ 硬質木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 中質木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 普通木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 硬質木片セメント板	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・	・ 普通木片セメント板	・ 30 ・	種 類	厚さ (mm)、規格等	・ けい酸カルシウム板	タイプ 2 (無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 12	種 類	厚さ (mm)、規格等	・ 火山性ガラス質複合板		種 類	厚さ (mm)、規格等	・ ハードボード (素地)	・ 夾研磨板 (・ スラット ・ フレーム) RN ・ 研磨板 (・ スラット ・ フレーム) RS	・ ハードボード (化粧)	・ 内装用 D1 ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	・ ミディアムデンシティファイバーボード	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・	インシュレーションボード	A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18	・ 無研磨板 VN	・ 研磨板 VS	・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18		・ 単板オーバーレイ D O	・ プラスチックオーバーレイ D O	・ 塗装 D C	・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・)		・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)		・ 25 ・		・ 25 (ガラスクロス包) ・		・ せっこうボード	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ 不燃積層せっこうボード	9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)	・ シーリングせっこうボード	12.5 (※ 不燃 ・ 準不燃)	・ 強化せっこうボード	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ せっこうラスボード	9.5	・ 化粧せっこうボード (木目)	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り	・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	9.5 (準不燃)	12 壁紙張り 合板、化粧板 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・ 普通合板</td><td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 防虫処理 ・</td></tr><tr><td>・ 天然木化粧合板</td><td>化粧板の樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理</td></tr><tr><td>・ 特殊加工化粧合板</td><td>化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ フリット ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理</td></tr><tr><td>・ メラミン樹脂化粧板</td><td>JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)</td></tr><tr><td>・ ポリエステル樹脂化粧板</td><td></td></tr></table> せっこうボード等の下地 ※図示 ・ 遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ・ 適用しない 合板類の張付け ※B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 仕上表による ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19. 8. 2、3) <table><tr><th>施工箇所</th><th>壁紙の種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他</td><td>※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他</td><td>※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他</td><td>※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃</td><td></td></tr></table> モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえ ※B種 ・ A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・ A種 フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19. 9. 2、3) ※断熱材打込み工法 <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ フェノールフォーム断熱材</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ グラスウール断熱材</td><td>100mm (密度24kg) 濃煙体験</td><td></td></tr></table> ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種 I ・ A種 IH 厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ 施工箇所 ・ 図示 ・ 現場発泡断熱材 (品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による	種 類	厚さ (mm)、規格等	・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 防虫処理 ・	・ 天然木化粧合板	化粧板の樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理	・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ フリット ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理	・ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)	・ ポリエステル樹脂化粧板		施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考		・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他	※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃			・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他	※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃			・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他	※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃		種 類	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材			・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)			・ 硬質ウレタンフォーム断熱材			・ フェノールフォーム断熱材			・ グラスウール断熱材	100mm (密度24kg) 濃煙体験	
シート種別	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・帯電防止床シート	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・帯電防止床タイル	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251による																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・耐動荷重性床シート	(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・防滑性床シート	(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・防滑性床タイル	×																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材質	・ 軟質	・ 硬質																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
高さ (mm)	※ 60	・ 75	・ 100																																																																																																																																																																																																																																																																																																
厚さ (mm)	※ 1.5以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	・ 単層	・ 積層																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
色柄 ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
厚さ (mm)	・ 3.0	・ 4.5	・ 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																
寸法 (mm) ()																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
織り方	パイル形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ウェルトンカーベツト	・カットパイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ダブルフェースカーベツト	・ループパイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・アキスミンスターカーベツト	・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・カットパイル	・	・ 全面接着工法	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ループパイル	・	・ グリッパー工法	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・カット、ループ併用	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																														
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・厚膜型塗床材 (弾性リッチ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・厚膜型塗床材 (1k 杉樹脂系塗床)		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂もみり工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・厚膜型塗床材 (1k 杉樹脂系塗床)			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※ 製造所の指定による	工程 塗布量 (kg/m ²) ※ 0.25kg/m ² 以上 表面仕上げ ※ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ※ 水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ※ 標準色 ・ 1 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工法	・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)	・ 接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹種	※ なら																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
厚さ、大きさ	※標準仕様書 表19. 5. 1による																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
仕上塗装	・ 塗装品	・ 無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
間伐材等の適用	・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法	※接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹種	※ なら																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
厚さ、大きさ	※標準仕様書 表19. 5. 1による																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
仕上塗装	・ 塗装品	・ 無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
間伐材等の適用	・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法	・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り)	・ 接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹種	※ なら																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種別 (表19. 5. 2)	・ A種	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
仕上塗装	・ 塗装品	・ 無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
間伐材等の適用	・ 適用する	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	・ A種	・ B種	・ C種	・ D種 (畳床 : ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)																																																																																																																																																																																																																																																																																															
下地の種類	・ 標準仕様書 表12. 6. 1による床板			・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア)																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 硬質木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 中質木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 普通木毛セメント板	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 硬質木片セメント板	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 普通木片セメント板	・ 30 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ けい酸カルシウム板	タイプ 2 (無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 12																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 火山性ガラス質複合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ハードボード (素地)	・ 夾研磨板 (・ スラット ・ フレーム) RN ・ 研磨板 (・ スラット ・ フレーム) RS																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ハードボード (化粧)	・ 内装用 D1 ・ 外装用 D E ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ミディアムデンシティファイバーボード	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
インシュレーションボード	A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 無研磨板 VN	・ 研磨板 VS																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 単板オーバーレイ D O	・ プラスチックオーバーレイ D O																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 塗装 D C	・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 25 (ガラスクロス包) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ せっこうボード	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 不燃積層せっこうボード	9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ シーリングせっこうボード	12.5 (※ 不燃 ・ 準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 強化せっこうボード	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ せっこうラスボード	9.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 化粧せっこうボード (木目)	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・ 防虫処理 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 天然木化粧合板	化粧板の樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ フリット ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () ・ 防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	壁紙の種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他	※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他	※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・ 紙 ・ 繊維 ・ プラスチック ・ 無機質 ・ その他	※ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	厚さ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ グラスウール断熱材	100mm (密度24kg) 濃煙体験																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
19 内装工事	1 接着剤 (19. 2. 2) 2 ビニル床シート (19. 2. 2、3) 3 ビニル床タイル (19. 2. 2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事 (その2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
gA (2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
G07	特記仕様書 (その1-6)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
安井建築設計事務所																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

20
ユニット及びその他の工事

1フリーアクセスフロア

(20. 2. 2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)
・ 図示	・ 置敷式	・ 500×500	
・	・ 支柱調整式		

耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
・ 1.0 G	・ 3.000N	・ 帯電防止床材	
・ 0.6 G	・ 5.000N	・ 防静電シート	

寸法精度
※標準仕様書20. 2. 2 (2) (イ)～(ロ)による
・ 以下による
パネルの長さ ()
パネルの平面形状 (角度) ()
フリーアクセスフロアの高さ ()

(性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

2可動間仕切

(20. 2. 3)

構造形式	構成基材の種類	
	スタッド	パネル
・ スタッド式 (内蔵)		
・ スタッド式 (露出)		
・ スタッドパネル式		
・ パネル式		

表面仕上材	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
パネル表面仕上げ		
・ マシン樹脂焼付又は 7層樹脂焼付	・ 0	・ 12
・ 壁紙張り	・ 20	・ 28
・	・ 36	・ 不燃

パネル内に取付ける建具 ・ あり (※図示 ・) ・ なし

ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする。

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

3移動間仕切

(20. 2. 4)

走行方向	操作方法 による種別	圧接装置の 操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性 (dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
・ 平行方向 移動式	・ 手動式	・ プッシュ式	・	・ 鋼板	・ 焼付塗装	・ 36未満
・ 二方向 移動式	・ 電動式	・ ハンドル式		・	・ 壁紙張り	・ 36以上
	・ 部分電動式	・			・	

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による

ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・ 図示

ハンガーレール
※ランナーを取り付けた状態で、パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする

ランナー
※パネル重量の5倍以上の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする

(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

4トイレブース

(20. 2. 5)

表面材の材料	脚部	ドアエッジ	
	形状	材質	形状
・ メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・ アルミニウム製	・ 標準
・ ポリエステル樹脂系化粧板		・ ステンレス製	・ R
・		・ 表面材と同材	
		・ 製造所の標準仕様	

(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上

5隔て板

(10. 7. 4)

材料 ・ 石 (厚さ (mm) ※40 ・ 図示)

6階段滑り止め

(20. 2. 6)

材種	・ ステンレス製	・ 黄銅製押出型材
	・ アルミニウム製押出型材	・
滑り止め材	形状 ・ ひも型	・ タイヤ型
	材質 ・ ゴム	・ 合成樹脂
取付け工法	※接着工法	
幅 (mm)	・ 図示	・ 埋込み工法
端部フラットエンド	・ あり	・ なし

7手すり

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45		
・ ビニル製ハンドレール	・			
・ ステンレス	・ HL	・ 38		
○スチール	○溶融亜鉛メッキの上PP (A) 塗装	○34	スロープ1	

8黒板及び
ホワイトボード

(20. 2. 8)

- ・ 黒板
 - 区分 ※ 焼付け
 - 種類 ※ほうろう黒板
 - 色 ※緑
- ・ ホワイトボード

取付箇所 ()

寸法 (mm) ・ 図示

厚さ (mm) ※ 5

・ 衝突防止表示

形状、寸法 ・ 30φ

材質 ・ ステンレス製

案内用図記号はJIS Z 8210による。
非常用出入口 ・ 適用する ・ 適用しない
誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示 ※図示

9鏡

(20. 2. 9)

10表示

(20. 2. 10)

11煙突ライニング

(20. 2. 11)

適用安全使用温度 (上限温度) ・ 400℃ ・ 650℃

適用安全使用温度 (下限温度) ・ ℃

煙突用成形ランニング材
(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

12ブラインド

(20. 2. 12)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材種
・ 横型	・ 手動	※ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※鋼製
	・ 電動	—	・	・	・
・ 縦型	・ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	7mm幅合金製
	・ 電動	—	・	・	・

スラットの材質

- ・ アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
- ・ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は となる寸法、取付箇所 ※図示

13ロールスクリーン

(20. 2. 13)

操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式

幅、高さ ・ 図示

材種 ・ ガラス繊維製 ・ 合成、天然繊維製 ・ 木製

品質等 ・

その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による

14カーテン

(20. 2. 14)

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ シングル	・ 片引き	・ 手引き	・ フランスひだ	・ 図示	
・ ダブル	・ 引分け	・ ひも引き	・ 箱ひだ、つまひだ		
	・ 電動	・ プレーンひだ、片ひだ			

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は となる暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上

15カーテンレール

(20. 2. 14)

材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材

- ・ ステンレス製

強さによる区分

- ※10-90

仕上げ

- ※アルマイト

形状

- ※角形

16ブラインドボックス
及びカーテンボックス

溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示

材質

- ・ 集成材 (仕上げ：)
- ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)

種別 (標準仕様書 表14. 2. 1) ・ BC-1種 ・ BC-2種

- ・ 色合い ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
- ・ 鋼製 (仕上げ：)

17天井点検口

18床点検口

材種	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	・ 450×450	・ 一般形	・ 屋内外用	・ 額縁タイプ
・	・ 600×600	・	・ 屋内用	・ 額縁タイプ
・	・	・ 気密形	・	・ 目地タイプ

(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

19耐震スリット

20止水板

21エキスパンション
ジョイント金物

22くつふきマット

23流し台ユニット

24旗竿

25旗竿受金物

26車止めさく

27フェンス

フェンスの種類

- ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス

樹脂塗装メッシュフェンス

- ・ 鋼管フェンス
- ・ アルミフェンス

高さ ○ 図示

28プレキャストコン
クリート

(20. 3. 3、4)

コンクリートの設計基準強度

※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調査強度

・ 図示

配筋

※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。

・ 図示

取付け方法

※図示

29間知石及びコンクリート
間知ブロック積み

(20. 4. 2、3)

材種	種類	質量区分	備考
・ 間知石	・ 花こう岩	—	
	・ 凝灰岩		
・ コンクリート	—	・ A ・ B	
間知ブロック			

積み方 ※谷積み ・ 布積み

目塗り ・ 図示

伸縮調整目地 材種 ・ 図示

厚さ ・ 図示

30鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JIS による種類
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
・ 鋼製物品棚		・ 4種 ・ 5種 ・ 6種

31屋内掲示板

枠の材質 ※ アルミニウム製

表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り

32洗面カウンター

材 種 ・ メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材)

・ 人工大理石

奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600

33防煙垂れ壁

・ 固定式

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
※ 網入り磨板ガラス	※ 6. 8	※ 500	アルミ製枠付き
・ 線入り磨板ガラス	・	・	

・ 可動式

種類	材 質	高さ (mm)	備 考
・ 垂直降下式 (巻取り型)	※ 不燃布 (不燃認定品)	※ 500	ガイドレール
		・ 800	※ 固定式 (壁埋込型)
		・	・ 可動式 (天井収納型)

・ 回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※ 500 | 表面仕上げ | || | | ・ 800 | ※ 天井材張り | |
| | | ・ | ・ | |

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

34屋外掲示板

照明器具 ※ 有り ・ 無し

施 錠 ※ 有り ・ 無し

製造所

35収納家具

材質、形状、寸法 ※ 図示

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

gA (2)

G08

特記仕様書（その1-7）

安井建築設計事務所

21

排水工事

① 屋外雨水排水

(21.2.1、2) (表 21.2.1、2)

排水管用材料

材 種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（1種）	・B形管	※図示	
○硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP  ・RS-VU  ・VP  ・VU 		※図示 ・	

基礎の厚さ及び種類 ○ 図示 ・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※ 接着剤 ・ゴム輪
側境の形状及び寸法 ○ 図示 ・
排水樹、ふたの種類 ○ 図示 ・
砂地業に用いる材料標準仕様書4.6.2(2) ・シルト ○山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料標準仕様書4.6.2(1) ・再生クラッシャラン  ・切込砂利 ・切込砕石
○現場打ちの場合のコンクリート 種類 ※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
種類の記号 ※SD295 ・
○現場打ちの場合の鉄筋
○排水樹が現場打ちの場合の足掛け金物
材料 ※標準仕様書21.2.2(6) (サ)による
・ (材質：・ステンレス ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの)
・
凍上抑制層の厚さ ・ 図示 ・
凍上抑制層に用いる材料 ・
・ (砂を用いる場合の砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない)

(21.2.1)

舗鉄製マンホールふた

種類	適用荷重	鍵	備考
・水封形 ・簡易密閉形 (バッキン式) ○密閉形 (テーパー・バッキン式) ・ふた付き密閉形 (テーパー・バッキン式) ・RS-VU 	・T-2用 ・T-6用 ○T-20用 ○T-14用 ○T-25用	・有リ ・無し	左記以外の品質等は（公社） 空気調和衛生工学会 SHASE-S2091による

② 鉄製排水

(21.2.1)

鋼製

形式	用途	適用荷重	メイン・ピッチ	垂鉛 めっき (付着量)	上面形状
○受枠付き、 ボルト固定 チェーン付	・溝ふた（横断用） ○溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ○T-14用 ○T-20用 ○T-25用	・細目 ・普通目 ○細目	○(450g/m3) ○(450g/m3)	○凹凸形 ・ ○平形 ・

・ステンレス製

形式	用途	適用荷重	メイン・ピッチ	垂鉛 めっき (付着量)	上面形状
・受枠付き、 ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・ ・平形 ・

(品質・性能及び荷重試験方法)

建築材料等品質性能表による

④ 街きよ、緑石、側溝

(21.3.1、2) (表21.3.1)

街きよ、緑石、側溝

種類	形状、寸法
○緑石	※ 図示 ・
・L形側溝	
○U形側溝	
○U形側溝ふた	
・	

砂地業の材料 ・シルト ○山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシャラン  ・切込砂利 ・切込砕石
砂利地業の厚さ (mm) ※100 ・ 図示

・現場打ちの場合のコンクリート 種類 ※普通コンクリート ・
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※○15cm又は18cm ○8cm
・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・

凍上抑制層に用いる材料 ・
・ (砂を用いる場合の砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない)

(21.2.1) (表3.2.1)

※ B種 ・

⑤ 埋戻し土

(21.2.1) (表3.2.1)

※ B種 ・

22

舗装工事

① 路床

(22.2.2、3、5) (表22.2.1)

路床の材料

種 別	材 料	厚 さ (mm)
○ 盛土	・ A 種 ○ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・建設汚泥から再生した処理土 	○ 図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン  ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	・ 図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	・ 図示 ・

○路床安定処理
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ・特号 ・1号） ・消石灰（ ・特号 ・1号）
・固化材（ ・セメント系 ・石灰系）
添加量 ・ kg/m³ (目標CBR ○3以上 ・)
・路床置換処理
置換厚 ※ 図示 ・
置換材料の種類、品質 ※ 図示 ・
・不織布（ジオテキスタイル）
単位面積質量 ・60g/m²以上 ・
厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・
透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・
試験
路床土の支持力比（C B R）試験 ○ 行う (1000m²あたりに1箇所) ・行わない
現場C B R試験 ・行う（箇所） ・行わない
安定処理土のC B R試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ○ 行う (1000m²あたりに1箇所) ・行わない
六価クロム溶出試験 ・行う（現場説明書による） ・行わない

(22.3.2、3、5) (表22.3.1)

路盤の構成及び厚さ ※ 図示 ・

路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）

種 別	
砕 石	・クラッシャラン ・粒度調整砕石
再生材	○再生クラッシャラン  ・再生粒度調整砕石 
鉄鋼スラグ	・クラッシャラン鉄鋼スラグ  ・粒度調整鉄鋼スラグ  ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 

(22.4.2～6) (表22.4.4、5)

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

材料
アスファルト ・再生アスファルト（溶融スラグ入り）
※溶融スラグ入りアスファルト合材は、川越市資源化センターにて生成された溶融スラグを使用した合材とし、混入率は合材全体重量の10%以下とする。
（標準仕様書表22.4.11による種類： ・60～80 ・80～100）
・ストレータスファルト
骨材 ・道路用碎石
・アスファルトコンクリート再生骨材 
シールコート用の乳剤 ・PK-1 ・PK-2
加熱アスファルト混合物等の種類（配合は標準仕様書 表22.4.4による）
・密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)
・粗粒度アスファルト混合物(20)
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない

(22.5.2～4、6) (表22.5.1、3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

区 分	部 位	構 成	厚 さ (mm)
コンクリート版	○車路、駐車場	※図示	○150 ・ 200
	・歩行者用通路	※図示	※ 70 ・

舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度
寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示

材料
コンクリート ※ 普通コンクリート、標準仕様書 表22.5.1 による
・以下による
コンクリートの種類（ ）
設計基準強度(N/mm²)（ ）
所定のスランプ(cm) ※8 ・
粗骨材の最大寸法(mm)（ ）
早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
アスファルト乳剤 ・プライムコート (1.5L/m²)
目地
※ 標準仕様書 表 22.5.3 及び 図 22.5.1 による
・以下による
種類（ ）
間隔(m程度ごと)
構造 ・図示 ・

5 カラー舗装

(22.6.2～4)

・加熱系カラー舗装
構成及び厚さ ・ 図示
加熱系混合物の結合材・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物（顔料の添加量： %）
着色骨材（ ）
自然石（ ）
・常温系カラー舗装
工法 ・ニート工法 ・塗布工法
着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
舗装の構成 ※図示
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・
材料 骨材 ・道路用碎石
・アスファルトコンクリート再生骨材 
（標準仕様書表22.4.11による種類： ・60～80 ・80～100 ）
試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
砂の粒度試験 ・行う ・行わない

アスファルト乳剤（プライムコート）の施工は行わない。

・透水性アスファルト舗装 
・ポーラスアスファルト混合物(13)
・開粒度アスファルト混合物(13)
配合（標準仕様書表22.7.1）

ふ る い の 呼 び 名	ふ る い の 通 過 質 量 百 分 率 (%)	
	車 路 ・ 駐 車 場	歩 行 者 用 通 路
19mm	100	100
13.2mm	90 ～ 100	95 ～ 100
4.75mm	11 ～ 35	20 ～ 36
2.36mm	10 ～ 20	12 ～ 25
300μm	—	5 ～ 13
75μm	3 ～ 7	3 ～ 6
アスファルト量（%）	4 ～ 6	3.5 ～ 5.5

基準値（標準仕様書表22.7.2）

項 目	基 準 値	
	車 路 ・ 駐 車 場	歩 行 者 用 通 路
最大粒径（mm）	13	
安定度（kN）	3.43 以上	3.0 以上
フロー値（1/100cm）	—	20～40
空隙率（%）	20程度	12以上
動的安定度（回/mm）	3,000以上	—
透水係数（cm/s）	1×10 ⁻² 以上	

・不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・ 図示
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの

・透水性コンクリート舗装
コンクリート舗装に対する基準値

項 目	基 準 値
最大粒径（mm）	13
空隙率（%）	20以上
透水係数（cm/s）	1×10 ⁻² 以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

構成、厚さはコンクリート舗装による

・不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・ 図示
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの

・透水性コンクリート平板舗装
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による。

(22.8.2、3)

・透水性インターロッキングブロック舗装
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による。

(22.8.2、3)

6 透水性舗装

⑦ 半たわみ性舗装

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

gA(2)

G09

特記仕様書（その1-8）

安井建築設計事務所

		品質	性能	試験方法						
フリーアクセスフロア	＜フリーアクセスフロア＞ 【標準仕様書20章】 (性能) 標準仕様書表20. 2. 2によるほか以下による。 (1) 耐震性能 イ) 固定台試験による耐震性能(設計床高さ H=300mm超え、600mm以下の場合) <table><tr><th>項目</th><th>性能</th></tr><tr><td>① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td><td>水平荷重の1/2以下の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>② 上記①以外の部分が耐力に達したとき</td><td>水平荷重の1/1.5以下の＜適用地震時水平力＞以上</td></tr><tr><td>③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td><td>構造床面からの高さの1/50以下</td></tr></table> ＜適用地震時水平力＞ 3, 000N 0. 6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重〔(㎡当り自重+3, 000N)/㎡当りの支柱本数〕×0. 6 3, 000N 1. 0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重〔(㎡当り自重+3, 000N)/㎡当りの支柱本数〕×1. 0 5, 000N 0. 6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重〔(㎡当り自重+5, 000N)/㎡当りの支柱本数〕×0. 6 5, 000N 1. 0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重〔(㎡当り自重+5, 000N)/㎡当りの支柱本数〕×1. 0 ロ) 振動台試験による耐震性能 (設計床高さ≦300mmの場合のみ) パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、セリ上がり、隙間及び水平移動がない。 (2) 歩行感 通常の歩行において空洞音やたつきがなく、歩行感に違和感がない (3) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 (試験方法) (1) 耐震性能 1) 設計床高さ≦300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N：200kg 5000N：350kg 加振 0. 6G：所定加速度600cm/ｓ ² 1. 0G：所定加速度1000cm/ｓ ² 2) 300mm<設計床高さ≦600mmの場合 ① 固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式・支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法－1 又は、試験方法－2による。 ロ、原則として、試験方法－1はパネル単体設置（Ａタイプ）に適用し、試験方法－2はパネル連結設置（Ｂタイプ）に適用するものとする。 ②試験方法－1 イ、試験は、コングリ(JIS A 5371P)least無筋コングリ製品、種類：N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③試験方法－2 イ、試験は、コングリ(JIS A 5371P)least無筋コングリ製品、種類：N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800mm×800mmに荷重板3, 200 N (5, 000 N/㎡相当) を1箇所設ける。 試験体数は、1セクトとする。 ④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の 水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 3) 共通事項 試験に使用する表面仕上材 種類：タイルカーペット パイル携帯：ループパイル パッキング素材：塩化ビニル樹脂 単位質量：4. 0kg/㎡～64. 0kg/㎡	項目	性能	① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2以下の＜適用地震時水平力＞以上	② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5以下の＜適用地震時水平力＞以上	③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下	人耐電圧：2 KV以下
	項目	性能								
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2以下の＜適用地震時水平力＞以上									
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5以下の＜適用地震時水平力＞以上									
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下									
移動間仕切	＜移動間仕切＞ 【標準仕様書20章】 (標準仕様書表20. 2. 4によるほか以下による。) (品質) (1) パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」の表9材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこなないもの又は防食処理を施したものである。 (2) パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」に規定する5. a)～c)による。 (性能) (1) パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 (2) パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7, 500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 (3) 耐衝撃性 パネル圧接装置の耐久性試験後、質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれのないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 (4) レールの耐久性 レールは普通パネルで、吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30, 000回以上で異常のないものとする。 (5) 吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 (6) ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。 (7) 吊りボルトの引張強度 本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 (8) 遮音性能 遮音性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 (9) ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。									
トイレブース	＜トイレブース＞ 【標準仕様書20章】 (標準仕様書表20. 2. 5によるほか以下による。) (品質・性能) (1) 付属金物 項目品質・性能 ヒンジ耐食性のあるものとする。 ラッチセット戸当り腐食の恐れのある材料には防錆処理を施しもあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。 (2) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5. b) による。 (3) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性 項目品質・性能 耐薬品性及び耐汚染性耐ひっかき性開閉耐久性 メラミン樹脂系化粧板JIS K 6903 (2008)「熱硬化性樹脂系単一材」高圧化粧板)の表8 品質 による耐汚染性(Ｂ法)の規定を満足していること。 低圧メラミン樹脂系化粧板下記項目のポリエステル樹脂系加工化粧板合、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系加工化粧板JAS「合板の日本農林規格」第9条「JAS「合板の日本農林規格」第9条(特殊加工化粧板の規格)に規定(特殊加工化粧板の規格)に規定する耐汚染性B試験を満足していること。 ポリエステル樹脂系化粧MDFJIS A 5905「繊維板」に規定する表18の化粧MDFの品質に適合していること。 ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボードJIS A 5908「パーティクルボード」に規定する表11の化粧パーティクルボードの品質に適合していること。 (試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」の規定による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2の規定による。									
煙突用成形ライニング材	＜煙突用成形ライニング材＞ 【標準仕様書20章】 (品質・性能) 種類ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 加熱線収縮率2.0%以下 曲げ強度0.8N/㎡以上 圧縮強度1.0N/㎡以上 スポーリング性試験体に亀裂の発生、剥離あるいは脱落等がないものとする。 透水性試験体表面に水滴が生じないものとする。 耐酸性試験体に形状変化が見られず、崩壊する危険性がないものとする。 石綿使用不可。 ライニング材とコンクリートの境界温度100℃以下とする。 加熱線収縮率、曲げ強度、圧縮強度の確認は、社内試験成績書によることができる。 (試験方法) (1) スポーリング性試験 適用安全使用温度 (300 ℃) から適用安全使用温度まで100℃間隔で30分間加熱冷却を繰り返し、各温度設定時の加熱後及び冷却時の試験体亀裂、剥離、脱落の状況を観察する。(試験体は完成品とし、サイズは内径600mm×長さ1000mm程度とする。) (2) 透水性試験 JIS A 5430「繊維強化セメント板」8. 6 透水性試験による。 (3) 耐酸性試験 1. 0%濃度の硝酸及び硫酸水溶液に下記の方法で浸せきした後、試験体の外観を調べる。 試験は、試験体を温度20℃、湿度60%の試験室に24時間以上静置した後、酸水溶液に1週間 (168時間) 浸せきする。(ただし、酸水溶液は48時間毎に交換する。) その後、48時間以上温度20℃、湿度60 %の試験室に静置した後以外観観察を行う。(試験体のサイズは、100mm×50mmとする。) (4) 熱伝導率測定 JIS R 2616「耐火断熱れんがの熱伝導率の試験方法」による。 試験設定温度は100 ℃、150 ℃、300 ℃、450 ℃、600 ℃とする。									
天井点検口	＜天井点検口＞ 【標準仕様書20章】 (品質・性能) (1) 内外枠の材質は、アルミニウム製とする。 イ) JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063St5又は同等の性能を有するものとする。 ロ) 表面処理は、JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜」に規定するAA6又は同等の性能を有するものとする。 (2) 内枠及び外枠のコーナークビス 鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 (3) 外枠の取付け金物 イ) 吊り金具 鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 ロ) 吊り金具取付けボルト 鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。 (4) 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、垂鉛めっき鋼板の類い又は同等以上の品質並びに仕上げ材を固定する性能を有するものとする。 (5) 寸法許容差 (枠の許容差) 枠の寸法許容差 ±0. 5mm 外枠と内枠のクリアランス (片側) 2. 0mm以内 (6) 耐久性能 (繰り返し開閉試験) 1) 繰返し試験後の内蓋の垂れ下がりが、50回、100回及び300回で0. 5mm以内とする。 2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 (試験方法) 内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 (2) 吊り金物は、外枠を天井下地取付け用補強材に直接留付け方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所に各メーカー仕様に従い取付ける。 (3) 野縁の種類は19形とし、仕上材はせっこうボード厚さ9. 5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」に規定するGB－Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。 (4) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り直し行う。 (5) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり寸法を測定する。									
床点検口	＜床点検口＞ 【標準仕様書20章】 (品質・性能) 以下のもの又は同等のものとする。 部材名材質屋内外用屋内用 受枠材アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5 (表面処理)JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装被膜」に規定するB種又はJIS H 8601「アルミニウムの及びアルミニウム合金の陽極酸化被覆」に規定するAA15 蓋枠材ステンレス製JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼」JIS G 4305のSUS430、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理)HL又は2B仕上げ程度 鋼製－鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類いにメラミン樹脂焼付塗装等若しくは、標準仕様書表18. 3. 1及び表18. 3. 2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの 二重蓋の中蓋鉄鉄JIS G 5501「ねずみ錆蝕品」に規定するFC150、FC200 その他塩化ビニル樹脂製等 目地材黄銅JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定する C2600、C2720、C2801 JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定する C3602、C3604 JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 ステンレスJIS G 4308「ステンレス鋼線材」に規定する SUS304 底板材 コーナークビス 底板補強材ステンレス鋼板JIS G 4305に規定する SUS430、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308に規定する SUS304 アルミニウム板JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定する A1100P H24 表面処理：陽極酸化塗装被膜 JIS H 8601に規定するAA15 JIS H 8602に規定するB 鋼材－鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」の類いにメラミン樹脂焼付塗装等若しくは、標準仕様書表18. 3. 1及び表18. 3. 2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの (試験方法) (1) 許容差 イ) 受枠基準寸法 600角程度まで ロ) 受枠寸法法の許容差 ±0. 5mm ハ) 蓋付寸法の許容差 ±0. 5mm ニ) 受枠と蓋枠のクリアランス 片側2. 0mm以内 (2) 蓋の耐荷重性能 イ) 加圧する荷重値P=1, 000N ロ) 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0. 08%以内 ハ) 受枠・蓋その他に使用上の支障がないこと ニ) 破壊荷重が、加圧荷重値Pの2倍以上 (試験方法) 耐荷重試験 (1) 試験体 イ) 貼物用とし、600mm角程度とする。 ロ) 枠見込みは、40mm以下とする。 (2) 試験 イ) 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 ロ) 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 ハ) 本試験は、1, 000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する (終局荷重) まで加圧する。 (3) 測定 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受枠の変形その他の異常について1, 000Nまで3回繰り返し返す。									
グレーチング	＜グレーチング＞ 【標準仕様書21章】 (品質・性能等) 以下のもの又は同等のものとする。 ＜鋼製グレーチング＞ 項目品質・性能 メインバー、サイドバー及びエンドプレートJIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」に規定するSS400 クロスバーJIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM 受け枠用アングル材JIS G 3101に規定するSS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間圧延素鋼線材」に規定するSPHT 溶融亜鉛めっきの付着量JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上又は、2種50 (HDZ50) 以上のもの 受け枠用アングル材塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料 ＜ステンレス製グレーチング＞ 項目品質・性能 メインバー、クロスバーJIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4318「冷間仕上げステンレス鋼棒」に規定するSUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L サイドバー、エンドバーJIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318に規定するSUS304、又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L 及び JIS F4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」、JIS F4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に規定するSUS304、又はJIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L 受け枠用アングル材JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320に規定するSUS304 又は JIS G 4304、JIS G 4305に規定するSUS430J1L アンカーJIS G 3101に規定するSS400の類いとし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの表面仕上げは、HL又はNo. 2B程度とする。 (1) 組み立て加工 イ) アンカーの間隔は、側溝の場合500mm内外とする。 ロ) 平坦性は、変形がなく据付けに支障がないものとする。 ハ) ふたの幅及び長さの許容差は、±3. 0mmとする。 (2) 耐荷重性能 設計荷重の1. 5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする。									
無収縮グラウト材	＜無収縮グラウト材＞ 【改修標準仕様書8章】 (無収縮グラウト材の材質等) 混和材セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメントJIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂土壌学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 (無収縮グラウト材の品質及び試験方法) コンシステンシーJロードによる落下時間 繰り混ぜ完了から3分以内の値：±2秒 ブリージング繰り混ぜ2時間後のブリージング率：2. 0%以下 凝結時間凝結開始時間：1時間以上 終結時間：10時間以内 無収縮性材齢 7日 収縮しない 圧縮強度材齢 3日 20.0N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0N/mm ² 以上 圧縮変量0.30kg/㎡以下 試験方法1) NEXCO試験方法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物の試験は、JIS A 1144「1144F「プレミックス」コンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。									
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)										
gA(2)		G12	建築材料等品質性能表							
安井建築設計事務所										

発注区分表（工区の大区分）

- 備考）
- ・

本工事は特記ある場合を除いて「外構整備工事（その2）」、「構内舗装工事」、「付属棟その他新築工事」及び「外構電気設備工事（その2）」を対象とする。
- ・

本区分は現時点のものであり、名称や区分が変わる可能性がある。

1）発注区分概要 【※工区以下の工事区分は各工区図の工事区分による】

種別	工区		工事				
	工区名称	略号	工事名称	他工区図に記載する工事名称			略号
				標準	表記を短縮する場合（1）	同左工期を記載する場合	
建築 （給排水、空調、電気、昇降機、展示工 事を含む）	庁舎棟	庁舎	川越地区消防局・川越北消防署新築工事	庁舎棟工事(建築)	庁舎建築工事		庁舎
			川越地区消防局・川越北消防署新築電気設備工事	庁舎棟工事(電気)	庁舎電気工事		
			川越地区消防局・川越北消防署新築太陽光発電設備工事	庁舎棟工事(太陽光)	庁舎太陽光工事		
			川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事	庁舎棟工事(給排水)	庁舎給排水工事		
			川越地区消防局・川越北消防署新築空調設備工事	庁舎棟工事(空調)	庁舎空調工事		
			川越地区消防局・川越北消防署新築防災学習展示工事	庁舎棟工事(展示)	庁舎展示工事		
	訓練塔	訓練	川越北消防署訓練塔新築工事	訓練塔工事(建築)	訓練建築工事		訓練
			川越北消防署訓練塔新築電気設備工事	訓練塔工事(電気)	訓練電気工事		
			川越北消防署訓練塔新築給排水その他設備工事	訓練塔工事(給排水)	訓練給排水工事		
	外構その他	外他	川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その1、2）	外構その他工事(外構1、2)	外構工事	外構（1又は2）工事	外構
			川越地区消防局・川越北消防署構内舗装工事	外構その他工事(舗装)	外構舗装工事		舗装
			川越地区消防局・川越北消防署新築外構電気設備工事（その1、2）	外構その他工事(電気1、2)	外構電気工事	外構電気（1又は2）工事	外電
			川越地区消防局・川越北消防署付属棟その他新築工事	外構その他工事(付属棟)	外構付属棟工事		付属
			川越地区消防局・川越北消防署新築植栽工事（その1、2）	外構その他工事(植栽1、2)	外構植栽工事	外構植栽（1又は2）工事	植栽
造成	造成	造成	川越地区消防局・川越北消防署造成工事（1期～3期）	造成工事（造成1～3）	造成工事	造成（1～3）工事	造成
			川越地区消防局・川越北消防署擁壁工事（1期～2期）	造成工事（擁壁1～2）	擁壁工事	造成擁壁(1～2)工事	
			川越地区消防局・川越北消防署雨水貯留槽設置工事	造成工事（貯留槽）	雨水貯留槽工事		
道路	外周道路	道路	川越地区消防局・川越北消防署外周道路整備工事	外周道路工事	外周道路工事		道路
			川越地区消防局・川越北消防署県道改修工事	県道改修工事	県道工事		
指令システム	指令システム	指令	川越地区消防局・川越北消防署指令システム工事	指令システム工事	指令工事		指令

2）発注区分表

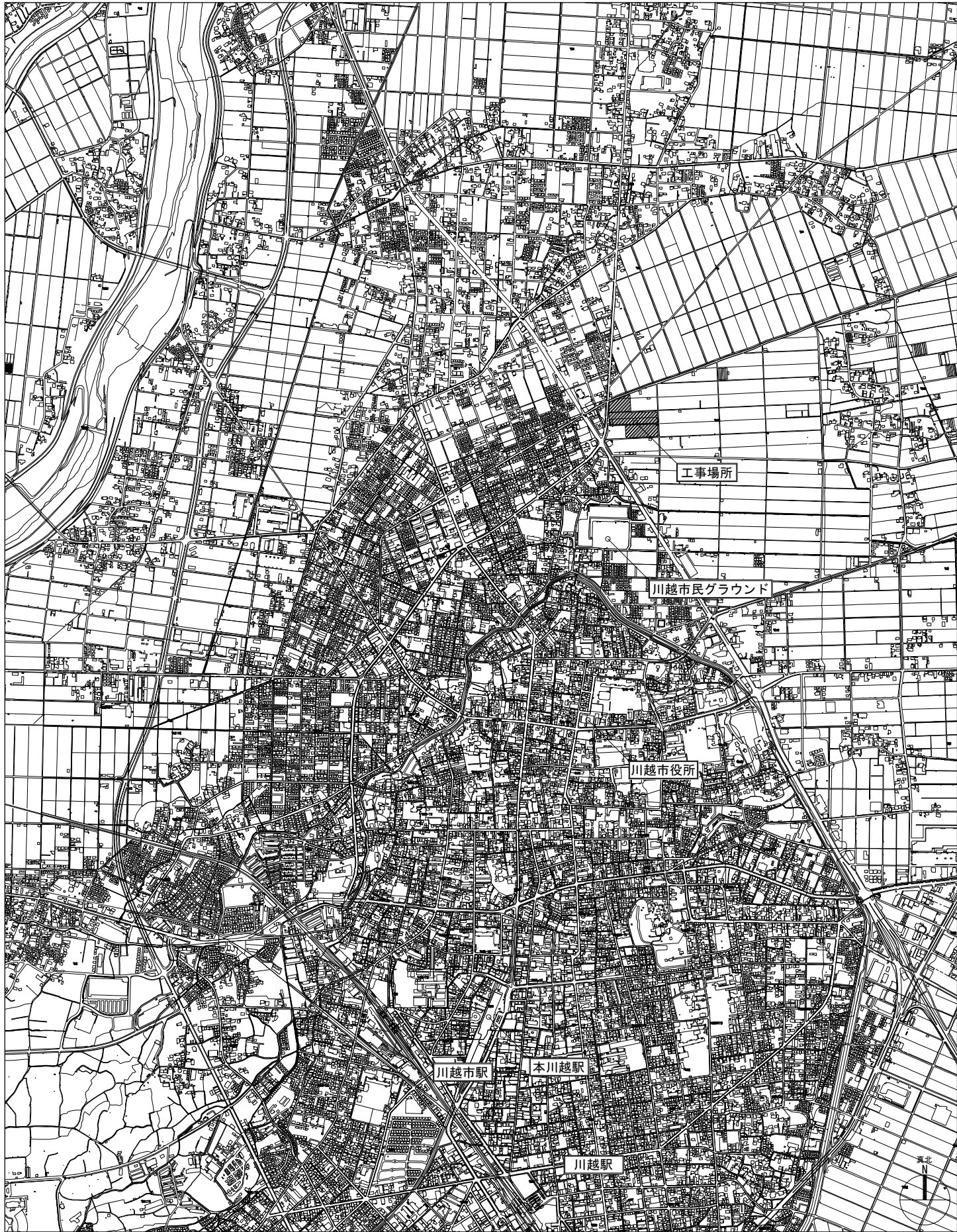
<凡例>　○：適用する、　＊：各区分の工事が必要な場合は適用する

工事種別			発注工区区分										備考	工事種別			発注工区区分										備考
大区分	工事内容	細目・備考	庁舎	訓練	外構その他					造成	指令	道路		大区分	工事内容	細目・備考	庁舎	訓練	外構その他					造成	指令	道路	
					外構	舗装	植栽	付属	外電										外構	舗装	植栽	付属	外電				
仮設	直接仮設	仮囲い等（造成工事関連）								○				工作物	通信用鉄塔 （庁舎棟屋上設置）	鉄塔本体	○										
		仮囲い等（建築工事着手後）	○	*	*	*	*	*	*	○						避雷針	○										
		建築仮設（足場、内部）	○	○	○	○	○	○	○		○					通信アンテナおよびケーブル								○			
		その他直接仮設	○	○	○	○	○	○	○	○	○				オイルタンク格納躯体及び防護壁	○											
	共通仮設	現場事務所（建築関連）	○	○	*	*	*	*	*	*	*	*				自家給油所	オイルタンク本体及び関連設備（注給油設備等）	○									
		その他共通仮設	○	○	○	○	○	○	○	○	○				オイルトレンチ	○											
インフラ 引込	仮設用		○	*	*	*	*	*	*	○					自家発用オイルタンク （地中埋設）	オイルタンク躯体	○										
	本設用		○										オイルタンク本体及び関連設備（注油設備等）			○											
道水路	敷地外道路整備											○	付替えを含む				オイルトレンチ	○									
	敷地外水路整備											○	付替えを含む		外構フェンス及び門扉類			○									
造成	表土改良									○				外構	外構サイン類	サイン本体					○						
	圧密沈下対策									○			余盛土撤去を含む			サインへの配管配線					○						
	粗造成									○					整地（粗造成完了後の整地）				○						舗装工事部分の整地は路床天端まで		
	擁壁（敷地外周部）				○					○			仮設搬出入口		雨水排水				○						雨水貯留槽への流入管を含む		
		雨水貯留槽（地中埋設）	雨水貯留槽								○				縁石				○								
		排水ポンプ及びポンプ室				○									スロープ及び階段		○		○								
		放流先への接続									○				舗装（路床改良を含む）					○							
建築	庁舎棟	庁舎本体	○											電気	外構照明							○					
		指令システム									○				散水栓			○									
	保管庫	保管庫本体	○											機械													
		泡消火配管用トレンチ	○																								
	訓練塔（A、B、C塔）		○																								
	その他付属棟	消防用自動車車庫							○																		
		車いす駐車場																									
駐輪場（来庁者、職員）																											
バイク置場（来庁者、職員）																											

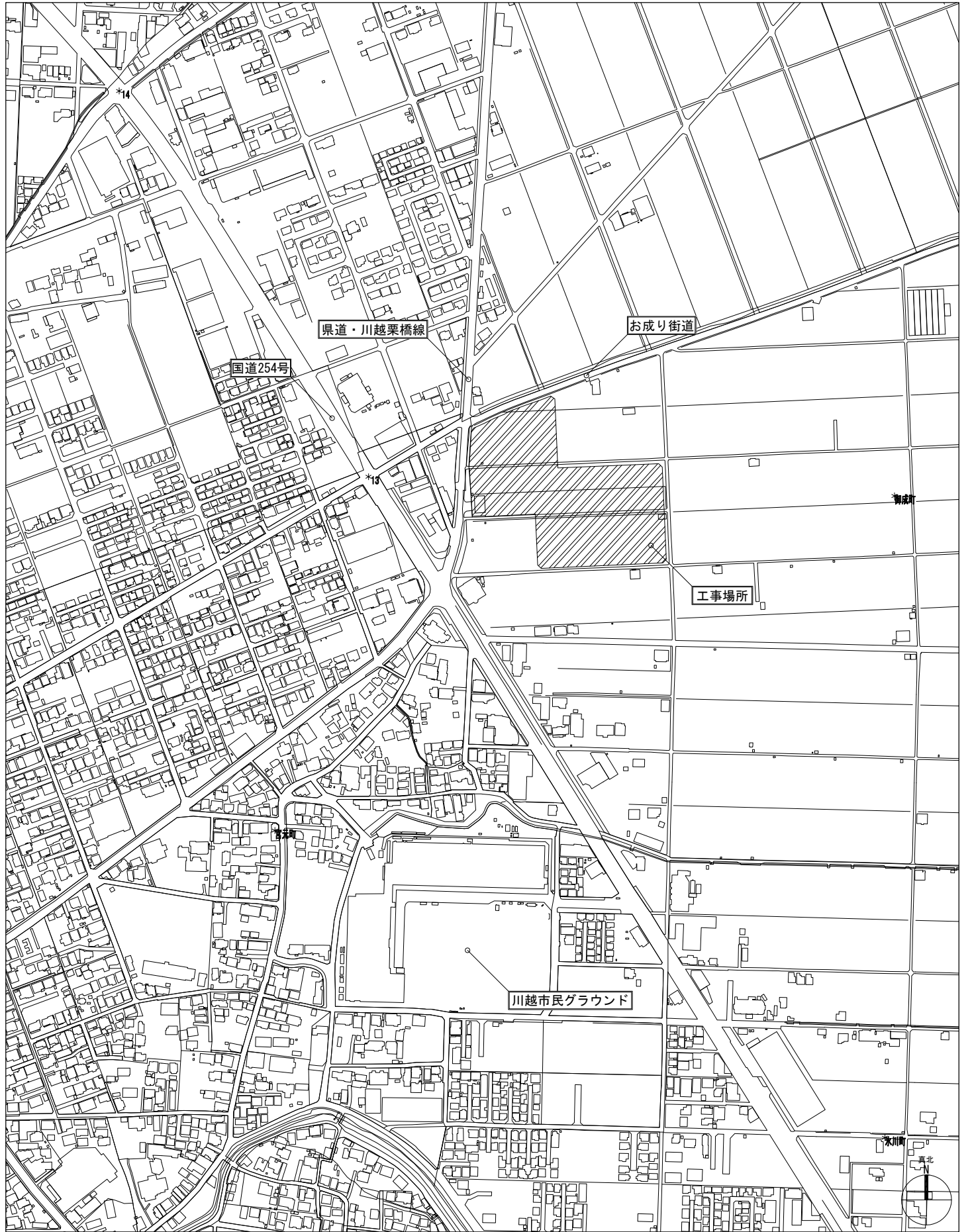
凡例
■・・・今回工事範囲

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)			
gA(2)	発注区分表		
G13			
		安井建築設計事務所	

[illegible]



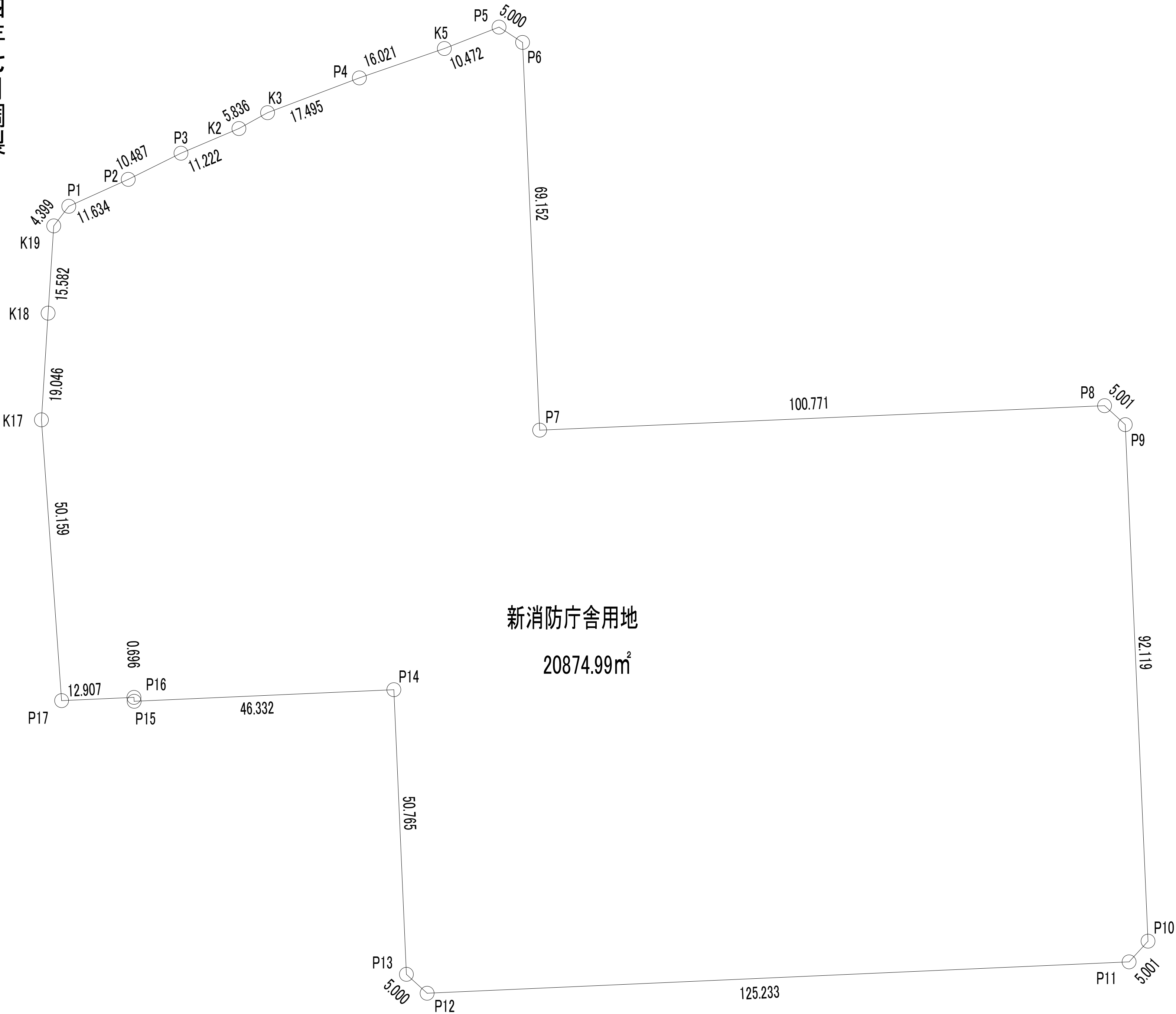
A1=1:10000
A3=1:20000



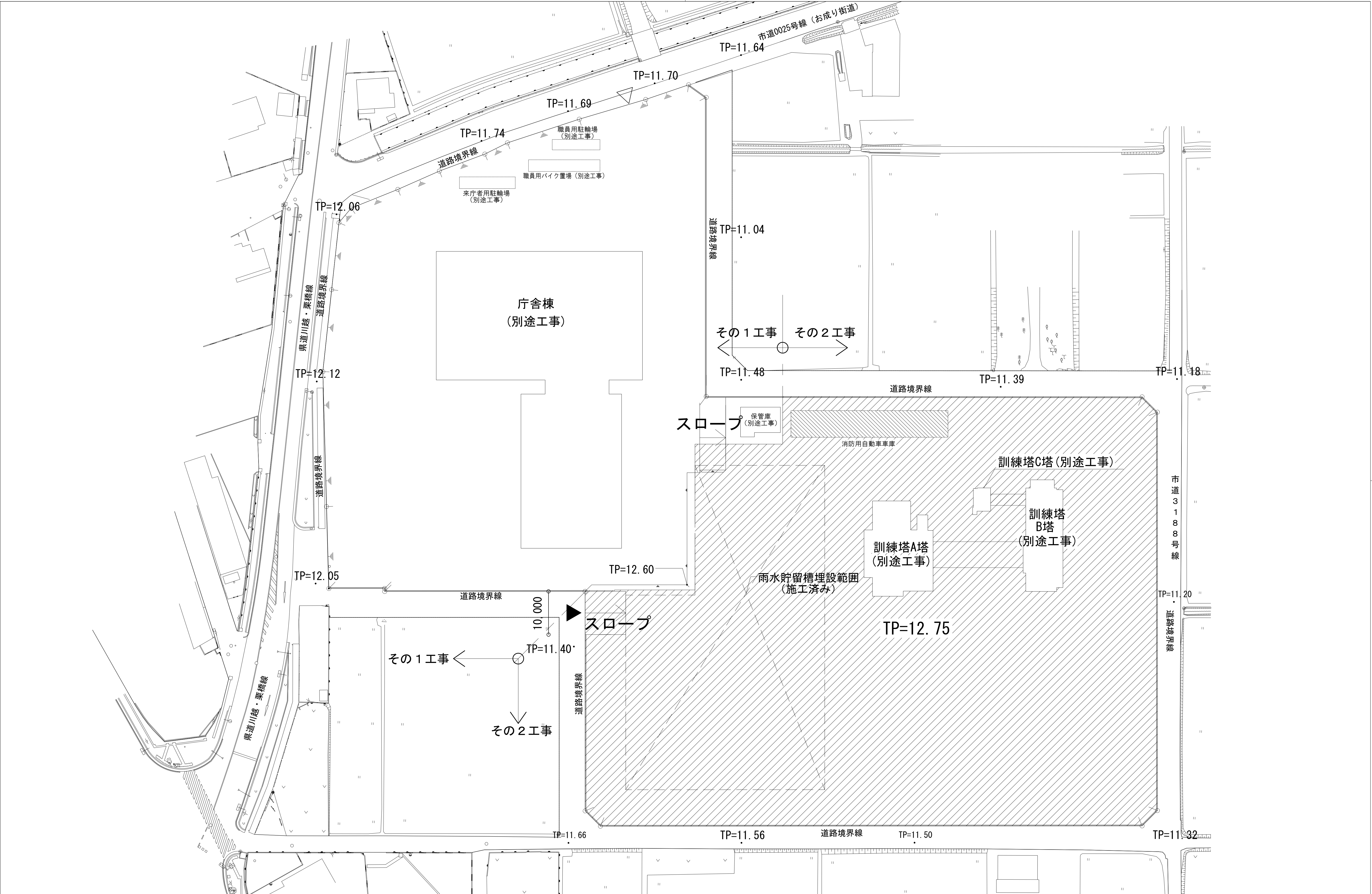
A1=1:2500
A3=1:5000

										川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）	
										gA(2)	
										G15	敷地付近見取り図・案内図
										安井建築設計事務所	

令和四年七月調製



地 番	新消防庁舎用地			
NO	X _n	Y _n	X _n ・(Y _n +1-Y _n -1)	距 離
P1	-6987.685	-31270.075	-92775.493745	11.634
P2	-6982.880	-31259.479	-139608.719840	10.487
P3	-6978.224	-31250.082	-137638.490176	11.222
K2	-6973.831	-31239.755	-107641.081485	5.836
K3	-6971.007	-31234.647	-149646.607269	17.495
P4	-6964.803	-31218.288	-219412.188909	16.021
K5	-6959.573	-31203.144	-173265.529408	10.472
P5	-6955.756	-31193.392	-96984.105908	5.000
P6	-6958.483	-31189.201	-50365.499954	69.152
P7	-7027.568	-31186.154	-728927.463232	100.771
P8	-7023.212	-31085.477	-732970.497168	5.001
P9	-7026.591	-31081.790	-54427.973886	92.119
P10	-7118.621	-31077.731	-4862.018143	5.001
P11	-7122.311	-31081.107	915103.006524	125.233
P12	-7127.905	-31206.215	918059.908190	5.000
P13	-7124.530	-31209.905	42219.964780	50.765
P14	-7073.814	-31212.141	343235.602908	46.332
P15	-7075.883	-31258.427	327747.824677	0.696
P16	-7075.187	-31258.460	91468.017536	12.907
P17	-7075.763	-31271.355	116693.483396	50.159
K17	-7025.733	-31274.952	16939.042263	19.046
K18	-7006.723	-31273.766	-15386.763708	15.582
K19	-6991.173	-31272.756	-25804.419543	4.399
合 計			41749.997900	
合 計 面 積			20874.998950	
地 積			20874.99	m ²



- (凡例)
- ・・・今回工事範囲

・・・今回工事建物

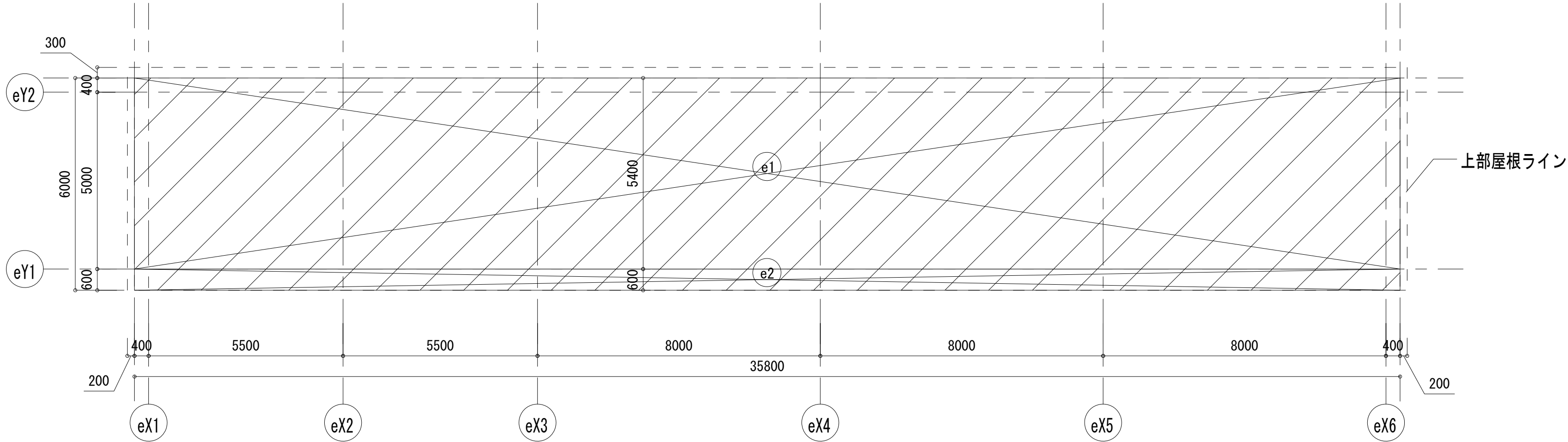
・・・工事搬出入口 (L型擁壁施工まで)
※最終的には工事搬出入口部分 (L=10m) を
L型擁壁にて塞ぐこと。(擁壁図参照)

・・・工事搬出入口 (L型擁壁施工以降)

(注記)
※既存雨水貯留槽埋設部上部は大型重機等の重車両を走行させないこと。
ダンプ等が走行する場合も鉄板敷き等による養生を行い、雨水貯留槽の
保護を必ず行うこと。

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事 (その2)		
gA (2)	A1=1/400 A3=1/800	
G17	敷地現況図 (外構着手時)	
安井建築設計事務所		

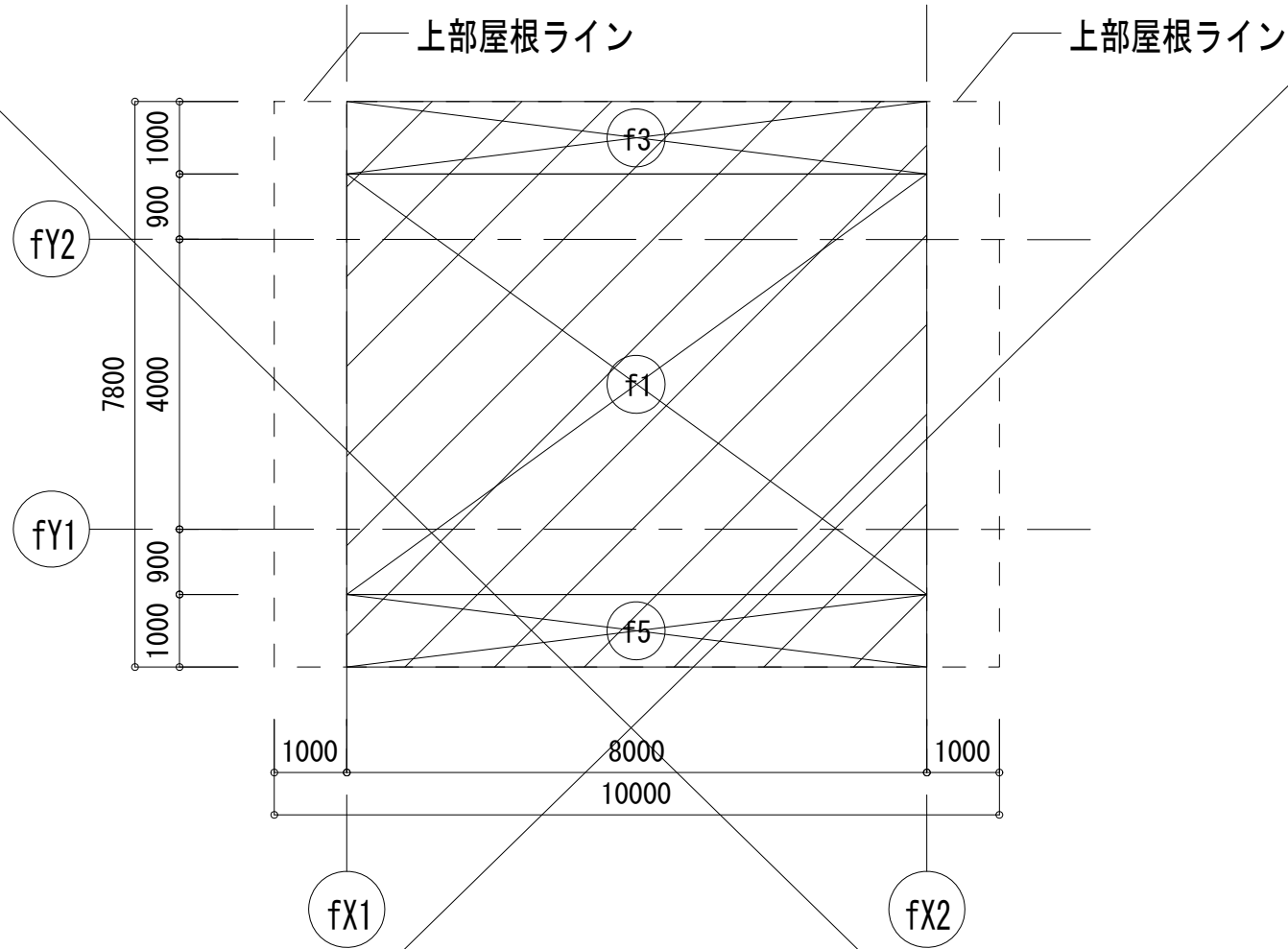
消防用自動車車庫



消防用自動車車庫 求積図

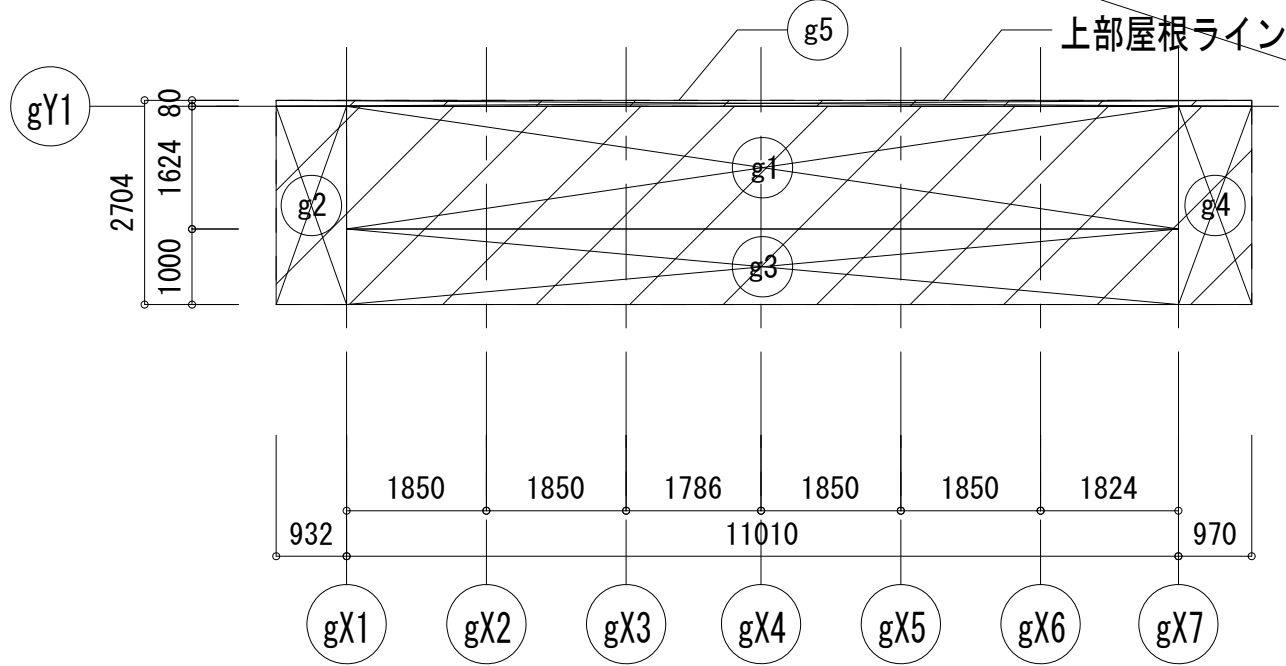
面積算定式			(少数点2位切捨)
番号	根拠式	面積 (㎡)	
(自動車車庫等の部分)			
e1	35.800 × 5.400	193.3200	
e2	35.800 × 0.600	21.4800	
求積表 (単位: ㎡)			
建築面積	e1	193.3200	193.320
延べ面積	e1+e2	214.8000	214.800
容積対象外面積	e1+e2	214.8000	214.800

車いす駐車場



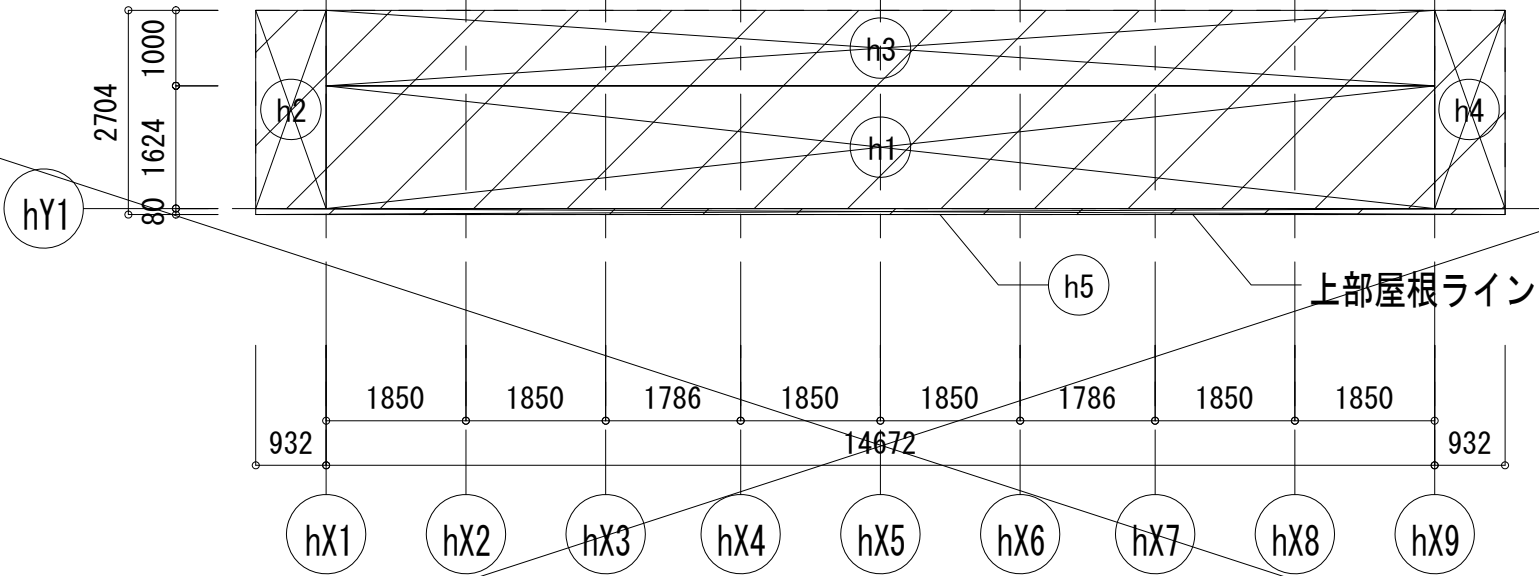
車いす駐車場 求積図

来庁者用駐輪場



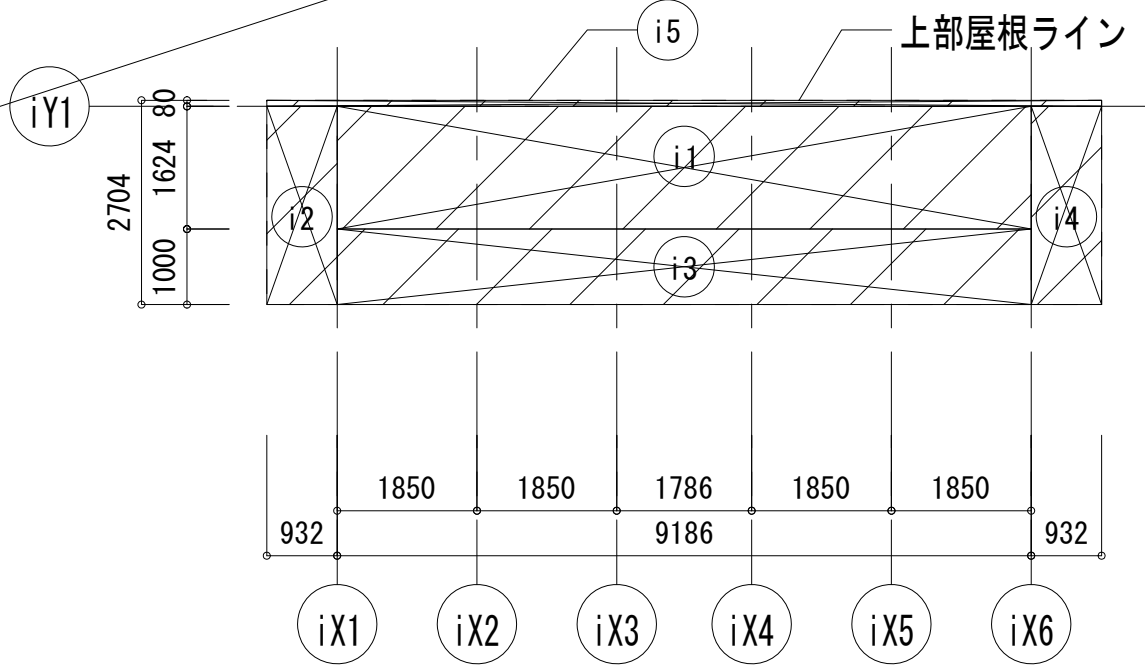
来庁者用駐輪場 求積図

職員用バイク置場



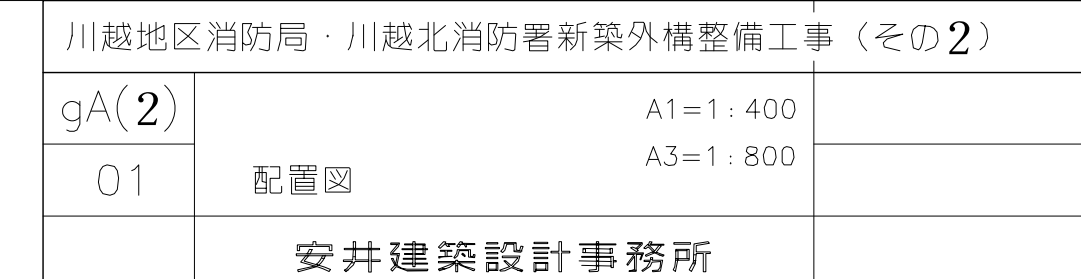
職員用バイク置場 求積図

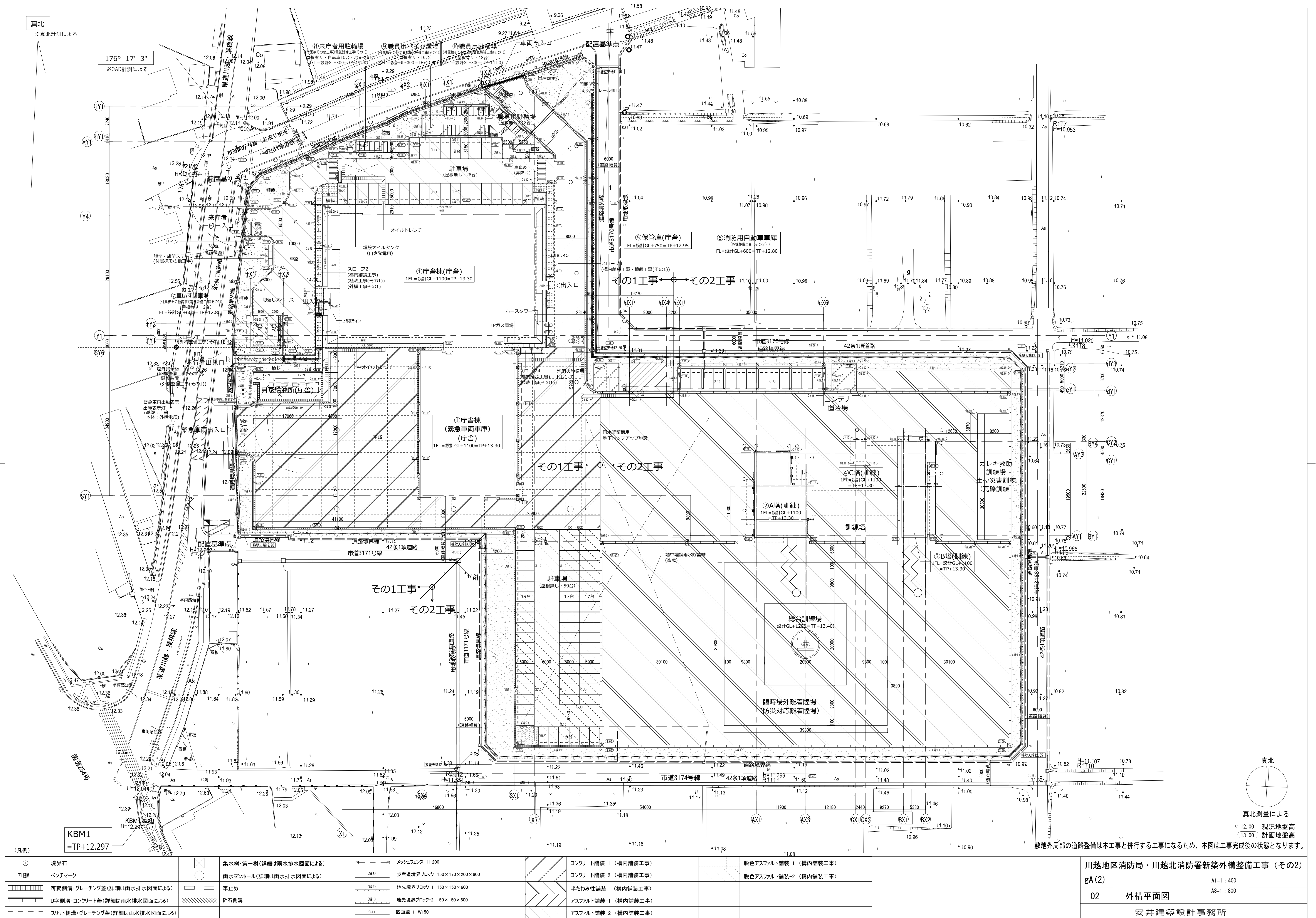
職員用駐輪場

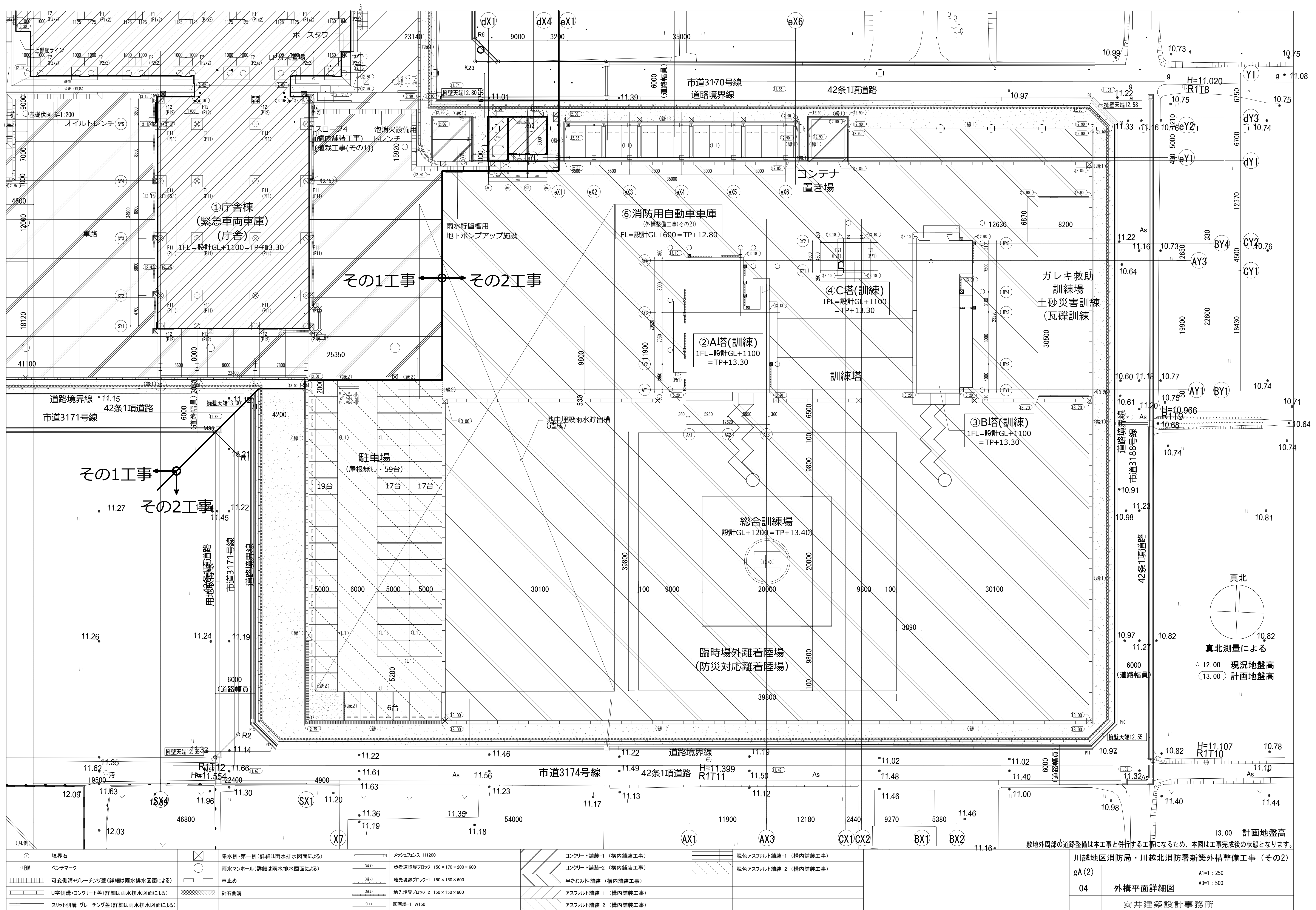


職員用駐輪場 求積図

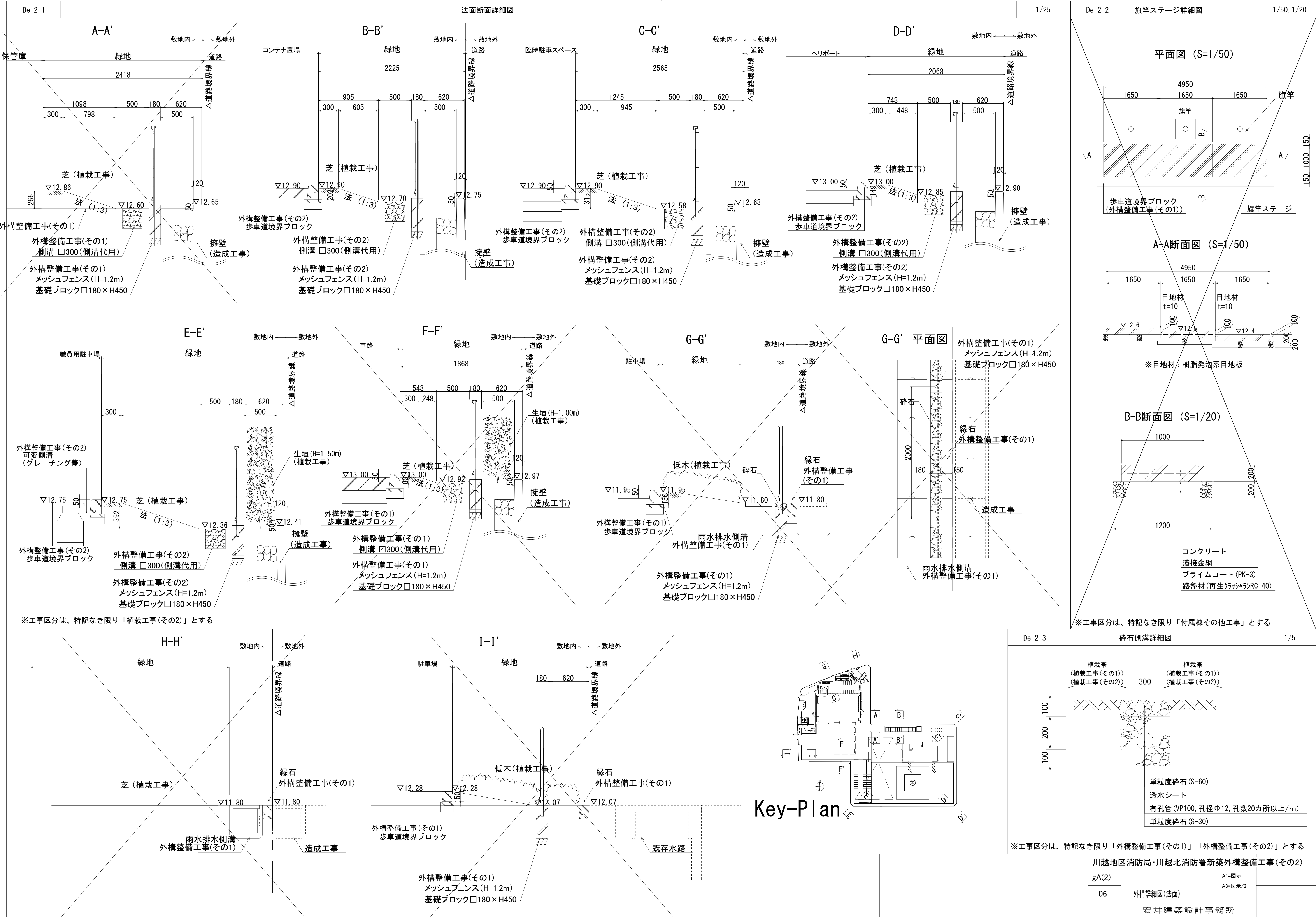
	自動車車庫等の部分								川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）	
									gA (2)	A1=1 : 100
									G18	A3=1 : 200
									面積表・求積図	
									安井建築設計事務所	







De-1-1		コンクリート舗装-1 標準断面図		1/10		De-1-2		コンクリート舗装-2 標準断面図		1/10		De-1-3		半たわみ性舗装 標準断面図		1/10		De-1-4		アスファルト舗装-1 標準断面図		1/10							
De-1-9		歩車道境界ブロック A型 (150×170×200) 標準断面図		1/10		De-1-10		地先境界ブロック-1 標準断面図		1/10		De-1-11		地先境界ブロック-2 標準断面図		1/10		De-1-12		車止め (バリカー)		1/20							
De-1-13		車止め (ブロック) H=115 W=600 1ヶ所当り2個設置		1/10		De-1-14		路面標示		1/100		De-1-15		屋外掲示板		1/30													
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)																													
gA(2)		A1=図示																											
05		A3=図示/2																											
外構詳細図(舗装・緑石他)																													
安井建築設計事務所																													



A-A'

緑地

敷地内

敷地外

道路

保管庫

2418

1098

500

180

620

300

798

500

120

12.65

芝 (植栽工事)

外構整備工事(その1)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その1)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

B-B'

緑地

敷地内

敷地外

道路

コンテナ置場

2225

905

500

180

620

300

605

500

120

12.75

芝 (植栽工事)

外構整備工事(その2)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その2)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

C-C'

緑地

敷地内

敷地外

道路

臨時駐車スペース

2565

1245

500

180

620

300

945

500

120

12.63

芝 (植栽工事)

外構整備工事(その2)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その2)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

D-D'

緑地

敷地内

敷地外

道路

ヘリポート

2068

748

500

180

620

300

448

500

120

12.90

芝 (植栽工事)

外構整備工事(その2)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その2)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

E-E'

緑地

敷地内

敷地外

道路

職員用駐車場

500

180

620

300

500

120

12.41

芝 (植栽工事)

外構整備工事(その2)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その2)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

F-F'

緑地

敷地内

敷地外

道路

車路

1868

548

500

180

620

300

248

500

120

12.97

芝 (植栽工事)

外構整備工事(その1)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その1)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

G-G'

緑地

敷地内

敷地外

道路

駐車場

180

180

120

11.80

低木 (植栽工事)

外構整備工事(その1)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その1)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

G-G' 平面図

外構整備工事(その1)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

造成工事

H-H'

緑地

敷地内

敷地外

道路

芝 (植栽工事)

180

620

120

11.80

外構整備工事(その1)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その1)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

I-I'

緑地

敷地内

敷地外

道路

駐車場

180

620

120

12.07

低木 (植栽工事)

外構整備工事(その1)

側溝 口300(側溝代用)

外構整備工事(その1)

メッシュフェンス (H=1.2m)

基礎ブロック口180×H450

擁壁 (造成工事)

Key-Plan

既存水路

平面図 (S=1/50)

旗竿

旗竿ステージ

歩車道境界ブロック (外構整備工事(その1))

A-A断面図 (S=1/50)

目地材 t=10

※目地材：樹脂発泡系目地材

B-B断面図 (S=1/20)

コンクリート

溶接金網

プライムコート (PK-3)

路盤材 (再生クラッシュランRC-40)

De-2-3

砕石側溝詳細図

1/5

植栽帯 (植栽工事(その1))

植栽帯 (植栽工事(その2))

300

100

200

100

単粒度砕石 (S-60)

透水シート

有孔管 (VP100, 孔径φ12, 孔数20カ以上/m)

単粒度砕石 (S-30)

※工事区分は、特記なき限り「外構整備工事(その1)」 「外構整備工事(その2)」とする

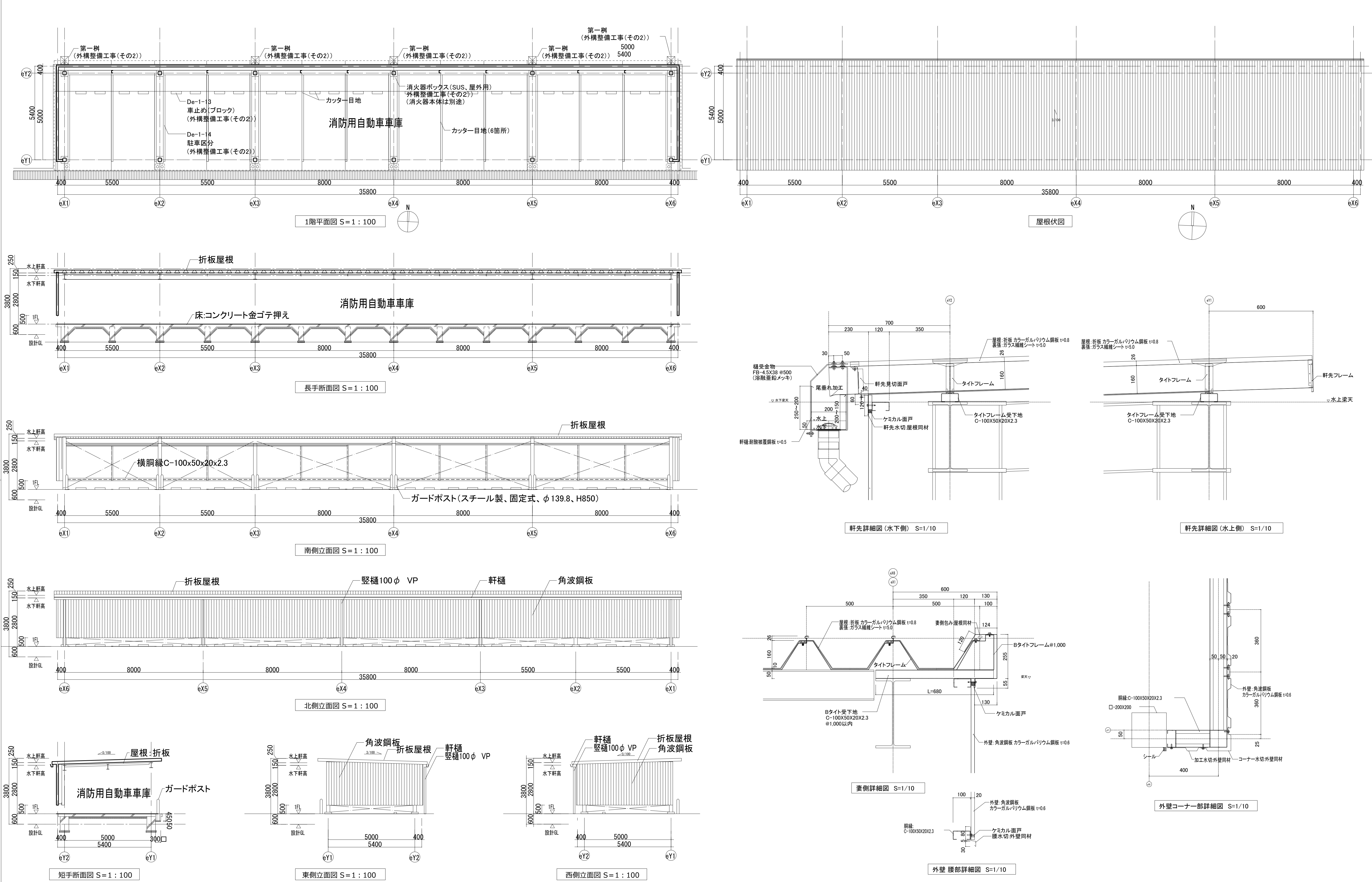
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)

gA(2)

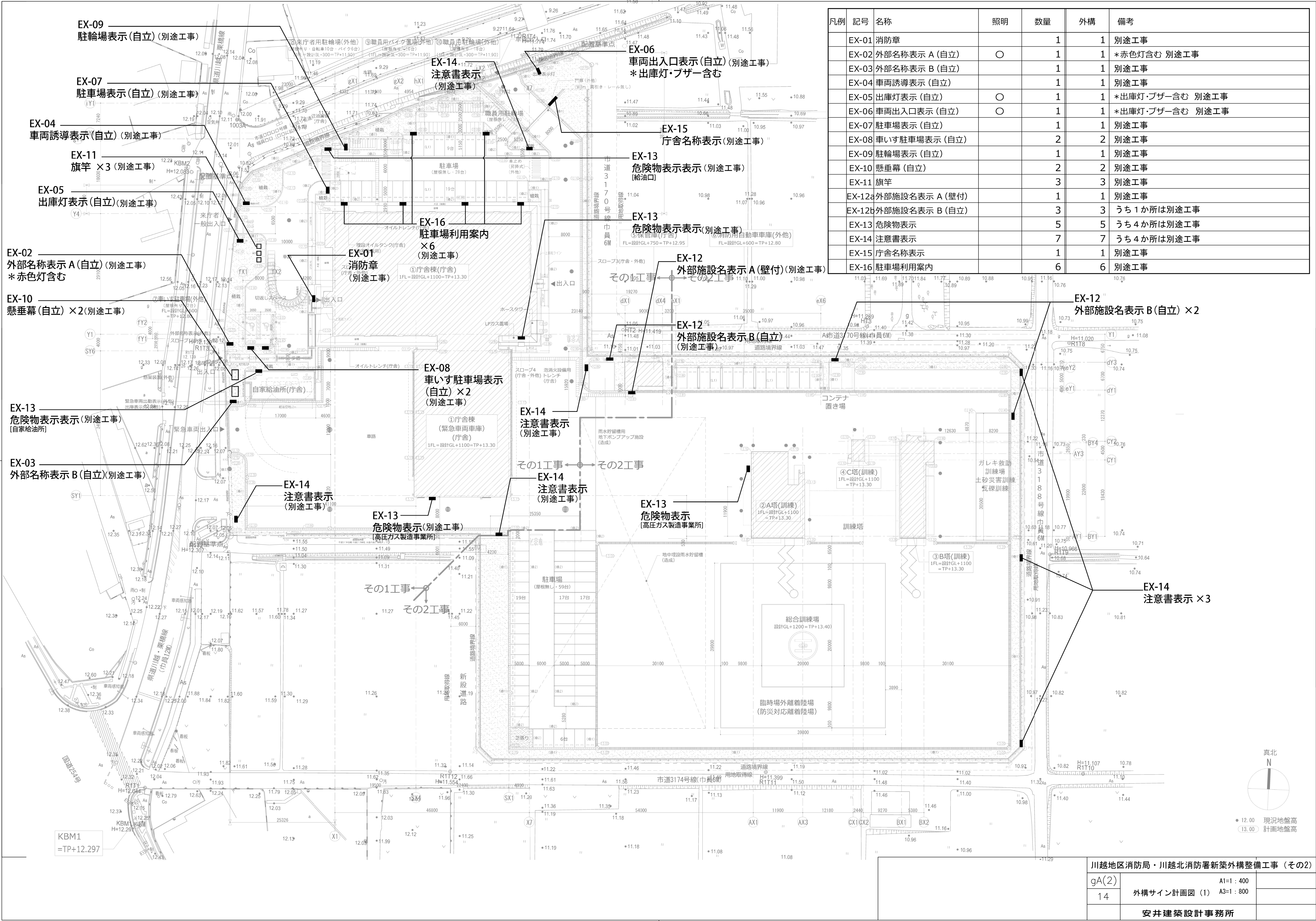
06

外構詳細図(法面)

安井建築設計事務所



※鉄部は全て溶融亜鉛メッキ仕上とする		川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）	
gA (2)	総合・意匠	A1=1:100	
12	消防用自動車庫廻り詳細図	A3=1:200	
安井建築設計事務所			

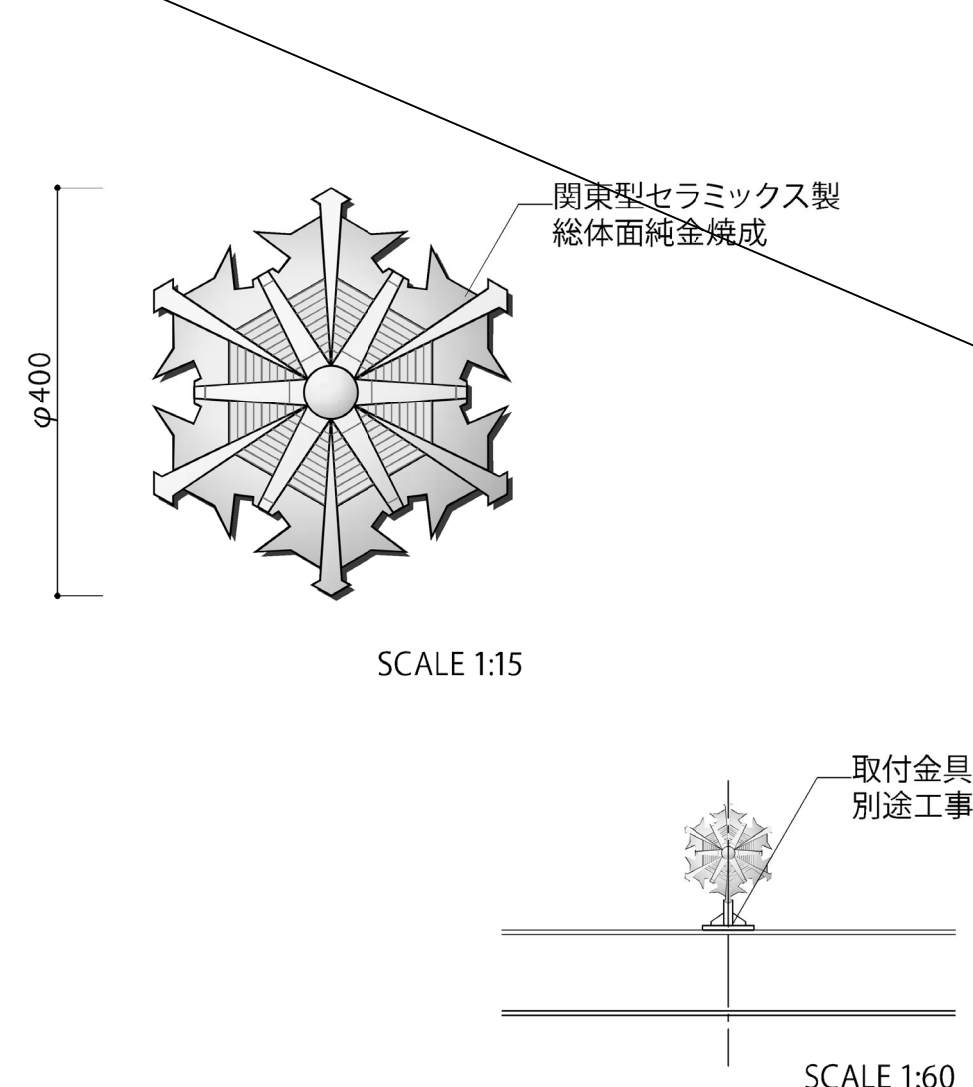
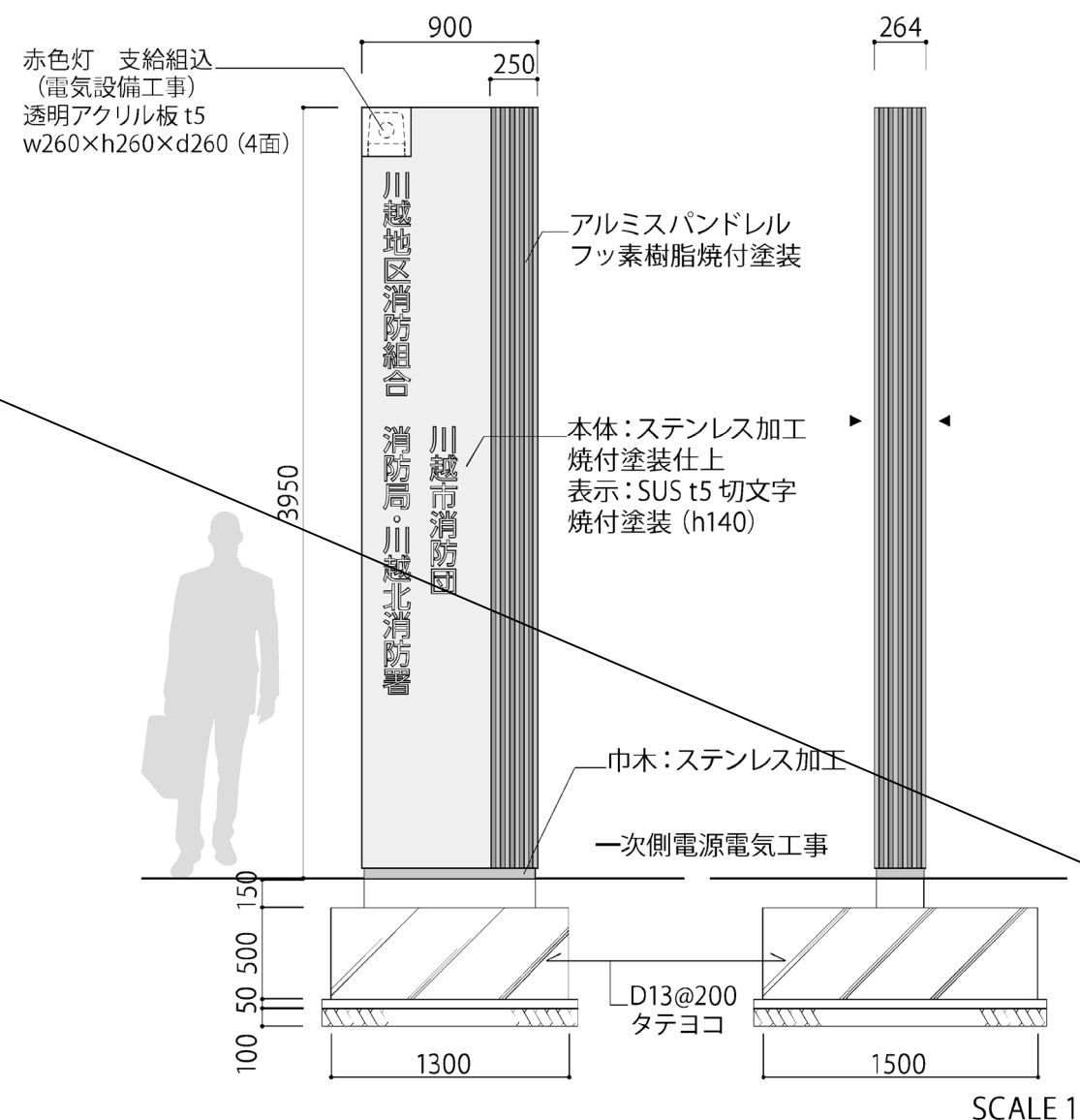
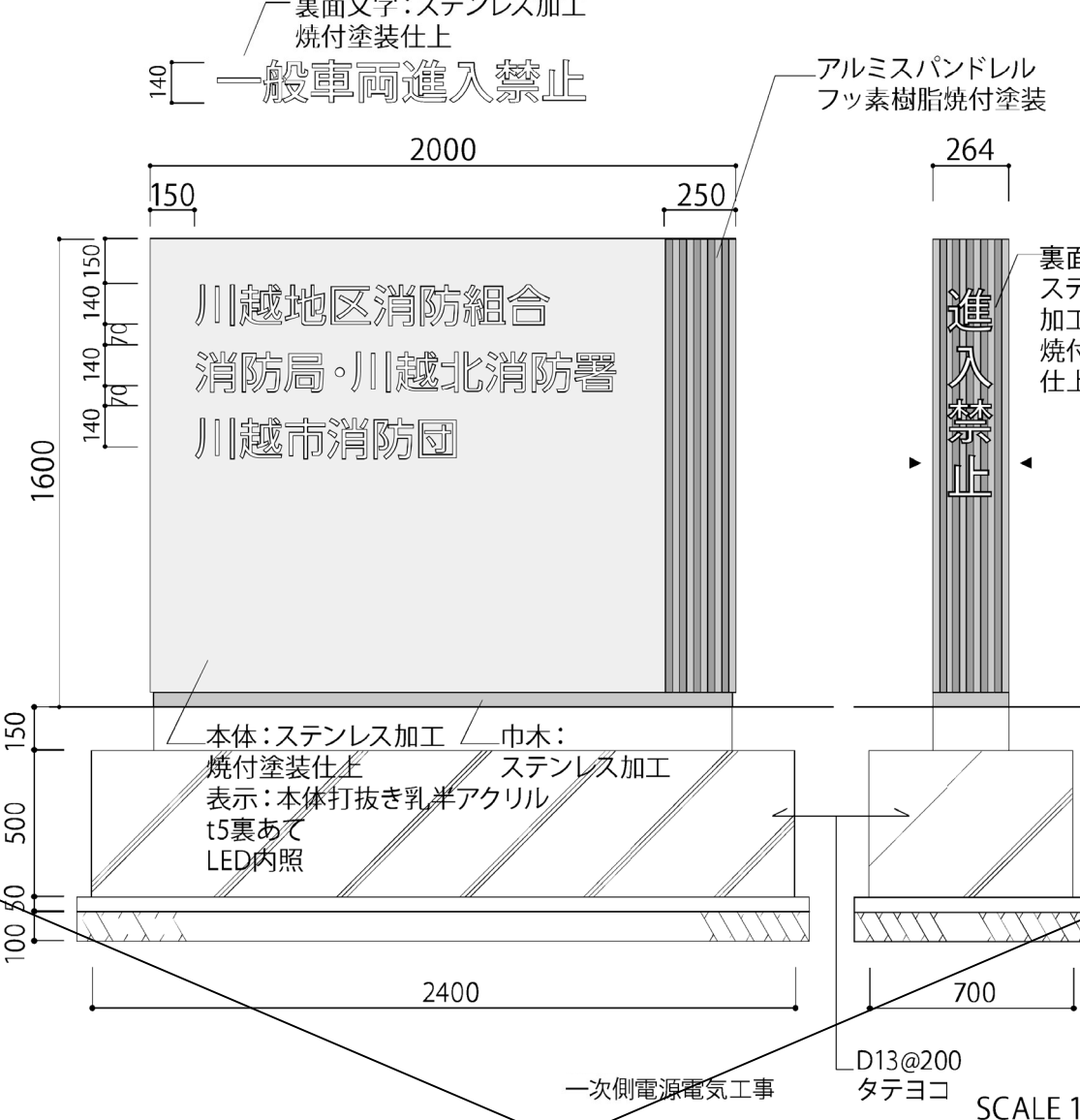
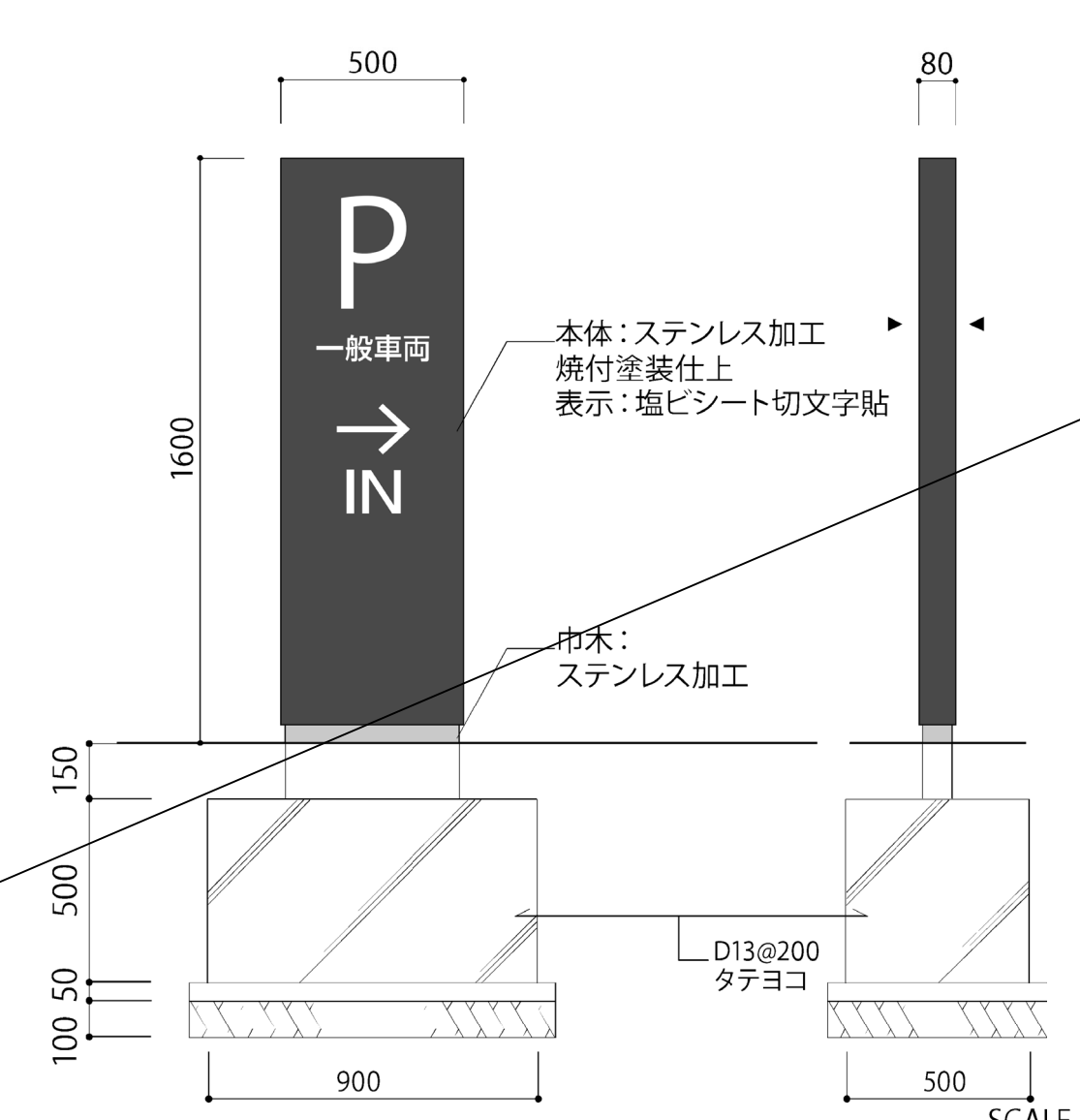
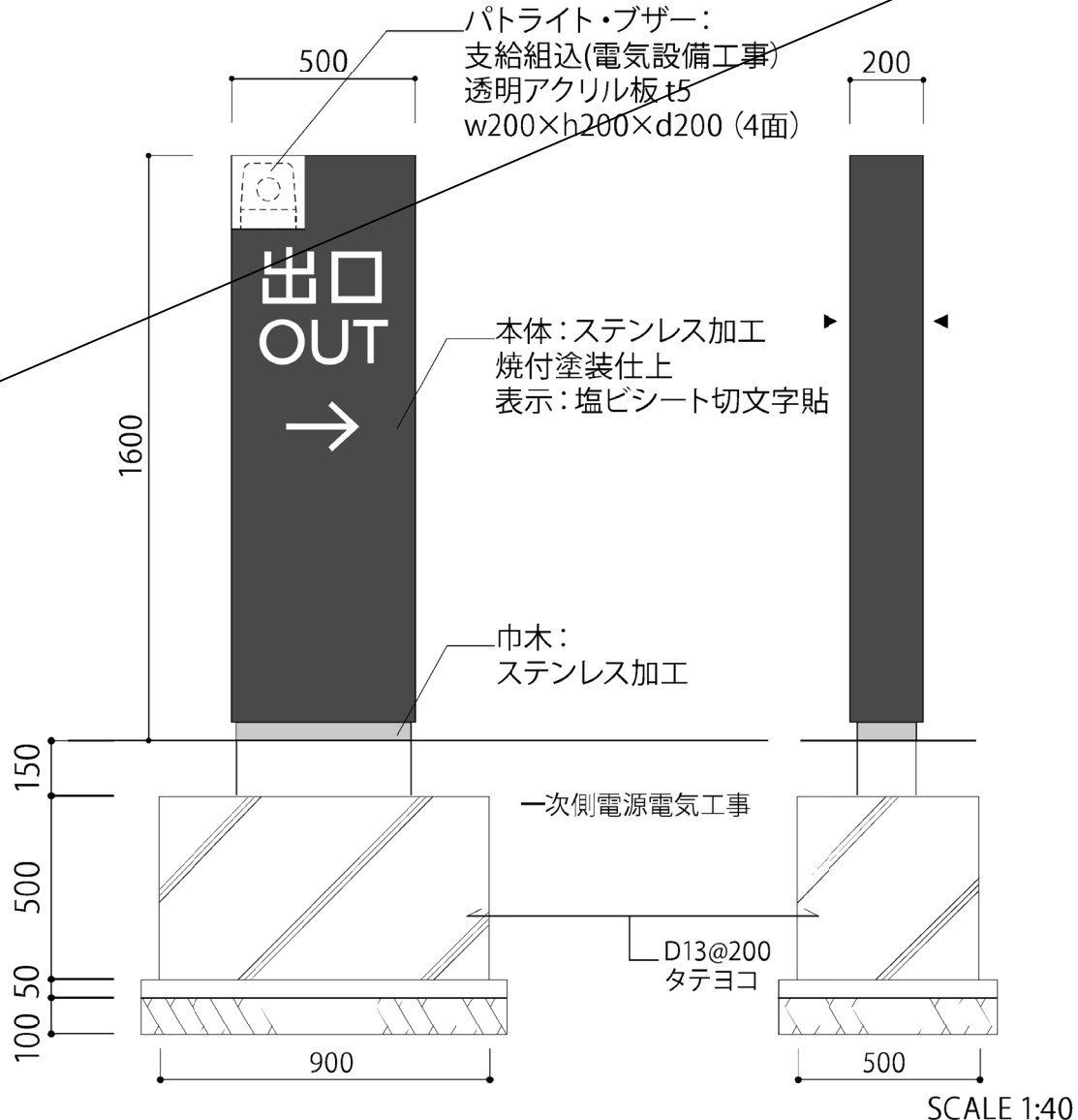
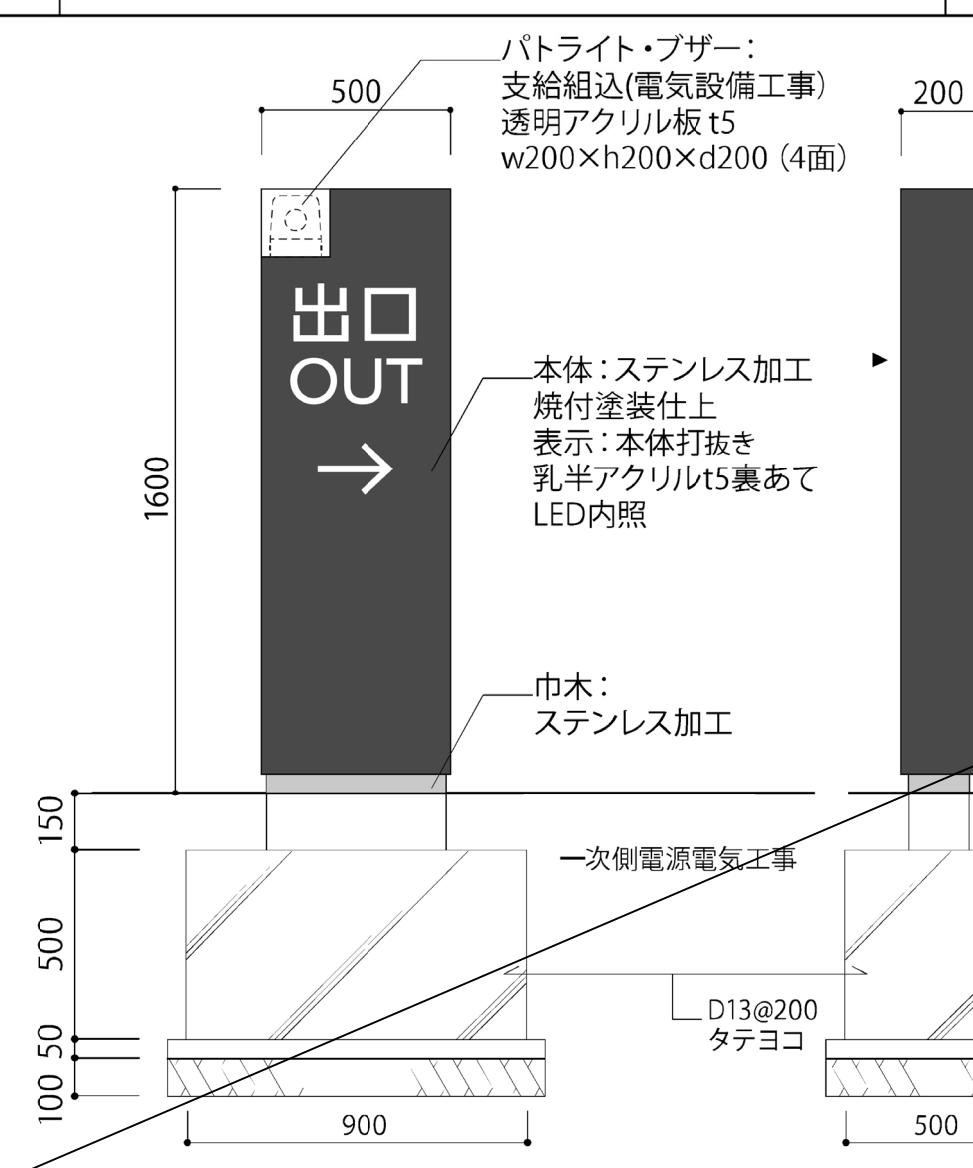
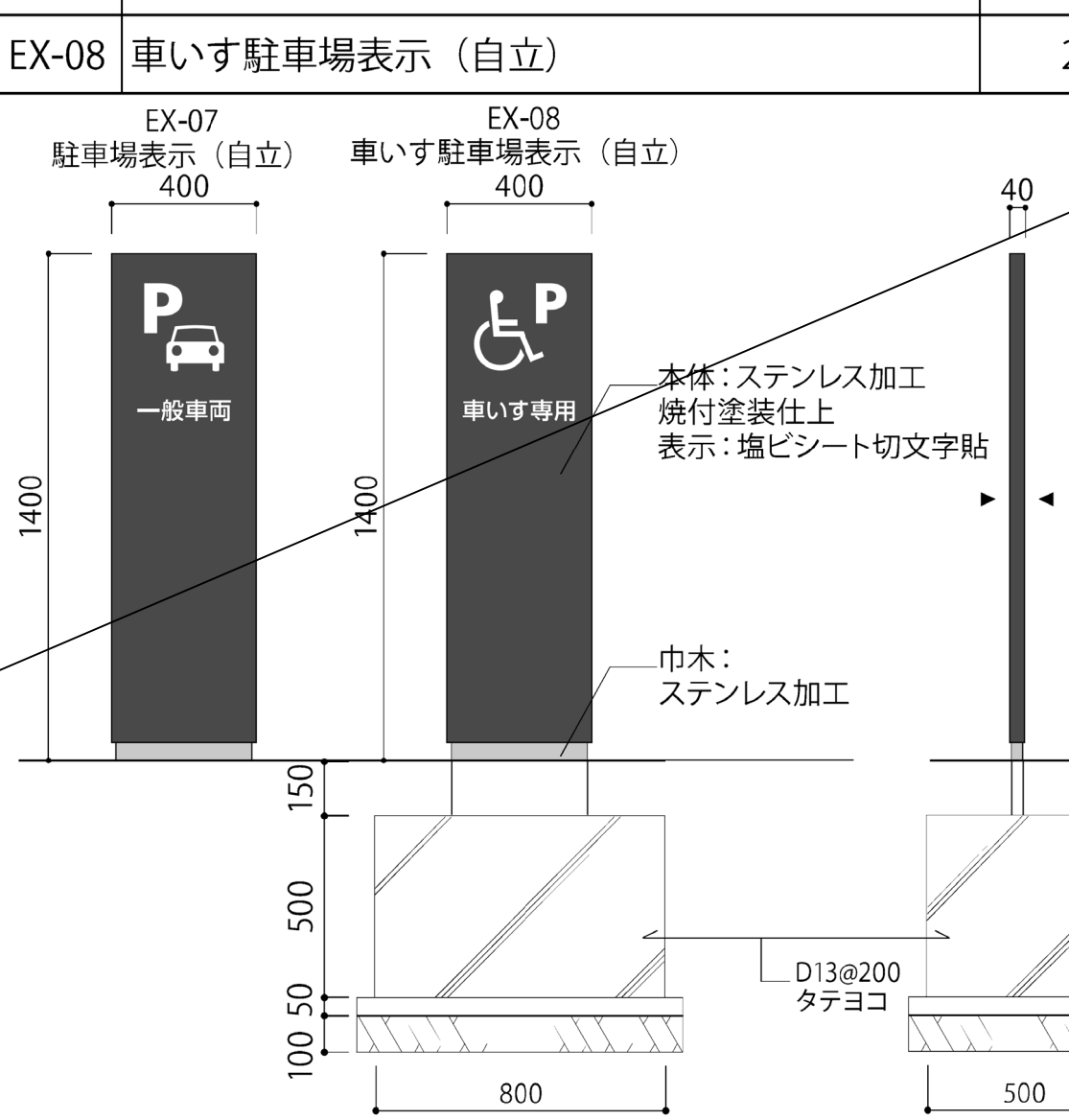
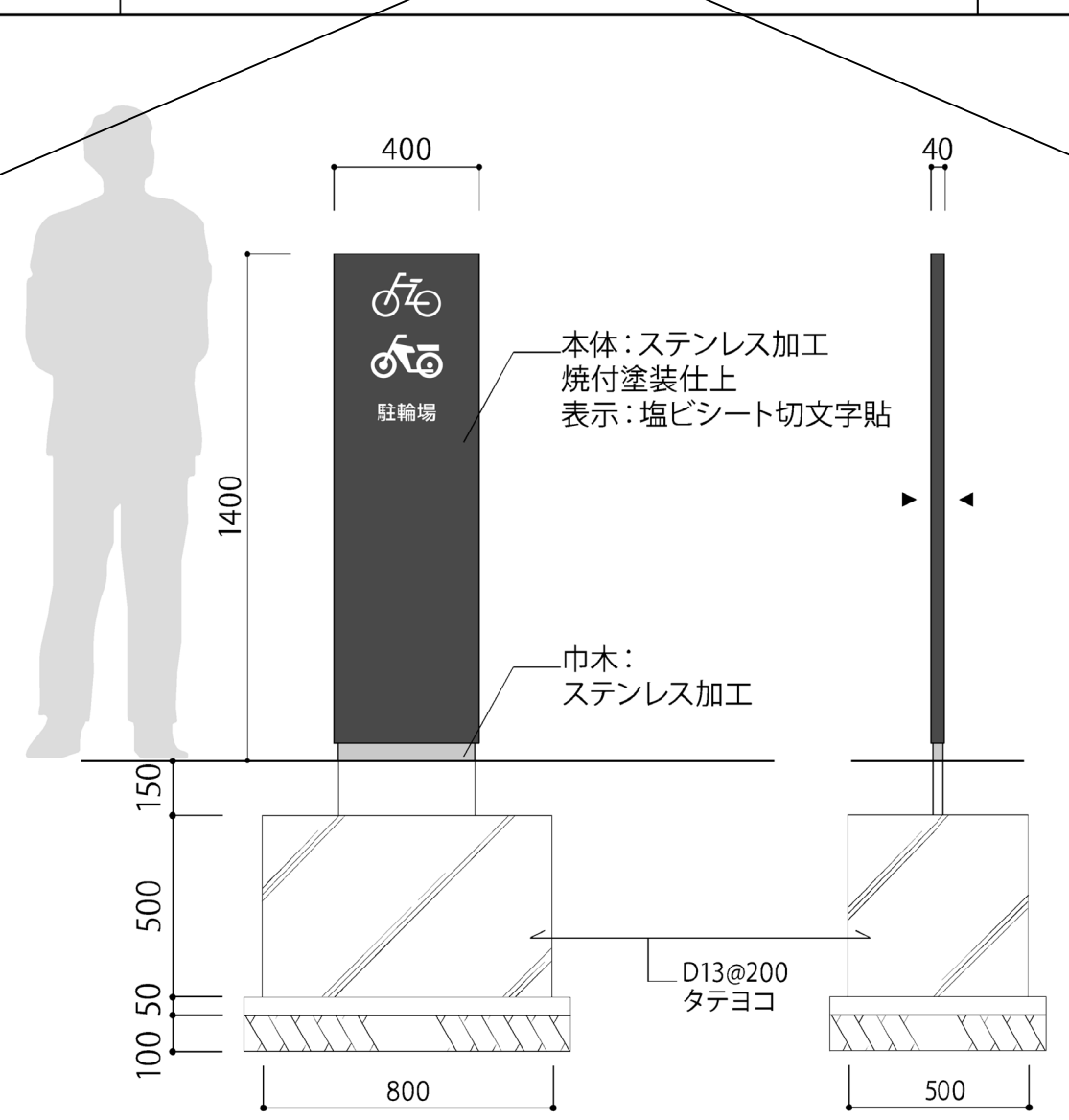
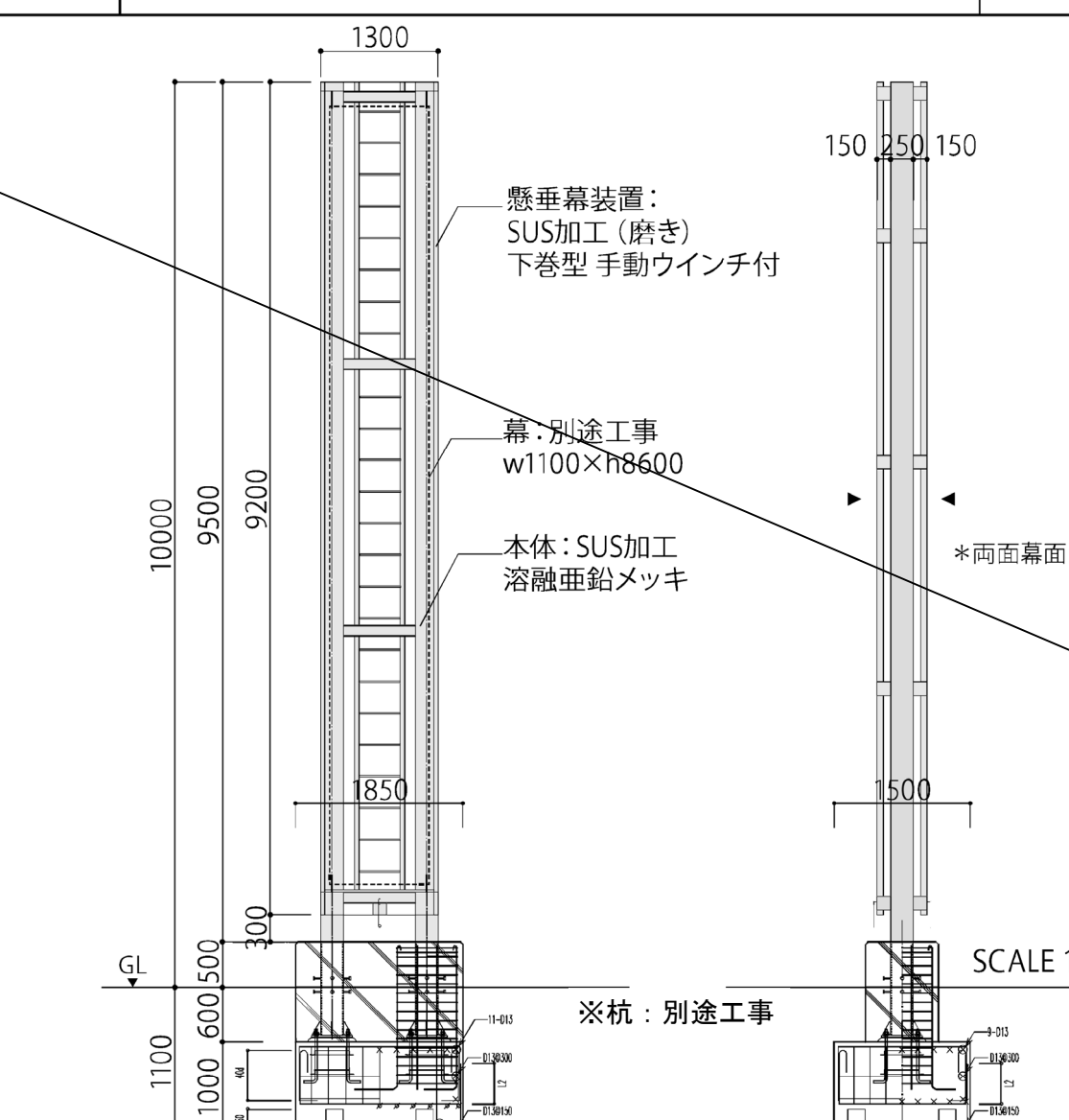
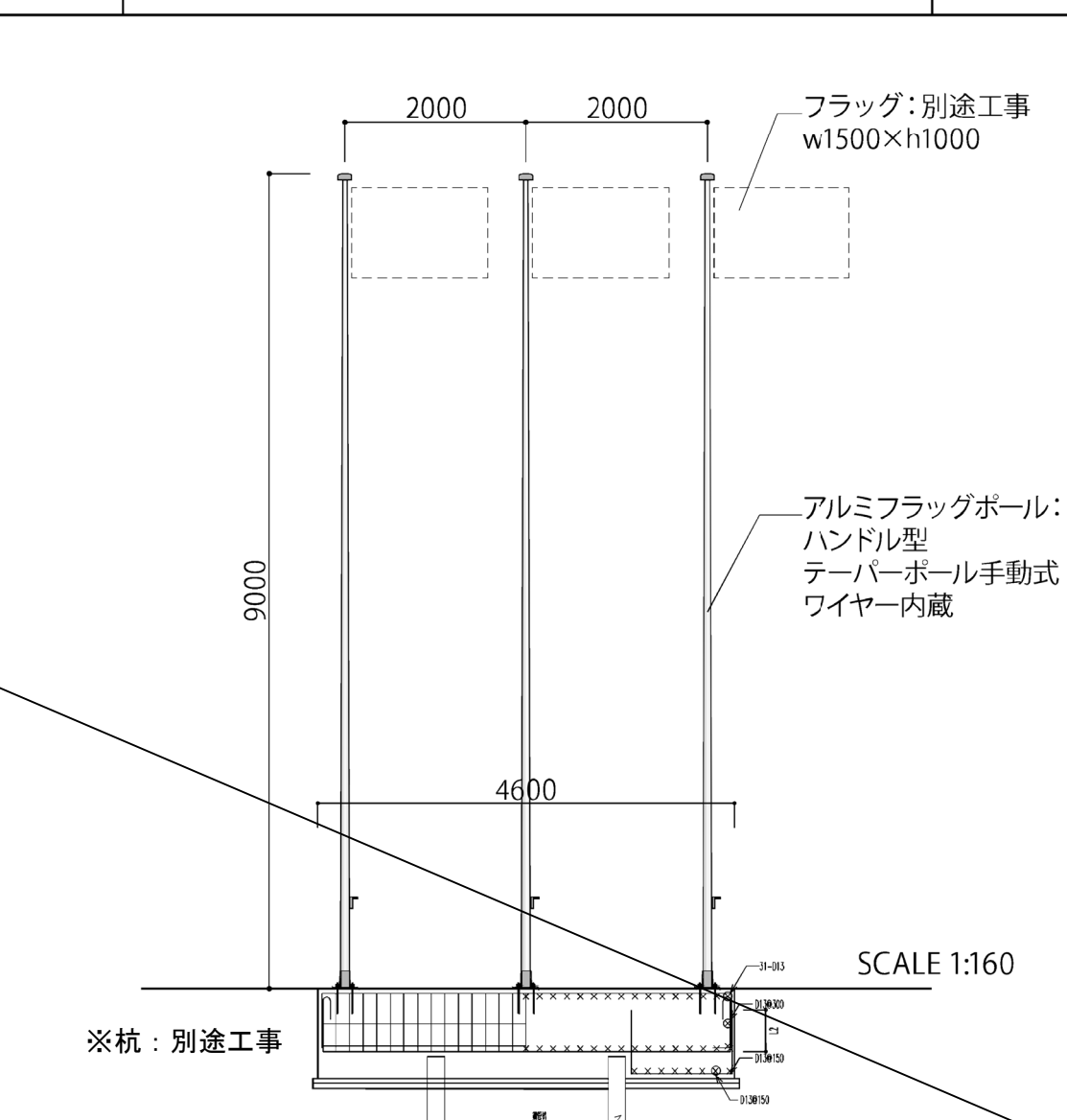
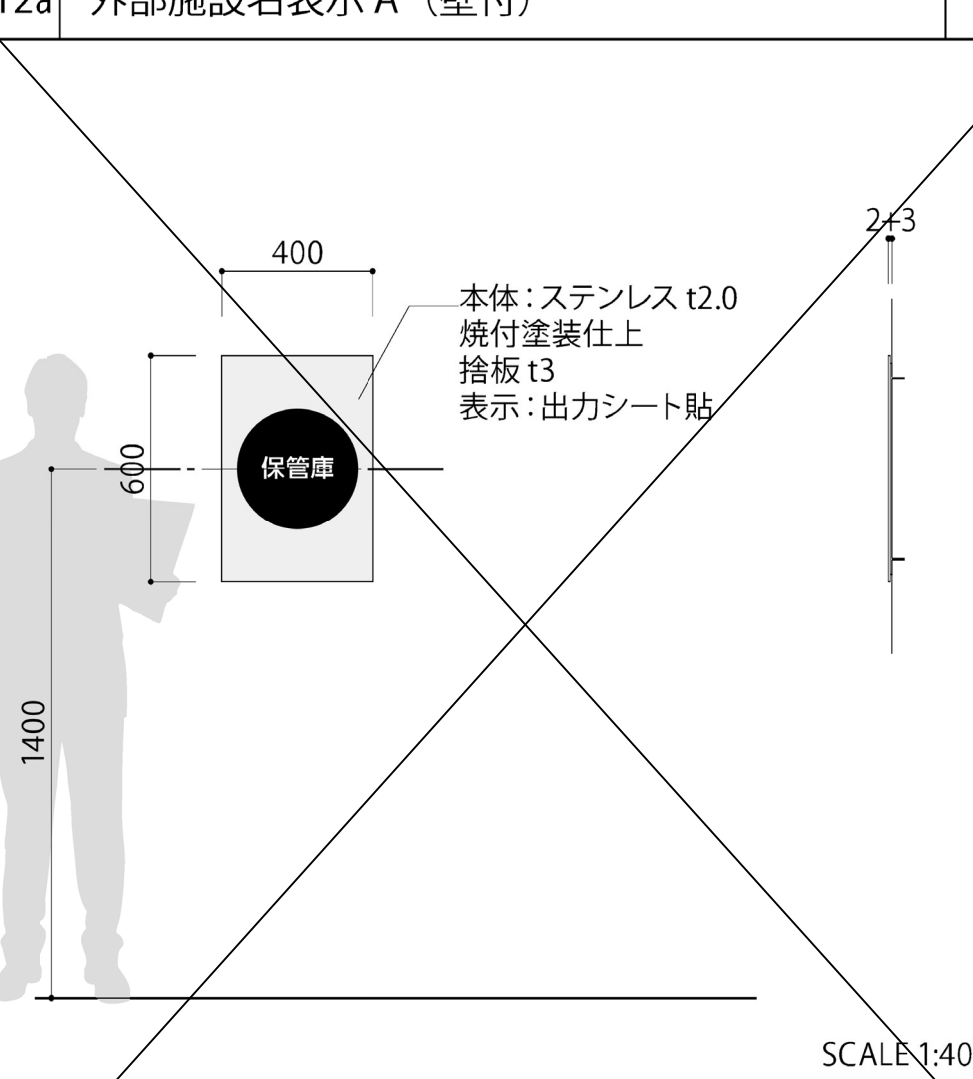
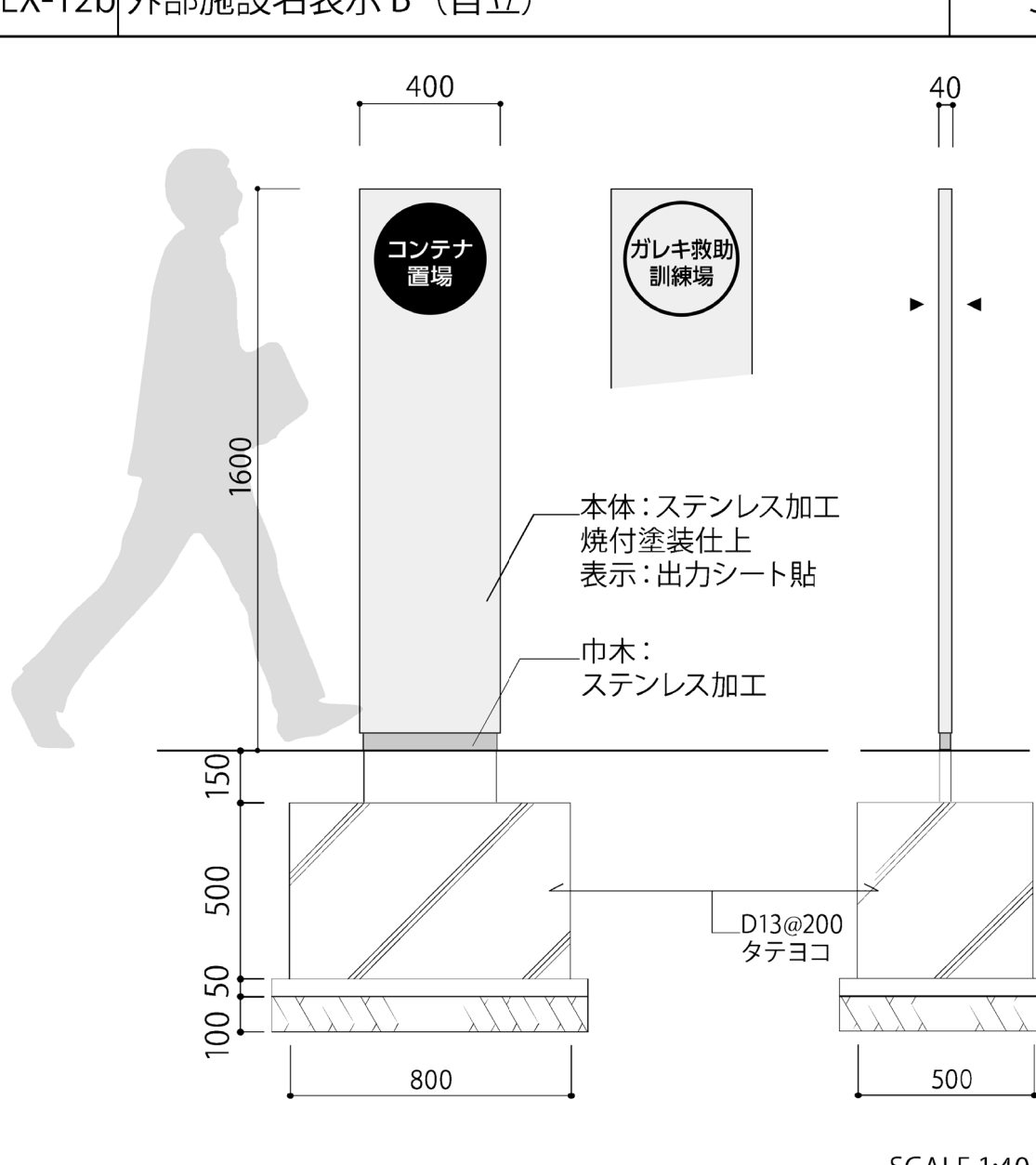
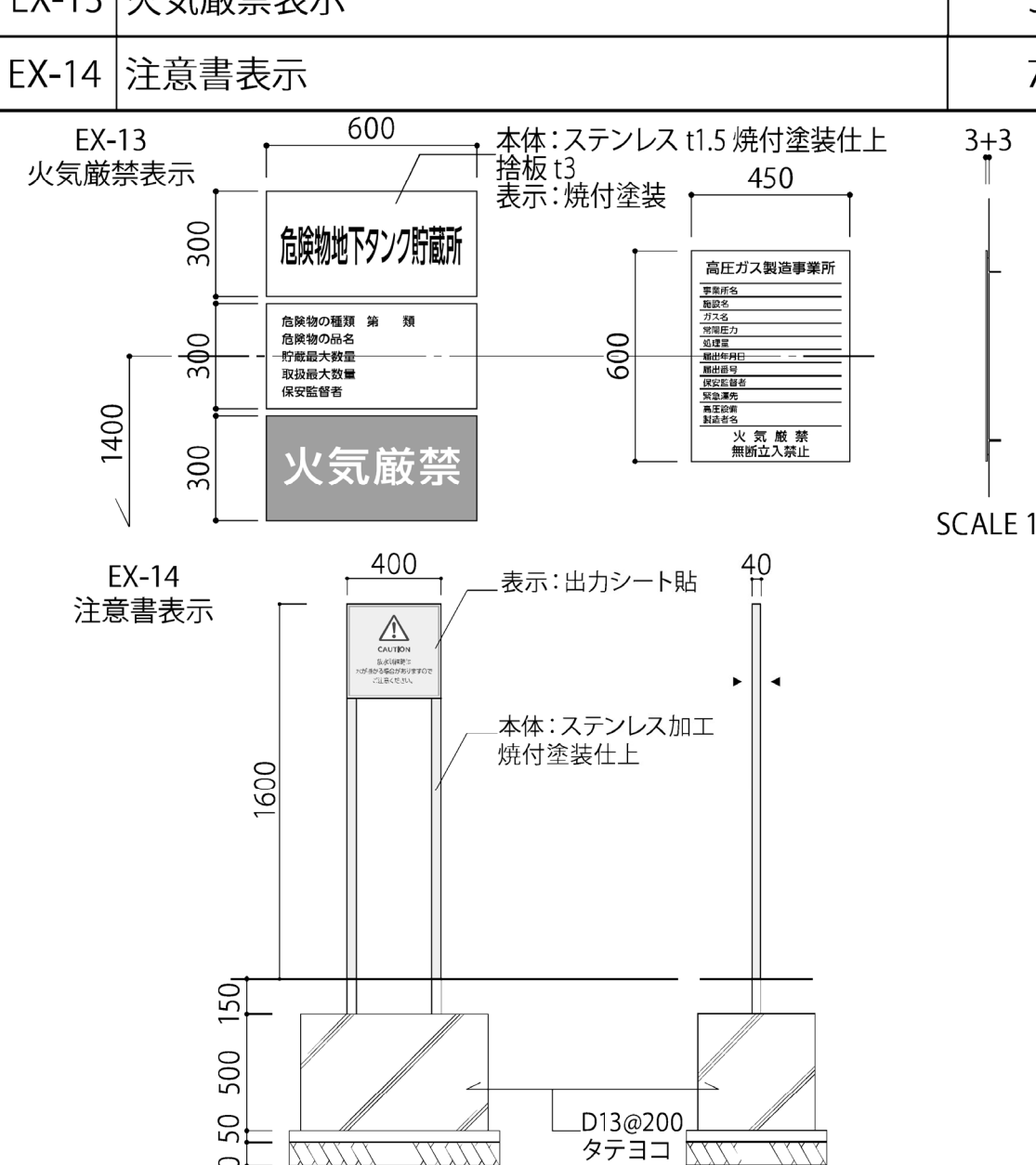
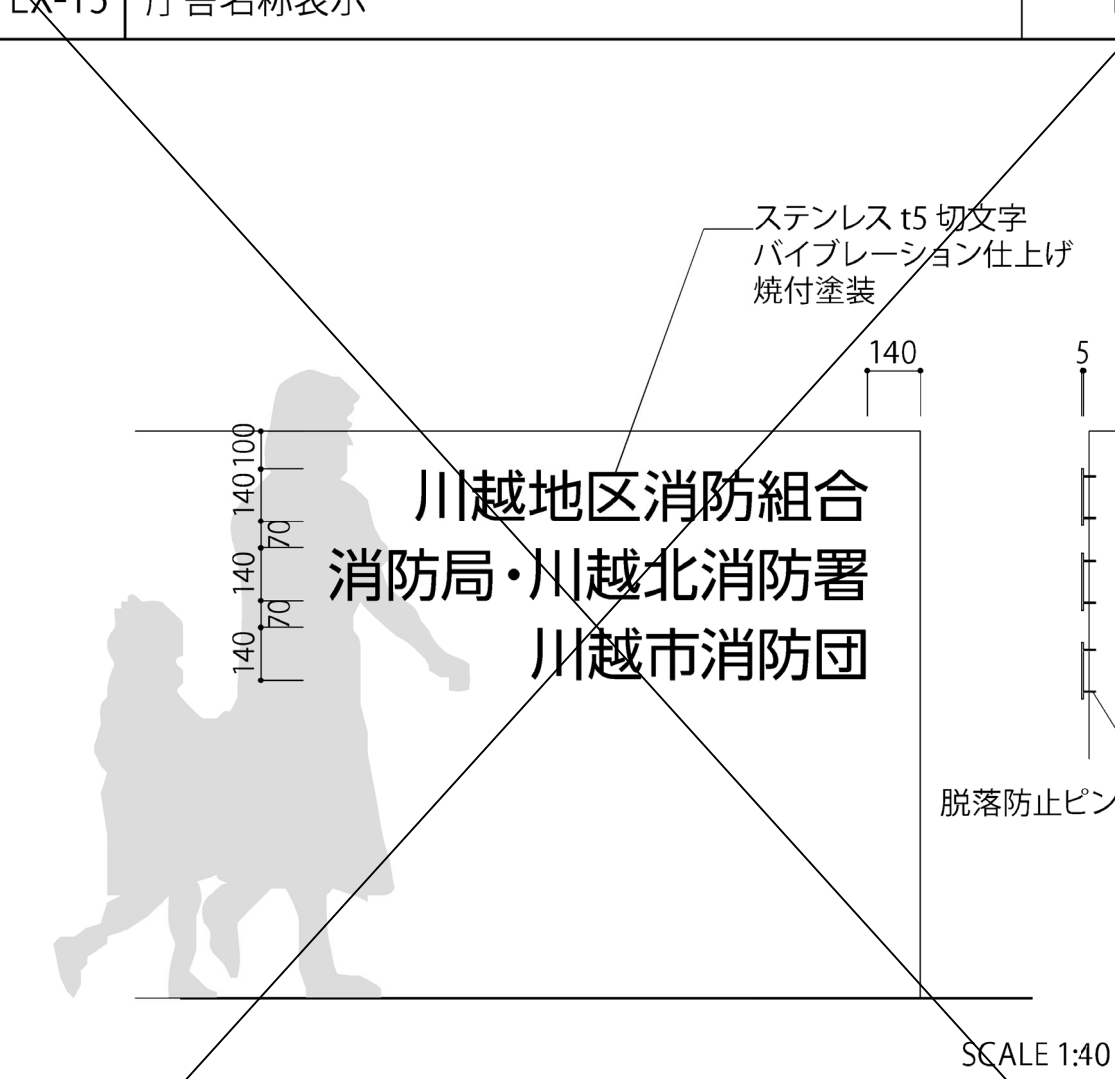
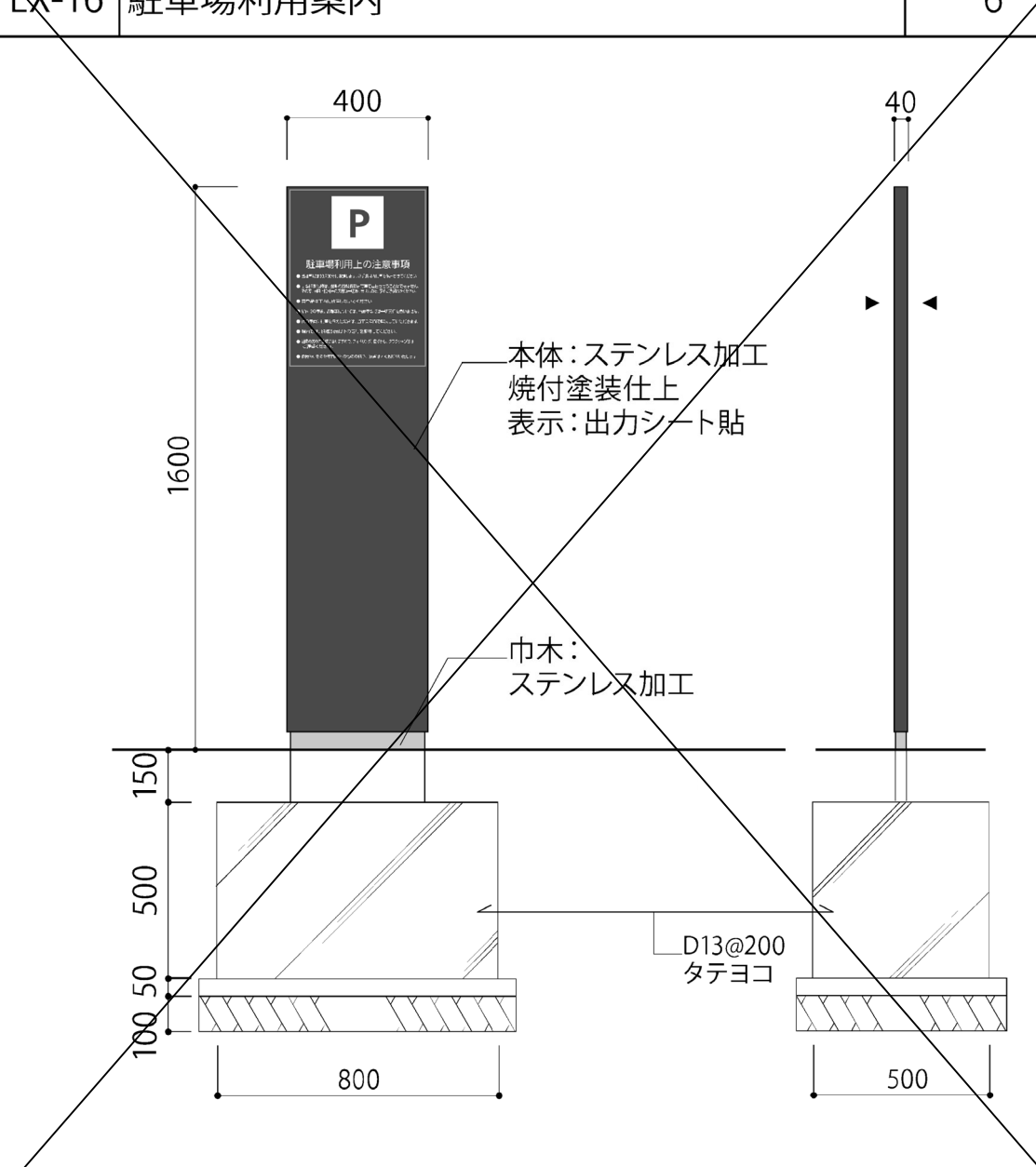


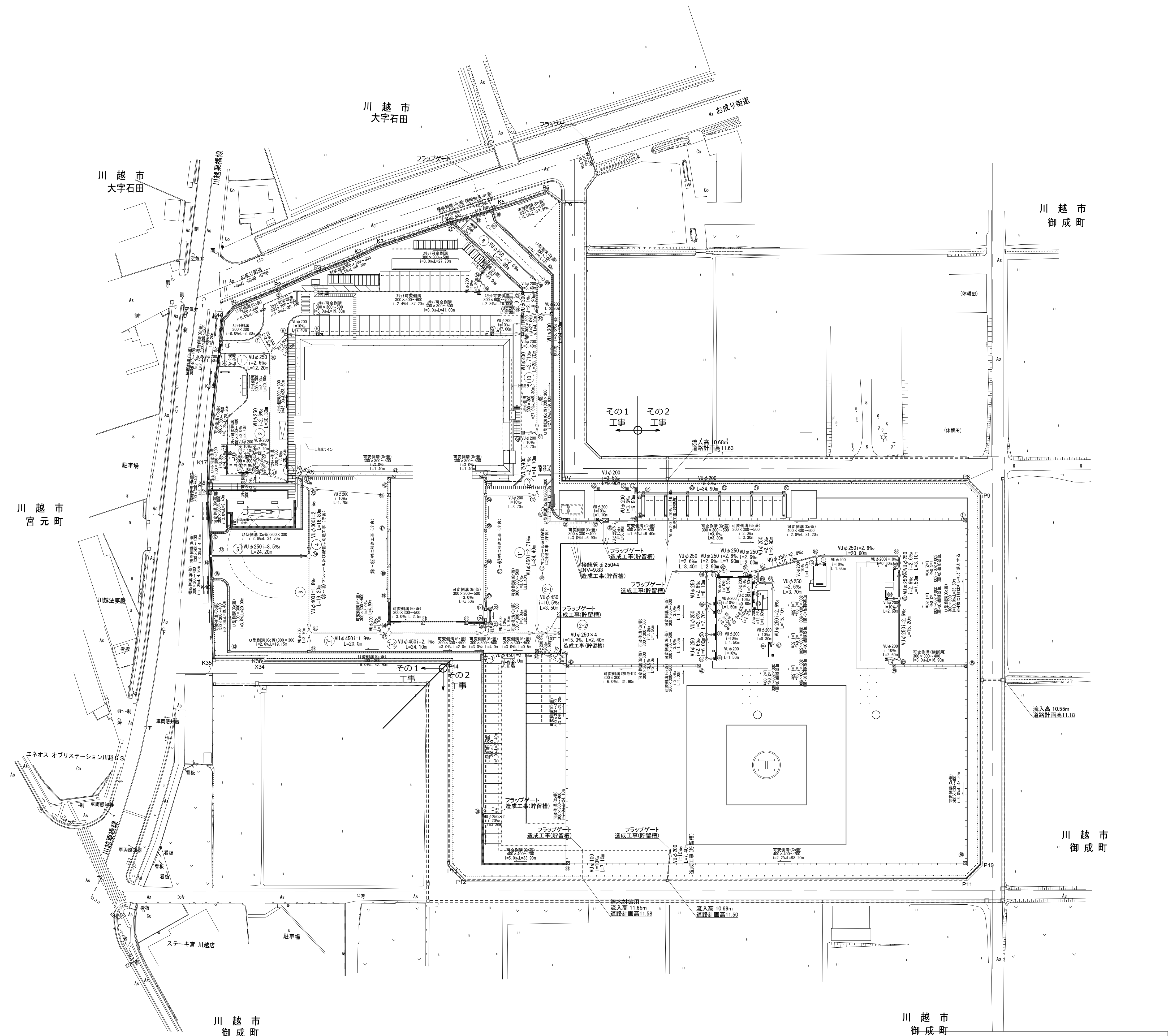
凡例	記号	名称	照明	数量	外構	備考
	EX-01	消防章		1	1	別途工事
	EX-02	外部名称表示 A (自立)	○	1	1	* 赤色灯含む 別途工事
	EX-03	外部名称表示 B (自立)		1	1	別途工事
	EX-04	車両誘導表示 (自立)		1	1	別途工事
	EX-05	出庫灯表示 (自立)	○	1	1	* 出庫灯・ブザー含む 別途工事
	EX-06	車両出入口表示 (自立)	○	1	1	* 出庫灯・ブザー含む 別途工事
	EX-07	駐車場表示 (自立)		1	1	別途工事
	EX-08	車いす駐車場表示 (自立)		2	2	別途工事
	EX-09	駐輪場表示 (自立)		1	1	別途工事
	EX-10	懸垂幕 (自立)		2	2	別途工事
	EX-11	旗竿		3	3	別途工事
	EX-12a	外部施設名表示 A (壁付)		1	1	別途工事
	EX-12b	外部施設名表示 B (自立)		3	3	うち 1 か所は別途工事
	EX-13	危険物表示		5	5	うち 4 か所は別途工事
	EX-14	注意書表示		7	7	うち 4 か所は別途工事
	EX-15	庁舎名称表示		1	1	別途工事
	EX-16	駐車場利用案内		6	6	別途工事

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

gA(2)	A1=1 : 400
14	外構サイン計画図 (1) A3=1 : 800

安井建築設計事務所

EX-01	消防章	1	EX-02	外部名称表示 A（自立）	1	EX-03	外部名称表示 B（自立）	1	EX-04	車両誘導表示（自立）	1	EX-05	出庫灯表示（自立）	1
														
EX-06		1	EX-07	駐車場表示（自立）	1	EX-09	駐輪場表示（自立）	1	EX-10	懸垂幕（自立）	2	EX-11	旗竿	3
														
EX-12a	外部施設名表示 A（壁付）	1	EX-12b	外部施設名表示 B（自立）	3	EX-13	火気厳禁表示	5	EX-15	庁舎名称表示	1	EX-16	駐車場利用案内	6
														
※外部サインの下地は全て鉄骨下地組亜鉛メッキ加工とする ※特記なき限りステンレスは t1.5 曲げ加工とする												川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）		
gA(2)		15		外構サイン計画図（2）		A1=図示×2 A3=図示						安井建築設計事務所		

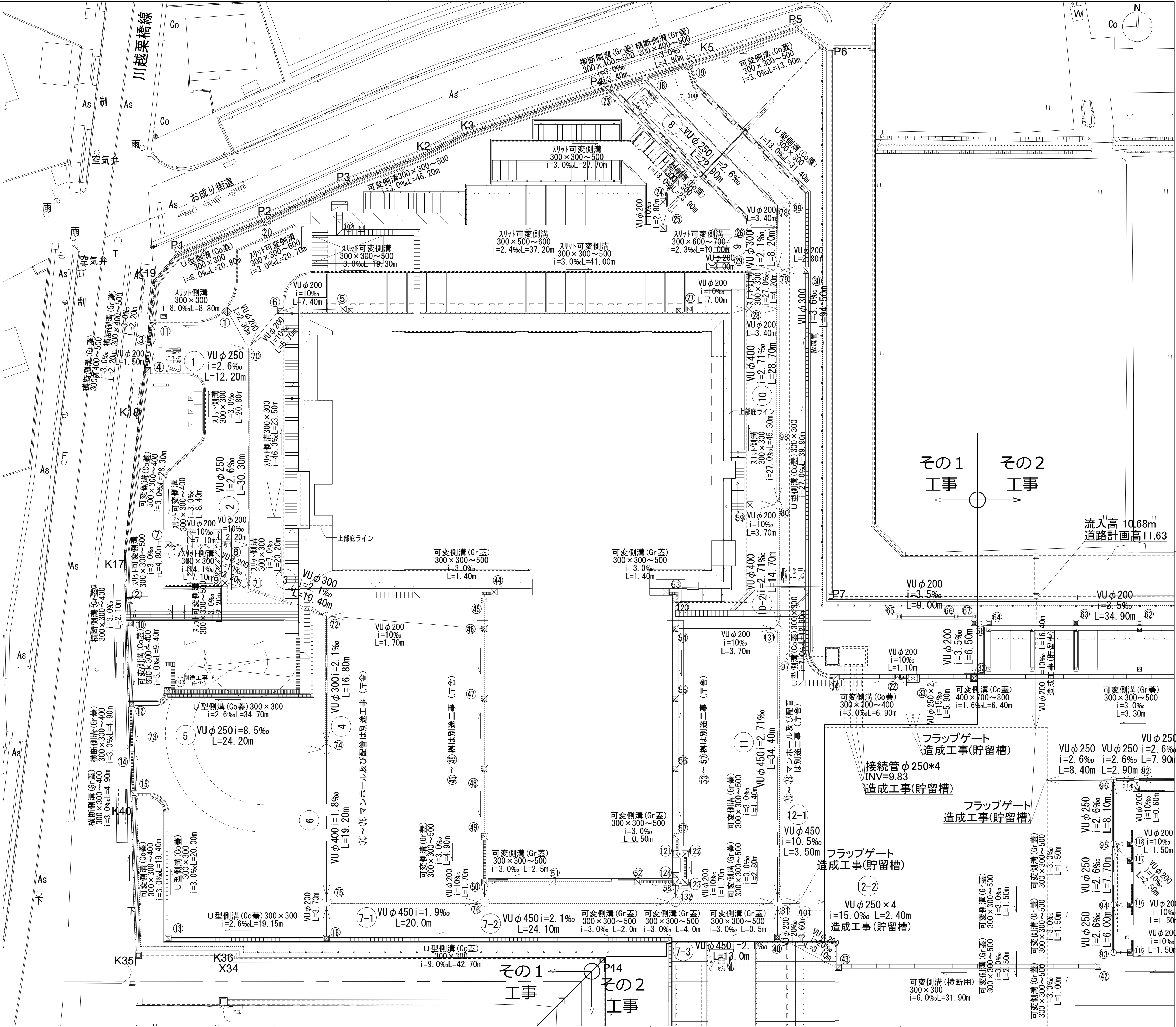


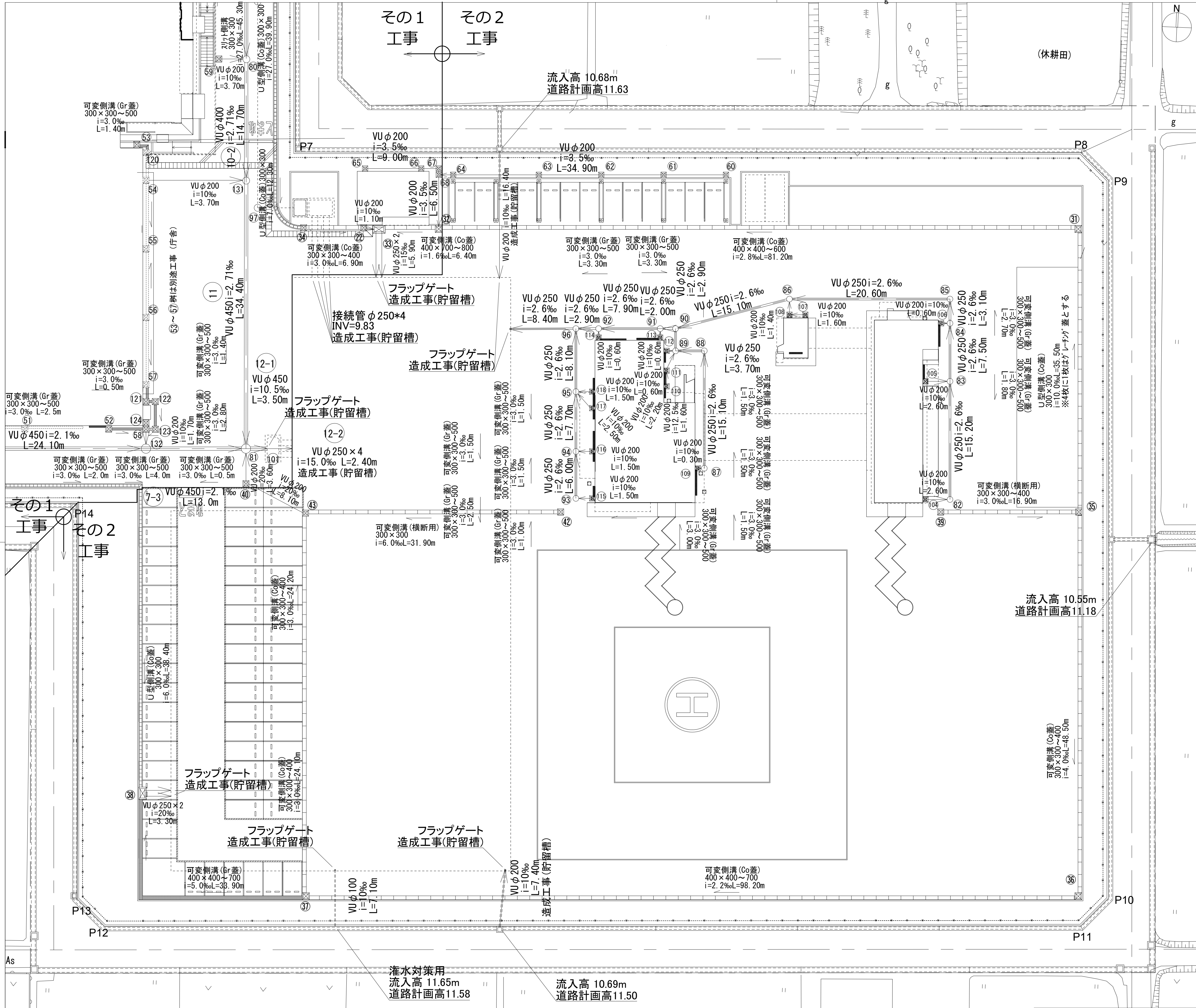
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)		
gA(2)	A1=1 : 500	
16	雨水排水計画平面図 A3=1 : 1000	
	安井建築設計事務所	

樹リスト 外構整備工事(その1)										
樹NO	集水樹タイプ	上流施設	下流施設	樹天端高	樹深さ	上流底高	下流底高	差種別	工事	
①	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×600	VUφ200	12.16	0.800	11.418	11.360	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
②	集水樹A C3500×500×550	可変側溝300×300	可変側溝300×300	12.10	0.400		11.700	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
③	横断用U形樹 C3500×500×1050	横断側溝300×500	横断側溝300×500	12.10	0.859	11.583	11.565	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
④	集水樹A C3500×500×680	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×200	横断側溝300×400	12.11	0.520	11.590	11.590	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
⑤	集水樹A C3500×500×950		VUφ200	12.20	0.800		11.400	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
⑥	集水樹A C3500×500×1080	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×300	VUφ200	12.22	0.894	11.522	11.506	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
⑦	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×300	VUφ200	12.90	0.800	12.285	12.255	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
⑧	集水樹A C3500×500×1130	VUφ200	VUφ200	13.00	0.971	12.029	12.029	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
⑨	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×500	VUφ200	12.90	0.800	12.273	12.100	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
⑩	集水樹A C3500×500×600	横断側溝300×300	可変側溝300×300	12.10	0.406	11.694	11.694	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
⑪	集水樹A C3500×500×680	ｽﾌﾟﾘｯﾄ側溝300×300	横断側溝300×300	12.09	0.520	11.570	11.570	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
⑫	集水樹A C3500×500×600	U型側溝300×300	横断側溝300×300	12.10	0.434	11.666	11.666	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑬	集水樹A C3500×500×550	U型側溝300×300	U型側溝300×300	12.20	0.400	11.800	11.800	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑭	横断用U形樹 C3300×500×1050	横断側溝300×400	VUφ250	12.10	0.859	11.651	11.627	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑮	集水樹A C3500×500×650	U型側溝300×300	横断側溝300×400	12.10	0.458	11.700	11.642	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑯	集水樹A C3500×500×950	U型側溝300×300	VUφ200	12.61	0.800	12.210	11.810	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑰	横断用U形樹 C3300×500×1050	横断側溝300×500	VUφ250	11.80	0.859	11.247	10.941	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑱	U型側溝300×300	横断側溝300×400	横断側溝300×400	11.80	0.539	11.400	11.261	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
⑲	集水樹A C3500×500×550	U型側溝300×300	可変側溝300×300	11.80	0.400	11.400	11.400	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
⑳	集水樹A C3500×500×1350	可変側溝300×400	VUφ200	12.81	1.200	12.379	11.610	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉑	集水樹A C3500×500×700	可変側溝300×400	横断側溝300×400	11.80	0.539	11.400	11.261	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉒	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×500	VUφ200	12.00	0.800	11.297	11.200	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
㉓	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×600	VUφ200	12.00	0.828	11.211	11.172	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
㉔	集水樹A C3500×500×1030	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×700	VUφ200	12.00	0.851	11.149	11.149	化粧蓋(T-25)	(その1)工事	
㉕	集水樹A C3500×500×950		VUφ200	12.15	0.800		11.350	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
㉖	集水樹A C3500×500×1130	ｽﾌﾟﾘｯﾄ側溝300×300	VUφ200	12.23	0.950	11.710	11.280	化粧蓋(T-25)	(その1)工事	
㉗	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ側溝300×300	VUφ200	12.10	0.800	11.580	11.580	化粧蓋(T-25)	(その1)工事	
㉘	集水樹A C3500×500×980	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×300	VUφ200	12.10	0.800	11.457	11.300	化粧蓋(T-25)	(その1)工事	
㉙	集水樹A C3500×500×950	U型側溝300×300	VUφ200	12.10	0.800	11.700	11.300	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉚	集水樹B C3600×600×1050	可変側溝400×600	VUφ200	12.81	0.856	12.123	11.954	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉛	集水樹B C3600×600×1050	可変側溝400×800	VUφ250×2'2'17(4)付	12.81	1.211	11.944	11.599	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉜	集水樹A C3500×500×1200	U型側溝300×300	可変側溝300×300	12.80	0.400	13.400	12.400	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉝	集水樹A C3500×500×1250	VUφ200	VUφ200	13.10	1.062	12.038	12.038	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㉞	集水樹A C3500×500×550		可変側溝300×300	13.15	0.400		12.750	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
㉟	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.748	12.748	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊱	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.90	12.65	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊲	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.716	12.716	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊳	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.692	12.692	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊴	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	13.025	12.775	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊵	集水樹A C3500×500×550	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.496	12.654	12.654	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㊶	集水樹A C3500×500×950	可変側溝300×500	VUφ200	13.15	0.800	12.631	12.350	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㊷	集水樹A C3500×500×650	可変側溝300×500	可変側溝300×500	13.15	0.48	12.67	12.67	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㊸	集水樹A C3500×500×550	可変側溝300×300	可変側溝300×300	13.15	0.400	12.750	12.750	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
㊹	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.90	12.65	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊺	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.714	12.714	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊻	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	12.690	12.690	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊼	現場Tコナトリ樹 C3500×500×500	側溝200×365	側溝200×365	13.15	0.5	13.025	12.775	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
㊽	集水樹A C3500×500×650	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.5	12.65	12.65	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
㊾	集水樹A C3500×500×2000		VUφ200	12.85	0.800	10.95		化粧蓋(T-25)	(その1)工事	
㊿	集水樹B C4400×400×950	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×300	VUφ200	12.86	0.900	12.660	12.660	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
1	集水樹B C4400×400×1000		VUφ200	12.86	0.824	12.036	12.036	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
2	集水樹B C4400×400×1050		VUφ200	12.86	0.883	11.977	11.977	グレーティング蓋(T-14)	(その1)工事	
3	集水樹A C3500×500×980	U型側溝	ｽﾌﾟﾘｯﾄ可変側溝300×500	12.00	0.700		11.300	化粧蓋(T-14)	(その1)工事	
4	集水樹A C3500×500×950	U型側溝	VUφ200	12.22	0.800		11.420	グレーティング蓋(T-25)	庁舎様工事	
5	集水樹A C3500×500×600	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.402	12.748	12.748	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
6	集水樹A C3500×500×600	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.408	12.742	12.742	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
7	集水樹A C3500×500×600	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.421	12.729	12.729	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
8	集水樹A C3500×500×650	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.475	12.675	12.675	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	
9	集水樹A C3500×500×650	可変側溝300×400	可変側溝300×400	13.15	0.5	12.65	12.65	グレーティング蓋(T-25)	(その1)工事	

マンホールリスト 外構整備工事(その1)										
樹NO	マンホールタイプ	上流施設	下流施設	天端高	マンホール深さ	上流底高	下流底高	差種別	工事	
10	1号マンホール	VUφ250	VUφ250	12.20	1.01	11.212	11.192	鋪鉄製蓋(T-14)	庁舎様工事	
11	1号マンホール	VUφ250	VUφ300	12.80	1.74	11.113	11.063	鋪鉄製蓋(T-14)	庁舎様工事	
12	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.90	1.88	11.041	11.021	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
13	1号マンホール	VUφ300 VUφ350	VUφ400	12.70	1.82	10.986 11.035	10.885	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
14	2号マンホール	VUφ400	VUφ450	12.70	1.90	10.850	10.800	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
15	1号マンホール	VUφ450	VUφ450	13.10	2.37	10.746	10.726	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
16	1号マンホール	VUφ250	VUφ300	12.10	1.14	10.881	10.861	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
17	1号マンホール	VUφ300	VUφ400	12.00	1.28	10.844	10.819	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
18	1号マンホール	VUφ400	VUφ450	12.85	2.21	10.765	10.741	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
19	2号マンホール	VUφ450 VUφ450	VUφ450	13.10	2.50	10.825	10.803	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
20	1号マンホール	VUφ200	VUφ450	13.00	2.29	10.726	10.701	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	
21	1号マンホール	VUφ450	VUφ450	13.10	2.30	10.717	10.697	鋪鉄製蓋(T-25)	庁舎様工事	

マンホールリスト 造成工事(貯留槽)										
樹NO	マンホールタイプ	上流施設	下流施設	天端高	マンホール深さ	上流底高	下流底高	差種別	工事	
22	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.80	1.84	10.984	10.964	鋪鉄製蓋(T-25)	貯留槽設置工事	
23	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.40	1.60	10.869	10.803	鋪鉄製蓋(T-25)	貯留槽設置工事	
24	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.00	1.54	10.691	10.458	鋪鉄製蓋(T-25)	貯留槽設置工事	
25	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	11.70	1.33	10.391	10.371	鋪鉄製蓋(T-25)	貯留槽設置工事	
26	特殊マンホール	VUφ450	VUφ250×4	13.10	2.55	10.566	10.546	鋪鉄製蓋(T-25)	貯留槽設置工事	





樹リスト 外構整備工事(その2)

樹NO	集水樹タイプ	上流施設	下流施設	天端高さ	樹深さ	上流底高	下流底高	量種別	工事
31	集水樹 □500×600×650	U型側溝300×300	可変側溝400×400	12.85	0.500	12.450	12.350	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
35	集水樹 □500×500×650	U型側溝300×300 可変側溝300×300	可変側溝300×300	13.20	0.451	12.800 12.749	12.749	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
36	集水樹 □500×600×650	可変側溝300×300	可変側溝400×400	13.00	0.500	12.555	12.500	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
37	集水樹 □500×600×900	可変側溝300×400 可変側溝400×700	可変側溝400×700	13.00	0.716	12.528 12.384	12.284	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
38	集水樹 □800×1200×1000	U型側溝300×300 可変側溝400×700	VUφ250×2 3' 3/4付	12.80	0.850	12.400 12.115	11.950	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
39	集水樹 □500×500×550		可変側溝300×300	13.20	0.400		12.800	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
42	集水樹 □500×500×550		可変側溝300×300	13.20	0.400		12.800	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
43	集水樹 □500×500×950	可変側溝300×300 可変側溝300×400	VUφ200	13.00	0.800	12.600 12.527	12.200	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
46	集水樹 □400×400×950		VUφ200	12.90	0.800		12.100	グレーティング蓋(1-14)	(その2)工事
47	集水樹 □400×400×1000		VUφ200	12.89	0.817	12.073	12.073	グレーティング蓋(1-14)	(その2)工事
48	集水樹 □400×400×1050		VUφ200	12.88	0.834	12.046	12.046	グレーティング蓋(1-14)	(その2)工事
49	集水樹 □400×400×1050		VUφ200	12.87	0.851	12.019	12.019	グレーティング蓋(1-14)	(その2)工事
54	集水樹 □500×400×1050		VUφ200	12.86	0.878	11.982	11.982	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
58	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.20	0.800		12.400	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
59	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.13	0.800		12.330	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
60	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
61	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
62	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.18	0.800		12.380	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
63	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.15	0.800		12.350	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
64	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.15	0.800		12.350	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
65	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
66	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
67	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
68	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
69	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
70	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
71	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
72	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
73	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
74	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
75	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.10	0.800		12.300	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
76	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.15	0.800		12.350	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
77	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.15	0.800		12.350	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事
78	集水樹 □500×500×950		VUφ200	13.15	0.800		12.350	グレーティング蓋(1-25)	(その2)工事

マンホールリスト 外構整備工事(その2)

樹NO	マンホールタイプ	上流施設	下流施設	天端高さ	マンホール深さ	上流底高	下流底高	量種別	工事
82	塩ビマンホール		VUφ250	13.20	1.29		11.911	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
83	0号マンホール	VUφ250	VUφ250	13.13	1.28	11.871	11.851	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
84	塩ビマンホール		VUφ250	13.10	1.29	11.831	11.811	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
85	1号マンホール	VUφ250	VUφ250	13.10	1.32	10.803	10.783	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
86	0号マンホール	VUφ250	VUφ250	13.10	1.39	11.729	11.709	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
87	塩ビマンホール		VUφ250	13.18	1.30		11.880	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
88	1号マンホール	VUφ250	VUφ250	13.10	1.28	11.841	11.821	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
89	1号マンホール	VUφ250	VUφ250	13.10	1.31	11.811	11.791	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
90	1号マンホール	VUφ250 VUφ250	VUφ250	13.10	1.45	11.783 11.670	11.650	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
91	塩ビマンホール		VUφ250	13.10	1.48	11.645	11.625	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
92	塩ビマンホール		VUφ250	13.10	1.52	11.604	11.584	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
93	塩ビマンホール		VUφ250	13.20	1.29		11.907	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
94	0号マンホール	VUφ250	VUφ250	13.15	1.29	11.891	11.861	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
95	塩ビマンホール		VUφ250	13.10	1.28	11.841	11.821	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事
96	1号マンホール	VUφ250 VUφ250	VUφ250	13.10	1.54	11.800 11.776	11.556	鉄筋製蓋(1-25)	(その2)工事

マンホールリスト 造成工事(貯留槽)

樹NO	マンホールタイプ	上流施設	下流施設	天端高さ	マンホール深さ	上流底高	下流底高	量種別	工事
97	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.80	1.84	10.984	10.964	鉄筋製蓋(1-25)	貯留槽設置工事
98	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.40	1.60	10.969	10.903	鉄筋製蓋(1-25)	貯留槽設置工事
99	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	12.00	1.54	10.691	10.458	鉄筋製蓋(1-25)	貯留槽設置工事
100	1号マンホール	VUφ300	VUφ300	11.70	1.33	10.391	10.371	鉄筋製蓋(1-25)	貯留槽設置工事
101	特殊マンホール	VUφ450	VUφ250×4	13.10	2.55	10.566	10.546	鉄筋製蓋(1-25)	貯留槽設置工事

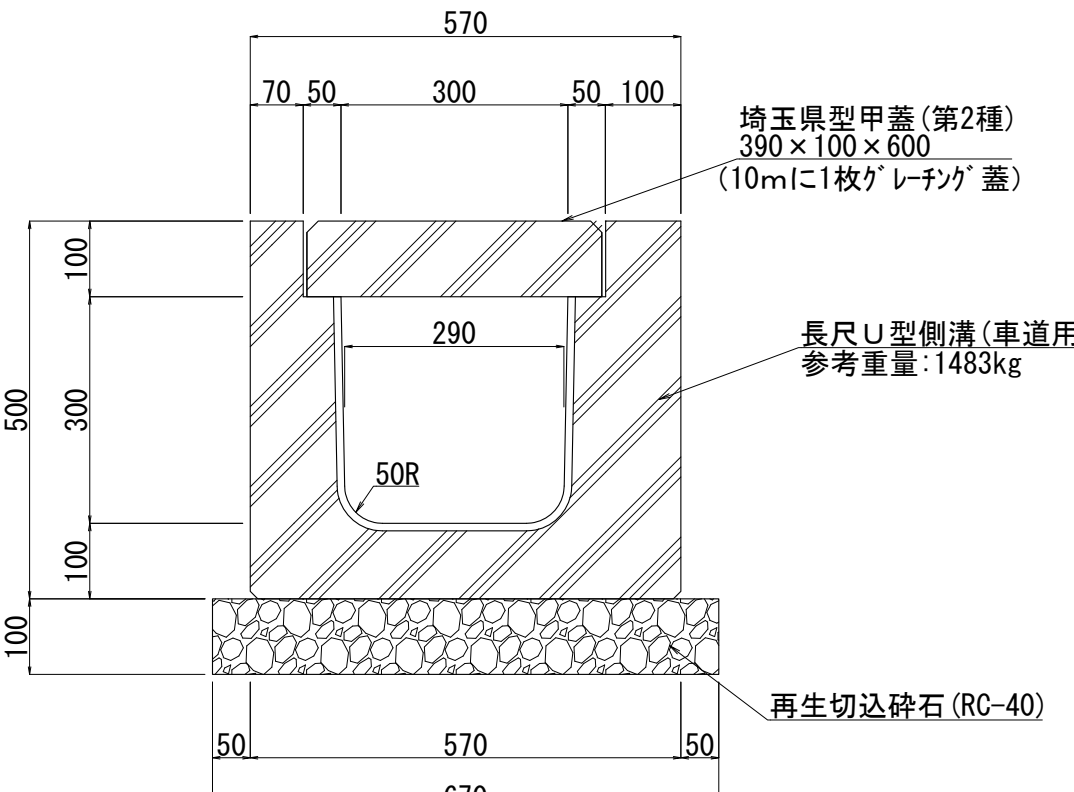
※ 欠番: 20 41 42 12 11

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)

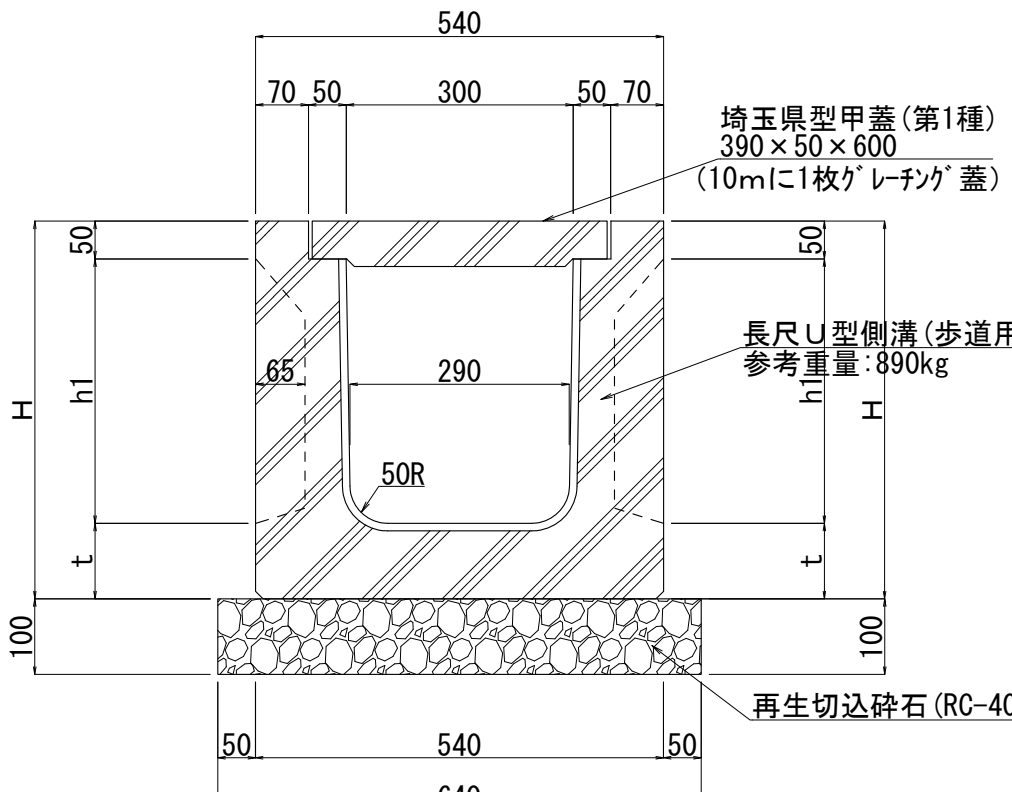
gA(2)	雨水排水計画詳細図(2)	A1=1 : 250 A3=1 : 500
18		
安井建築設計事務所		

排水施設構造図 (1)

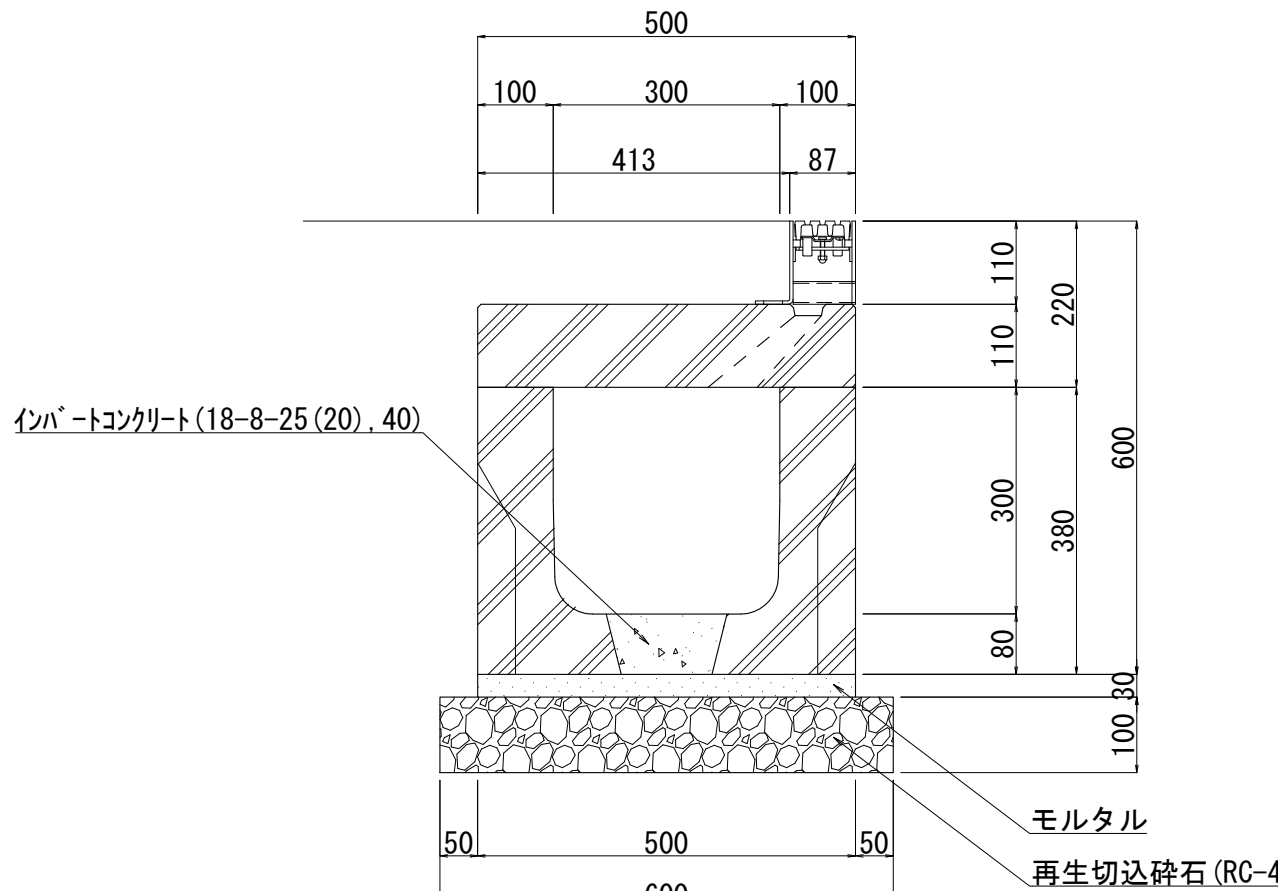
U型側溝(車道用)
(ロングU埼玉県型)
(300×300×2000)



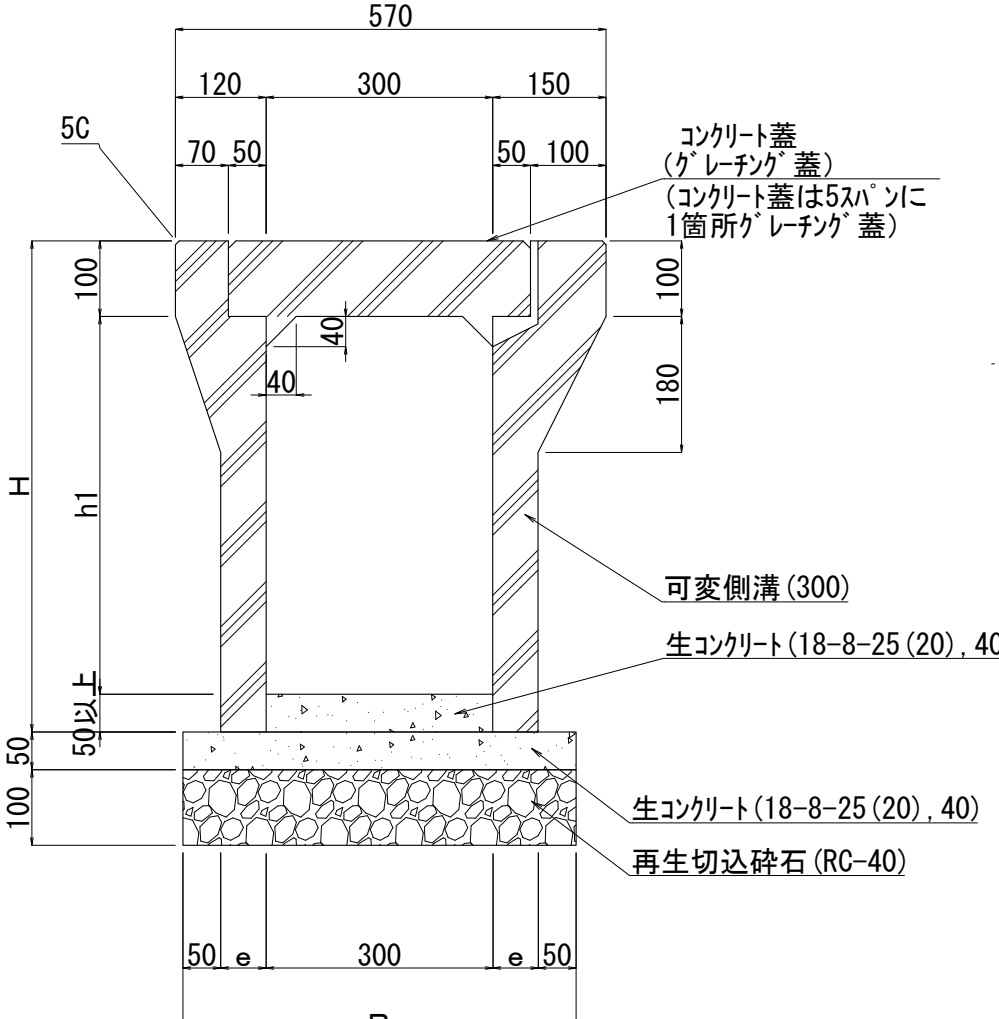
型側溝(歩道・緑地)
(ロングU埼玉県型)
(300×300×2000)



スリット側溝(車道用)
S=1:1
(300×300×2000)

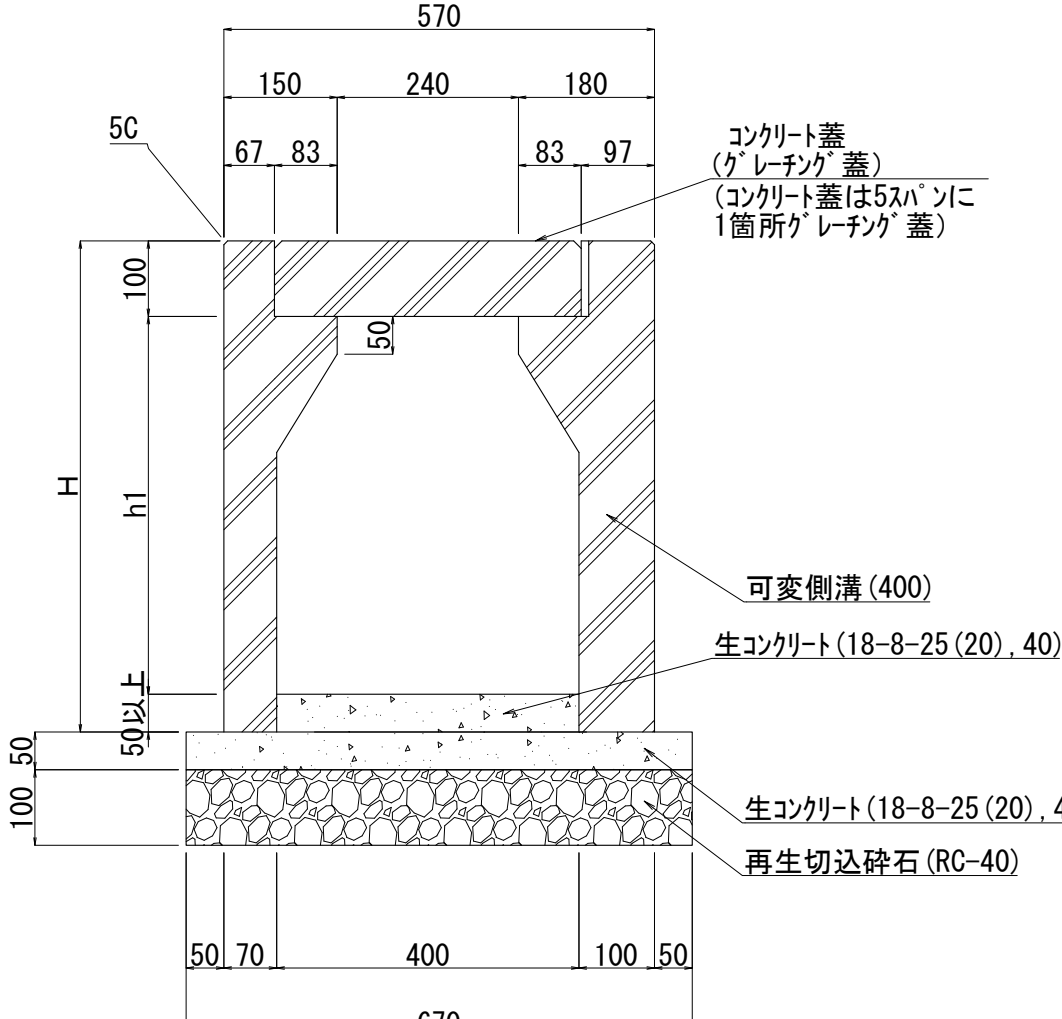


側溝300×300(車)
S=1
(埼玉県型可変側溝
(300×300~900×2000



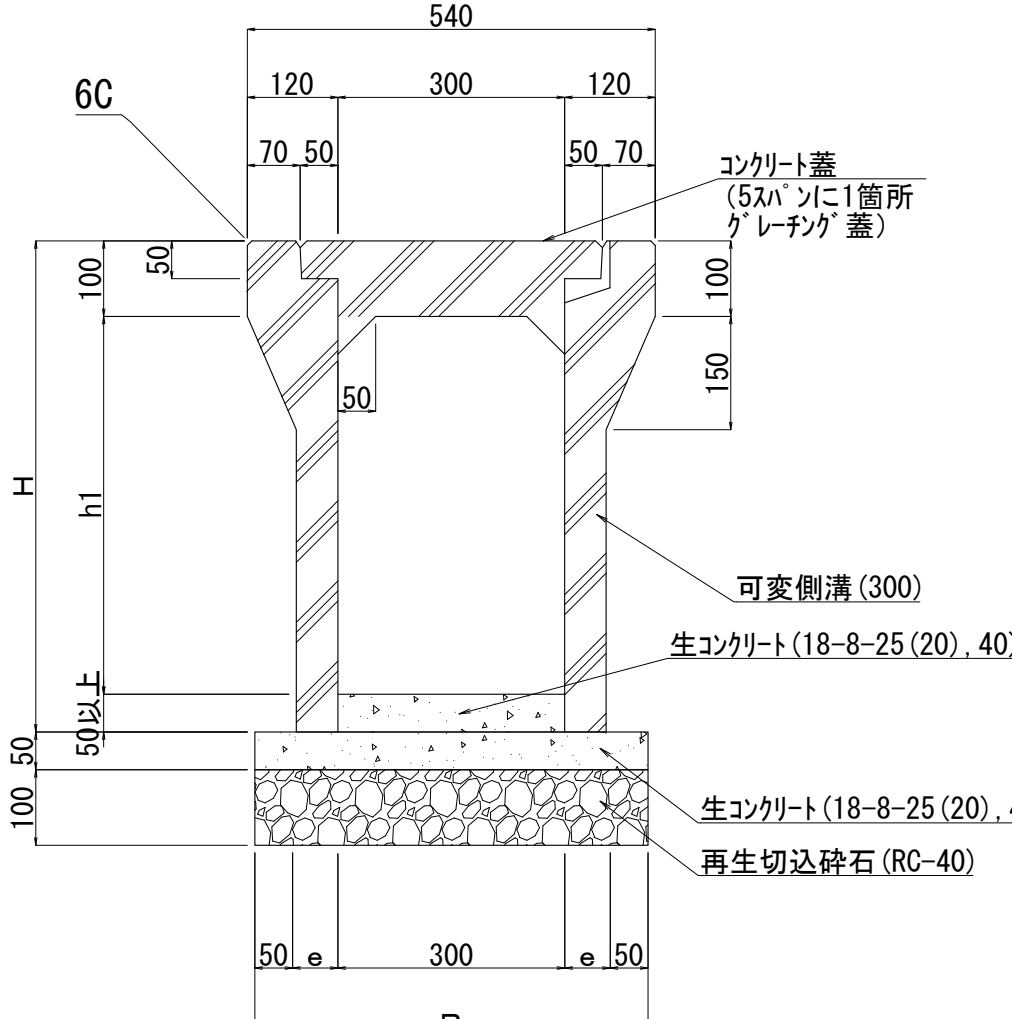
呼び名	寸 法				重量 kg
	h1	H	e	B	
300×300	300	450	60	520	428
300×400	400	550	60	520	486
300×500	500	650	60	520	544
300×600	600	750	75	550	681
300×700	700	850	75	550	753
300×800	800	950	75	550	825
300×900	900	1050	75	550	897

変側溝400×400(車道)
S=1:1
(埼玉県型可変側溝)
(400×400~900×2000)



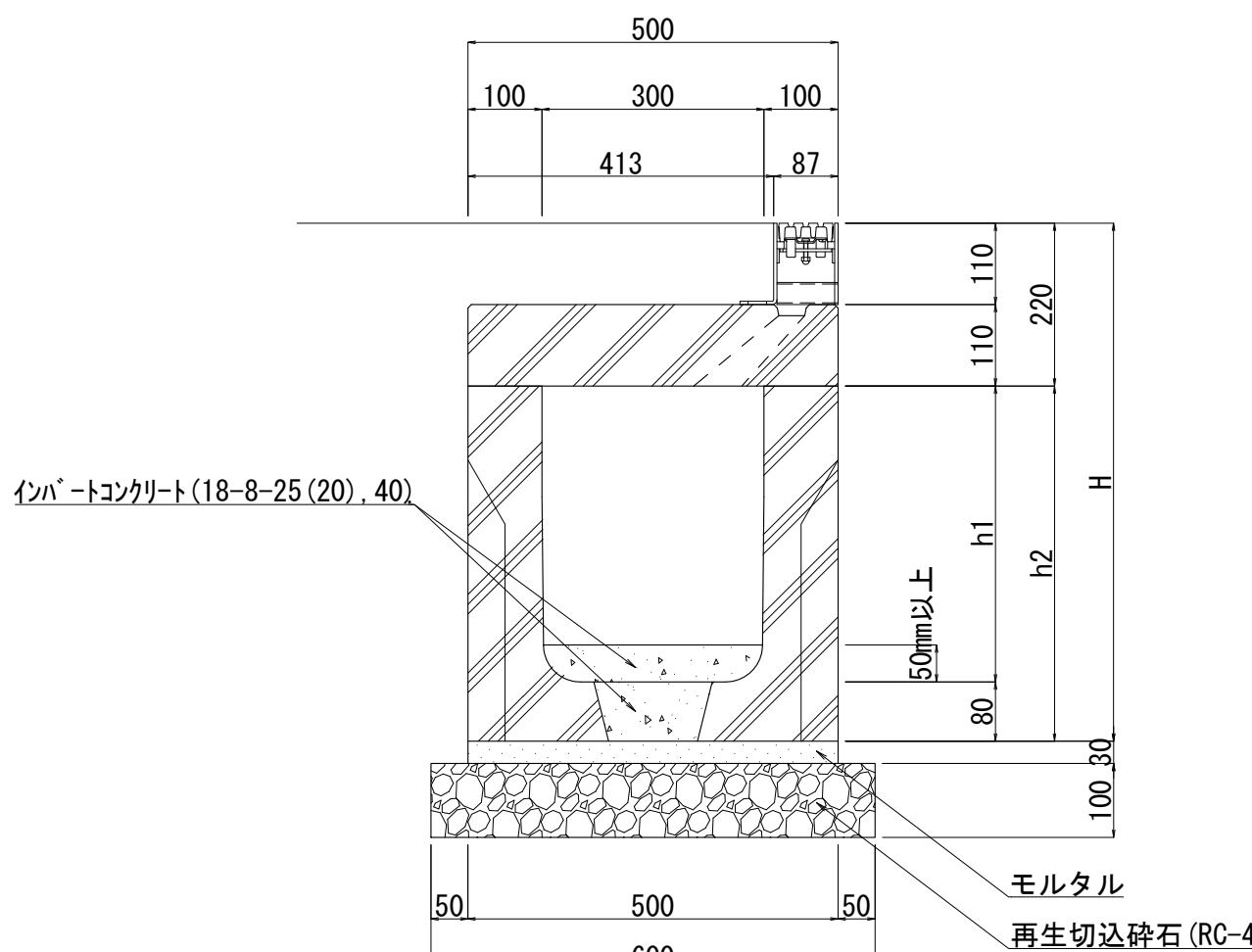
呼び名	寸法		重量 kg
	h1	H	
400×400	400	550	607
400×500	500	650	696
400×600	600	750	778
400×700	700	850	859
400×800	800	950	941

変側溝(歩道・緑地)
S=1
(埼玉県型可変側溝
(300×300~900×2000)



呼び名	寸法			重量 kg
	h1	H	e	
300×300	300	450	55	394
300×400	400	550	55	447
300×500	500	650	55	500
300×600	600	750	65	608
300×700	700	850	65	670
300×800	800	950	65	732
300×900	900	1050	75	836

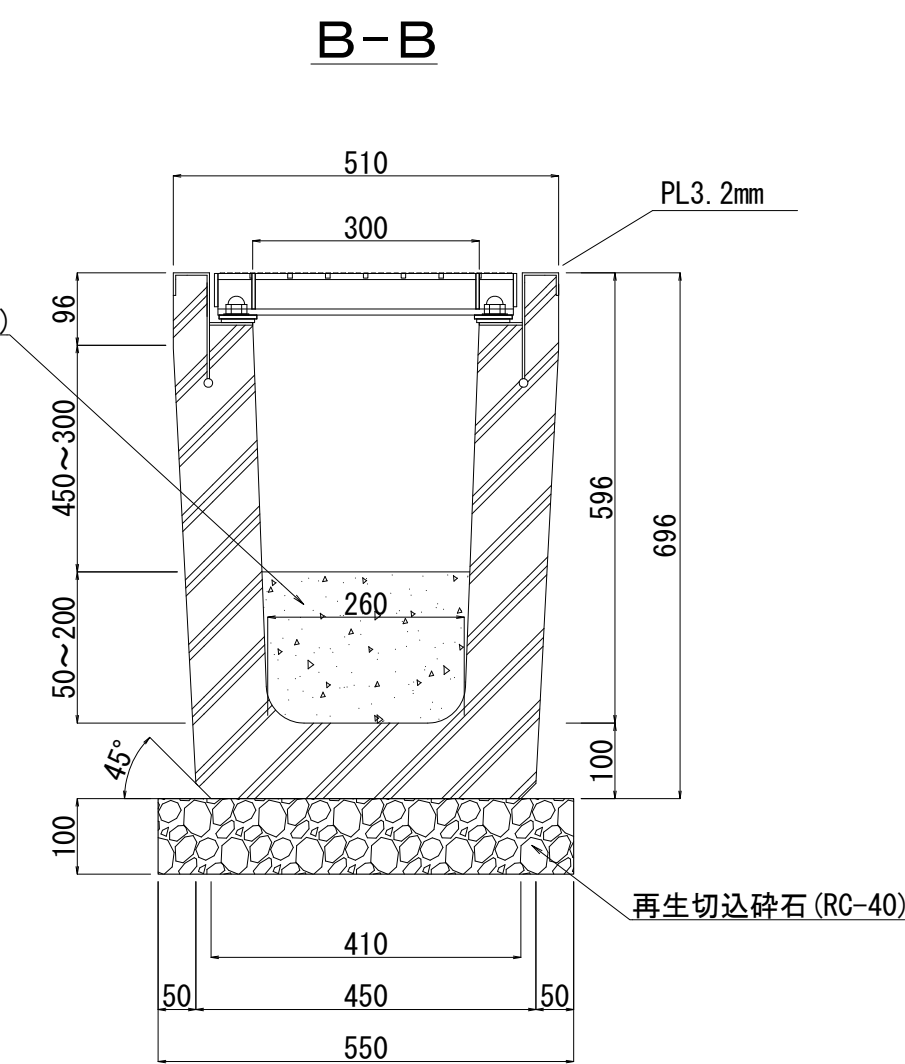
リット可変側溝(車道)
S=1:1
(300×400~900×2000)



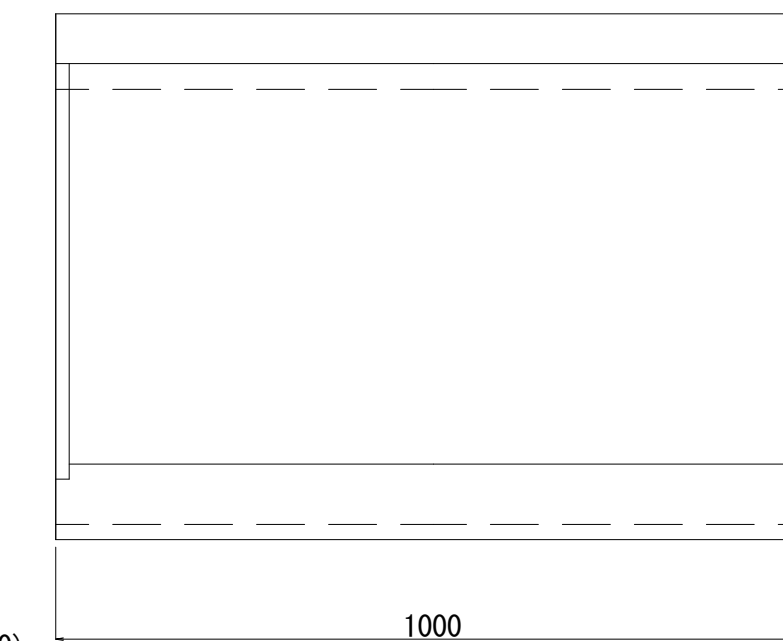
呼び名	寸法			重量 kg
	h1	h2	H	
300×400	400	480	700	434
300×500	500	580	800	488
300×600	600	680	900	543
300×700	700	780	1000	598
300×800	800	880	1100	653

排水施設構造図 (2)

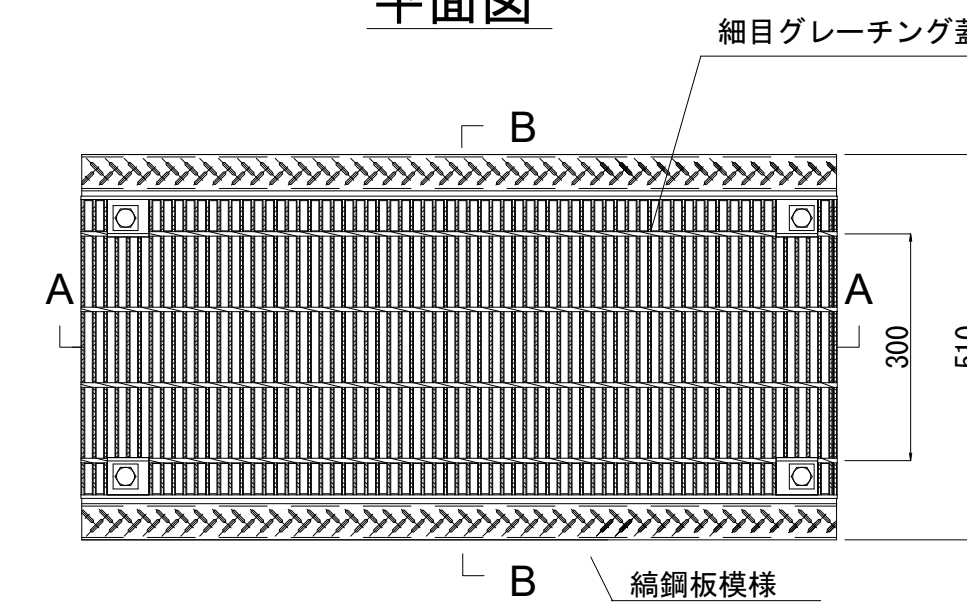
横断側溝
(300×500×1000)^{S=T:10}
グレーチング蓋



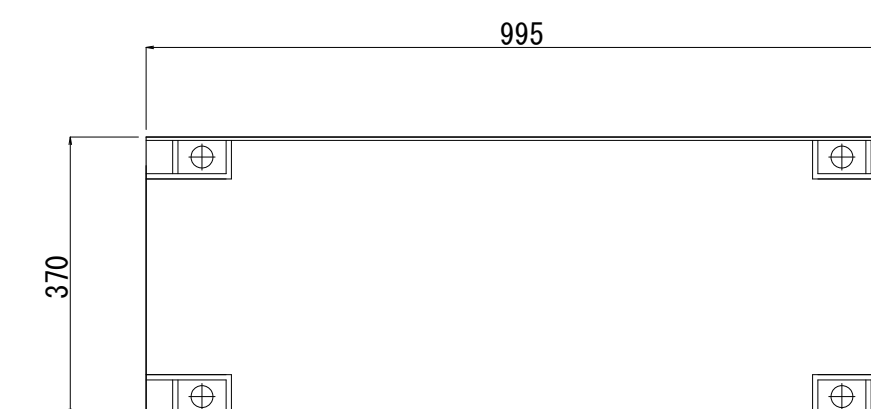
A - A



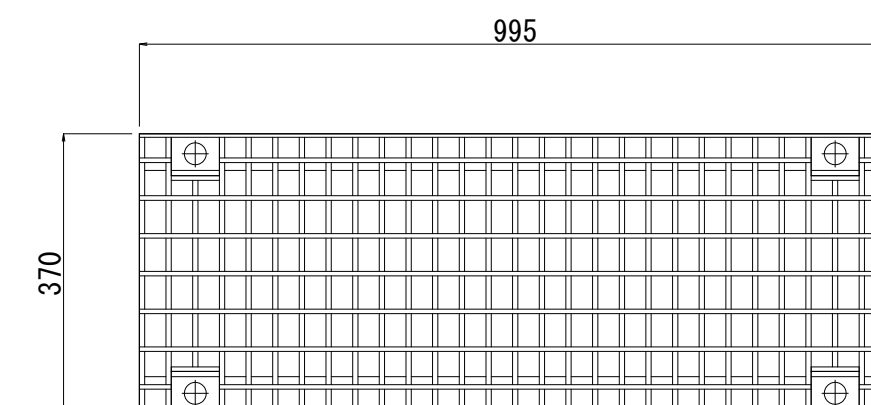
平面图



コンクリート蓋版300型
(ボルト固定式並目)



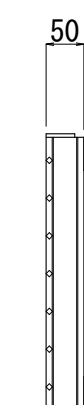
グレーチング蓋版300型
(ボルト固定式並目)



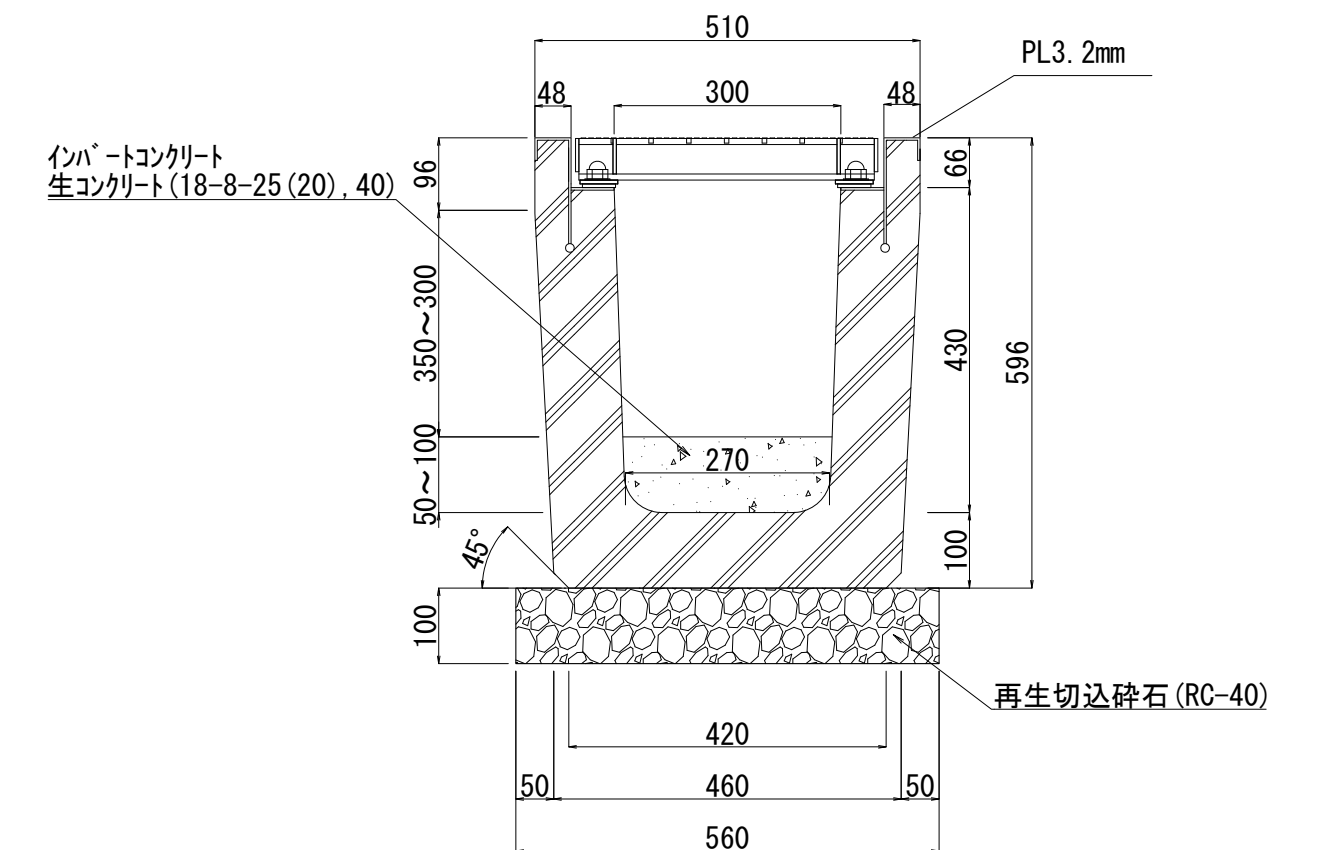
参考質量 61kg



参考質量 29kg



横断側溝
 $(300 \times 400 \times 1000)$ $S=T:10$
 ゲーティング蓋



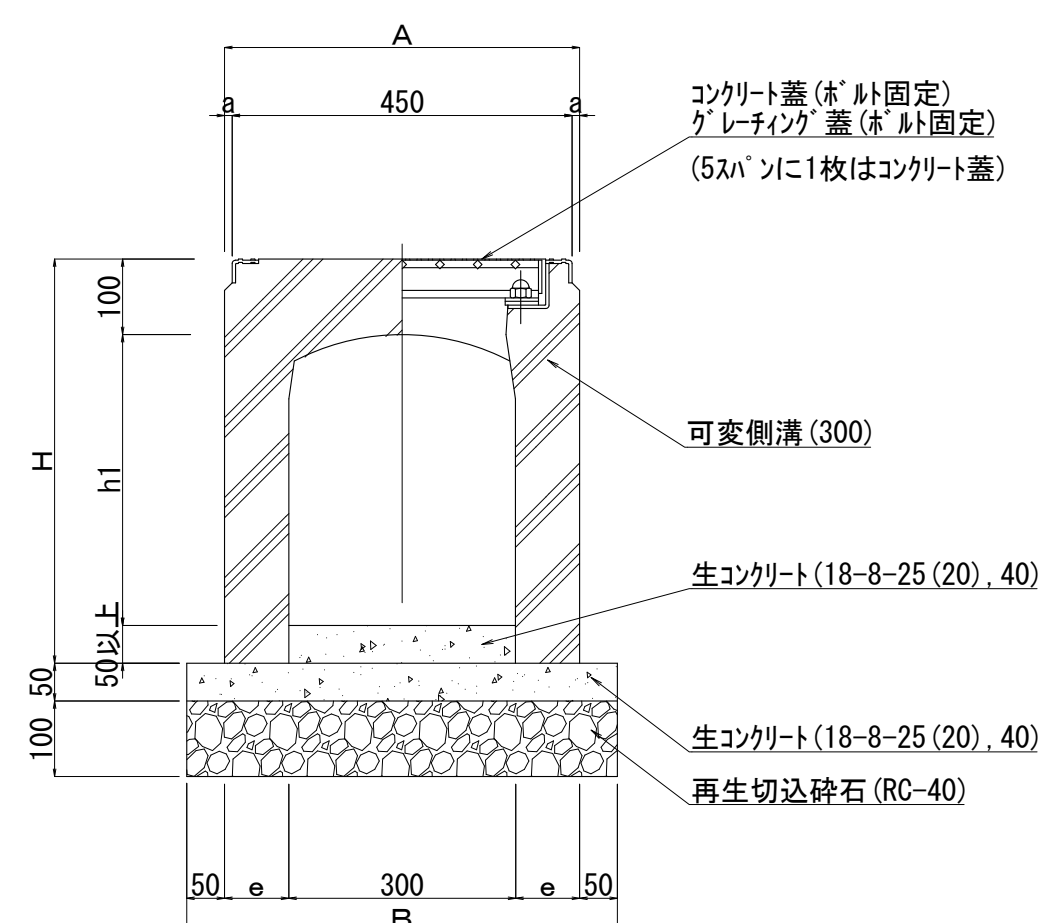
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)

gA(2)	A1=1:10	
-------	---------	--

24 排水施設構造図 (2) A3=1:20

	安井建築設計事務所	
--	-----------	--

可変側溝(横断用)
S=1:10
(300×300~500×2000)



呼 び 名	寸 法						重量 kg
	h1	H	A	a	B	e	
300*300	285	435	470	10	570	85	412
300*400	385	535	470	10	570	85	492
300*500	485	635	470	10	570	85	570

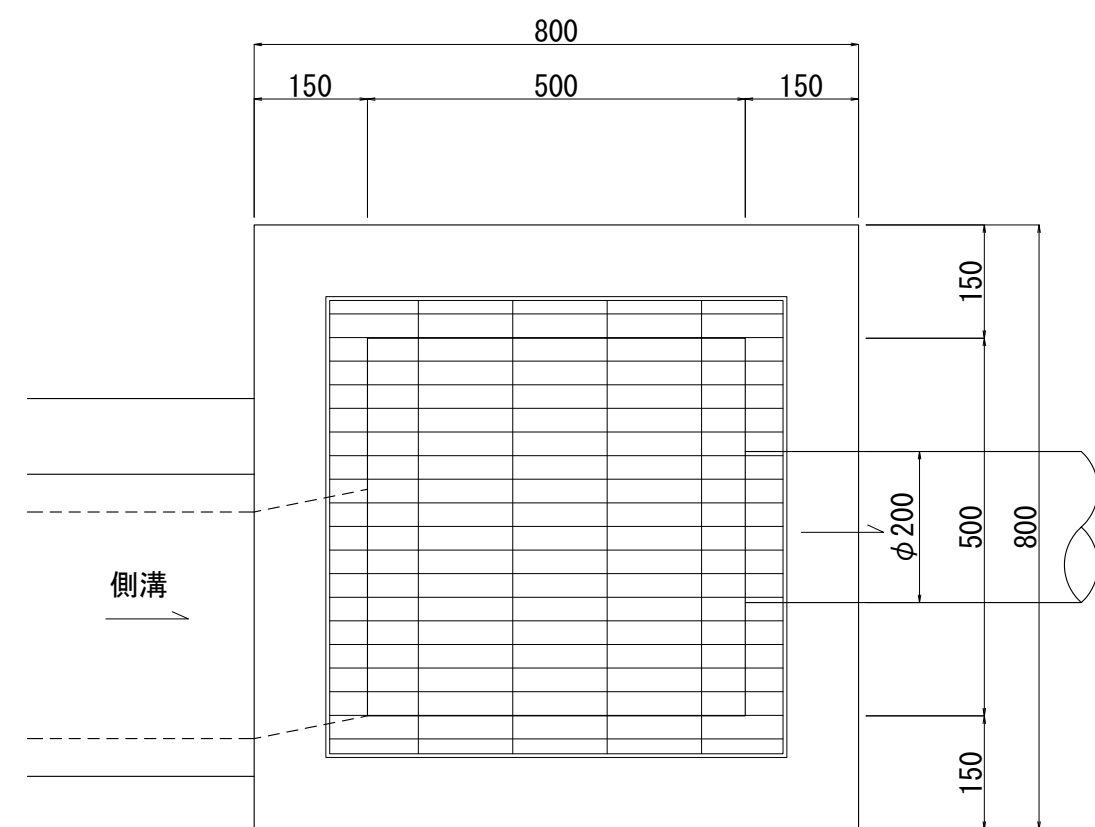
端部用止め板（無償付属品）

※端部については、付属品の端部止め板を使用する。

排水施設構造図 (3)

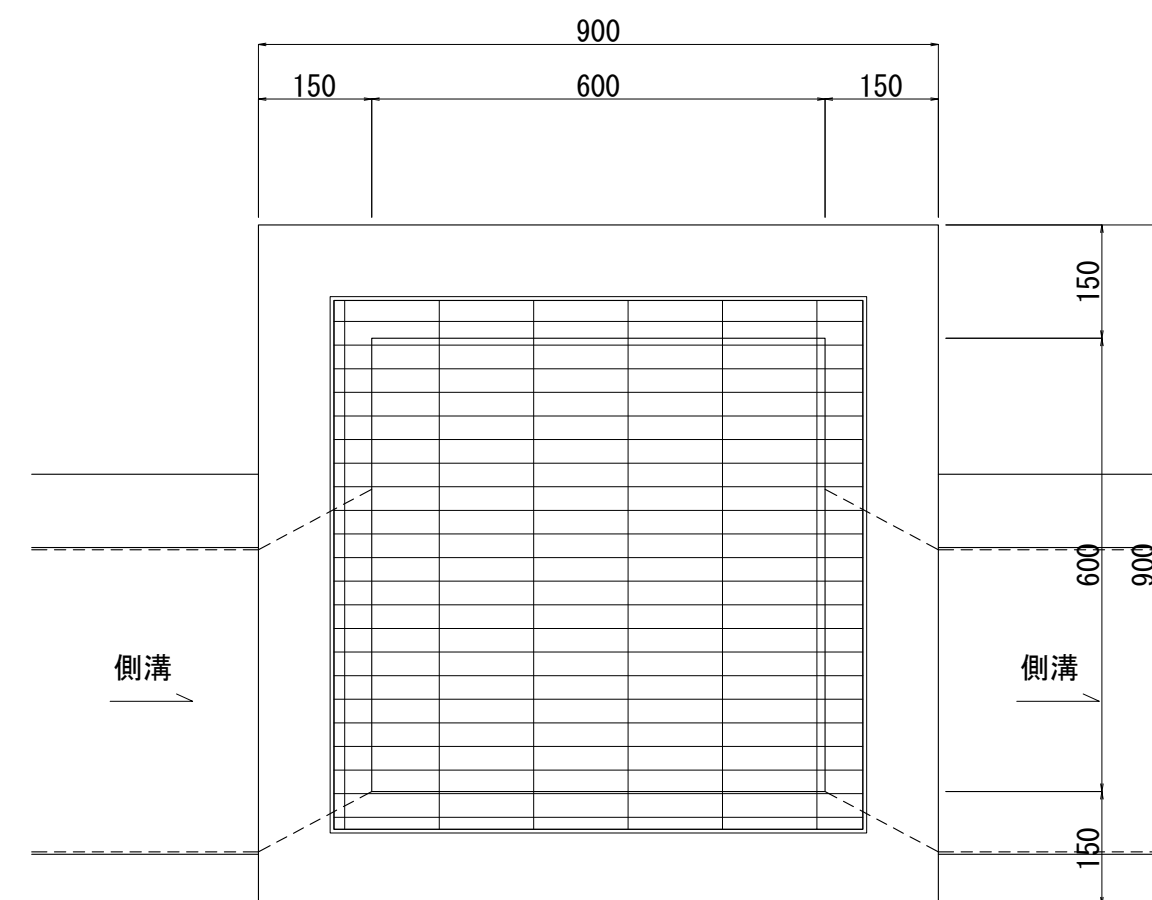
集水桷 A

500*500

$$\overline{S=1:10}$$


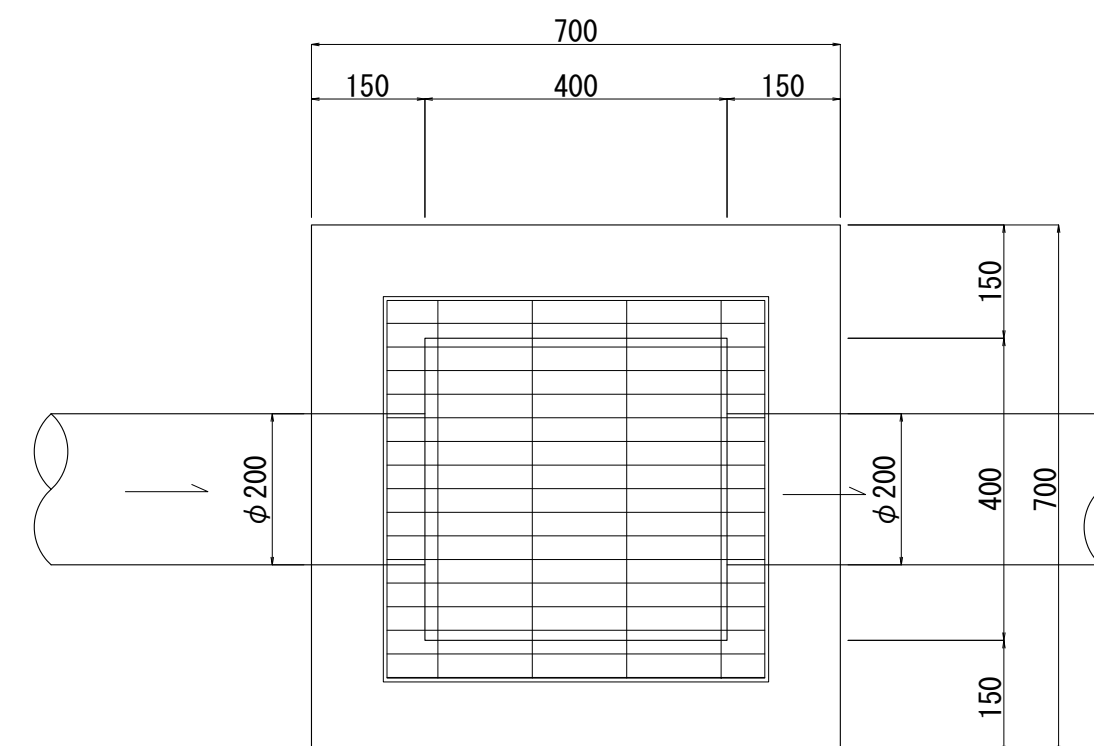
集水枋B

600*600

$$\overline{S=1:10}$$


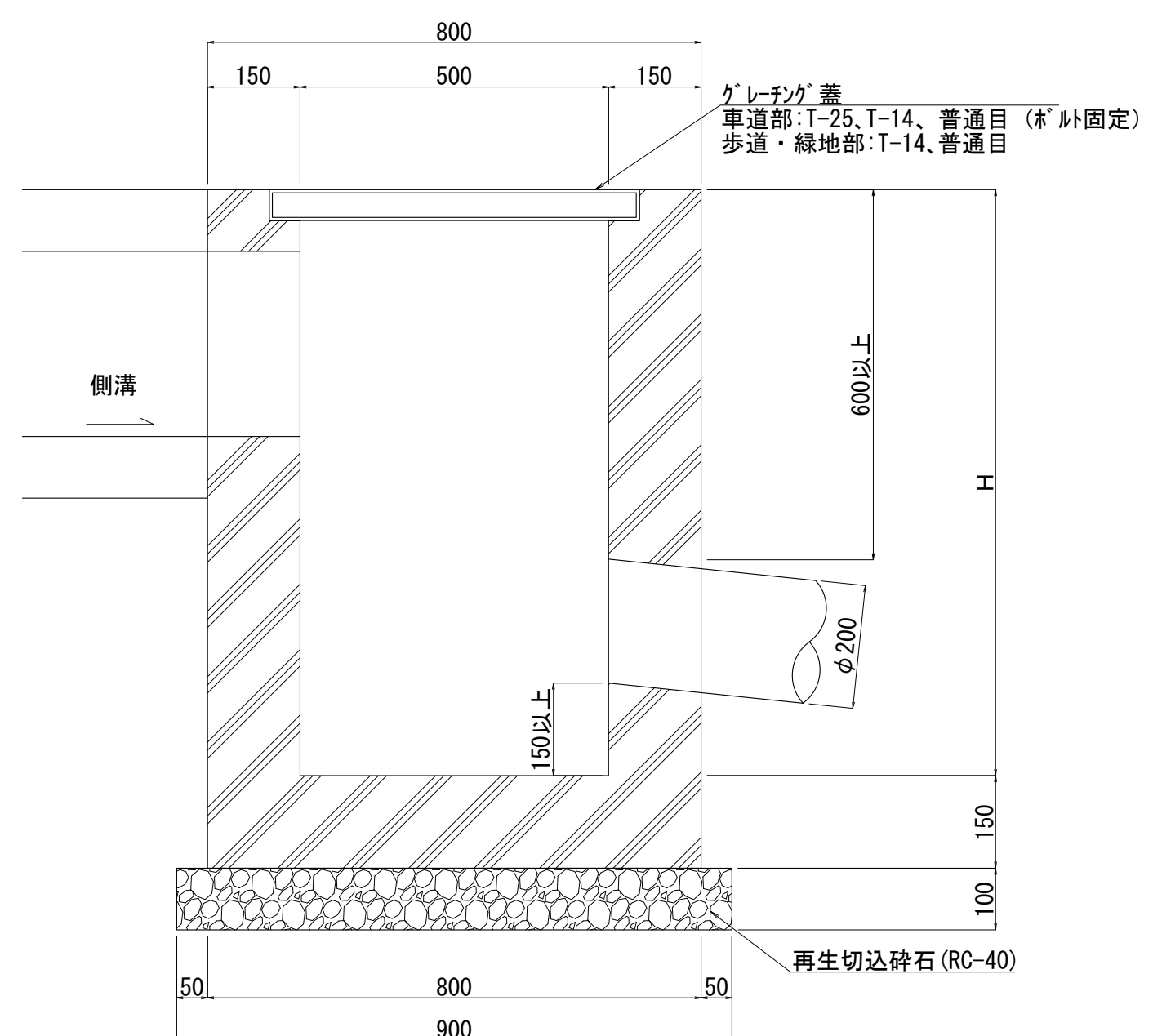
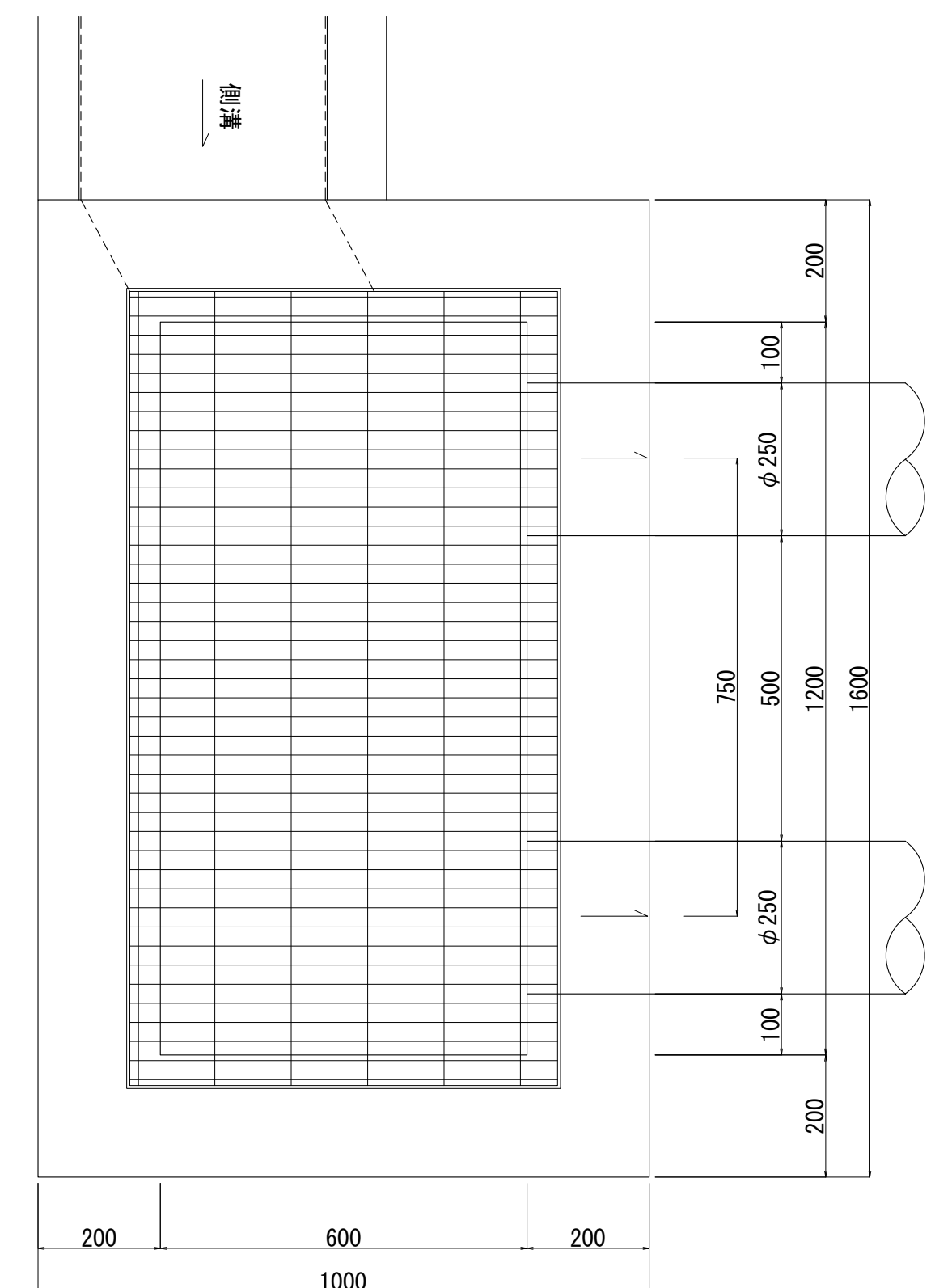
集水桧 C

400*400

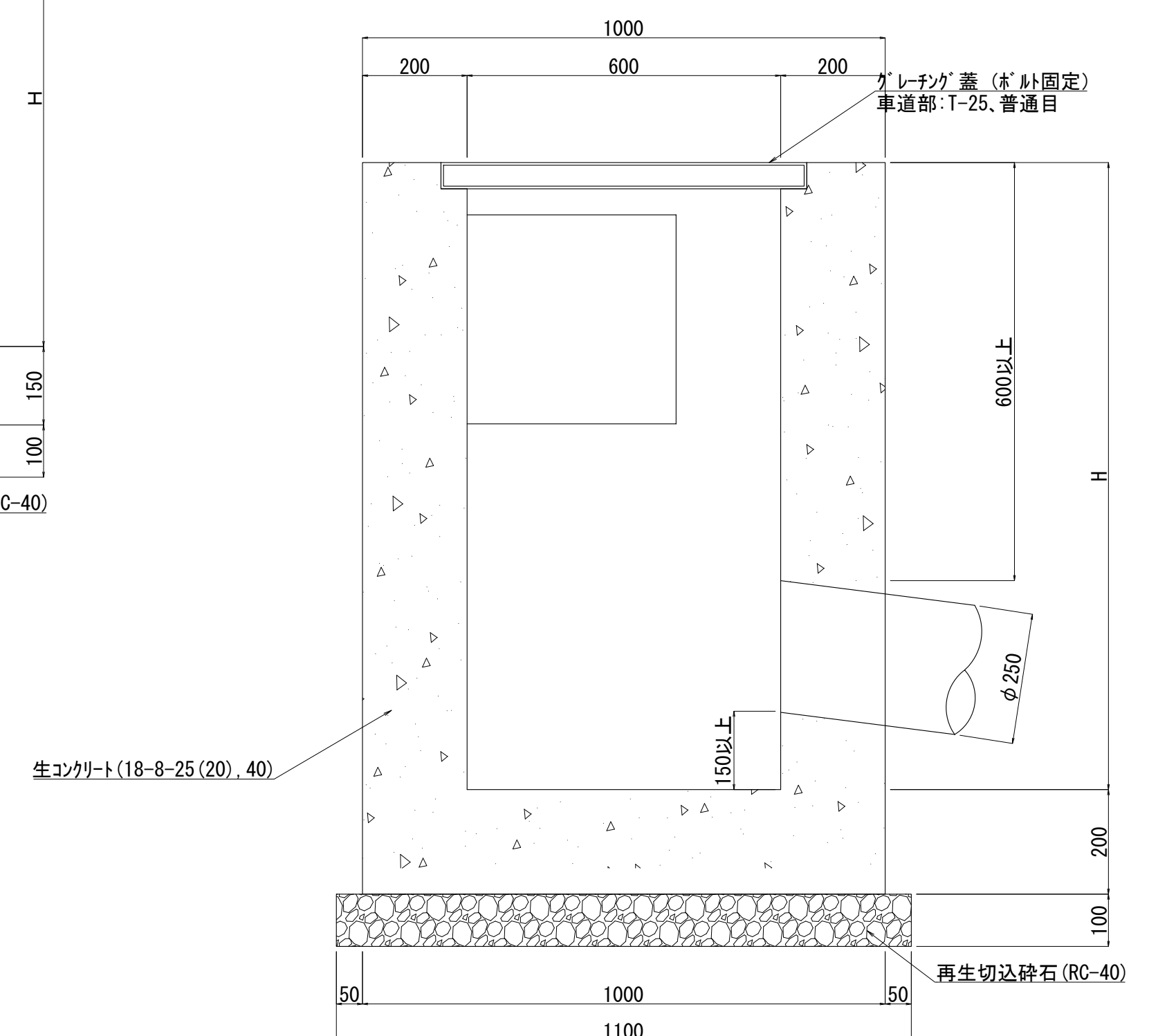
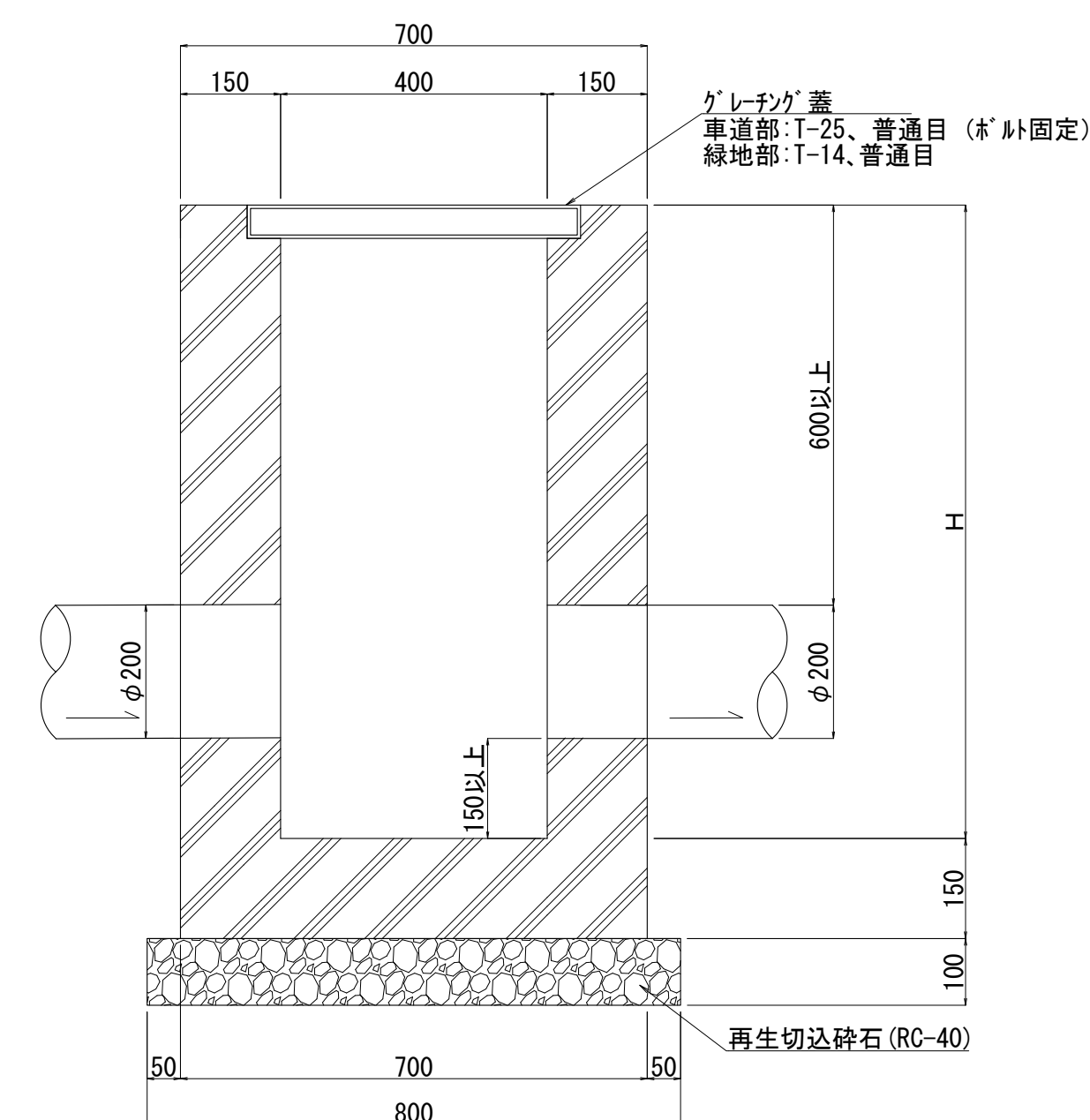
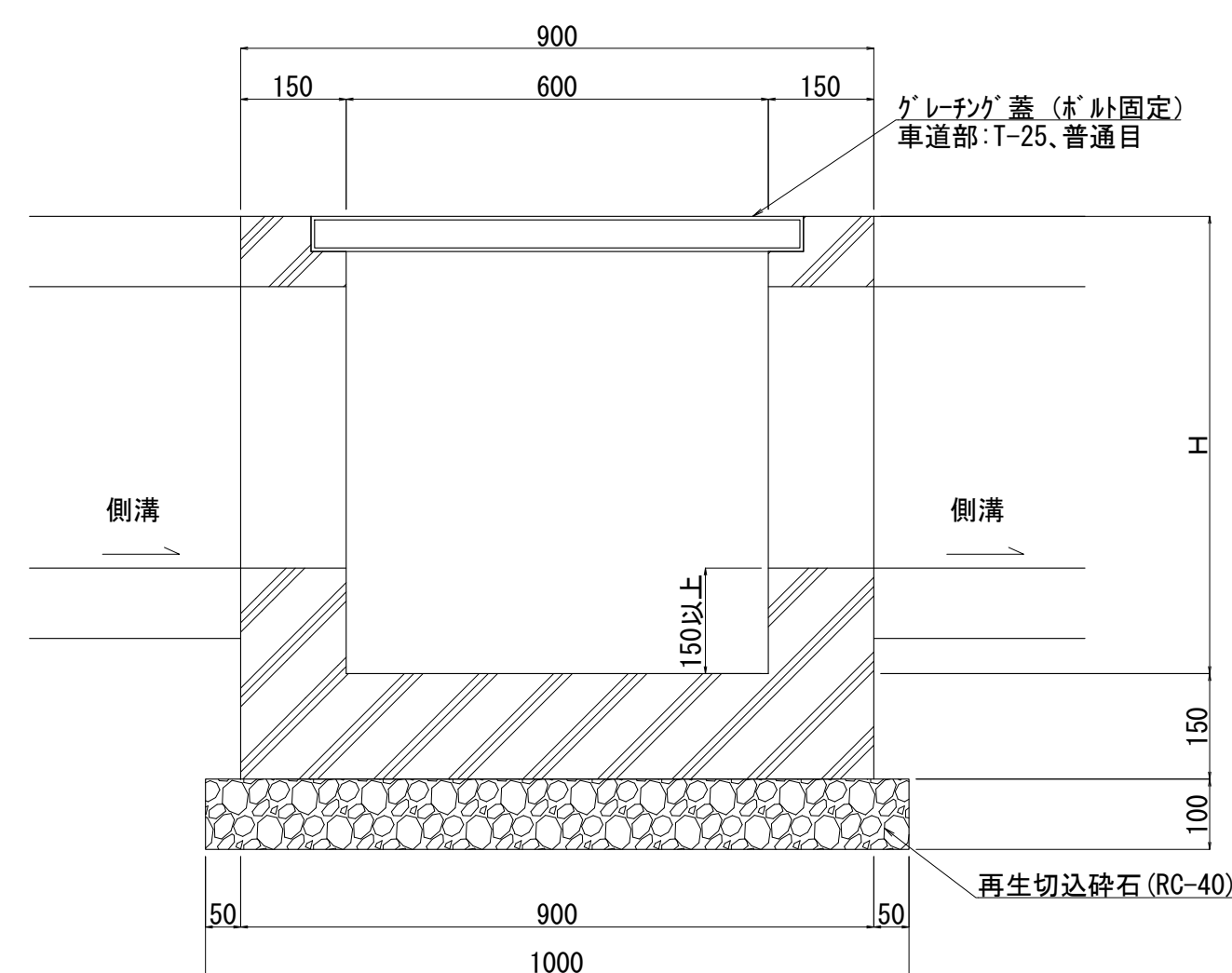
$$\overline{S=1:10}$$


集水枋 D

600*1200

$$\overline{S=1:10}$$


※貯留施設に接続される取付管
にはフィルターを設置する。

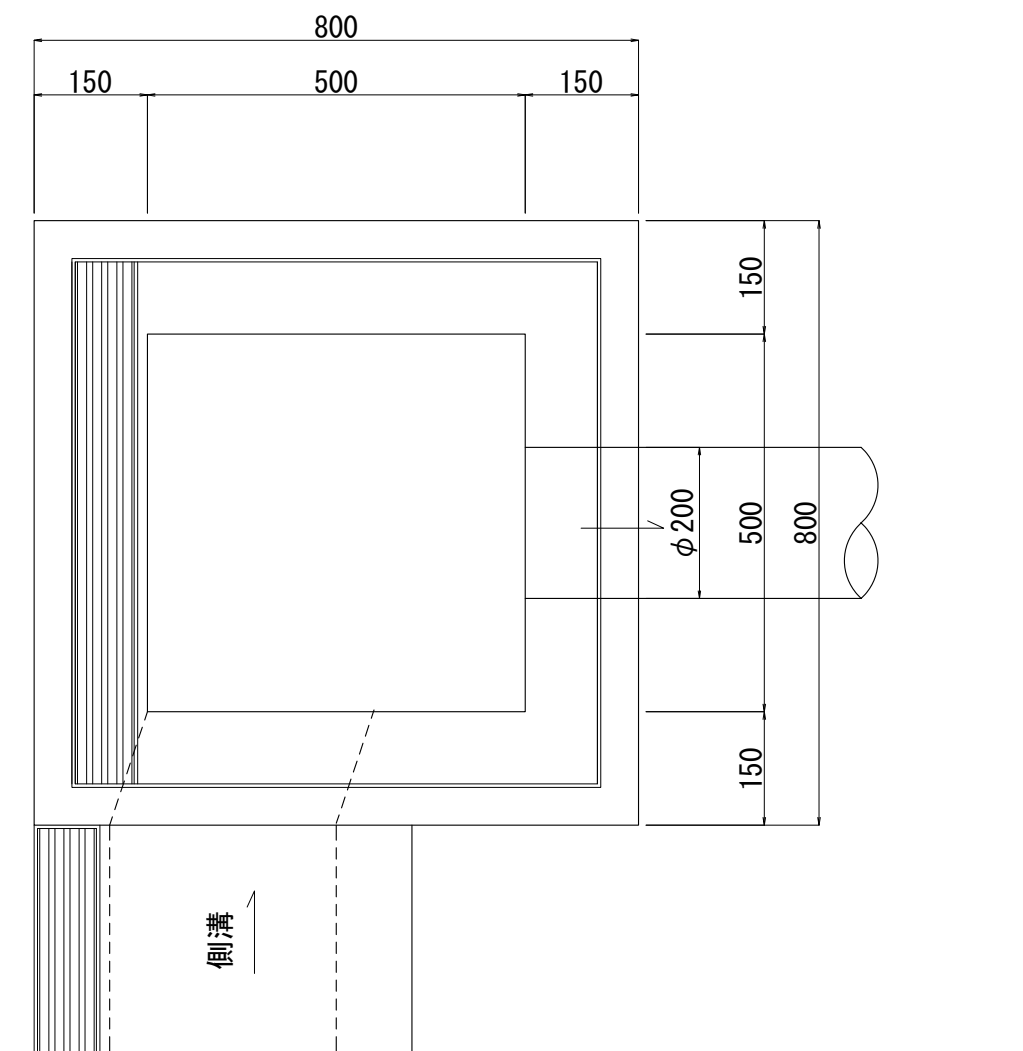


※貯留施設に接続される取付管
にはフィルターを設置する。

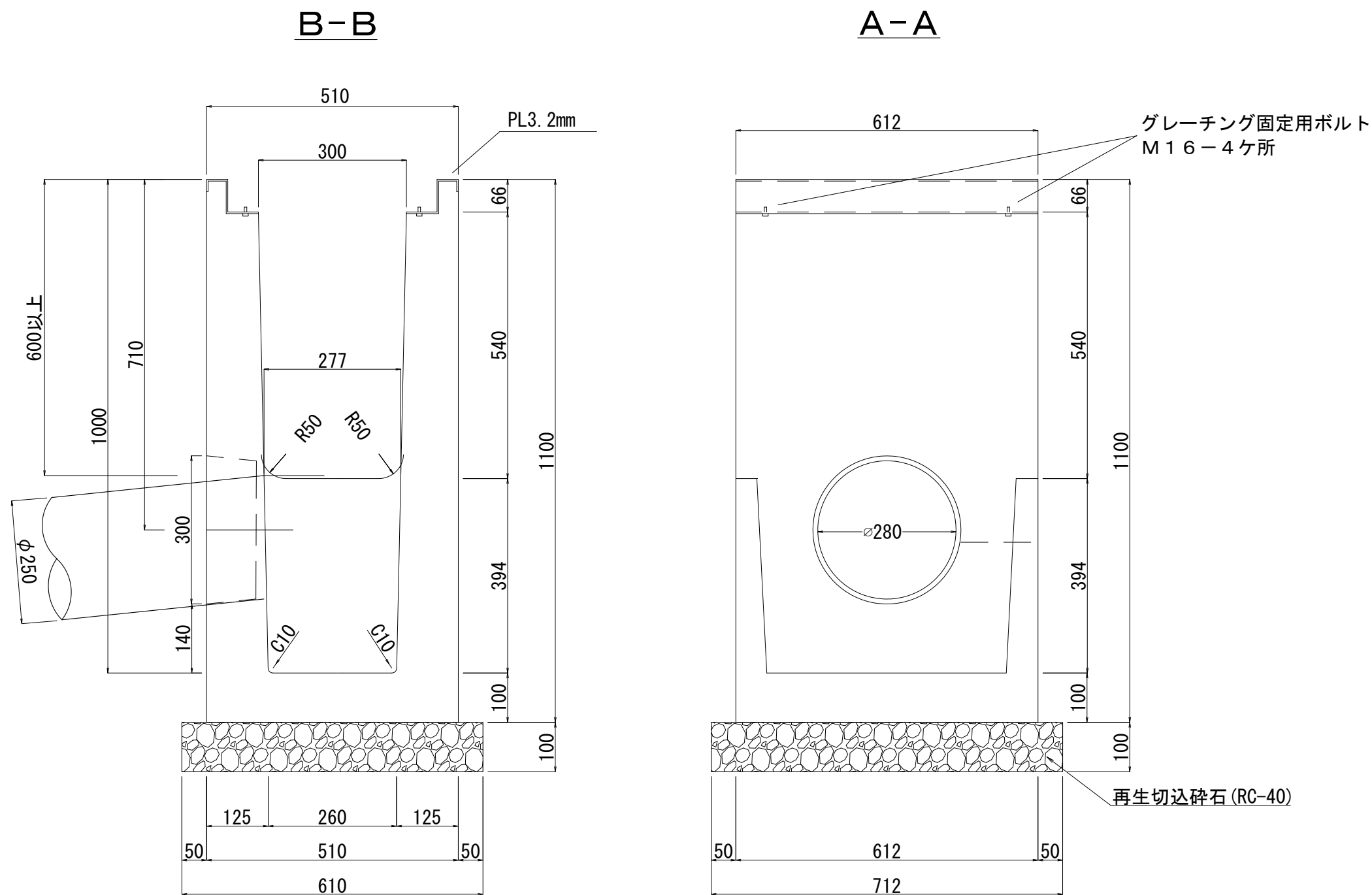
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)		
gA(2)	排水施設構造図 (3)	A1=1:10 A3=1:20
25		
安井建築設計事務所		

排水施設構造図（４）

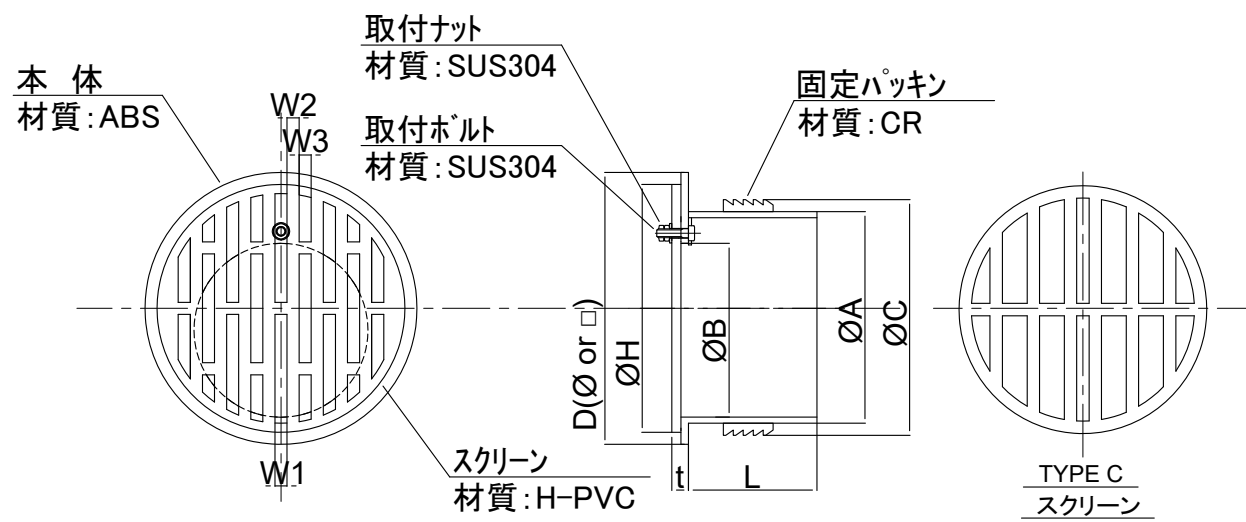
集水枳 A (化粧蓋)
S=1:10
500*500



横断用 U 形枳
S=1:10
300*500*1000

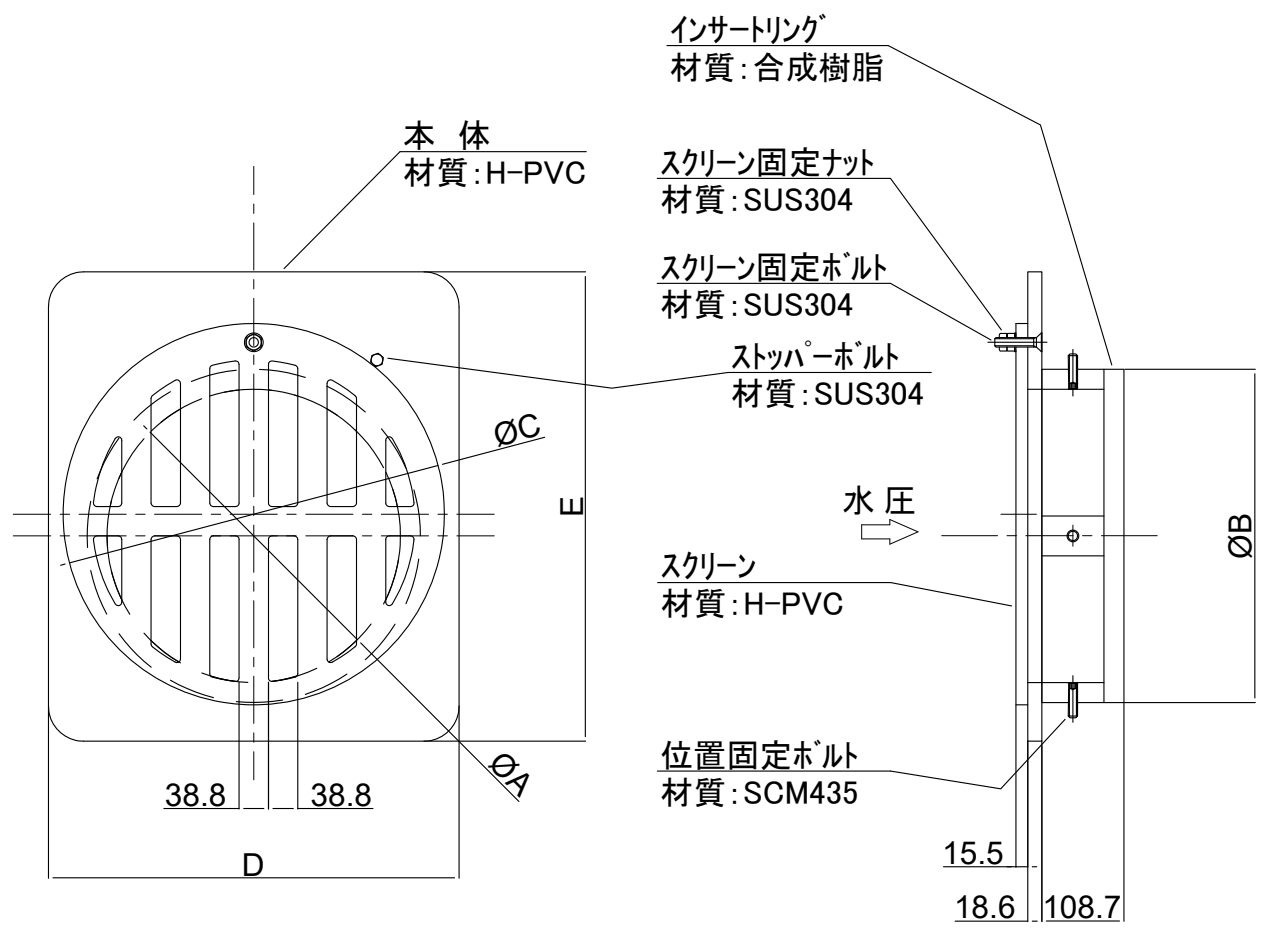
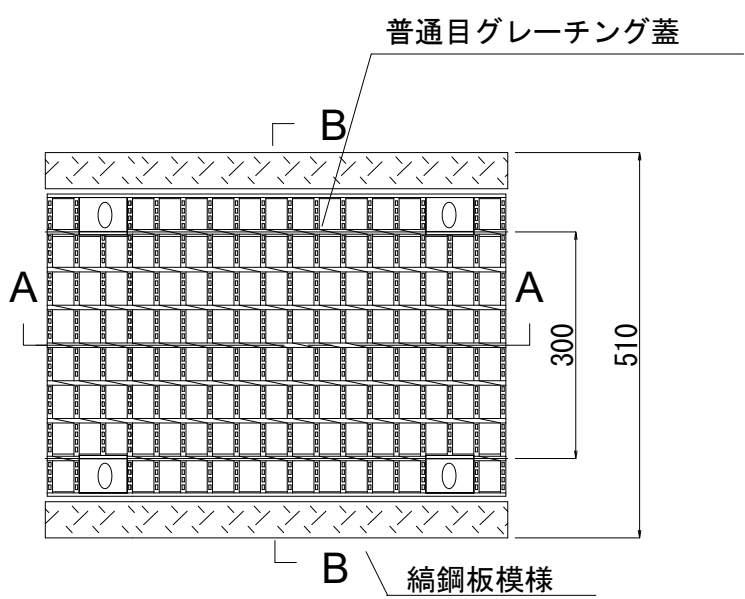
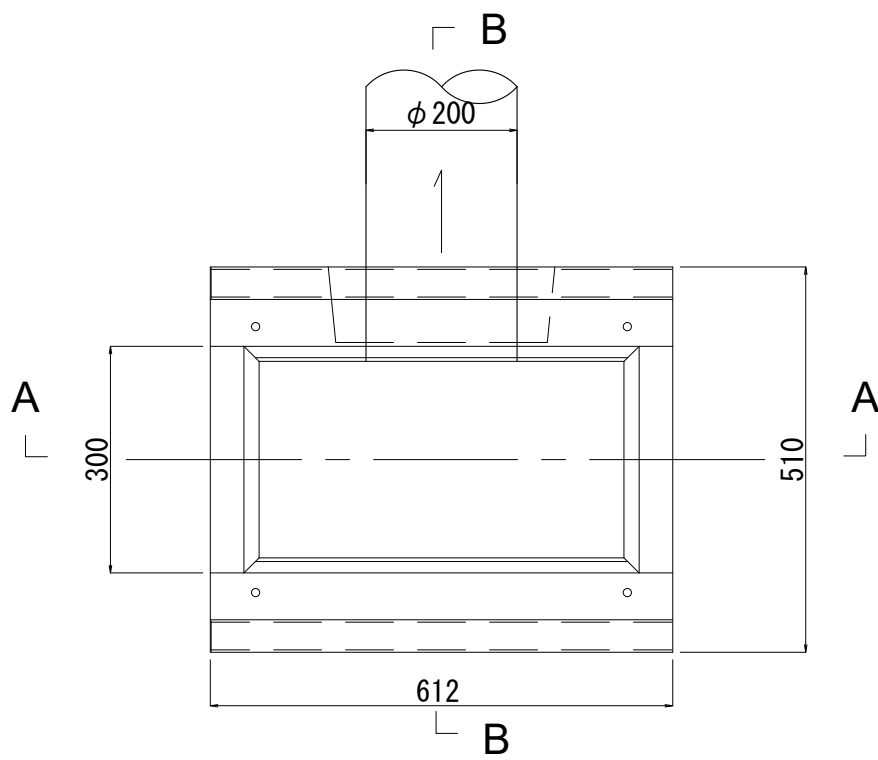


ゴミフィルター
(貯留槽に入る直前の枳に設置する)

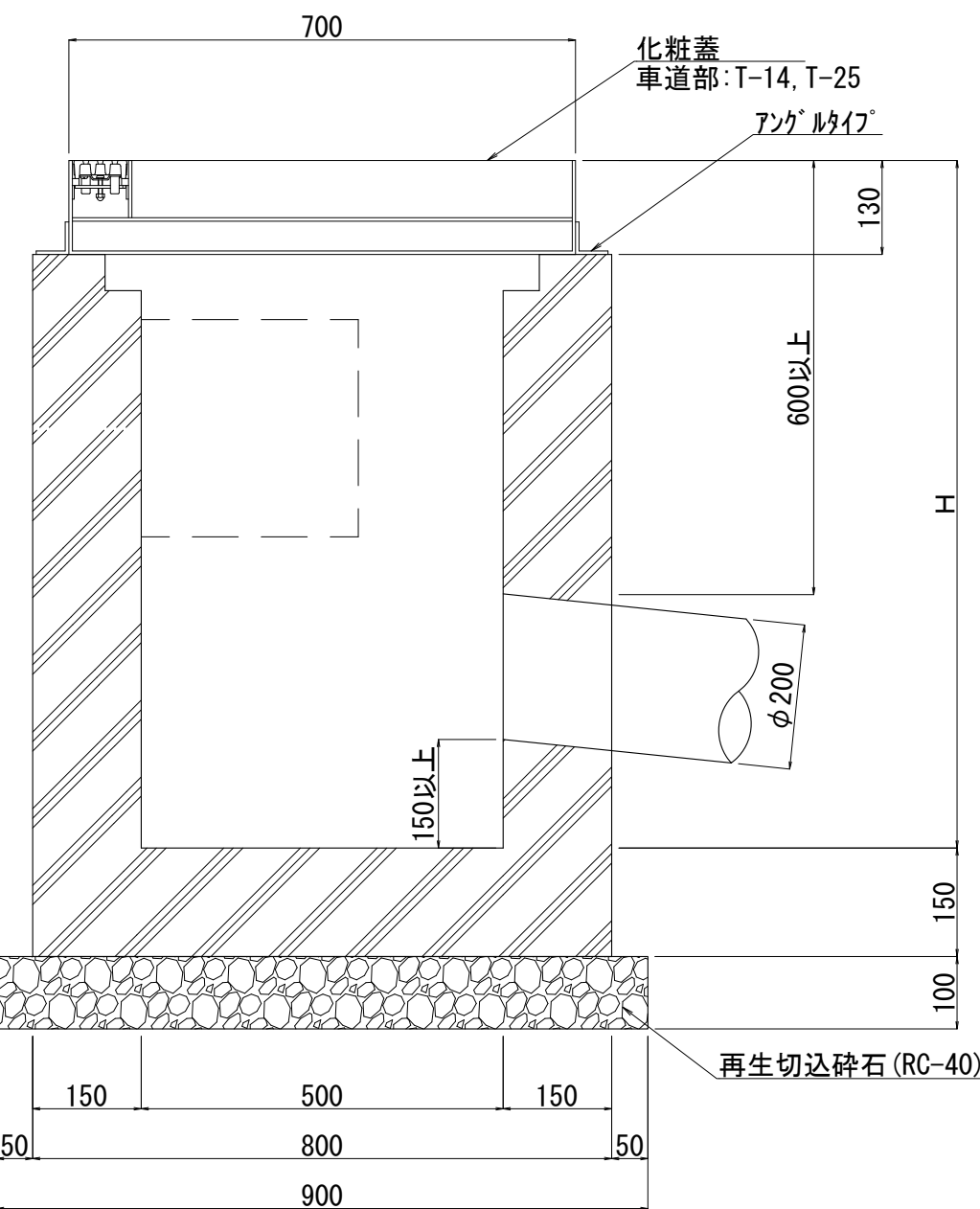


単位 mm													
品 番	A	B	C	D	H	L	W1	W2	W3	t	適 合 管	スクリーン	
UD-200P	190	165	194	220	200	90	10	10	20	14	VP200	TYPE C	
UD-200U/H			207								VU200/HP200		
UD-250U/H	225	213	255	290	270	140	10	15	25	15	VU250/HP250	TYPE C	
UD-250P			242								VP250		

平面図



単位:mm					
品 番	A	B	C	D	E
UD-300	250	284	325	350	400
UD-350	300	345	375	400	450



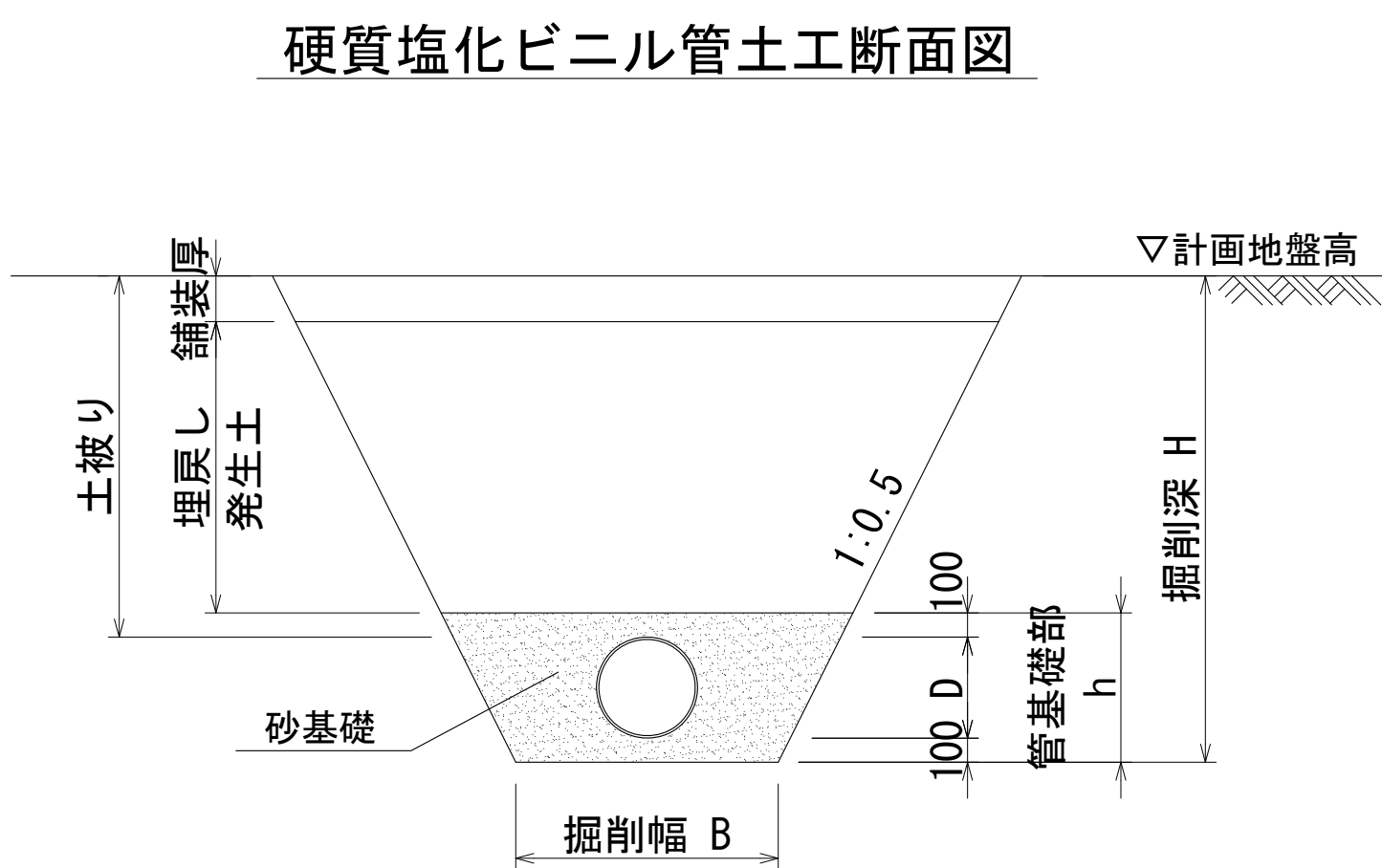
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)

gA(2)
A1=1:10
A3=1:20

26 排水施設構造図 (4)

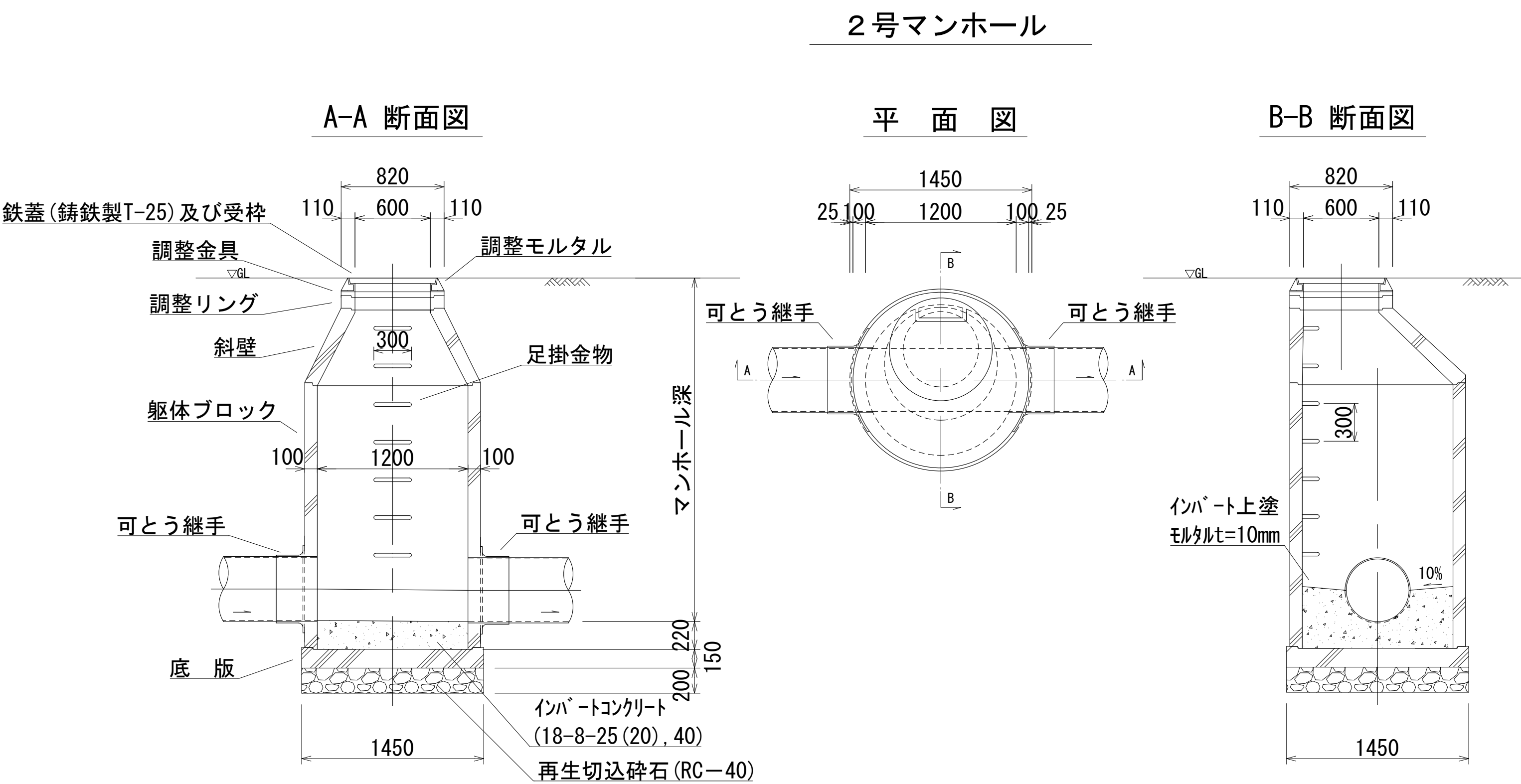
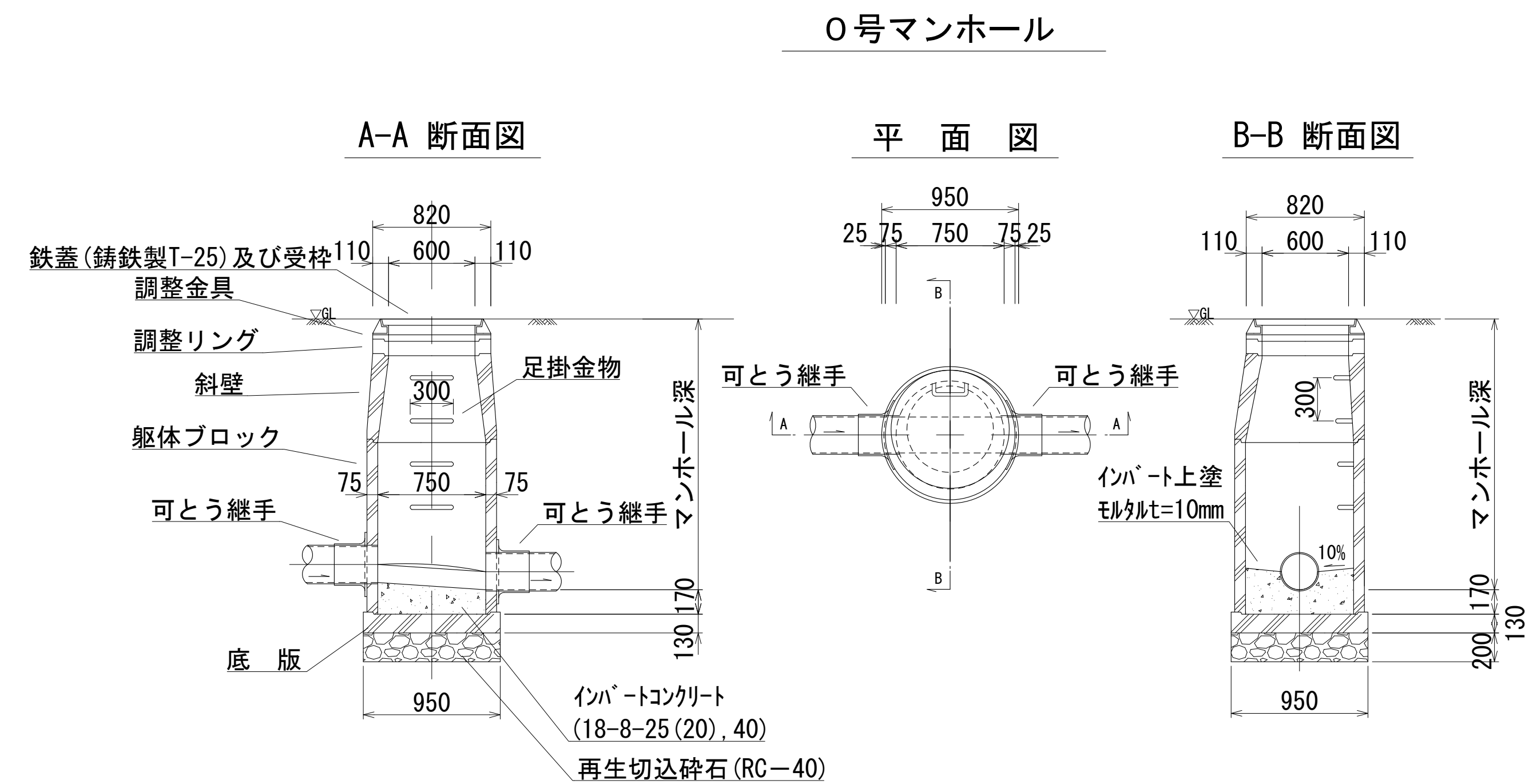
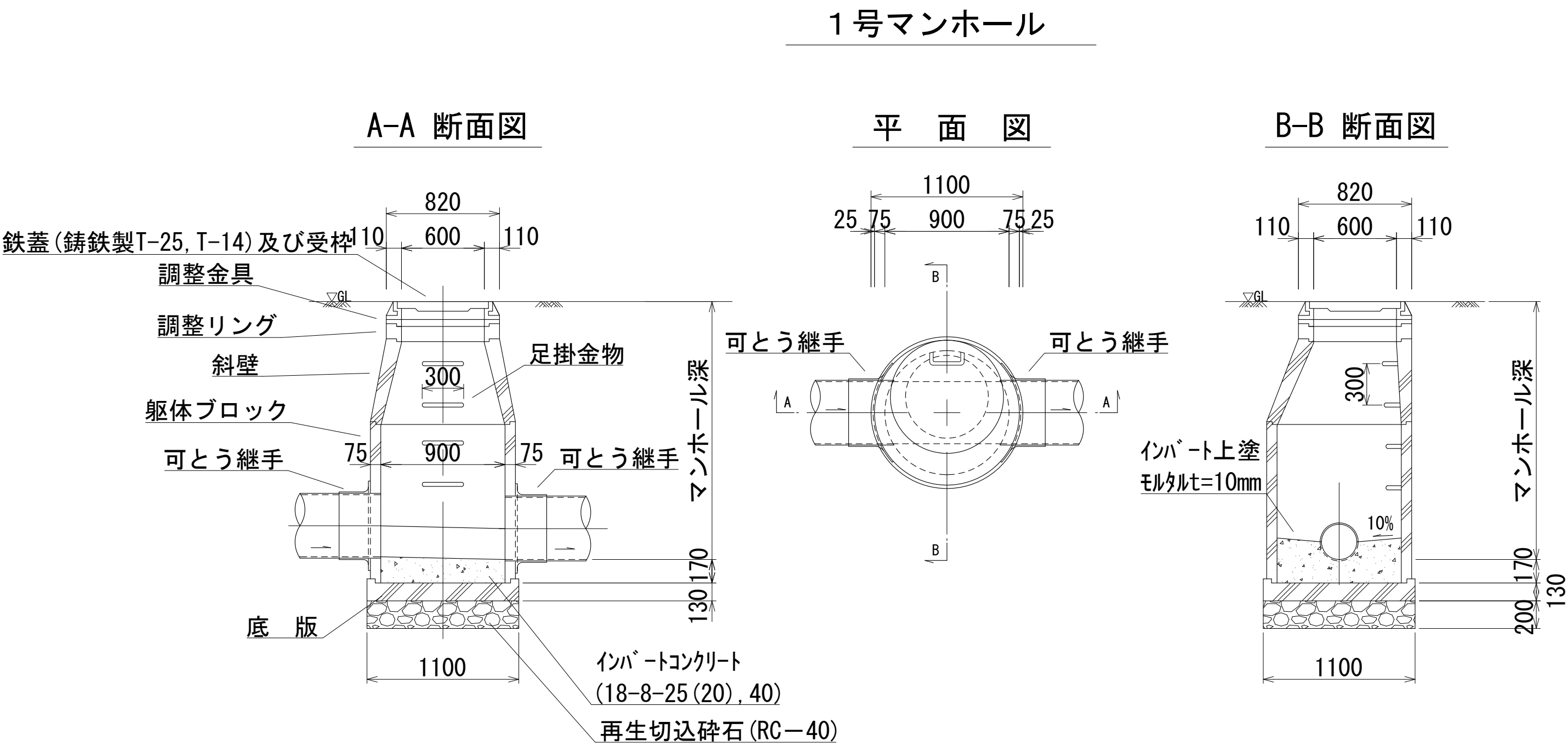
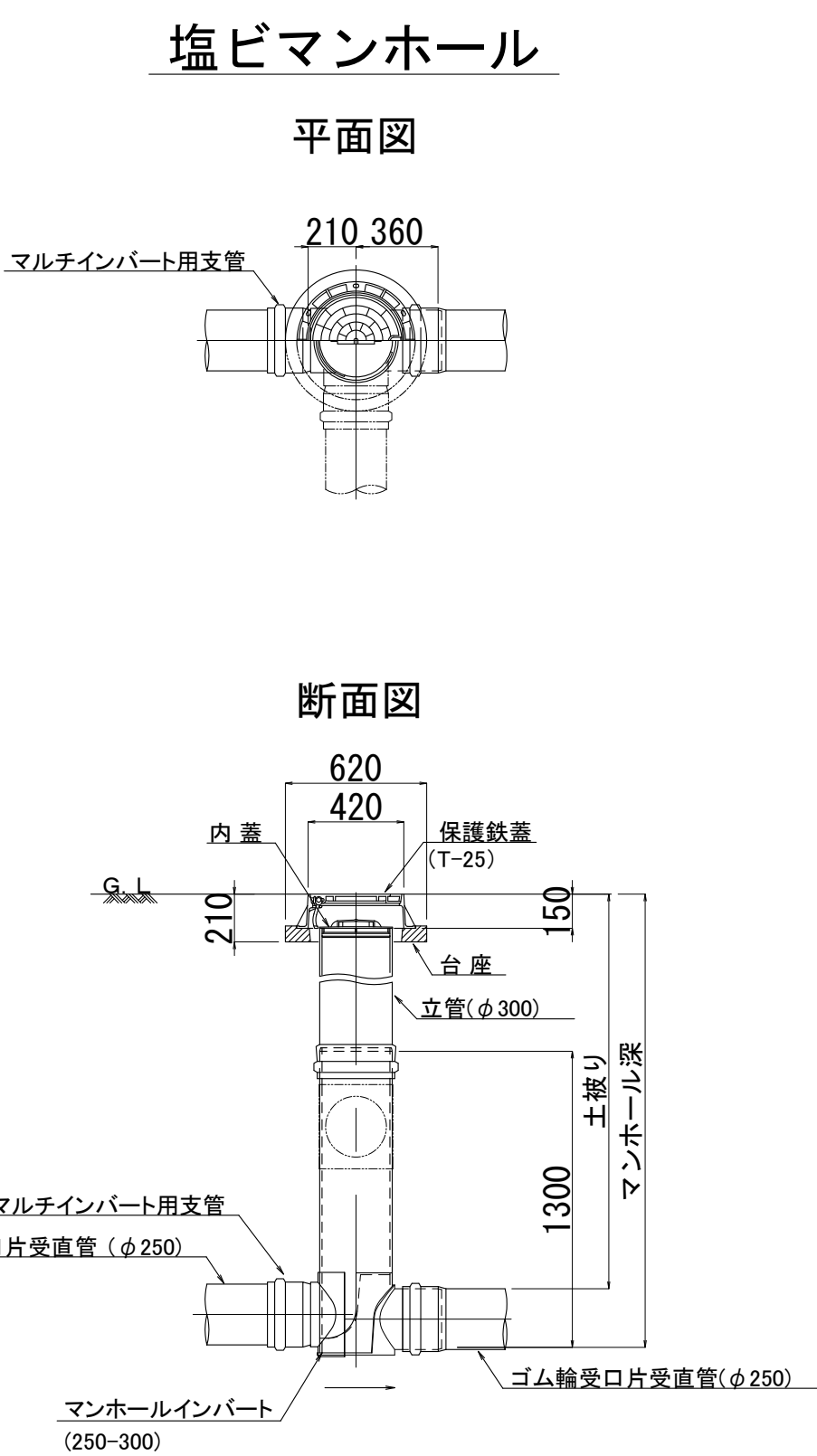
安井建築設計事務所

排水施設構造図（5）



硬質塩化ビニル管 寸法表 (mm)			
呼び径	管外径 D	掘削幅 B	管基礎部 h
200	216	800	416
250	268	850	468
300	318	900	518
350	370	950	570
400	420	1000	620
450	470	1050	670
500	520	1100	720
600	630	1250	830

※掘削幅 B≒管外径+600



※マンホール深が2m以上の場合、転落防止梯子を設置する。

6
コンクリート工事

① コンクリートの種類等

コンクリートの種類
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

※普通コンクリート
設計基準強度
(N/mm²)
スラブ
(cm)
気乾単位容積質量
(t/m³)
適用箇所
○24
・18
2.3程度
消防用自動車車庫、車いす車庫
○21
・18
2.3程度
上記以外の外構構造物
・
・
・
・
構造体強度補正值
※標準仕様書表6.3.2による

② セメント

種 類
⑩普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
適用箇所（※全て）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水と熱が7日
目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする
・高炉セメントB種 G
適用箇所（・1FLより下部（立上り部含む））
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所（）
・

③ 骨 材

アルカリシリカ反応性による区分
※A・B（コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m³以下）

④ 混和材料

○混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による
・

・混和材
混和材の種類
※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による
・

⑤ 打継ぎの位置、
ひび割れ誘発目地、
打継目地

打継ぎの位置
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（）
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による（）

目地の寸法
○標準仕様書 9.7.3(1)(7)による
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
○図示による（）

ひび割れ誘発目地の位置
・図示による（）

⑥ コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
種 別
適用箇所
・A種 ※図示による（打放し仕上げの部分）
・B種 ※図示による（一段部分、躯体（仕上げ有の部分））
・C種 ※図示による（ピット部分）

コンクリートの仕上りの平たんさ
種 別
適用箇所
・a種 ※図示による（打放し仕上げの部分）
・b種 ※図示による（一段部分、躯体（仕上げ有の部分））
・c種 ※図示による（ピット部分）

⑦ 打増し厚さ
(打放し仕上げ部)

打増し厚さ
○打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
○20mm

○打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm
・20mm

・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm

打増し範囲
・図示による（）

⑧ 型枠

せき板の材料及び厚さ
○合板(※12mm) G
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（）
・MCR工法用シート
適用箇所
・図示による（）

打増し厚さ
・20mm
打増し範囲
・図示による（）
スリーブの材種・規格等
・図示による（）

⑨ 無筋コンクリート

コンクリートの種類
※普通コンクリート

セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は
フライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G

設計基準強度
※18 (N/mm²)

スラブ
※15cm又は18cm

適用箇所
○標準仕様書 6.14.1(4)(7)～(h)による
・図示による（）

○行わない
・行う
実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(a)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲に
ある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因
を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後
設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査
するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を
行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するま
で、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コン
クリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量
測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

⑩ コンクリートの
単位水量測定

7
鉄骨
工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力
建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作
工場又は同等以上の能力のある工場
評価の区分
※（ M ）グレード
・グレードの指定はしない

② 鉄骨製作工場における
施工管理技術者

※配置する

③ 鋼 材

種類等
種類の記号
適用箇所（主要な部分）
規 格
SS400
二次部材
・JIS規格による
・
SM400B
柱、梁（剛接部材）
・JIS規格による
・
SSC400
鋼縁等
・JIS規格による
・
・
・JIS規格による
・

溶融亜鉛めっき工法の適用箇所
○ 図示による

高力ボルトの種類
○トルシア形高力ボルト MBLT-0125同等
・JIS形高力ボルト
○溶融亜鉛めっき高力ボルト
・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

摩擦面の処理方法等
溶融亜鉛めっき面以外
※標準仕様書7.4.2(1)による

溶融亜鉛めっき面
○プラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・プラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による（）

・すべり試験
※すべり係数試験
・すべり耐力試験
試験の方法等
・図示による（）

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナット
○標準仕様書 表7.2.3（JIS附属書品）又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
（ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、
ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。

座金
※JIS B 1256による

戻り止め
※二重ナット

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

⑥ アンカーボルト

○構造用アンカーボルト
種類
○ABR400
・ABR490
・

○建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルト
種類
○SS400
・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による
・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図） 1-1 縁端距離及びボルト間隔）

溶接材料
溶接材料
※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所
・図示による（）
・

種類
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト
・

建築用ターンバックル胴
※割弁式
・

ねじの呼び
○図示による（ gS(2)-09図 ）
・

材質、形状及び寸法
○デッキプレート
適用箇所
材質・形状・寸法
備 考
単独の構法
・デッキプレートと
コンクリートとの合
成スラブとする構法
・
・
開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む）
・図示による（）
・

鉄骨部材への溶接方法
・図示による（）
・

耐火認定
・あり
耐火時間
・図示による（）
・
・なし

種類等
呼 び 名
呼び長さ (mm)
適用 箇 所
・16
・19
・22

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等
※標準仕様書 7.2.9(2)(7)から(4)による
・

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6【鉄骨精度検査基準】に加えて、次による
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(2)による
・

アンダーカットの寸法
※平12建告第1464号第二号イ(3)による
・

食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
○「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

試験の要領
・図示による（）
・

開先の形状
○図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-2）
・

○エンドタブの切断する部分
切断する箇所
・図示による（）
○すべて
切断範囲
・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。
・
なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
・
切断面の仕上げ
・標準仕様書7.6.7(1)(a)(b)②による
・

スカラップの形状
・図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4(d)改良型スカラップ）
○ノンスカラップ

⑦ 溶接材料

⑧ ターンバックル

9 床構造用のデッキ
プレート

10 スタッ

⑪ 柱底均しモルタル

⑫ 製作精度

13 溶接技能者の
技量付加試験

⑬ 溶接接合

⑮ 入熱、バス間温度の
管理

⑯ 溶接部の試験

⑰ 錆止め塗装

18 耐火被覆

⑱ 建方精度

⑳ アンカーボルトの
設置等

適用箇所
・図示による（）
○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
・JASS 6 10.4【受入検査】e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、
・突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル） 3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
・抜き取り検査②

JASS 6 付則 6【鉄骨精度検査基準】の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4【受入検査】e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、
完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

完全溶込み部の超音波探傷試験
○工場溶接の場合
AQOL(%)
※4.0
・2.5

部	・全て			
検査水準	※第6水準			

・全数
○工事現場溶接の場合
※全数

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による（）
・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
・図示による（）
・

塗料の種類
下記以外の鉄鋼面は、18章【塗装工事】による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種
・
・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

種類、材料、工法等
種 類
材料・工法
性能（耐火時間）
適用箇所（部位・部分）
・乾式吹付けロックウ
ール
・半乾式吹付けロック
ウール
・湿式ロックウール
・
・
・繊維混入けい酸カル
シウム板
・
・高断熱ロックウール
・
・ラス張りモルタ
ー
・耐火塗料

※JASS6 付則6【鉄骨精度基準】付表5【工事現場】による

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
○図示による（ gS(2)-09図 ）
・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による（）
・

建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの形状及び寸法
○図示による（ gS(2)-09図 ）
・

建方（及び付属鉄骨）の保持及び埋込み工法
種別 ○A種
・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
厚さ ○ 図示による
種別 ※A種
・B種

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）
gS(2) 構造
G02 特記仕様書（その2ー2）
安井建築設計事務所

構造関係共通事項

1 総則

1.1 適用範囲

- 構造関係共通事項は、総則、構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）から構成される。
- 構造関係共通図（配筋標準図）は、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
- 構造関係共通図（鉄骨標準図）は、鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。

1.2 優先順位

- 設計図書の内容のうち配筋方法等に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
- 構造図
- 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図、耐震改修標準図、木造標準図）

1.3 用語の定義

- 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外の図面をいう。
- 異形鉄筋の径（本文、図、表において「d」で示す）は、呼び名に用いた数値とする。
- 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

1.4 記号等

図面で使用する記号等は、表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。

表1.1 異形鉄筋の断面表示記号

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築		●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊙

表1.2 各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
S	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	●	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
DO	土間コンクリート	⊠	スラブ開口
▤	コンクリートブロック壁（C B壁）	⊕	ボーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がり範囲	⊕	FLから上がり下がり
EW○○ EKW○○	耐力壁の種別 片持スラブ形階段を受け、かつ 耐力壁の種別	W○○ KW○○	一般壁の種別 片持スラブ形階段を受け、 かつ一般壁の種別
ERW○○	土圧を受け、かつ耐力壁の種別		

表1.3 梁貫通孔記号

区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建築		⊕	✕	+	⊕	✕	+	✕	+	✕	+	✕	+	✕	+	✕

表1.4 スリーブ材質の凡例

管 名	銅 管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き銅管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表1.5 高力ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T、S10T）		●	◆	✕	✕	✕
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）		┆	+	✕	✕	✕

表1.6 普通ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト		○	φ	φ	✕	✕

表1.7 溶接継手及び溶接面の分類記号

分 類	記 号
完全溶込み溶接	B
溶接面	T
溶接継手	L
隅肉溶接	F
部分溶込み溶接	P
重ねアーク溶接（フレア溶接）	FL
片面溶接	1
両面溶接	2

表1.8 溶接の補助記号

区 分	補助記号
現場溶接	▲
全周溶接	○
全周現場溶接	⊙
断続溶接の長さ及び間隔	L - P

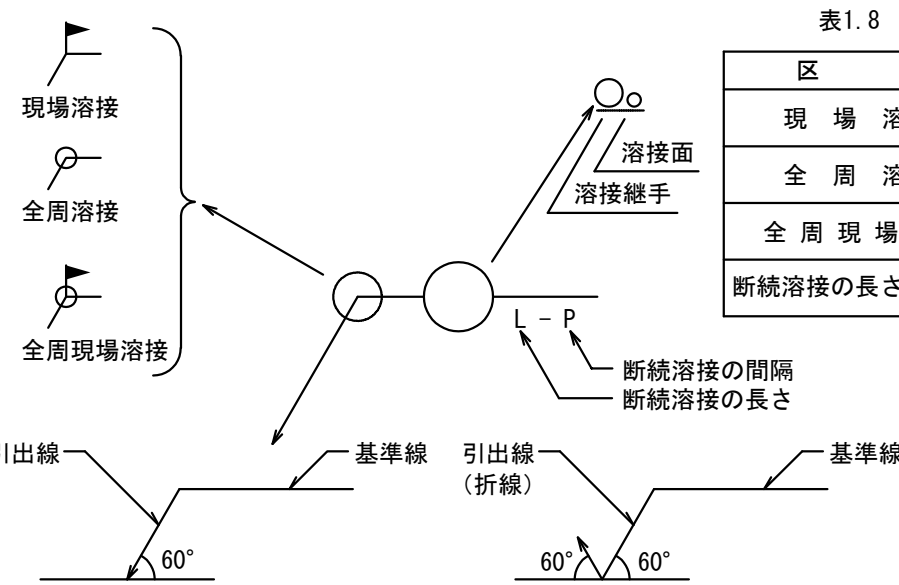


図1.1 溶接記号の記載例

構造関係共通図（配筋標準図）

1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角 度	折曲げ図（余長）	鉄筋の種類	折曲げ内法直径 (D)		
			呼び名	D16 以下	D19 ~ D38
180°					
135°					
90°					
135°及び90° （幅止め筋）					

- 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

- 柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

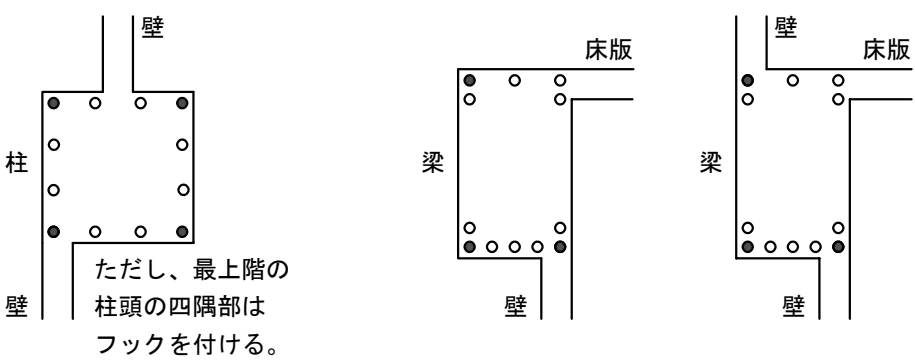


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（●印）

- 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
- 杭基礎のベース筋
- 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 継手及び定着

- 鉄筋の重ね継手

- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- 柱及び梁主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- L_1, L_{1h} : 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
- フックありの場合の L_{1h} は、図3.1に示すようにフック部分 Q を含まない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

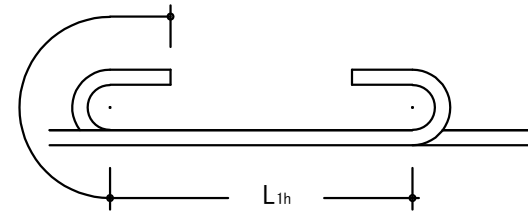


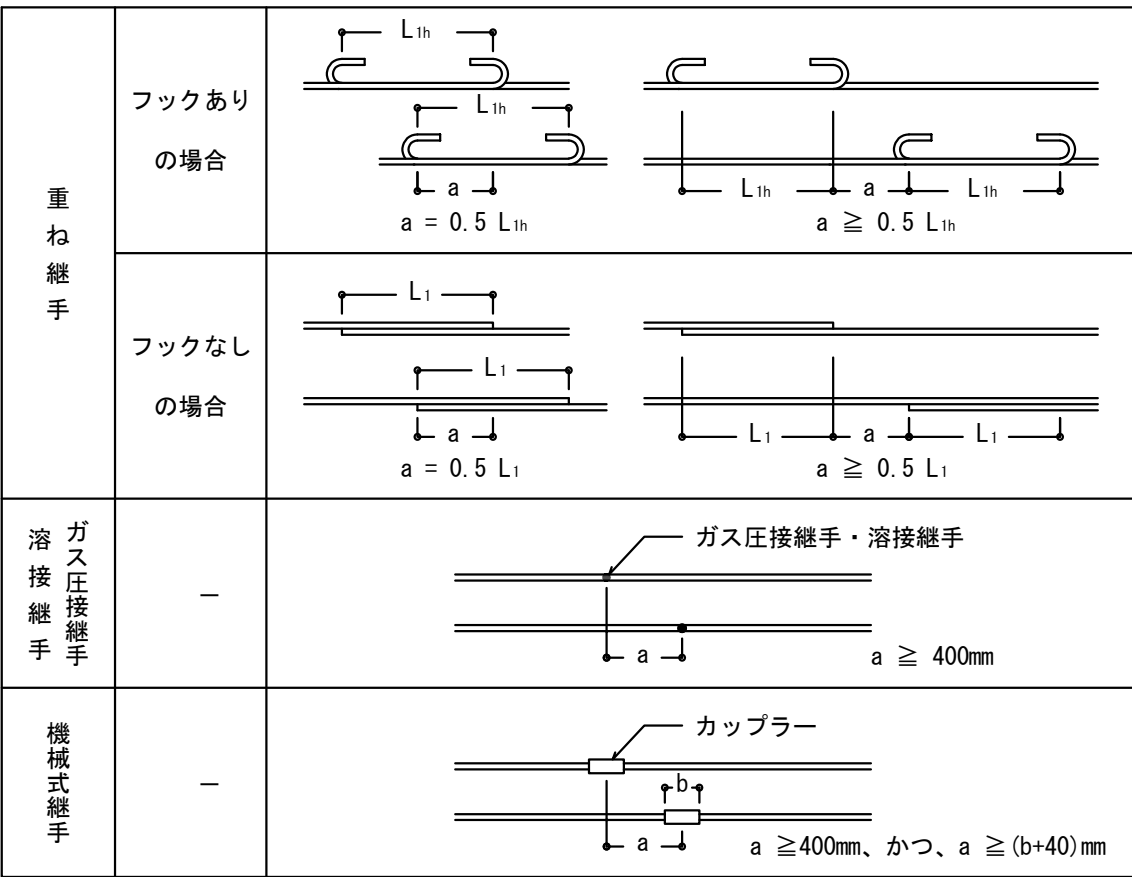
図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

- 隣り合う継手の位置は、表3.2による。

ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置



2) 鉄筋の定着

- 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 Fc (N/mm ²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L ₁		L ₂	L ₃		L _{3h}		
		小梁	スラブ		L _{1h}	L _{2h}	小梁	スラブ	
SD295	18	45d	40d	20d	10d	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d		かつ	30d	25d		
	24, 27	35d	30d		150mm	25d	20d		
	30, 33, 36	35d	30d		以上	25d	20d		
SD345	18	50d	40d	(片持 小梁の 場合 25d)	35d	30d	30d	10d	—
	21	45d	35d		(片持 スラブの 場合	30d	25d		
	24, 27	40d	35d		25d	25d	20d		
	30, 33, 36	35d	30d		25d	30d	25d		
SD390	21	50d	40d	25d)	場合	35d	30d	10d	—
	24, 27	45d	40d		25d	35d	30d		
	30, 33, 36	40d	35d		30d	30d	25d		

- L_1, L_{1h} : 2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
- L_2, L_{2h} : 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
- L_3 : 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
- L_{3h} : 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
- フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 Q を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

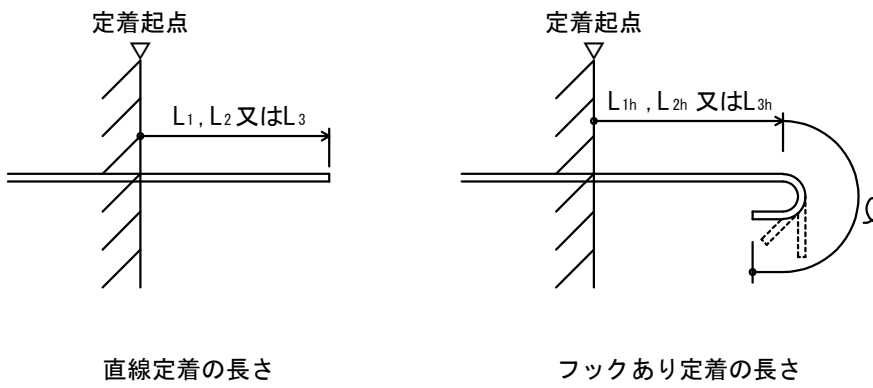


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

- 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(a)、(b)及び(c)をすべて満足するものとする。
- (a) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
- (b) 余長は8d以上
- (c) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さ L_a 及び L_b は、表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せいの3/4倍以上とする。

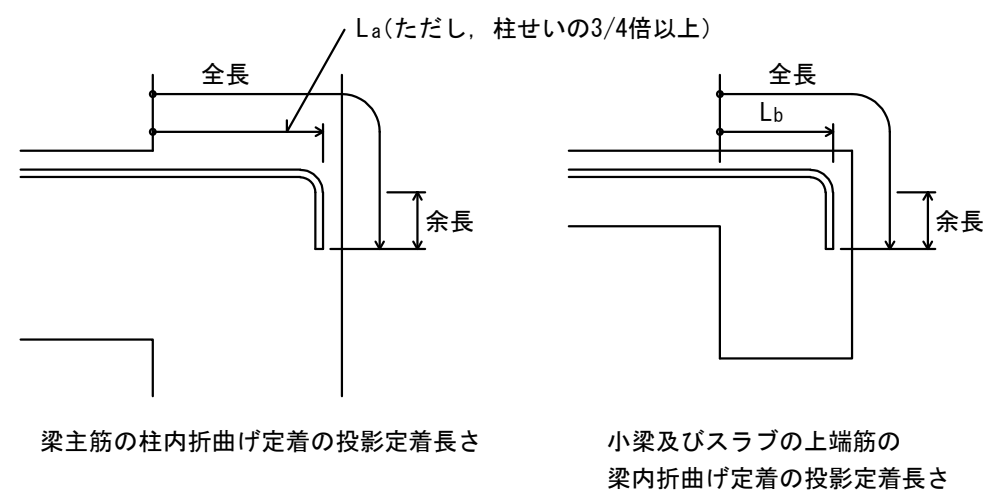


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の 種 類	コンクリートの 設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L _a	L _b
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
	30, 33, 36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

- L_a : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。）
- L_b : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。）
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。

なお、 L_1 は表3.1に、 L_2 及び L_{2h} は表3.3による。

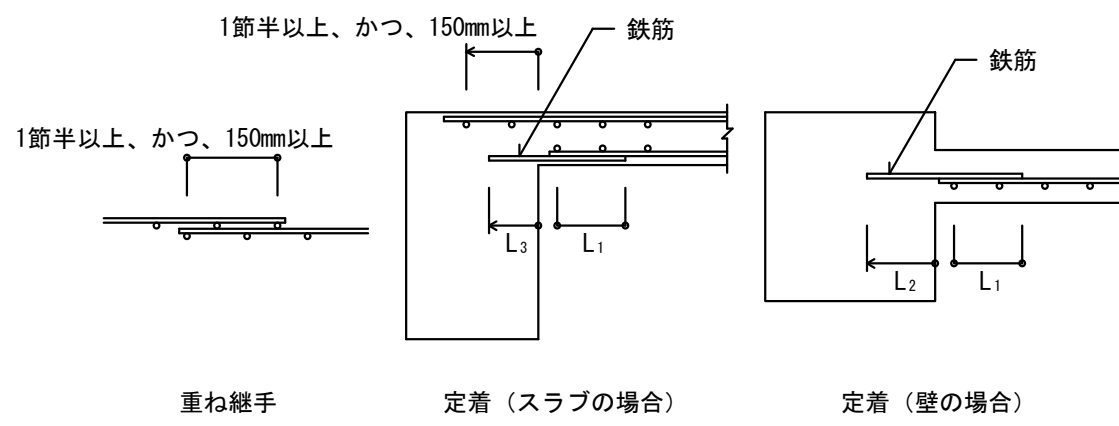


図3.4 溶接金網の継手及び定着

- スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

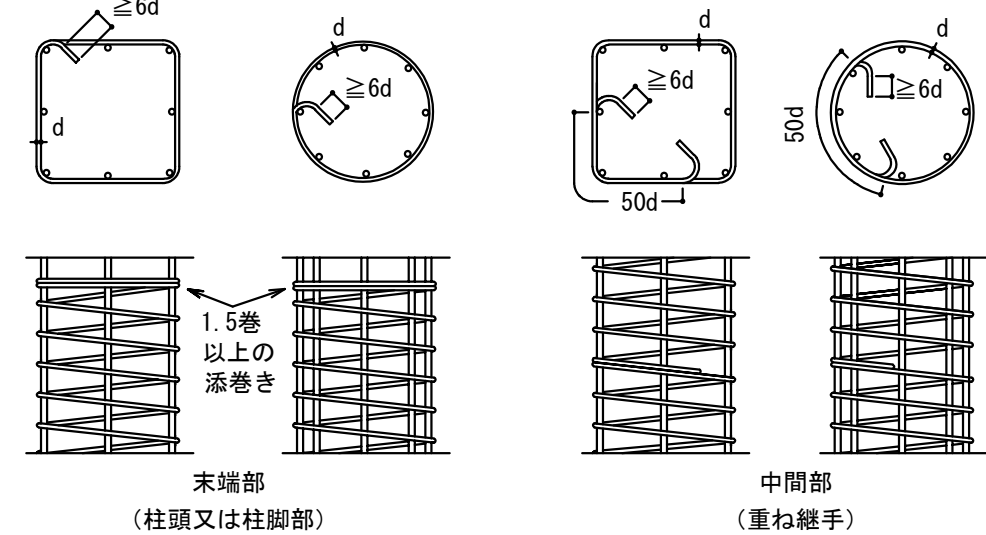


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
- 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種類			最小かぶり厚さ (mm)	
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20	
		仕上げなし	30	
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁、耐圧スラブ		40	
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁		40	
	基礎、擁壁、耐圧スラブ		60	
	煙突等高熱を受ける部分		60	

- この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
- また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
- 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
- スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含めない。
- 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

- 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
- 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- 25mm
- 隣り合う鉄筋の径（呼び名の数値）の平均の1.5倍

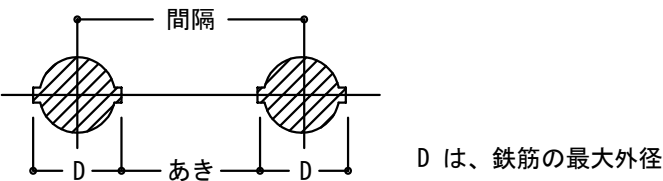


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

- 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(4)による。
- 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

- 一般事項
- 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(2)(c)による。

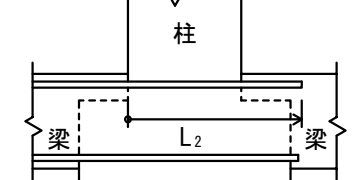
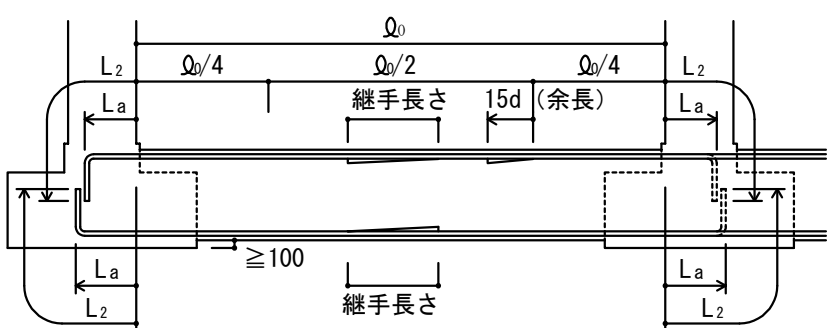


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



- 図示のない事項は、7.1による。
- 印は、継手及び余長位置を示す。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

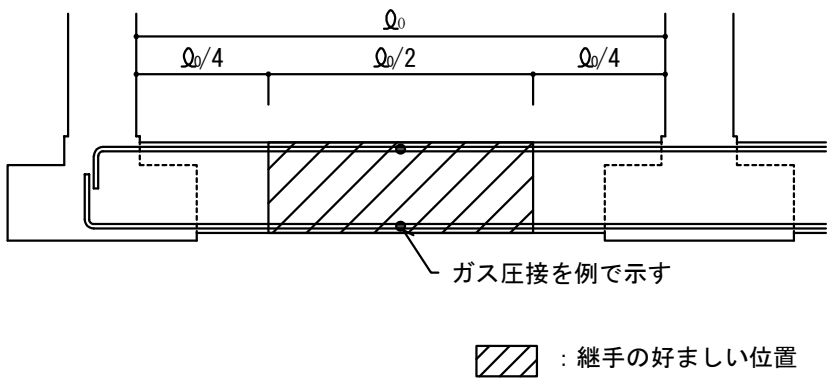
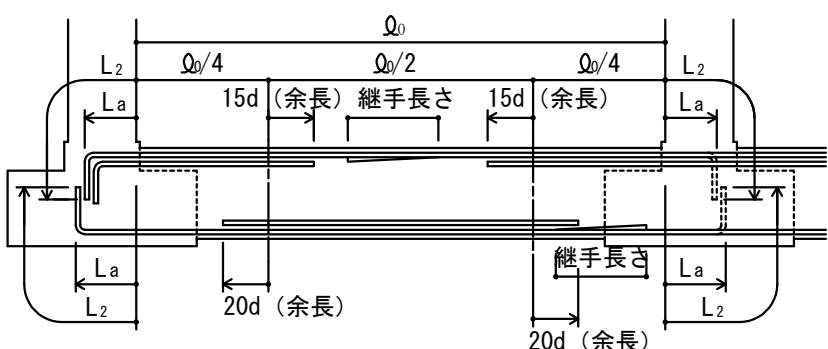


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その1）

- 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、耐力スラブが付く場合は、(4)による。



- 図示のない事項は、7.1による。
- 印は、継手及び余長位置を示す。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

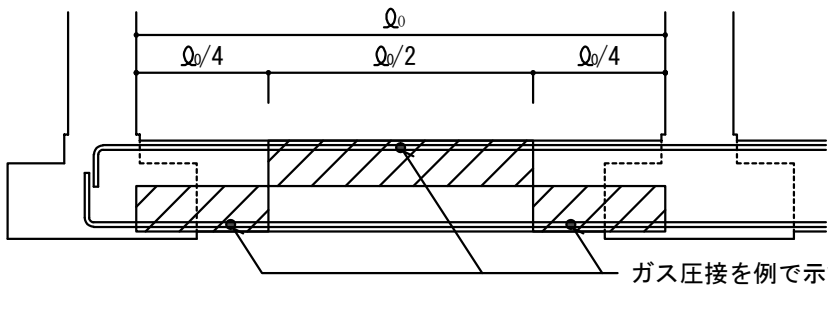
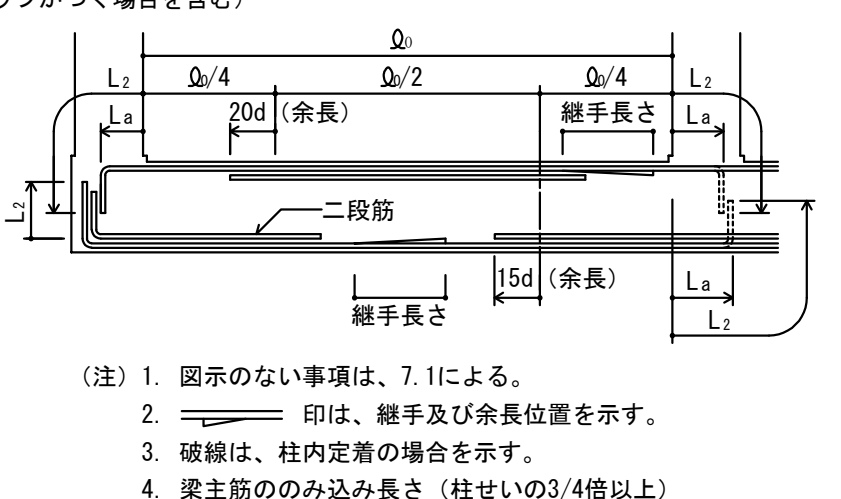
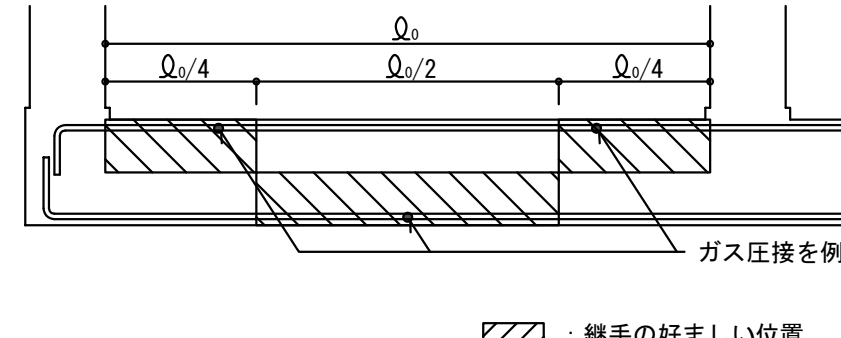
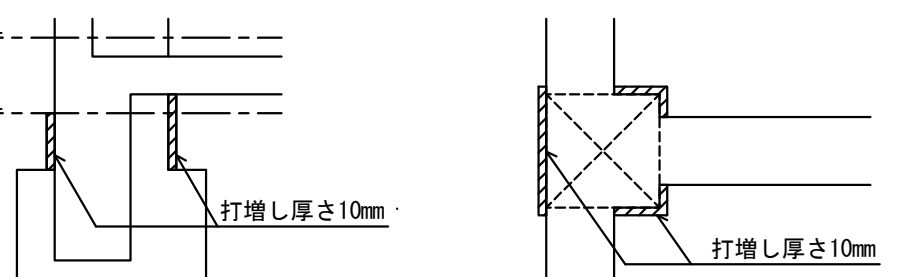
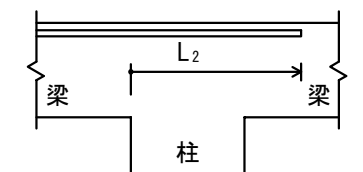
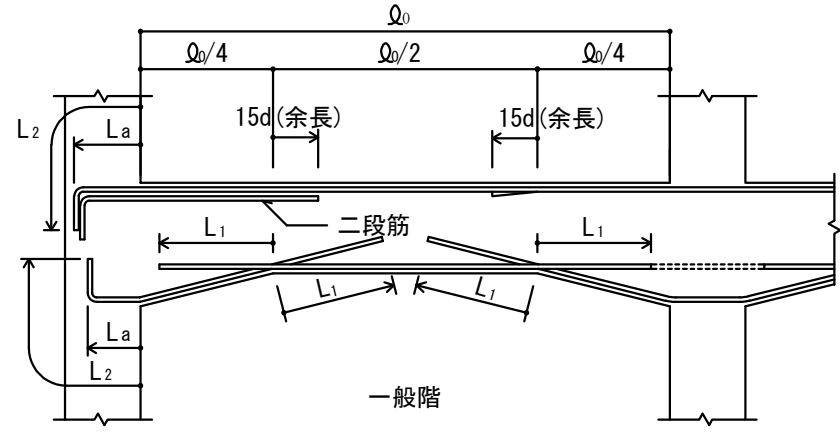
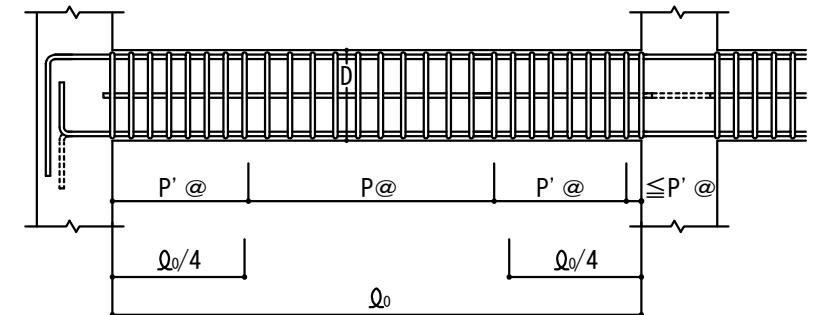
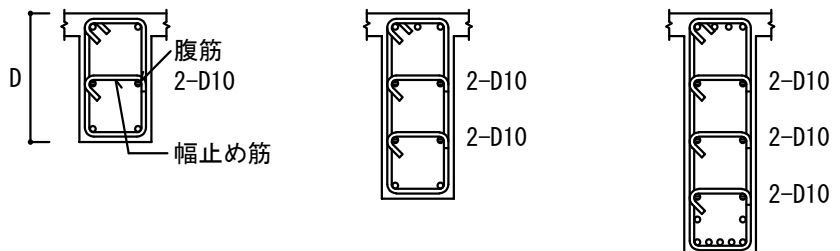
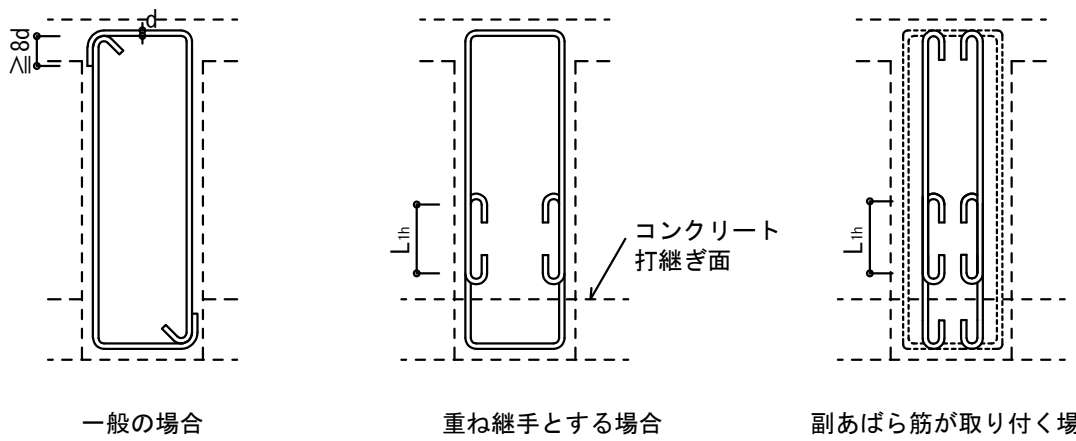
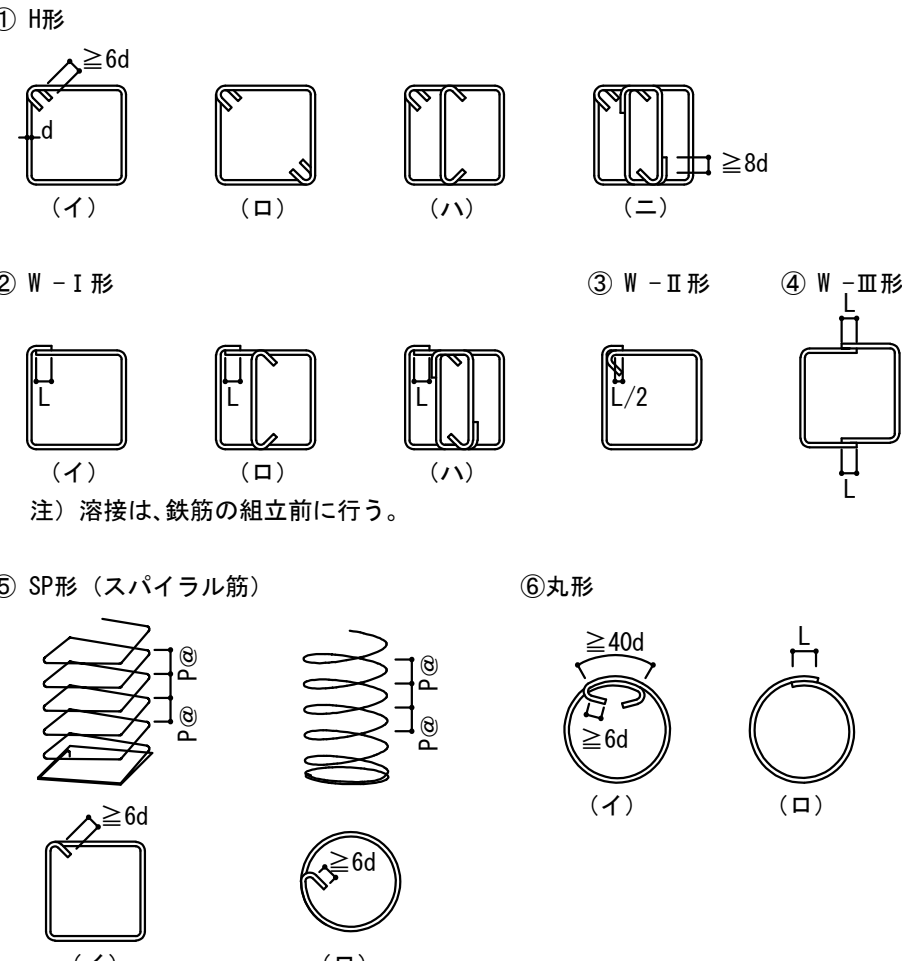
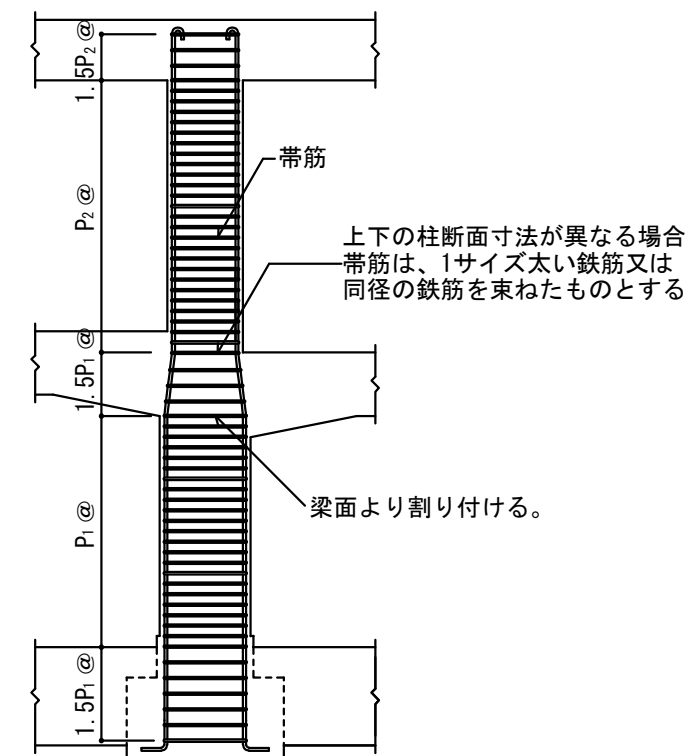
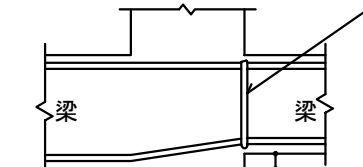
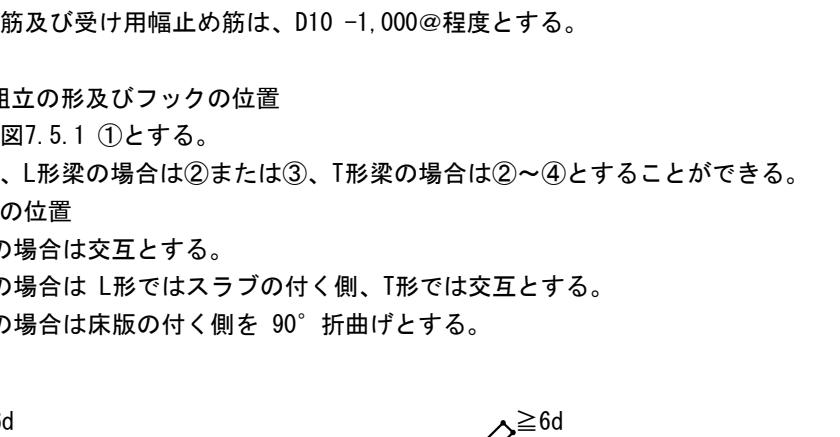
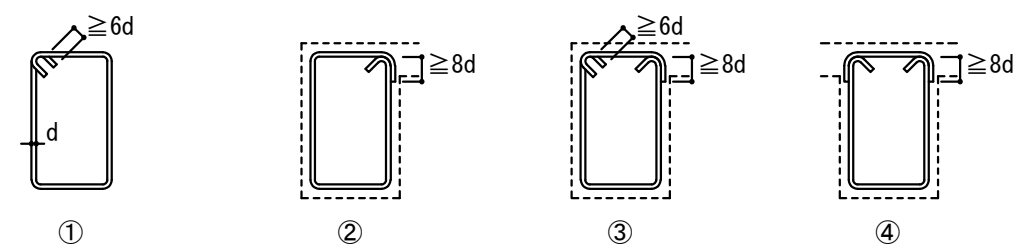
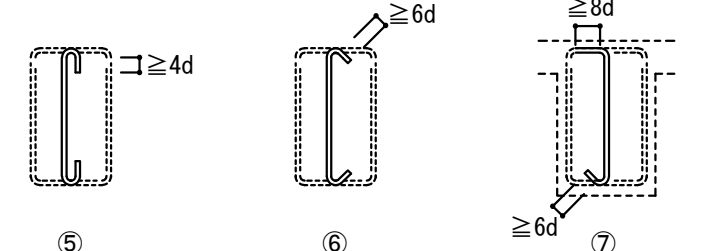
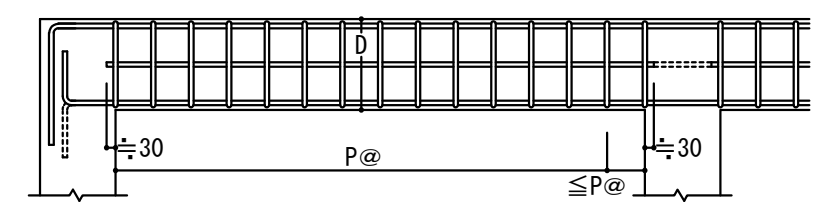
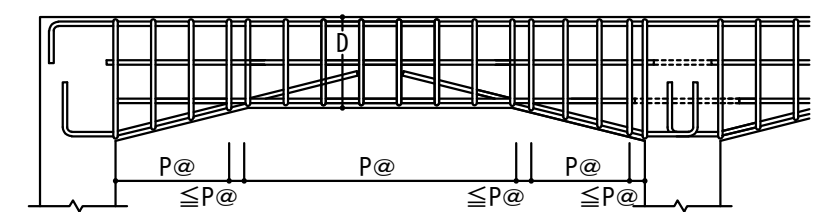
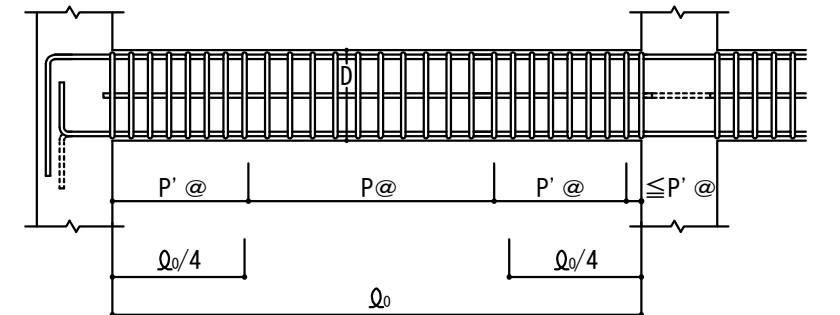
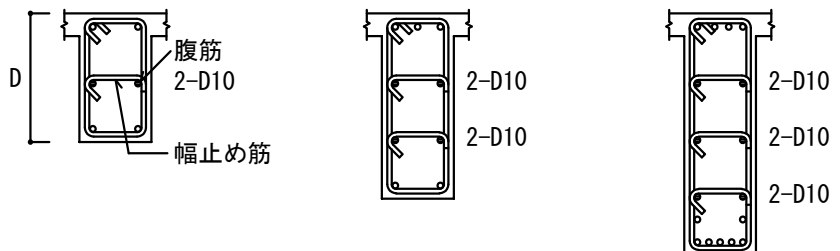
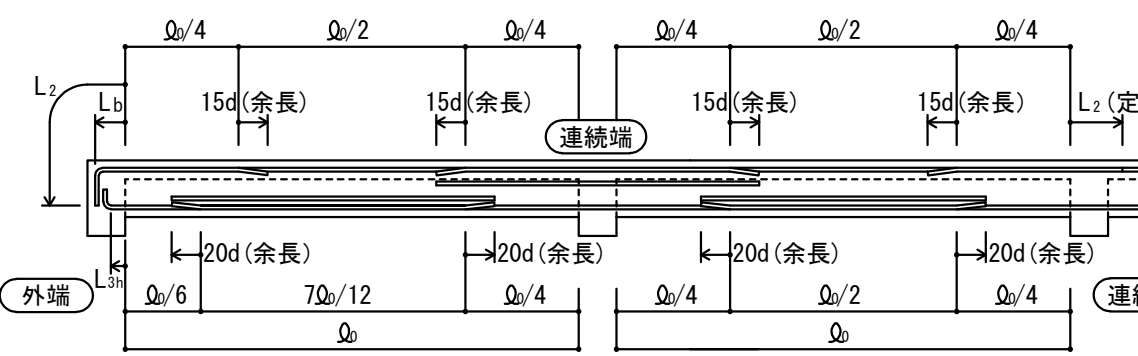
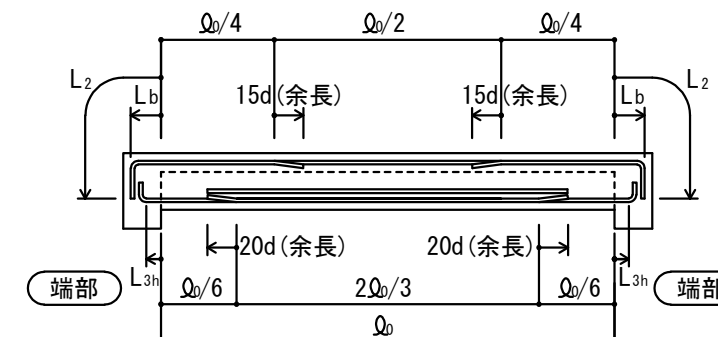
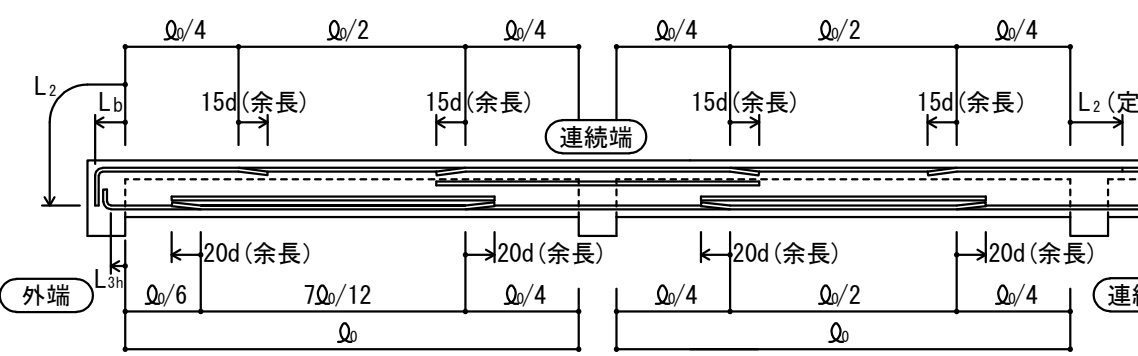
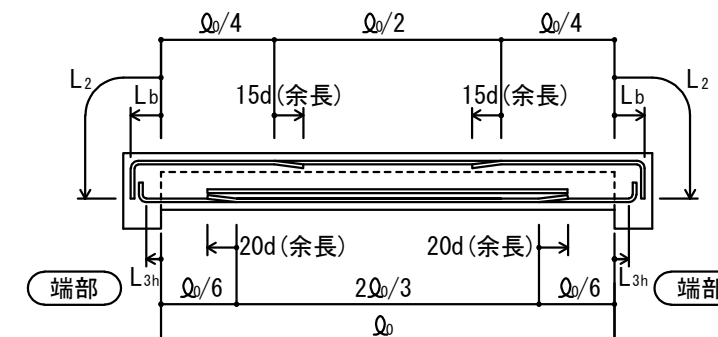
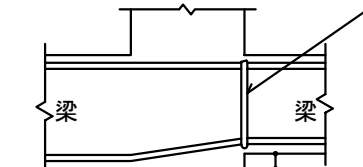
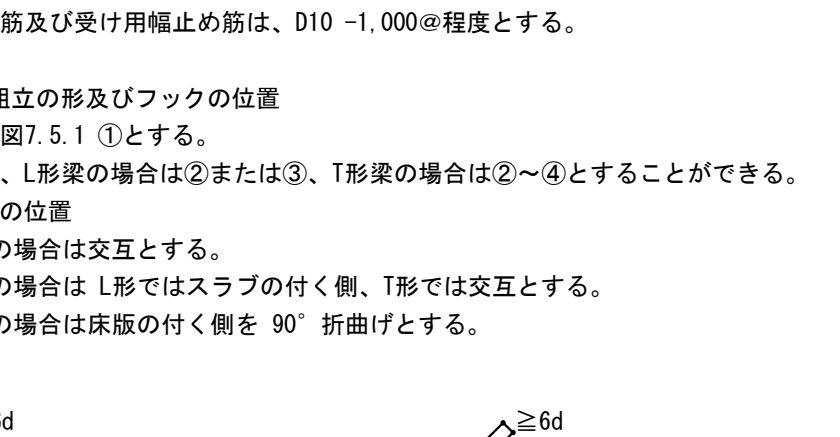
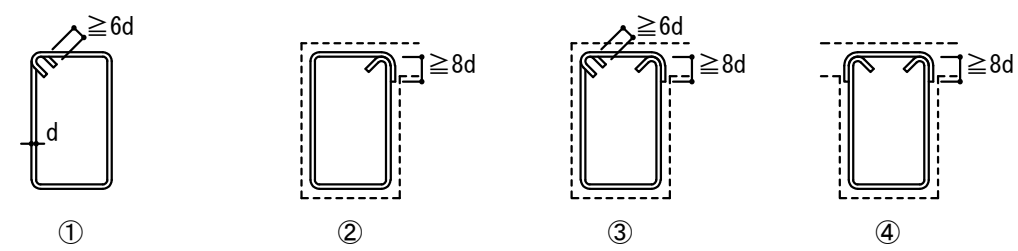
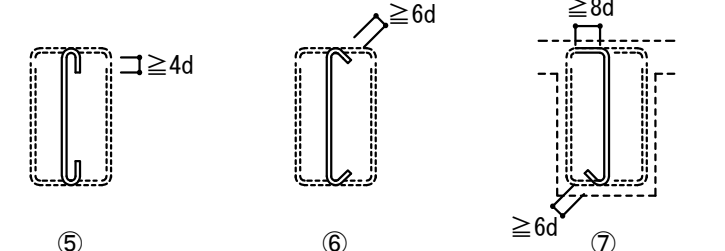
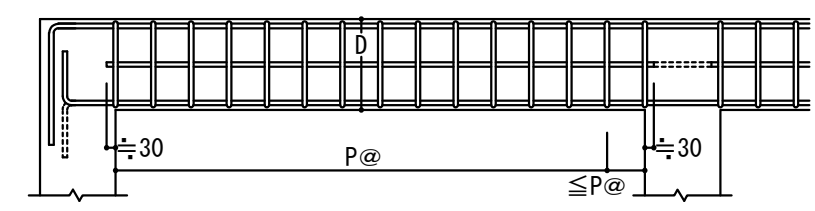
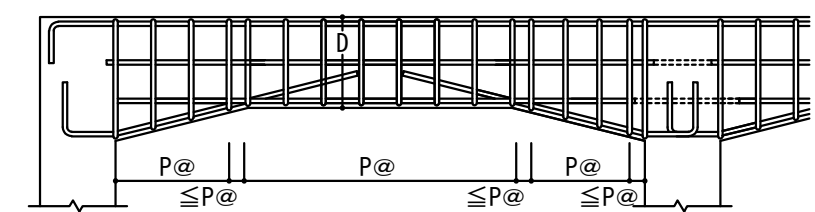
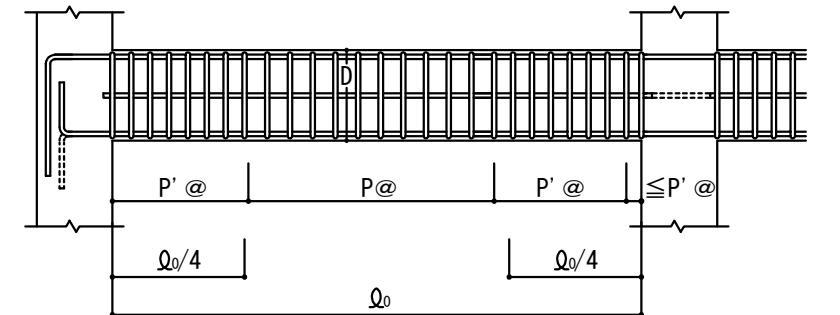
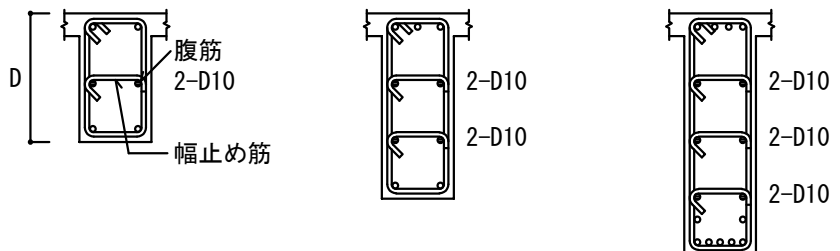
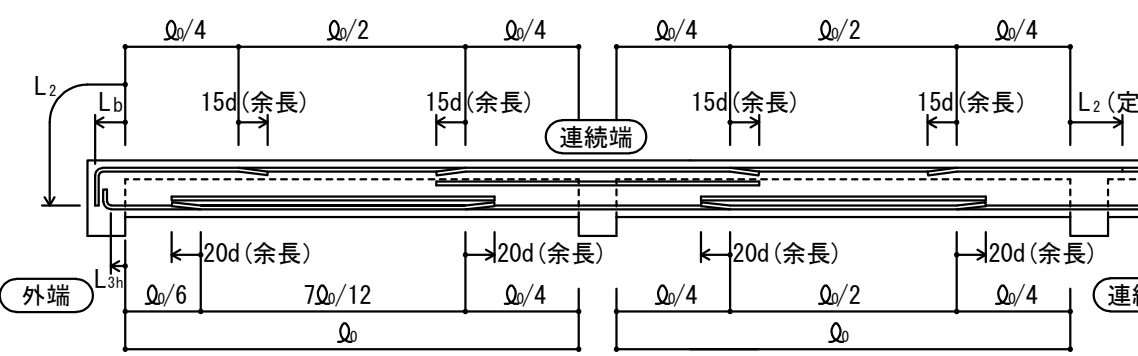
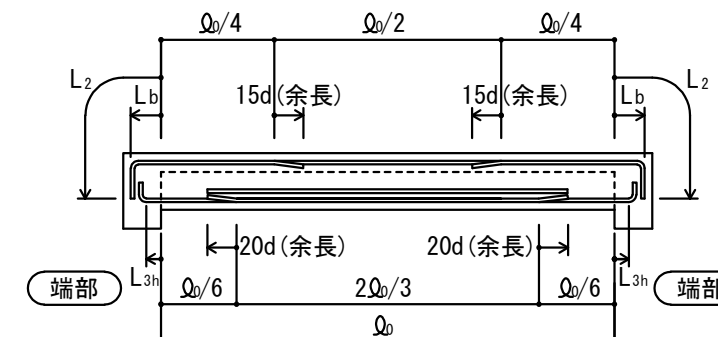
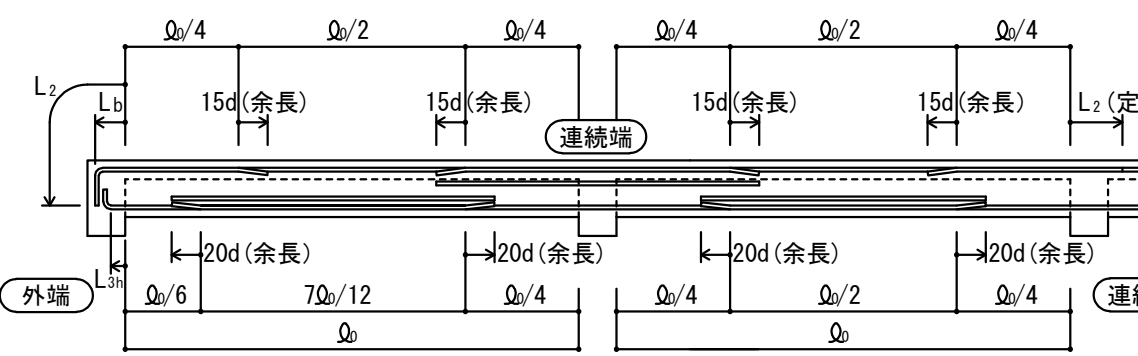
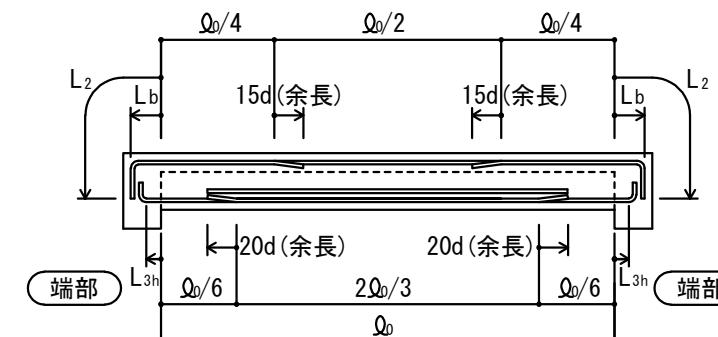
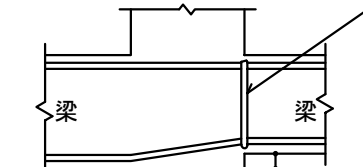
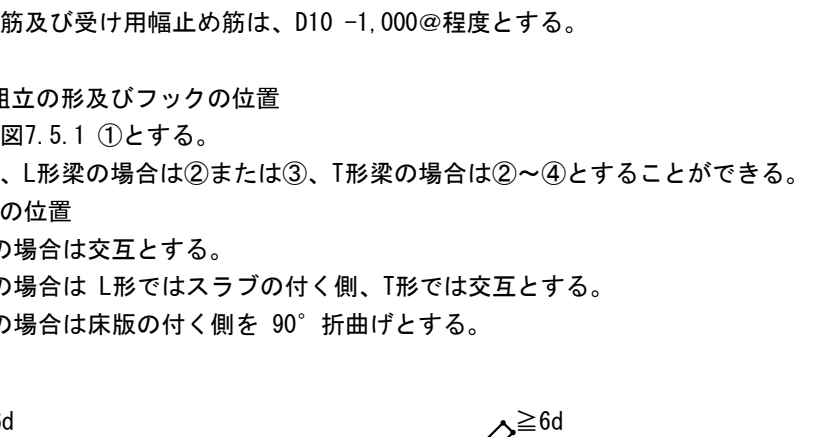
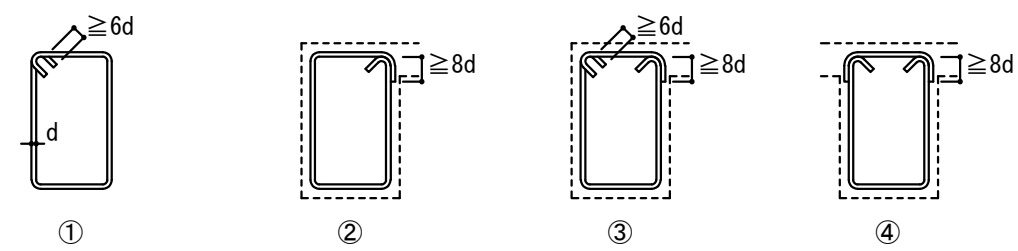
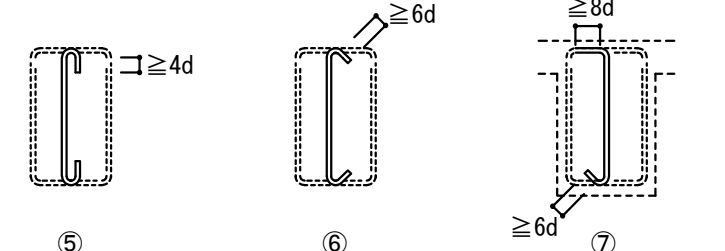
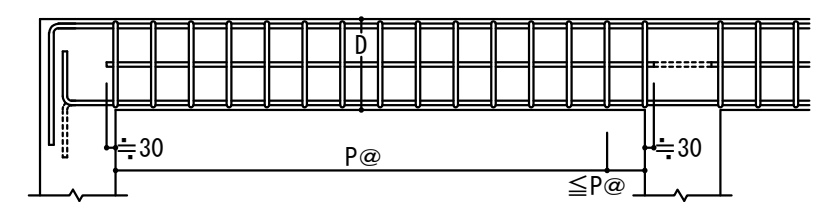
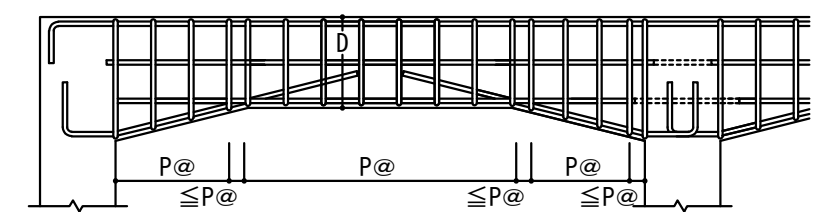
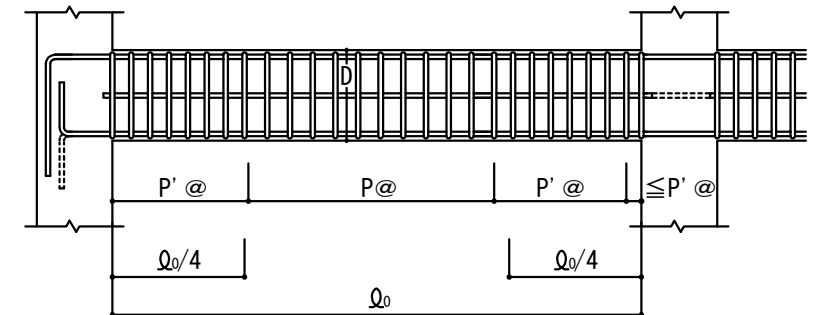
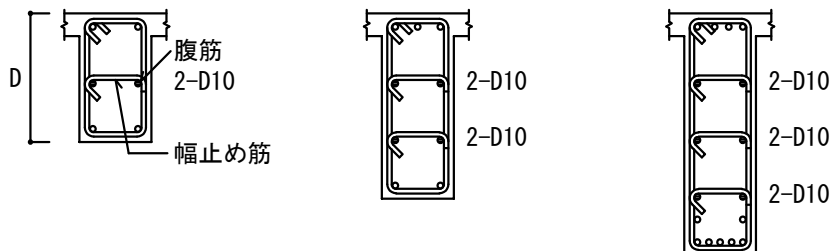
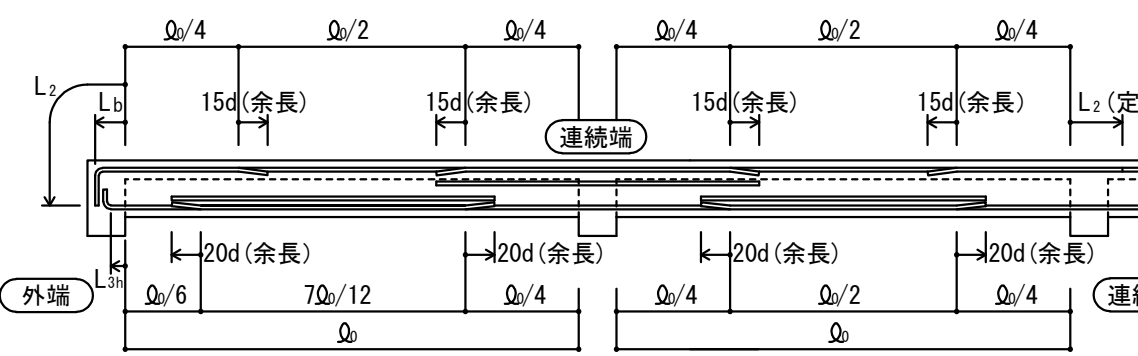
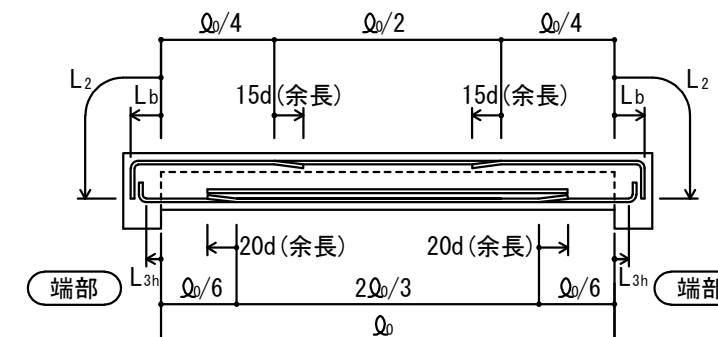
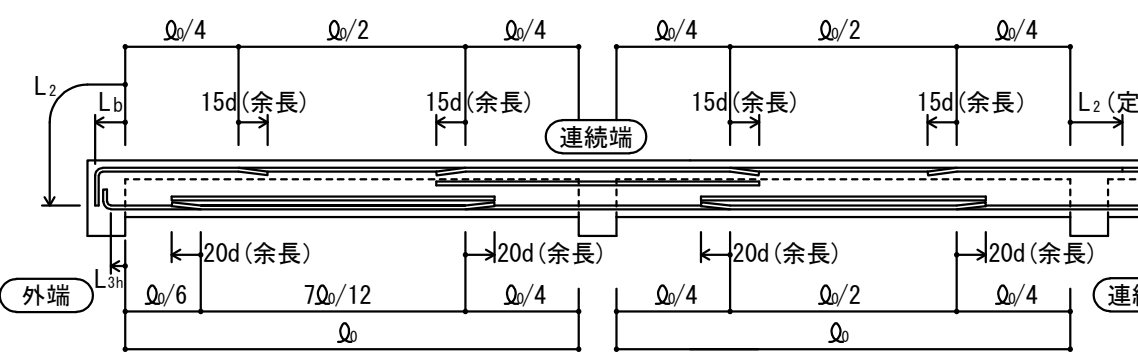
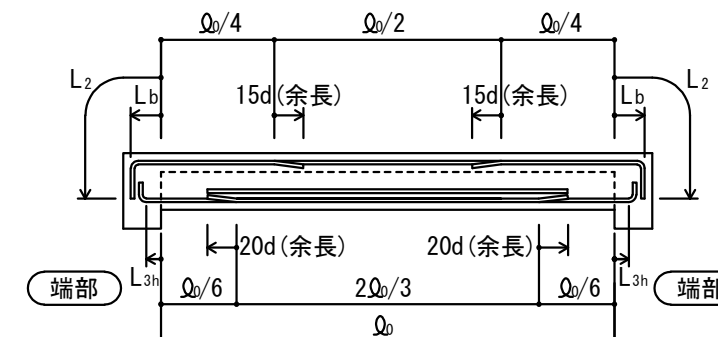
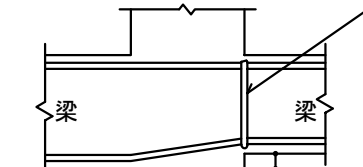
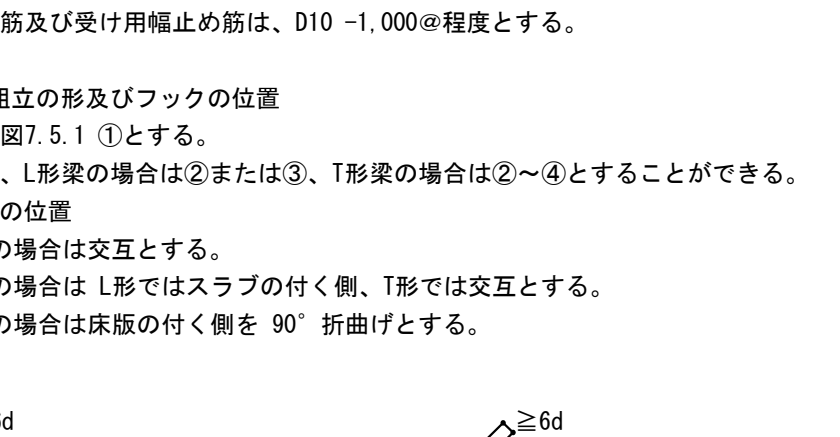
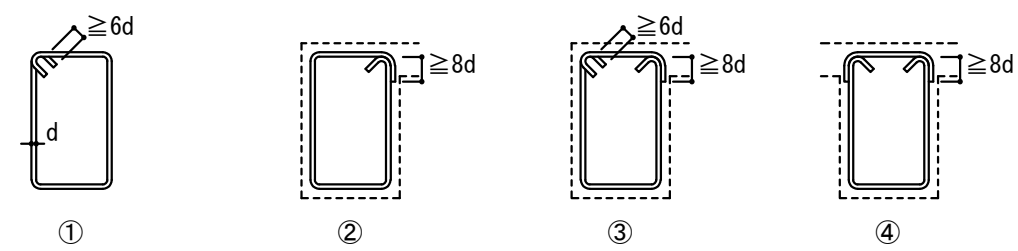
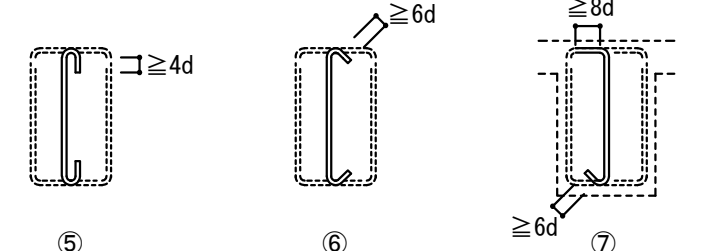
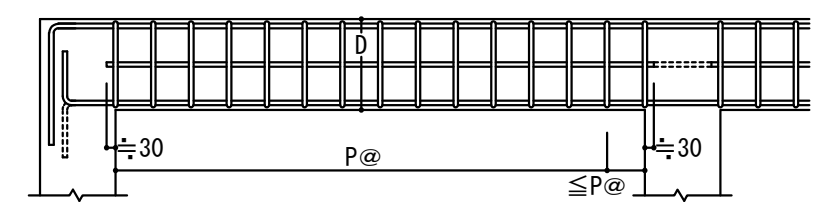
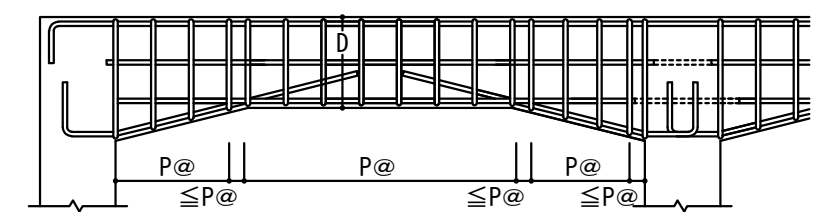


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その2）

(4) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。 (耐圧スラブがつく場合を含む)  (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。 2. 印は、継手及び余長位置を示す。 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）  図5.4 主筋の継手、定着及び余長（その3）	(2) 柱打増し部 (7) 打増し部分に、壁、梁及びスラブ等がつりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。 (4) 土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。  図6.2 柱打増し部	7.1 大梁 (1) 一般事項 (7) 梁の上がり下がりには FL を基準とした寸法値とする。 (4) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は特記による。 (9) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。 (2) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (7) 継手中心位置は、次による。 上端筋：中央 $\bar{Q}_0/2$ 以内 下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、$\bar{Q}_0/4$ を加えた範囲以内 (4) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。 (9) 梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。  図7.1 梁主筋の梁内定着	 一般階 (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。 2. 印は、継手及び余長を示す。 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、===== のように引き通すことができる。 4. 破線は、柱内定着を示す。 5. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上） 図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長	(9) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。  (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@、P' @は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.8 あばら筋の割付け（その3）	(5) 腹筋及び幅止め筋 一般の梁は、図7.9による。  600 ≤ D < 900 900 ≤ D < 1,200 1,200 ≤ D < 1,500 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。 2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。 図7.9 腹筋および幅止め筋		
5.2 基礎梁のあばら筋等 (1) 一般事項 (7) あばら筋の径および間隔は、構造図による。 (4) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2 (2) による。 また、副あばら筋組立の形及びフックの位置は7.2 (3) による。 ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。  図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置 (2) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。 (3) あばら筋の割付けは、7.2 (4) による。	6.2 帯筋 (1) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。 (2) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。 (7) H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I 形とする。 (4) 溶接する場合の溶接長さ L は、両面重ねアーク溶接の場合は 5d 以上、片面重ねアーク溶接の場合は 10d 以上とする。 (9) SP形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。  図6.3 帯筋組立の形 (注) 溶接は、鉄筋の組立前に行う。 (3) フック及び継手の位置は交互とする。 (4) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。  図6.4 帯筋の割付け (注) 1. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1 @または1.5P2 @とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。 2. 図中のP1 @、P2 @は、特記された帯筋の間隔を示す。	7.1 大梁 (1) 一般事項 (7) 梁の上がり下がりには FL を基準とした寸法値とする。 (4) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は特記による。 (9) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。 (2) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (7) 継手中心位置は、次による。 上端筋：中央 $\bar{Q}_0/2$ 以内 下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、$\bar{Q}_0/4$ を加えた範囲以内 (4) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。 (9) 梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。  図7.1 梁主筋の梁内定着	 一般階 (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。 2. 印は、継手及び余長を示す。 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、===== のように引き通すことができる。 4. 破線は、柱内定着を示す。 5. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上） 図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長	7.2 あばら筋等 (1) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項 (7) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。 (4) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。 (9) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10 -1,000@程度とする。 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置 (7) 形は、図7.5.1 ①とする。 ただし、L形梁の場合は②または③、T形梁の場合は②～④とすることができる。 (4) フックの位置 (a) ①の場合は交互とする。 (b) ②の場合は L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。 (c) ③の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。  図7.5.1 あばら筋組立の形 (3) 副あばら筋組立の形及びフックの位置 形は、図7.5.2 ⑤または⑥とする。 ただし、L形梁またはT形梁の場合は⑦とすることができる。  図7.5.2 副あばら筋組立の形 (4) あばら筋の割付け (7) 間隔が一樣でハンチのない場合は、図7.6による。  図7.6 あばら筋の割付け（その1） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 (4) 間隔が一樣でハンチのある場合は、図7.7による。  図7.7 あばら筋の割付け（その2） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.7 あばら筋の割付け（その2）	(9) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。  (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@、P' @は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.8 あばら筋の割付け（その3）	(5) 腹筋及び幅止め筋 一般の梁は、図7.9による。  600 ≤ D < 900 900 ≤ D < 1,200 1,200 ≤ D < 1,500 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。 2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。 図7.9 腹筋および幅止め筋	
	7.3 小梁 (1) 小梁主筋の継手、定着及び余長 連続小梁の場合は、図7.10による。  図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (2) 単独小梁の場合は、図7.11による。  図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (3) あばら筋は、7.2による。	7.3 小梁 (1) 小梁主筋の継手、定着及び余長 連続小梁の場合は、図7.10による。  図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (2) 単独小梁の場合は、図7.11による。  図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (3) あばら筋は、7.2による。	7.1 大梁 (1) 一般事項 (7) 梁の上がり下がりには FL を基準とした寸法値とする。 (4) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は特記による。 (9) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。 (2) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (7) 継手中心位置は、次による。 上端筋：中央 $\bar{Q}_0/2$ 以内 下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、$\bar{Q}_0/4$ を加えた範囲以内 (4) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。 (9) 梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。  図7.1 梁主筋の梁内定着	 一般階 (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。 2. 印は、継手及び余長を示す。 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、===== のように引き通すことができる。 4. 破線は、柱内定着を示す。 5. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上） 図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長	7.2 あばら筋等 (1) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項 (7) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。 (4) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。 (9) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10 -1,000@程度とする。 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置 (7) 形は、図7.5.1 ①とする。 ただし、L形梁の場合は②または③、T形梁の場合は②～④とすることができる。 (4) フックの位置 (a) ①の場合は交互とする。 (b) ②の場合は L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。 (c) ③の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。  図7.5.1 あばら筋組立の形 (3) 副あばら筋組立の形及びフックの位置 形は、図7.5.2 ⑤または⑥とする。 ただし、L形梁またはT形梁の場合は⑦とすることができる。  図7.5.2 副あばら筋組立の形 (4) あばら筋の割付け (7) 間隔が一樣でハンチのない場合は、図7.6による。  図7.6 あばら筋の割付け（その1） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 (4) 間隔が一樣でハンチのある場合は、図7.7による。  図7.7 あばら筋の割付け（その2） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.7 あばら筋の割付け（その2）	(9) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。  (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@、P' @は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.8 あばら筋の割付け（その3）	(5) 腹筋及び幅止め筋 一般の梁は、図7.9による。  600 ≤ D < 900 900 ≤ D < 1,200 1,200 ≤ D < 1,500 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。 2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。 図7.9 腹筋および幅止め筋
	7.3 小梁 (1) 小梁主筋の継手、定着及び余長 連続小梁の場合は、図7.10による。  図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (2) 単独小梁の場合は、図7.11による。  図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (3) あばら筋は、7.2による。	7.3 小梁 (1) 小梁主筋の継手、定着及び余長 連続小梁の場合は、図7.10による。  図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (2) 単独小梁の場合は、図7.11による。  図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (3) あばら筋は、7.2による。	7.1 大梁 (1) 一般事項 (7) 梁の上がり下がりには FL を基準とした寸法値とする。 (4) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は特記による。 (9) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。 (2) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (7) 継手中心位置は、次による。 上端筋：中央 $\bar{Q}_0/2$ 以内 下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、$\bar{Q}_0/4$ を加えた範囲以内 (4) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。 (9) 梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。  図7.1 梁主筋の梁内定着	 一般階 (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。 2. 印は、継手及び余長を示す。 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、===== のように引き通すことができる。 4. 破線は、柱内定着を示す。 5. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上） 図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長	7.2 あばら筋等 (1) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項 (7) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。 (4) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。 (9) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10 -1,000@程度とする。 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置 (7) 形は、図7.5.1 ①とする。 ただし、L形梁の場合は②または③、T形梁の場合は②～④とすることができる。 (4) フックの位置 (a) ①の場合は交互とする。 (b) ②の場合は L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。 (c) ③の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。  図7.5.1 あばら筋組立の形 (3) 副あばら筋組立の形及びフックの位置 形は、図7.5.2 ⑤または⑥とする。 ただし、L形梁またはT形梁の場合は⑦とすることができる。  図7.5.2 副あばら筋組立の形 (4) あばら筋の割付け (7) 間隔が一樣でハンチのない場合は、図7.6による。  図7.6 あばら筋の割付け（その1） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 (4) 間隔が一樣でハンチのある場合は、図7.7による。  図7.7 あばら筋の割付け（その2） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.7 あばら筋の割付け（その2）	(9) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。  (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@、P' @は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.8 あばら筋の割付け（その3）	(5) 腹筋及び幅止め筋 一般の梁は、図7.9による。  600 ≤ D < 900 900 ≤ D < 1,200 1,200 ≤ D < 1,500 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。 2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。 図7.9 腹筋および幅止め筋
	7.3 小梁 (1) 小梁主筋の継手、定着及び余長 連続小梁の場合は、図7.10による。  図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (2) 単独小梁の場合は、図7.11による。  図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (3) あばら筋は、7.2による。	7.3 小梁 (1) 小梁主筋の継手、定着及び余長 連続小梁の場合は、図7.10による。  図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (2) 単独小梁の場合は、図7.11による。  図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2） (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。 2. 印は、余長位置を示す。 (3) あばら筋は、7.2による。	7.1 大梁 (1) 一般事項 (7) 梁の上がり下がりには FL を基準とした寸法値とする。 (4) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は特記による。 (9) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。 (2) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項 (7) 継手中心位置は、次による。 上端筋：中央 $\bar{Q}_0/2$ 以内 下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、$\bar{Q}_0/4$ を加えた範囲以内 (4) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。 (9) 梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。  図7.1 梁主筋の梁内定着	 一般階 (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。 2. 印は、継手及び余長を示す。 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、===== のように引き通すことができる。 4. 破線は、柱内定着を示す。 5. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上） 図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長	7.2 あばら筋等 (1) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項 (7) あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。 (4) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。 (9) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10 -1,000@程度とする。 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置 (7) 形は、図7.5.1 ①とする。 ただし、L形梁の場合は②または③、T形梁の場合は②～④とすることができる。 (4) フックの位置 (a) ①の場合は交互とする。 (b) ②の場合は L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。 (c) ③の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。  図7.5.1 あばら筋組立の形 (3) 副あばら筋組立の形及びフックの位置 形は、図7.5.2 ⑤または⑥とする。 ただし、L形梁またはT形梁の場合は⑦とすることができる。  図7.5.2 副あばら筋組立の形 (4) あばら筋の割付け (7) 間隔が一樣でハンチのない場合は、図7.6による。  図7.6 あばら筋の割付け（その1） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 (4) 間隔が一樣でハンチのある場合は、図7.7による。  図7.7 あばら筋の割付け（その2） (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。 図7.7 あばら筋の割付け（その2）	(9) 梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。	

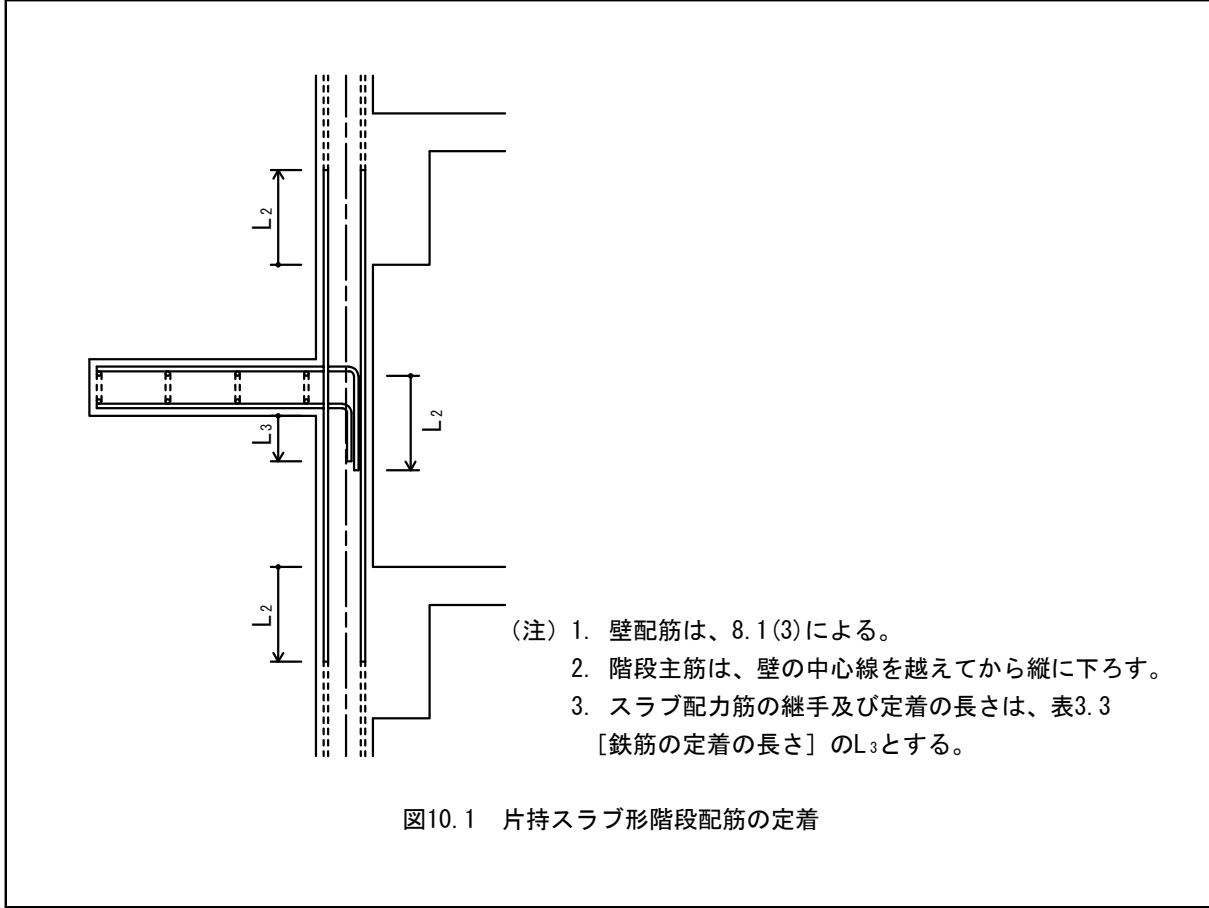


図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は構造図による。二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.2 二辺固定スラブ形配筋	
配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13, D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@

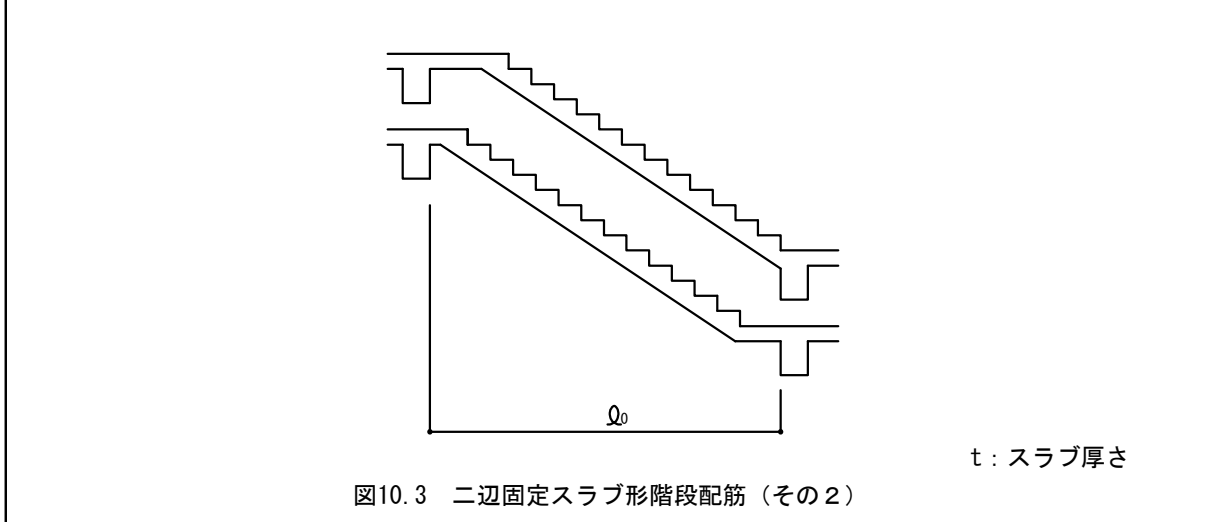
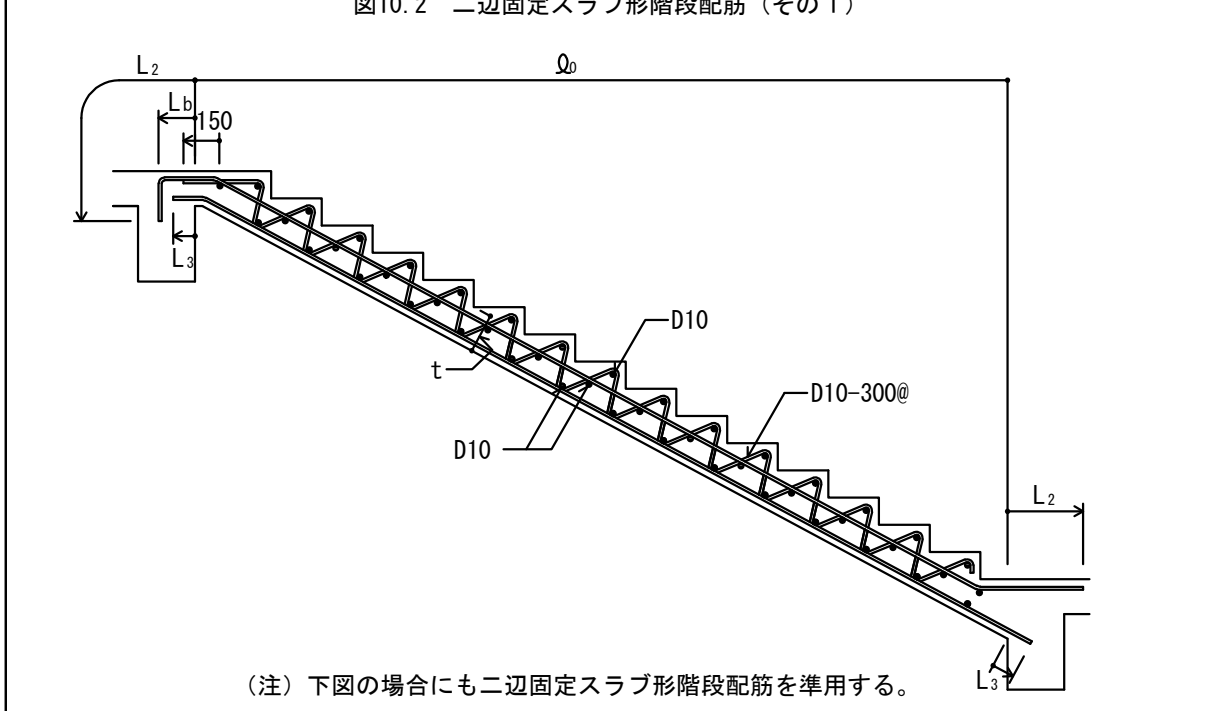
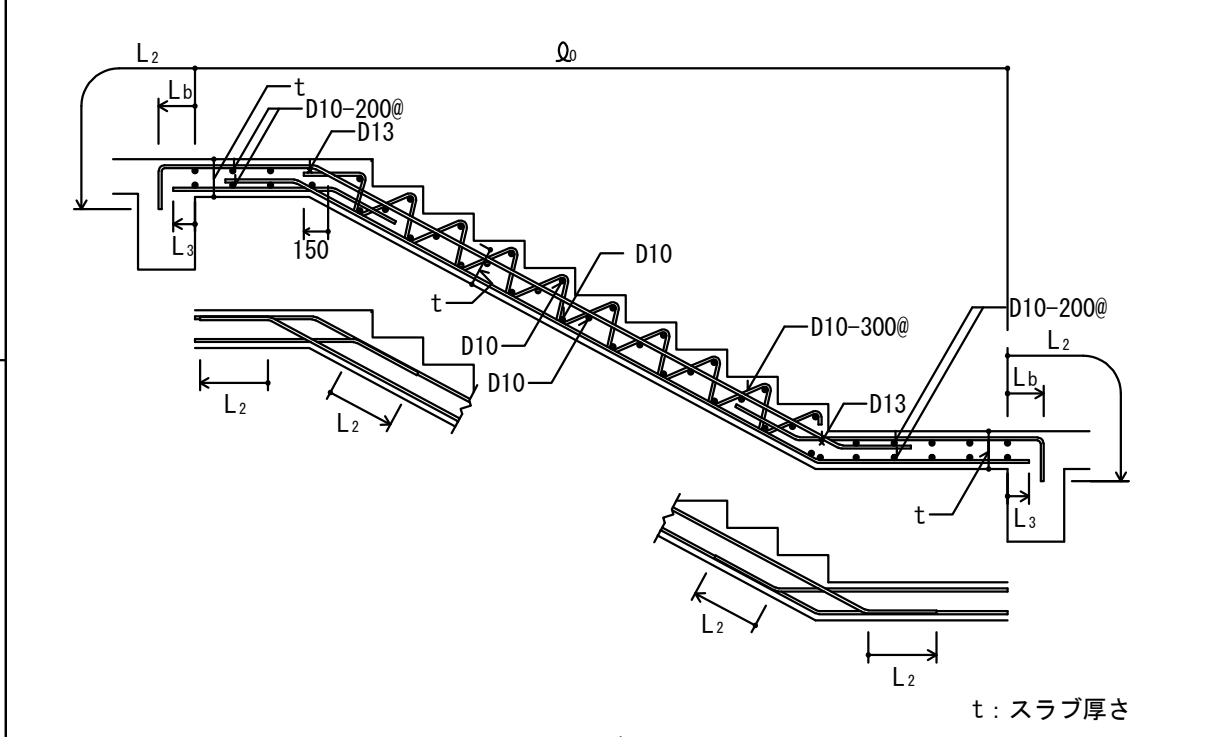
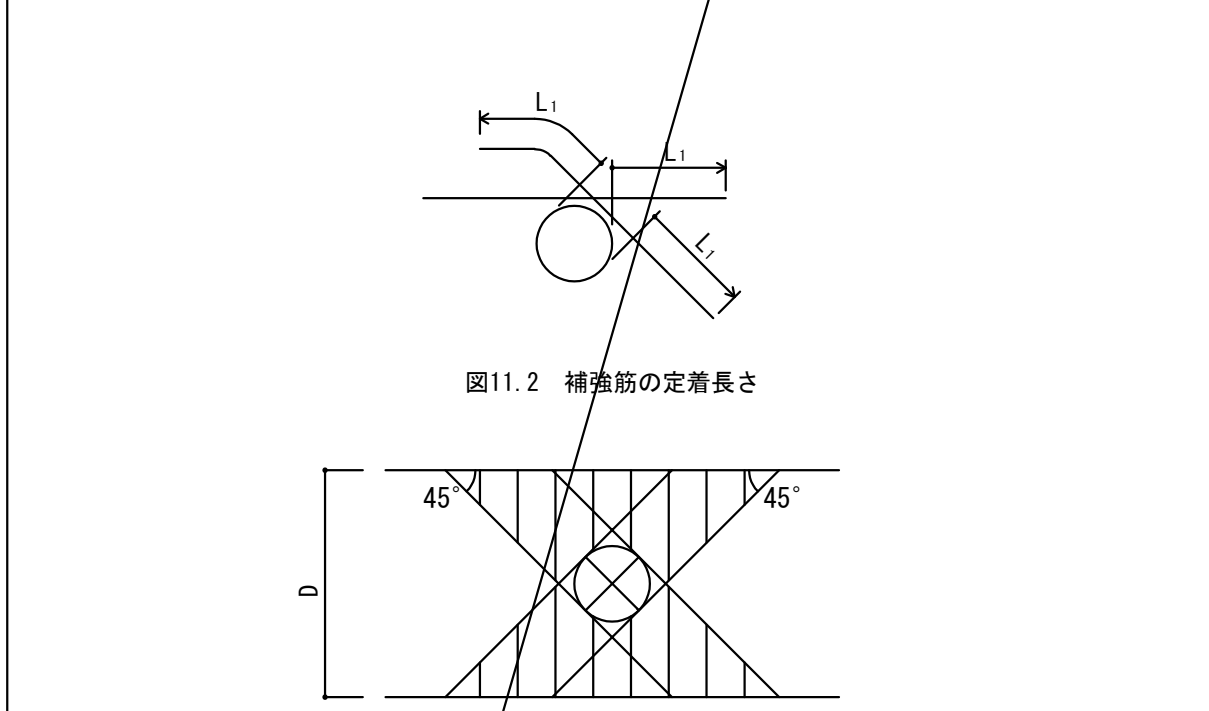
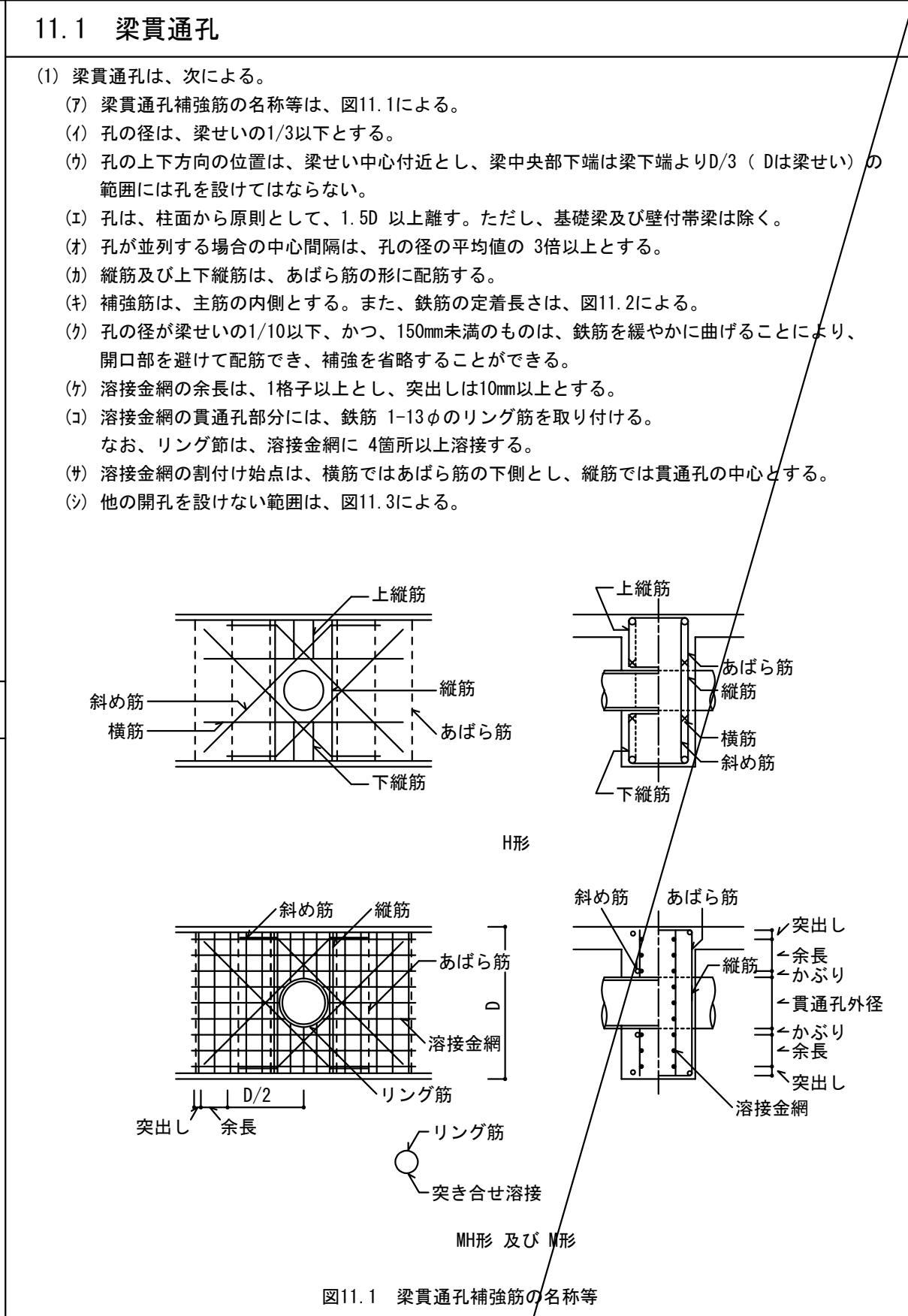


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その2）



(2) 梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.2により、配筋種別は構造図による。

表11.1 H形配筋					
配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注) - - - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 MH形配筋				
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH7	4-2-D19			

(注) - - - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

(1) 控壁は、次による。

(7) 控壁の配置は、構造図による。

(4) 配筋は、図11.4による。

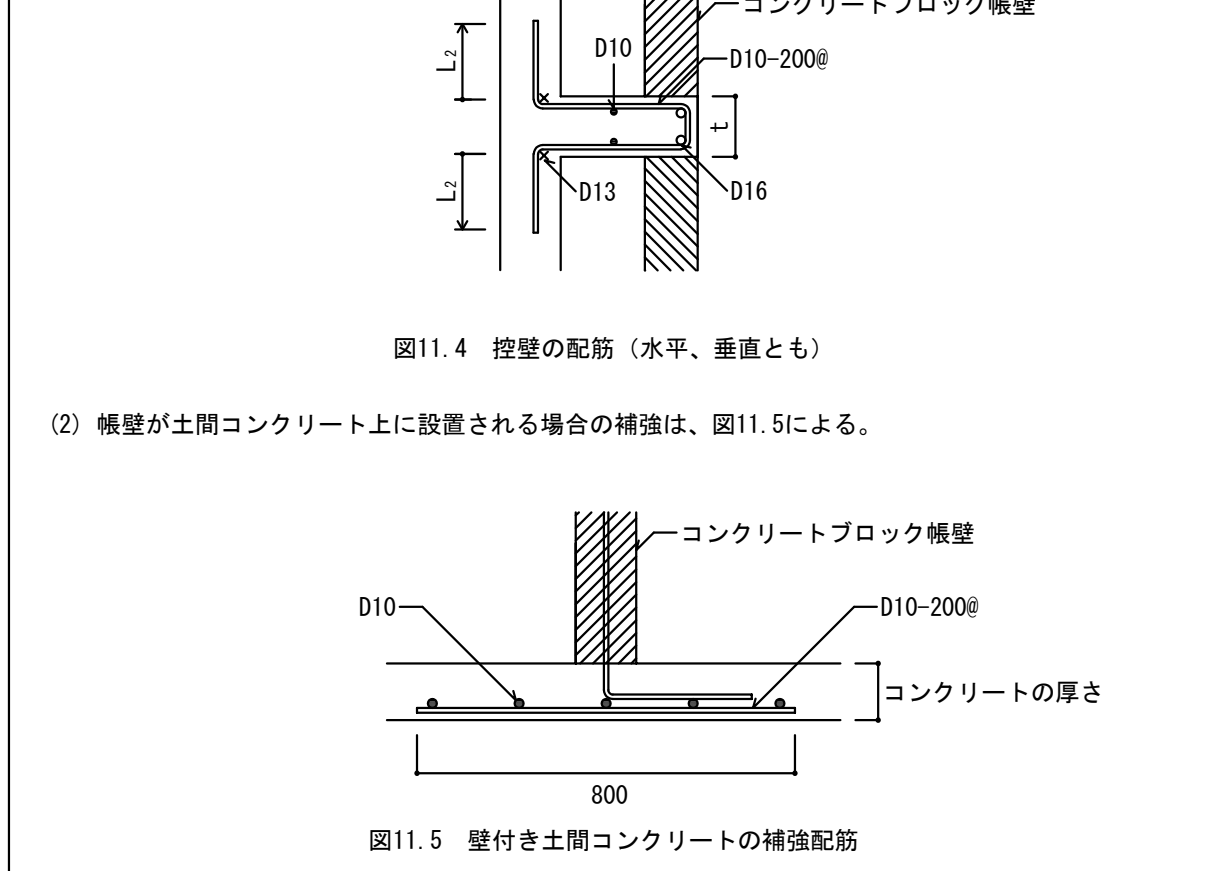


図11.4 控壁の配筋（水平、垂直とも）

(2) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

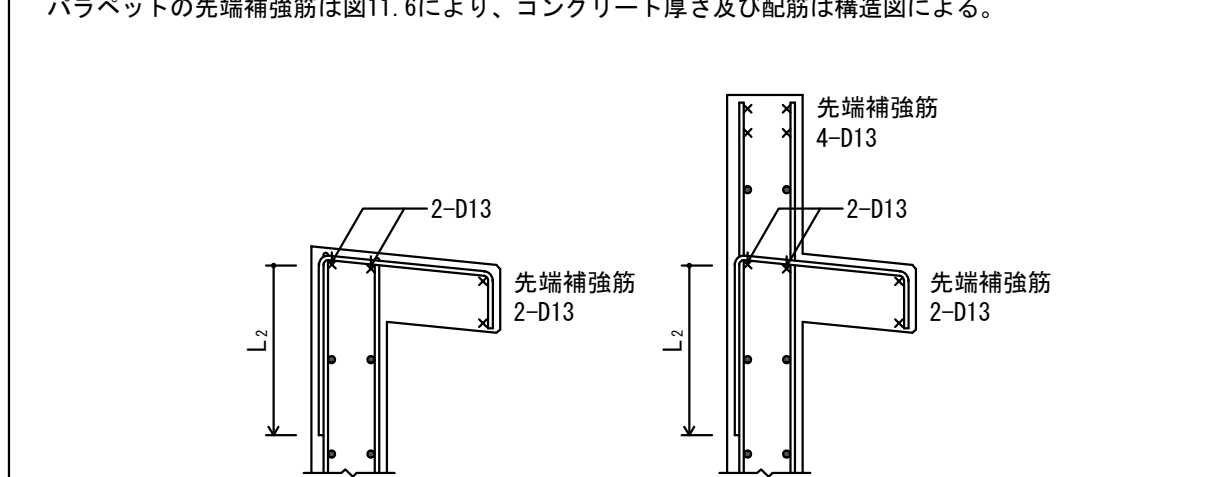


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 バラベット

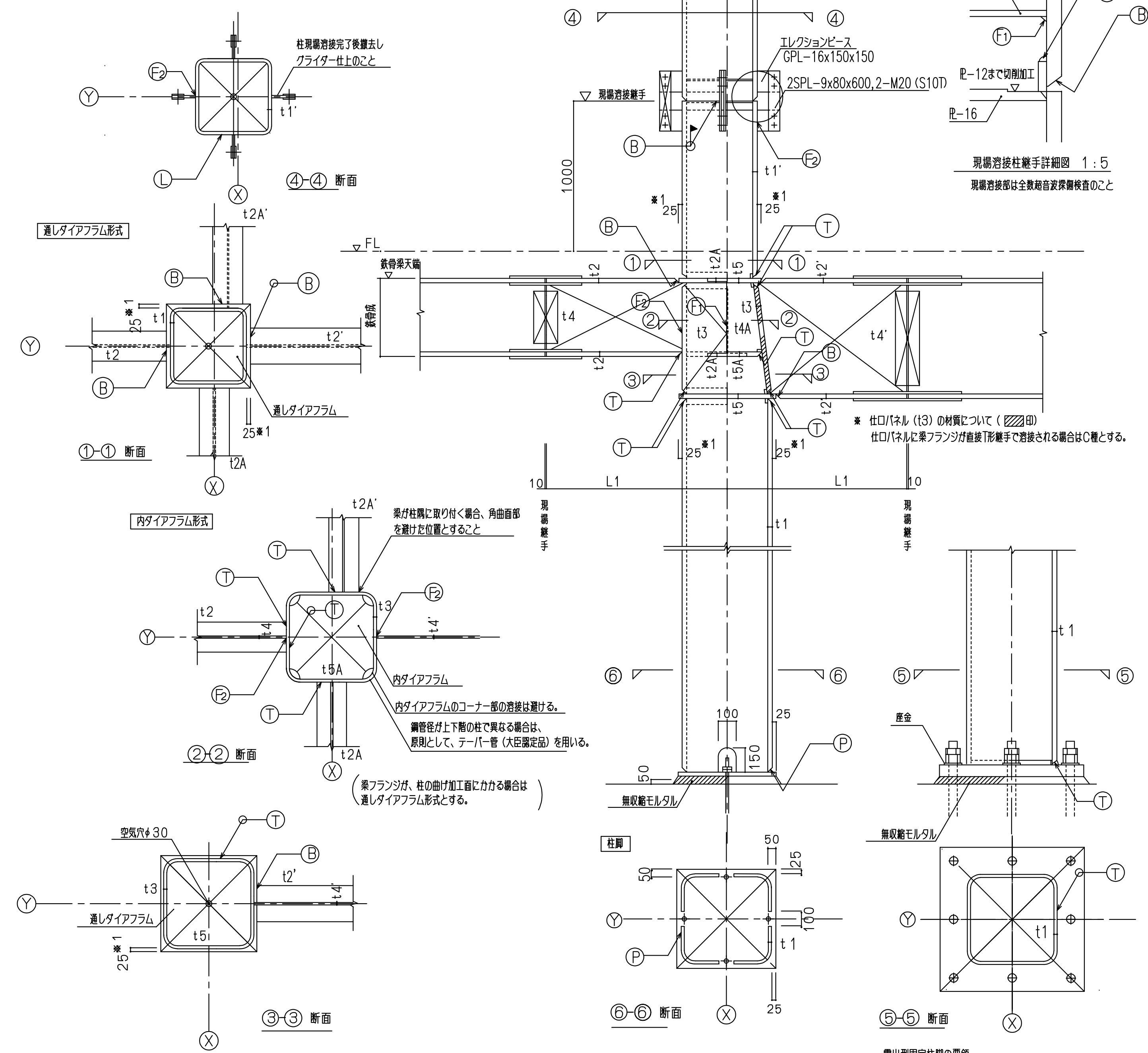
バラベットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。



図11.6 バラベットの先端補強筋

仕口部の溶接 1:20

(注) ・仕口部にはスカラップを設けないことを原則とする。 ・柱梁仕口部の成は取付く大梁成の公差およびダイヤフラムの歪折れ、冷間成形角形鋼管の角部へのヒースの取り付け要領は以下による。 ・溶接継ぎなどを考慮して製作すること。
1) 柱梁接合部から1.5D (D:柱径) へは取り付けない。
2) ショートビードとなる溶接は避ける。



仕口部分 の 材質・板厚

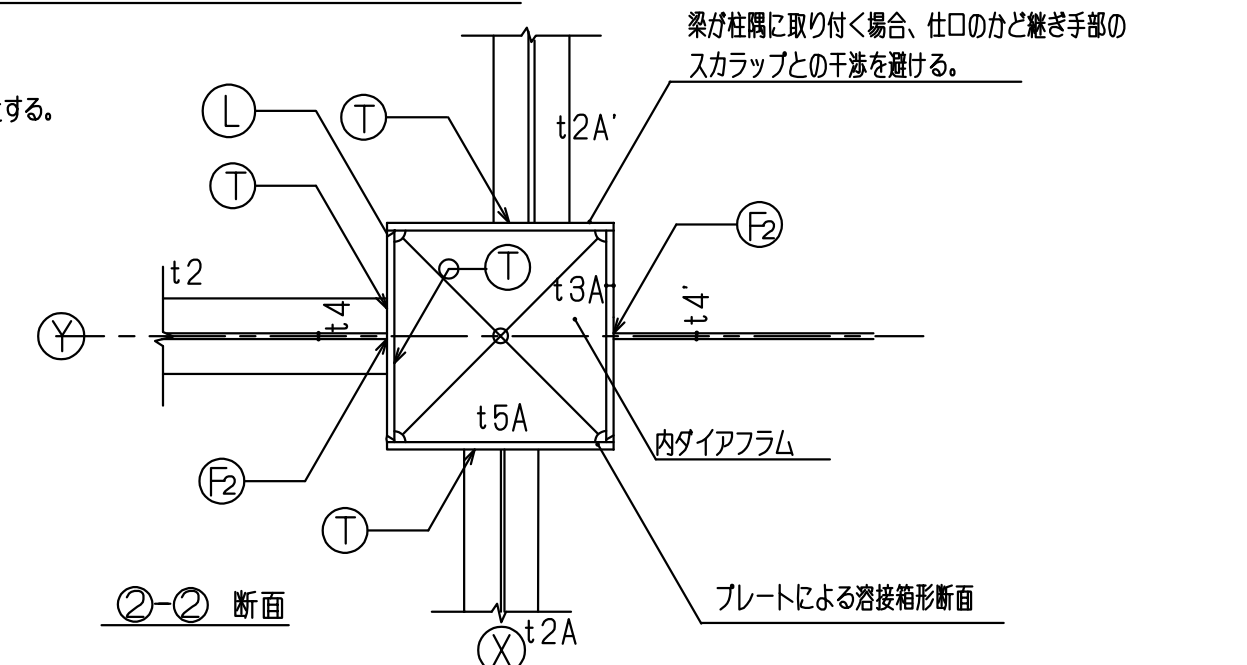
ダイヤフラム材質・強度 材質はC種とする。ただし、内ダイヤフラムとなる場合はB種とする。強度は柱梁の鋼材のうち、最も高強度の材料と同じとする。
t5: 通しダイヤフラムに取り合う梁フランジ (t2, t2A, t2', t2A') のうち最大の板厚の2サイズ (6mm以上) アップかつ柱板厚以上とする。
t5A: 内ダイヤフラムに取り合う梁フランジ (t2, t2A, ...) のうち最大の板厚の2サイズ (6mm以上) アップとする。
仕口パネル部の材質・強度 上下の柱鋼管と同じB種とする。また、強度は高強度のものを用いる。
ただし、仕口パネルに段違い梁のフランジが直接取り付く場合は、材質はC種とする。
t3: 上下の柱鋼管厚 (t1, t1') の厚い方とし、かつ、かつ等り合う梁のウェブ板厚 (t4, t4A, ...) 以上とする。
ただし、仕口パネルを4倍プレート加工により製作する場合の板厚は以下による。
1) 柱鋼管がBGR材の場合は上下の柱鋼管厚 (t1, t1') の厚い方の1サイズ以上とする。
2) 柱鋼管がBCP材の場合は上下の柱鋼管厚 (t1, t1') の厚い方の2サイズ以上とする。

(注) ※1. 通しダイヤフラムの出寸法は25mmを標準とし、角形鋼管厚が28mm以上の場合は30mmとする。
※2. 上下の柱鋼管が異なる場合は原則として大臣認定取得したテーバー管 (大臣認定品) を用いること。
※3. タイアフラム、仕口パネル共に板厚が40mmを超える場合はTMC鋼 (大臣認定品) を用いること。

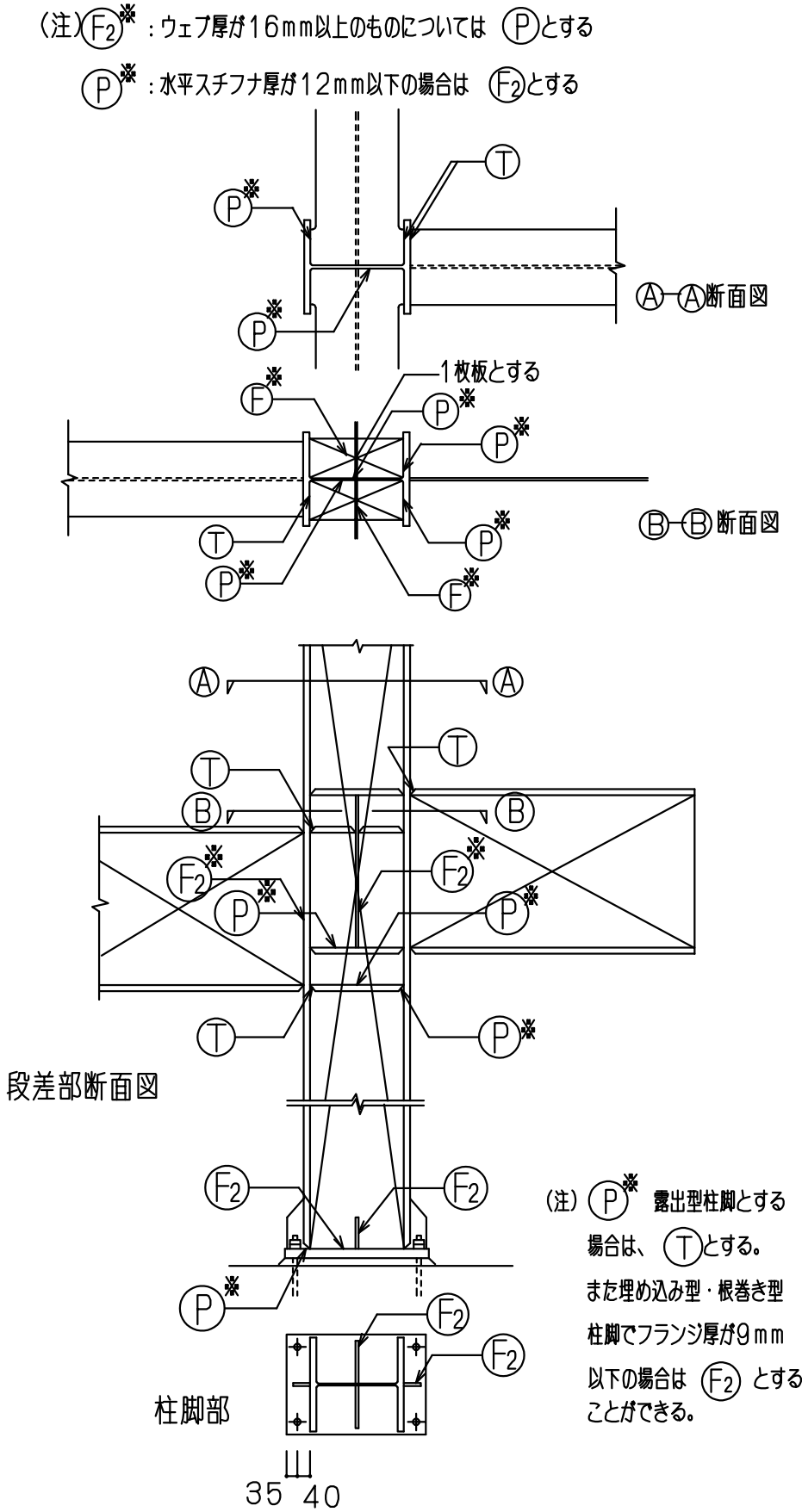
エレクションピース詳細図 (参考)
・エレクションピースにおいて、GPL、SPL、TPLは取りつく柱と同材質同等以上とする (490N/mm²級程度を上限とする)。
組立PL-6はSS400も可とする。
・ボルトはS10Tとする。

現場溶接柱継手詳細図 1:5
現場溶接部は全数超音波探傷検査のこと

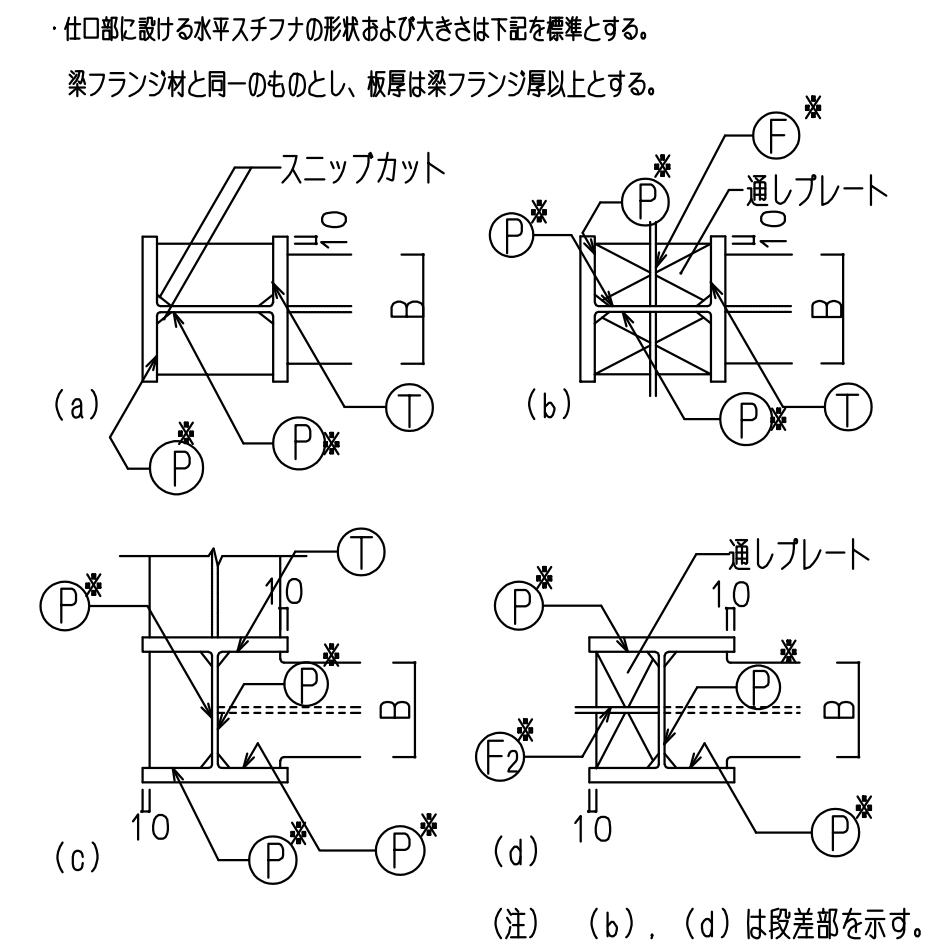
仕口部をプレート溶接加工する場合



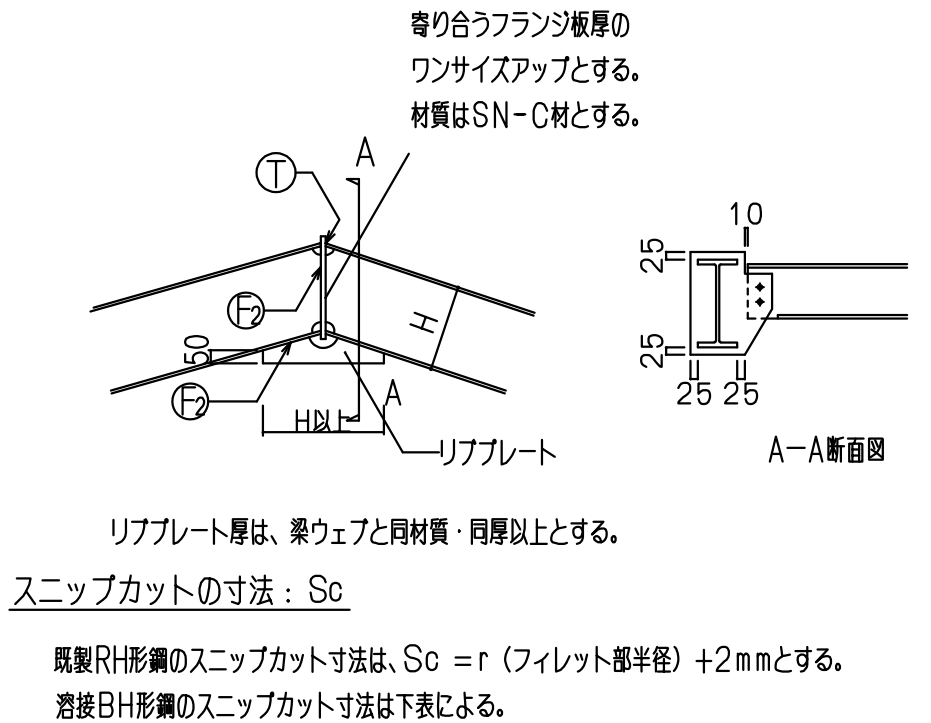
仕口部の溶接 (H形柱)



水平スチフナー

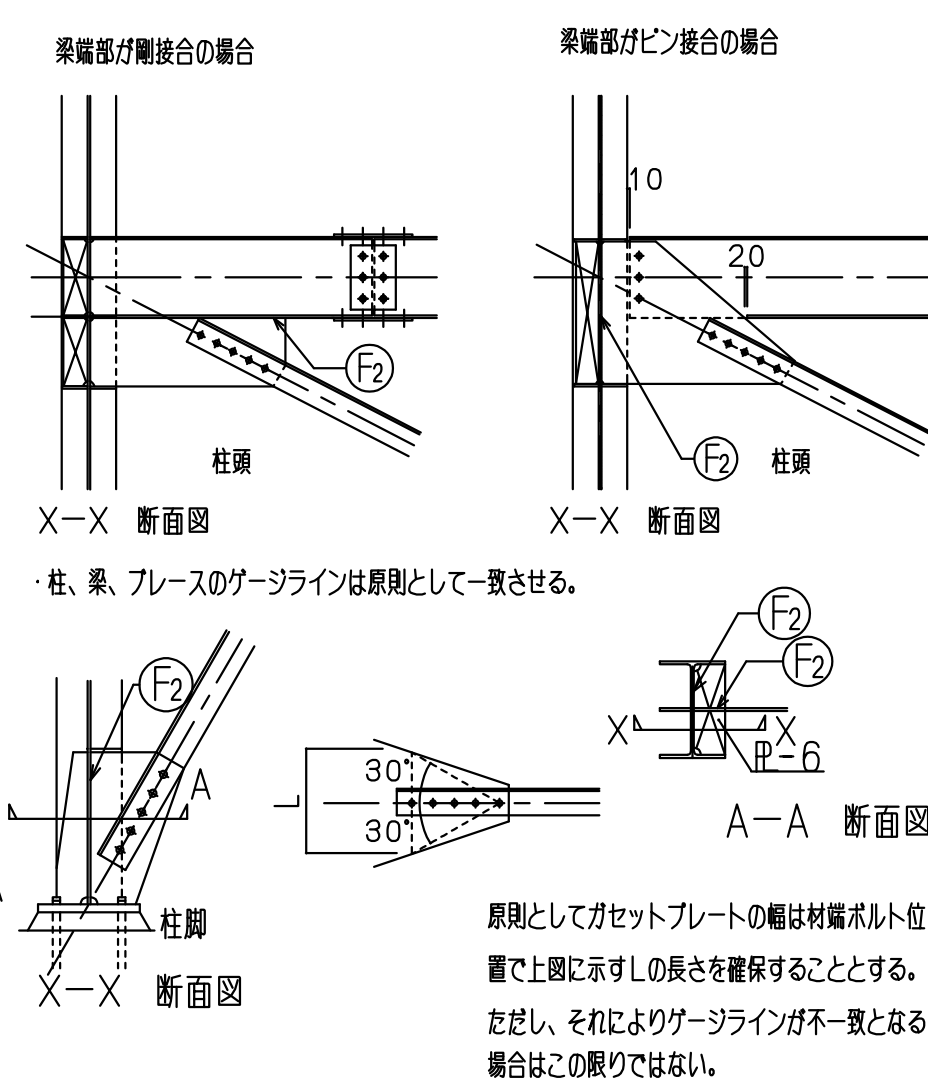


山形ラーメン横部分

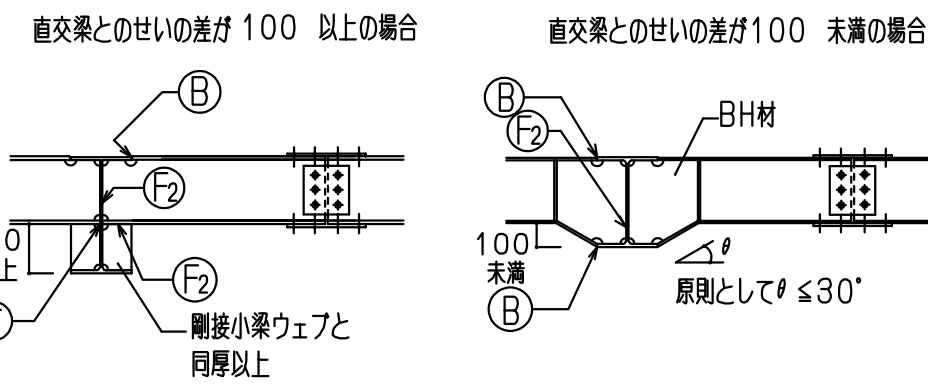


ウェブ板厚	t _w	6	9	12	16以上
スニップカット	S _c	10	12	14	15

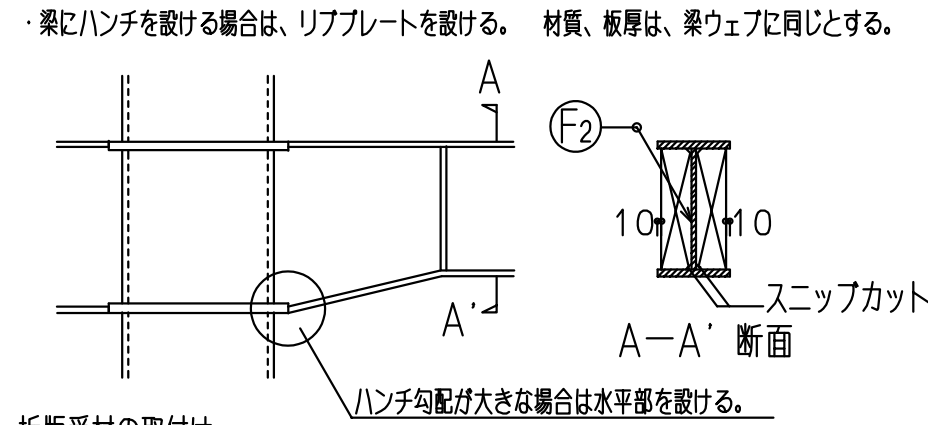
鉛直ブレース仕口



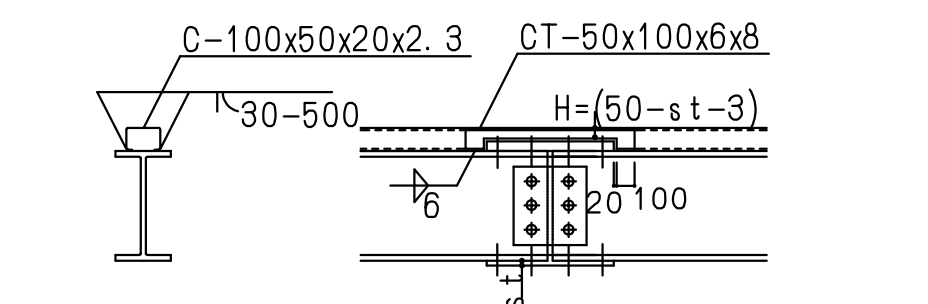
剛接小梁仕口



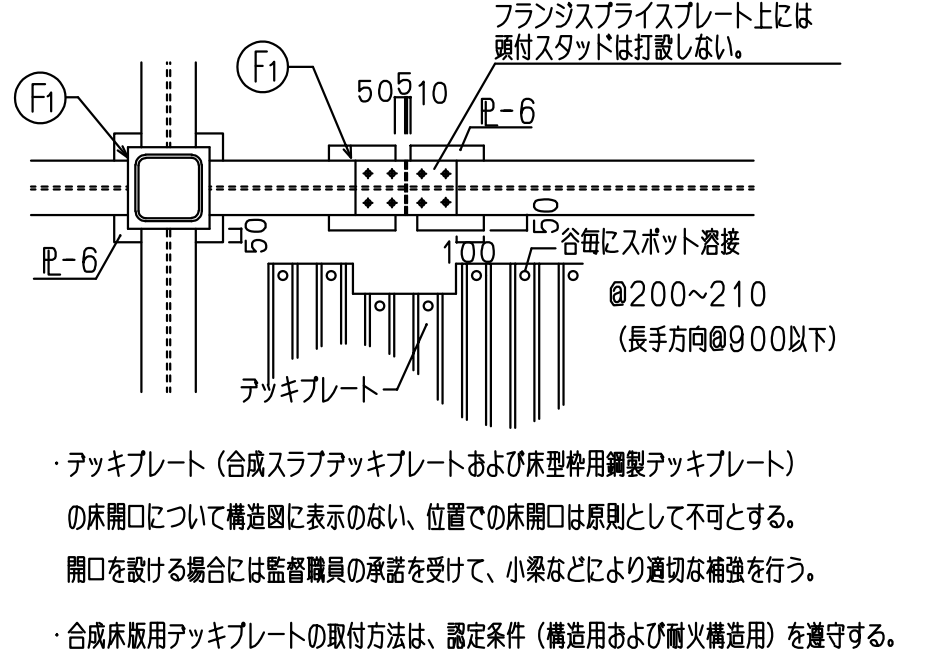
梁ハンチ要領



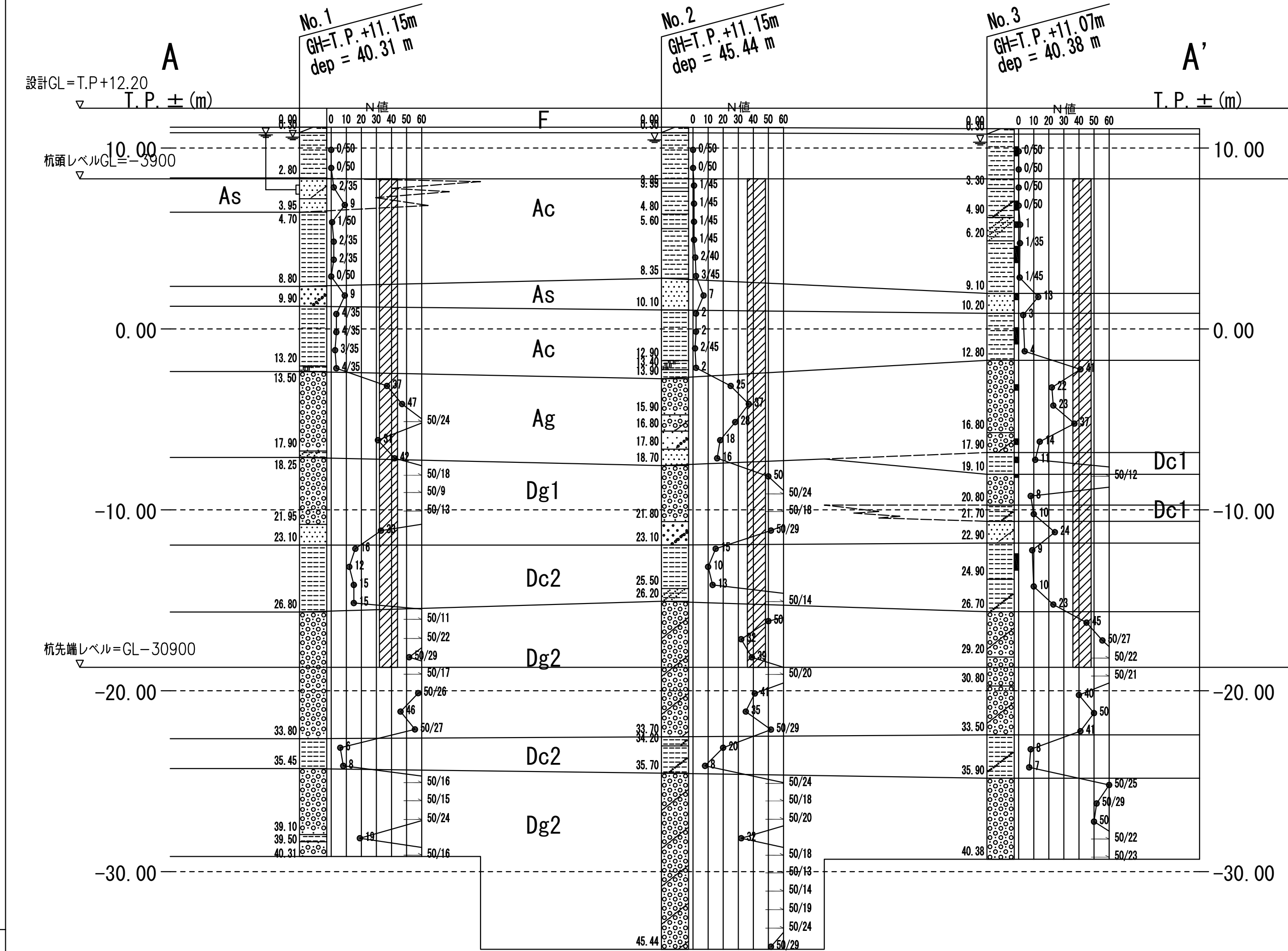
折版受材の取付け



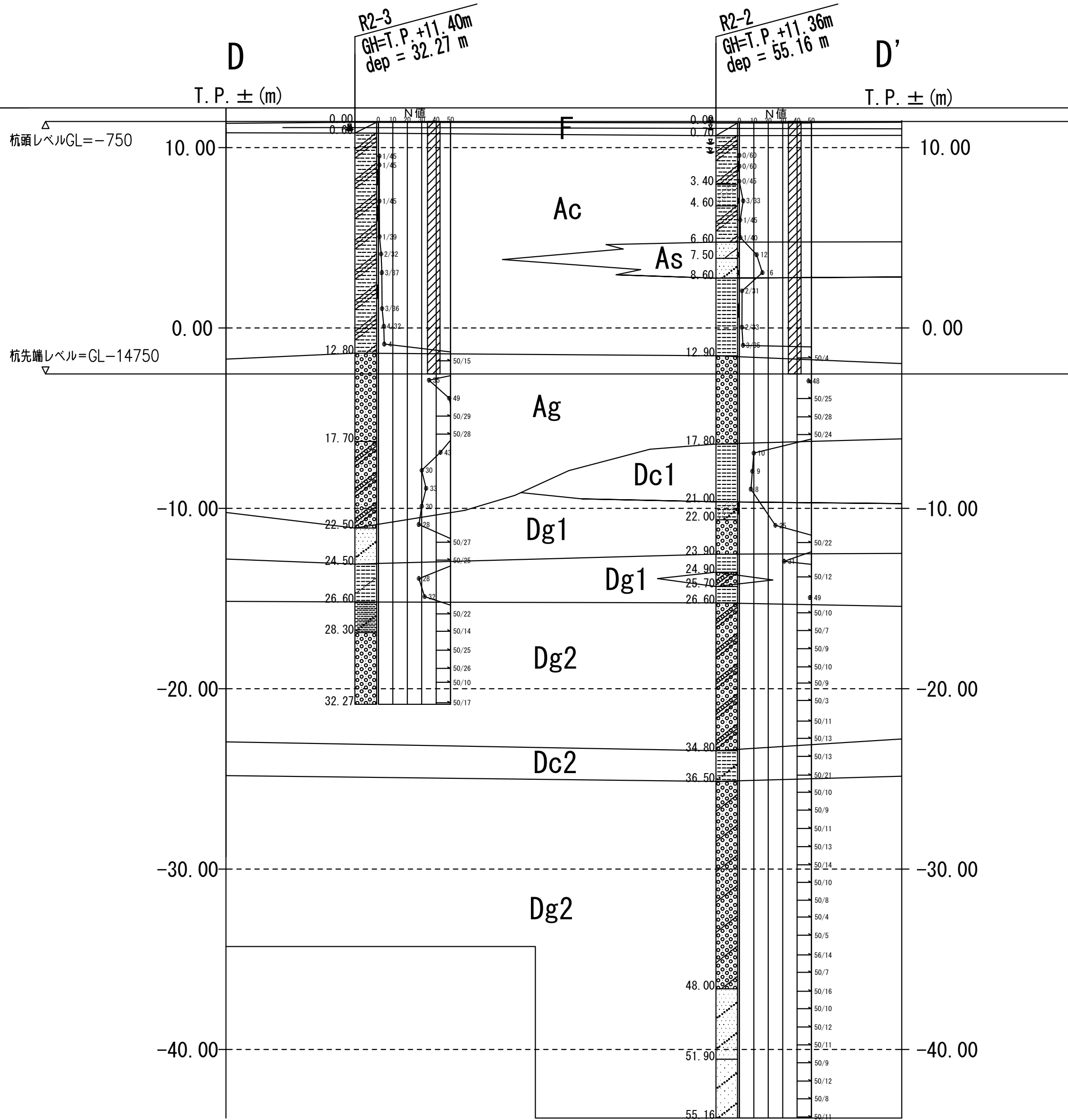
タッキプレートの取付け



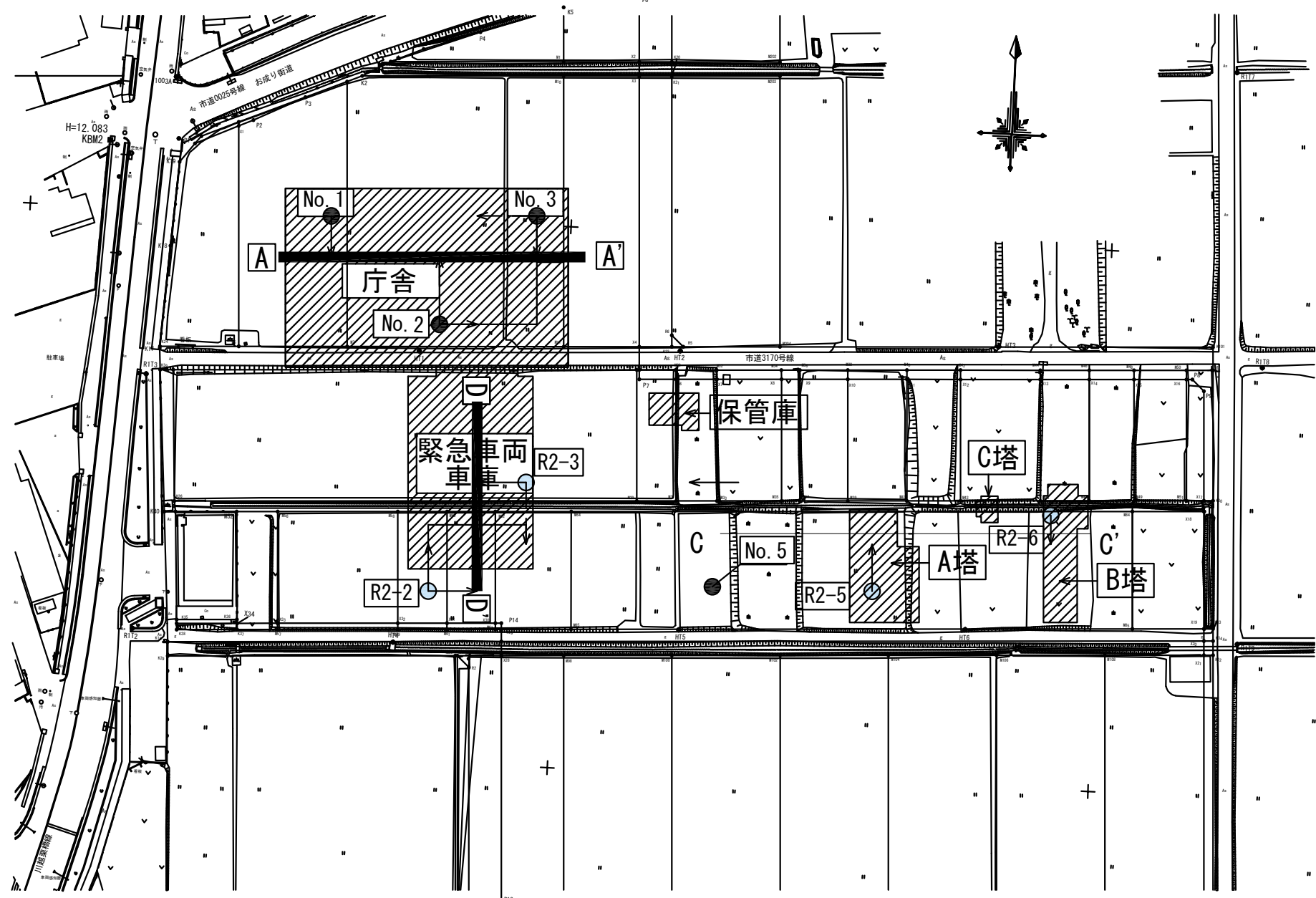
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事 (その2)		
gS(2)	構造	
06	鉄骨規準図	
安井建築設計事務所		



推定地層断面図（庁舎） 1:200

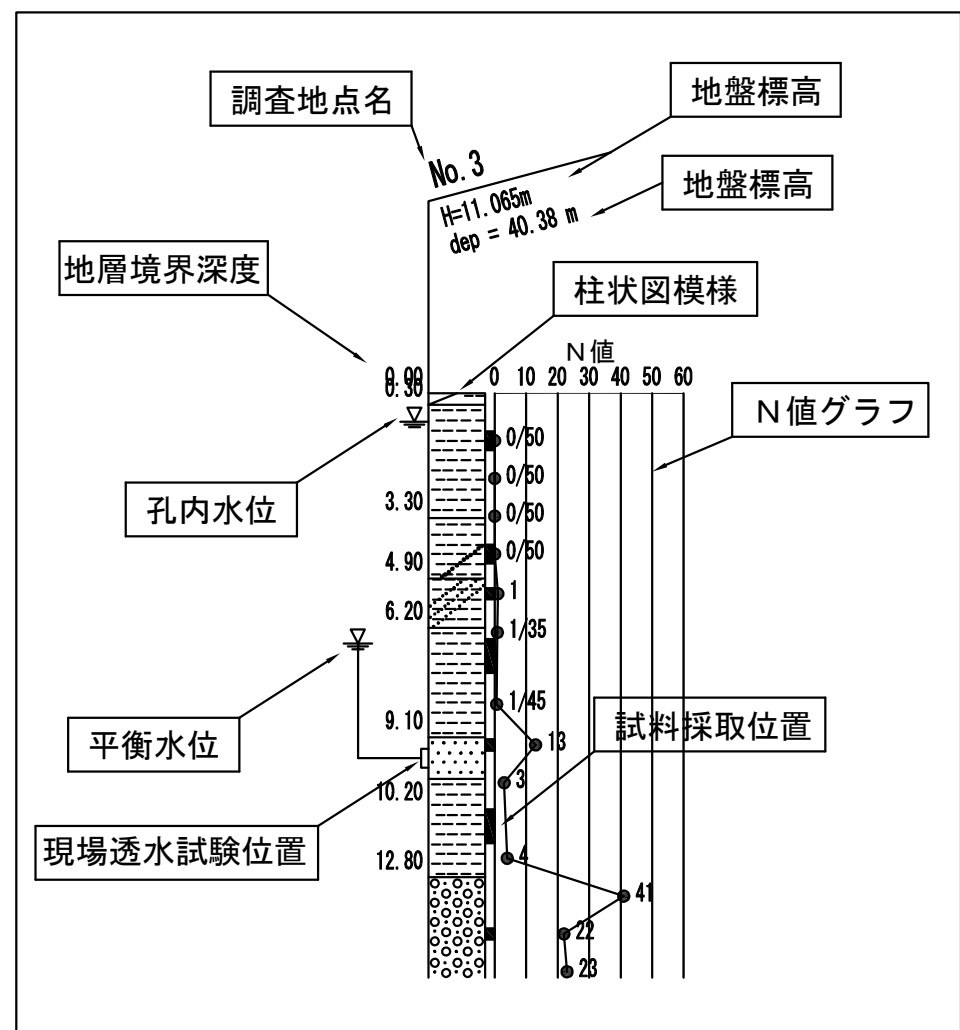


推定地層断面図（緊急車両車庫） 1:200



調査位置平面図 1:1000

柱状図記号凡例

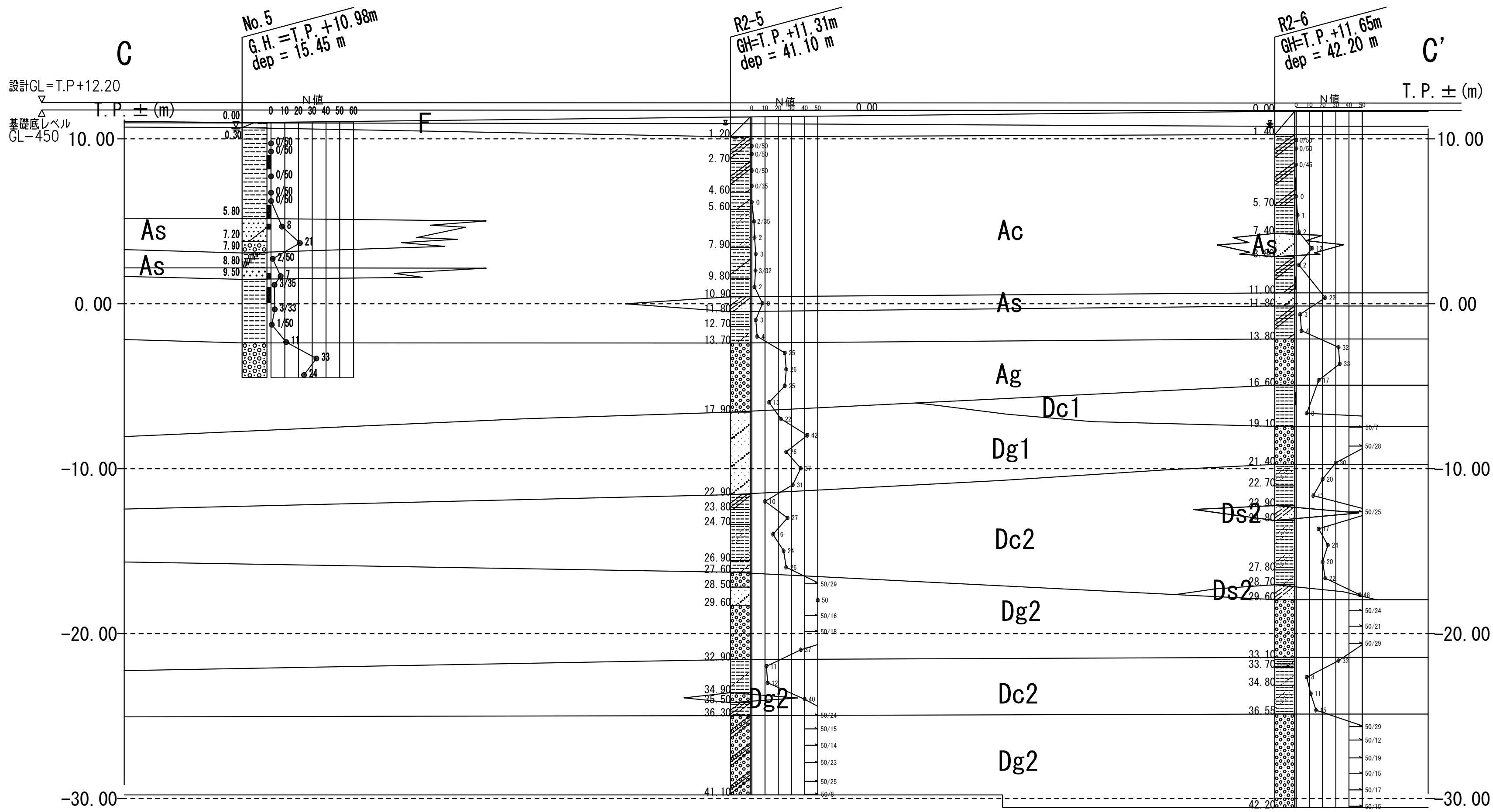


地層記号凡例

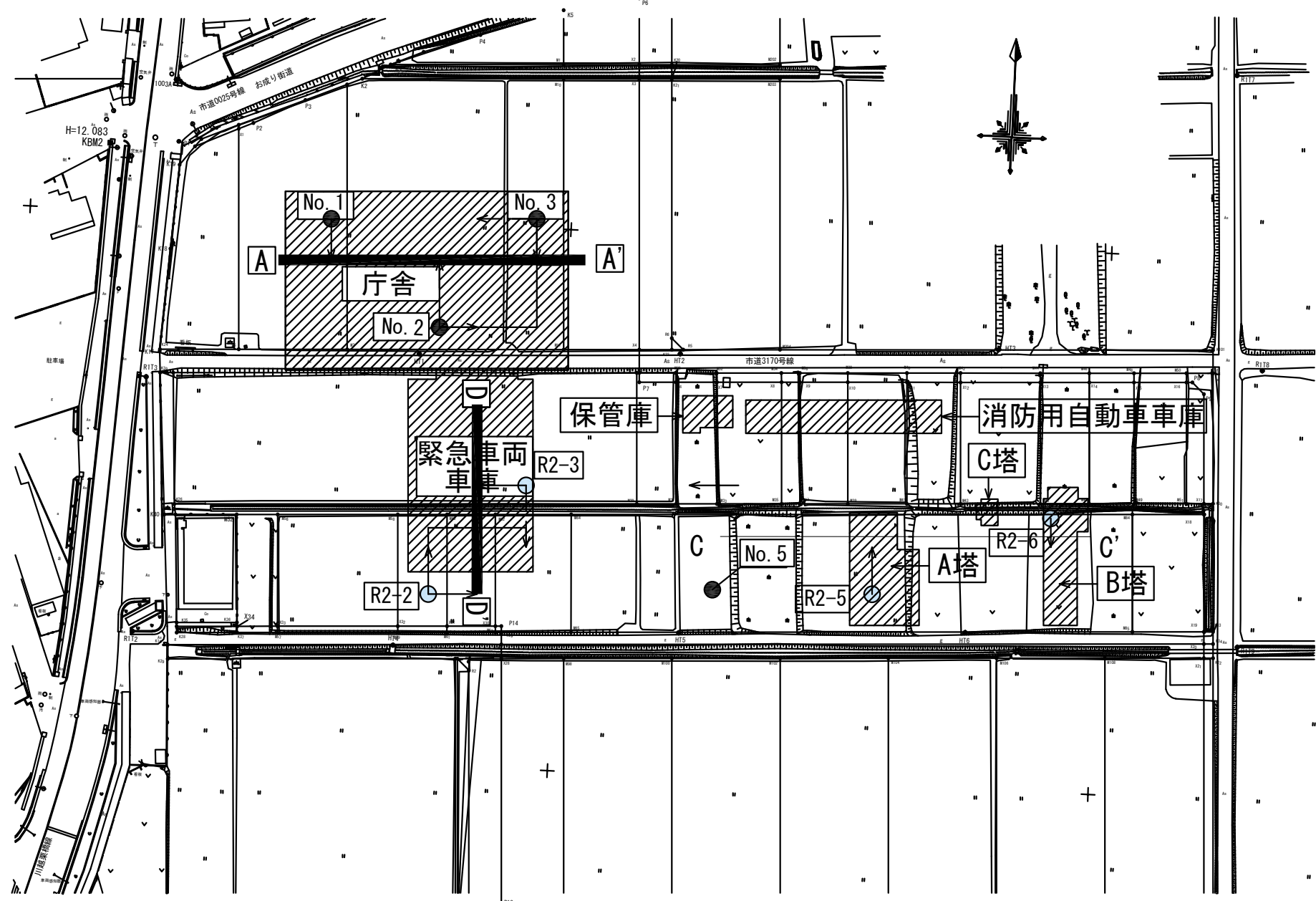
地質時代	地層名	地層記号
現世	表土	F
完新世 第四紀 更新世	沖積粘性土層	Ac
	沖積砂質土層	As
	沖積礫質土層	Ag
	洪積第1粘性土層	Dc1
	洪積第1礫質土層	Dg1
	洪積第2粘性土層	Dc2
	洪積第2礫質土層	Dg2

柱状図模様凡例

埋土・耕作土	有機質
粘土	粘土混じり
シルト	シルト混じり
砂	砂混じり
砂礫	砂質
	礫混じり

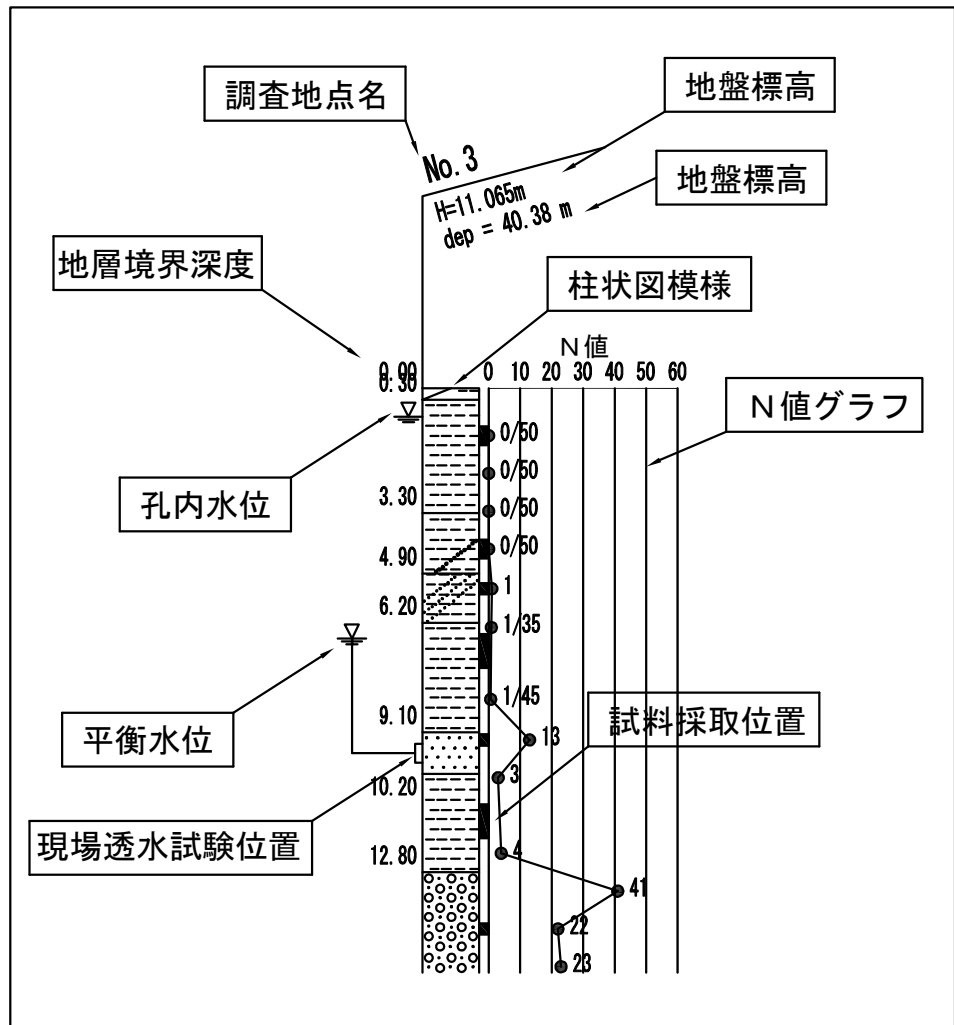


推定地層断面図（消防用自動車車庫） 1:200



調査位置平面図 1:1000

柱状図記号凡例



地層記号凡例

地質時代	地層名	地層記号
現世	表土	F
第四紀 更新世	沖積粘性土層	Ac
	沖積砂質土層	As
	沖積礫質土層	Ag
	洪積第1粘性土層	Dc1
	洪積第1礫質土層	Dg1
	洪積第2粘性土層	Dc2
	洪積第2礫質土層	Dg2

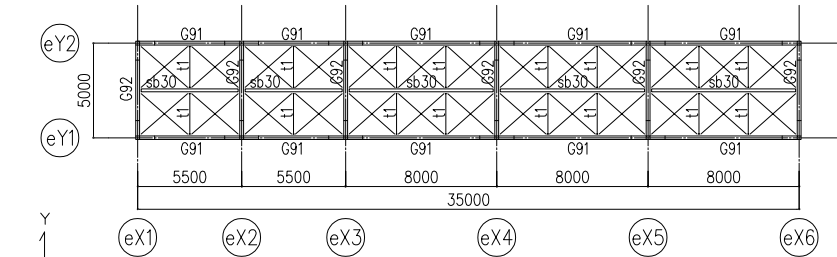
柱状図模様凡例

埋土・耕作土	有機質
粘土	粘土混じり
シルト	シルト混じり
砂	砂混じり
砂礫	砂質
	礫混じり

川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

gS(2)
08
構造
地層推定断面図（2）
調査位置図

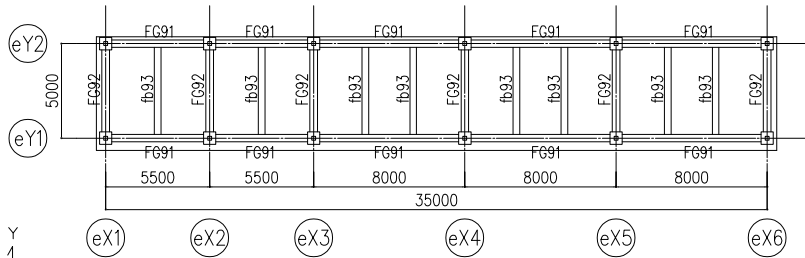
安井建築設計事務所



屋根伏図 1/200

共通事項（特記なき限り）

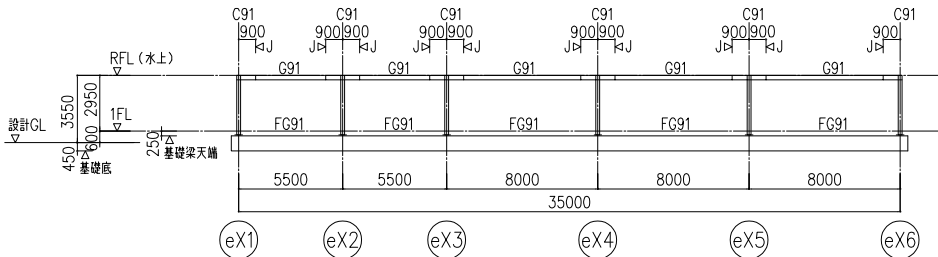
- 鉄骨梁天端は 1FL+2800~2950 とする。
- sb30 天端は 1FL+2925 とする。
- 屋根は 折板屋根 とし、方向は Y方向（↓）とする。
- 鉄骨大梁の天端（G符号梁）には タイトフレーム受材 C-100x50x20x2.3（SSC400）を設ける。
- 屋根ブレースは V16 とし、ブレース芯は 鉄骨梁天端合わせ とする。



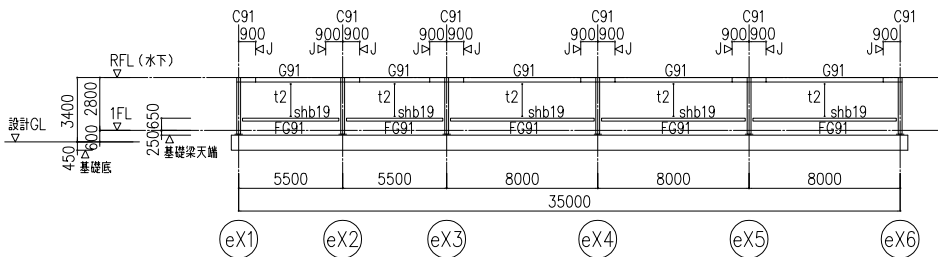
基礎伏図 1/200

共通事項（特記なき限り）

- 敷地境界線、建物配置は意匠図による。
- KBM=T.P+12.00mとし、位置は意匠図による。
- 設計GL=T.P+12.20mとする。
- 1FL=設計GL+600とする。
- スラブ・小梁天端は 1FL-20 とする。
- 基礎梁天端は 1FL-250 とする。
- 水勾配は意匠図による。
- スラブ符号は FS91 とする。
- 外周部片持スラブ符号は FCS91（配筋はFS91と同様）とする。
- スラブ天（下）端と梁天（下）端レベルに差がある場合は 梁上（下）打増しを行うものとする。
- 基礎底は GL+390 とする。
- 目標地耐力 30kN/m²（長期） とする。



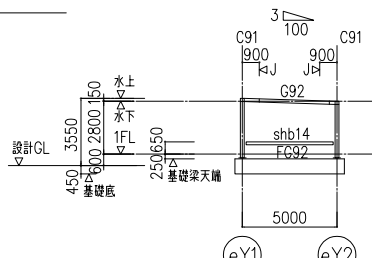
ey1通り軸組図 1/200



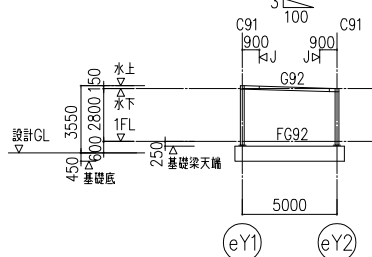
ey2通り軸組図 1/200

共通事項（特記なき限り）

- 主梁構 B.PL下端は 1FL-200 とする。
- 1FL=設計GL+600 とする。
- J印は 鉄骨現場継手位置 を示す。



ex1・ex6通り軸組図 1/200



ex2~ex5通り軸組図 1/200

基礎梁・基礎小梁リスト 1/50

共通事項（特記なき限り）

- 幅止筋は D10@1000以内 とする。
- 土に接する梁下地床は 捨コンクリート ⑦ 50 砕石 ⑦ 60 とする。
- 鉄筋材質は D10~D16 SD295 、D19~D25 SD345 とする。

符 号	FG91	FG92	fb93
位 置	全断面	全断面	全断面
断 面			
上端筋	5-D25	3-D25	4-D22
下端筋	6-D25	3-D25	4-D22
肋 筋	2-D13@150	2-D13@150	2-D13@150
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10

鉄骨梁・柱 各共通事項

- 鋼材質 SS400 とする。
- 高力ボルトは S10T、メッキボルトは F8T とする。
- 鉄骨は全て 溶融亜鉛メッキとする。
- GPL は母材と同材質とする。

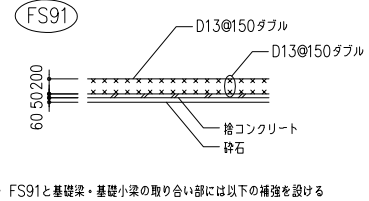
鉄骨部材リスト

符号	部材メンバー	接合ボルト	ガセットプレート	備考
C91	□-200x200x9 (BCR295)	—	—	柱脚は 詳細図参照
G91・G92	H-294x200x8x12 (SN400B)	—	—	剛接合
sb30	H-300x150x6.5x9	3-M20	PL- 9	
shb14	H-148x100x6x9	2-M16	PL-9	
shb19	H-194x150x6x9	2-M20	PL-9	横使い、耐風梁
t1	□-100x50x5x7.5	2-M16	PL-6	
t2	□-150x75x6.5x10	2-M16	PL-9	耐風梁受け
V16	M-16 (ターンバックル付)	1-M16	PL-9	JISターンバックル

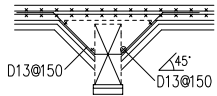
基礎床版リスト 1/50

共通事項（特記なき限り）

- 基礎下地床は 捨コンクリート ⑦ 50 砕石 ⑦ 60とする。
- 鉄筋材質は D10~D16 SD295 、D19~D25 SD345 とする。



- FS91と基礎梁・基礎小梁の取り付け合い部には以下の補強を設ける



共通事項（特記なき限り）

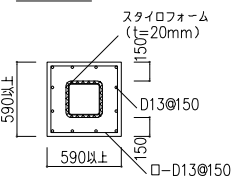
- スプライスプレートは母材と同材質とする。
- 垂鉛メッキ部分についてはF8Tとする。
- 継手は原則として「鉄骨構造標準接合部 SCSS-H97」による。
- フィラープレートはSS400とする。

鉄骨継手リスト

断面	継手				
	F.HTB	外 内	添板(WxL)	W.HTB	添板(WxL)
H-294x200x8x12	3x2-M20		PL- 9x200x410 2PL- 9x 80x410	3x1-M20	2PL- 9x170x200

鉄骨脚部詳細図 1/30

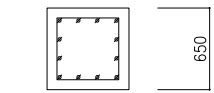
柱根巻要領図



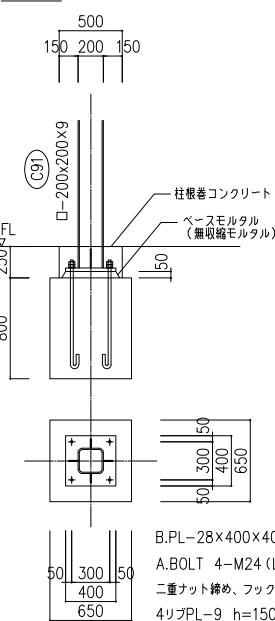
スタイロフォーム t=20巻き
コンクリート厚 t=150以上
軸方向筋 D13@150
フープ □-D13@150
(最上段フープ二重巻き)

柱型

主筋 12-D16
フープ □-D13@100

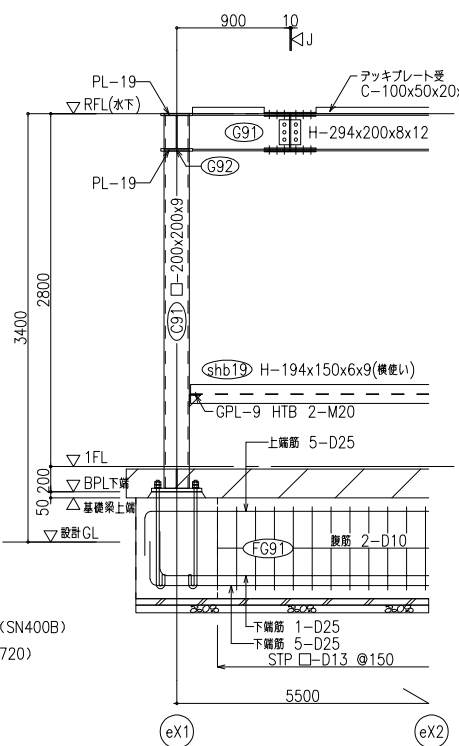


柱脚部

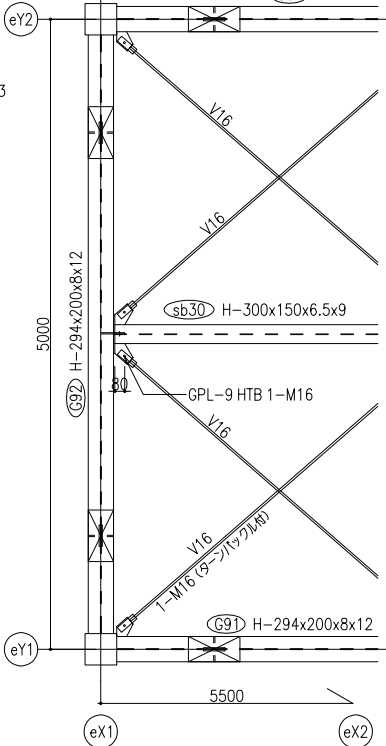


B.PL-28x400x400 (SN400B)
A.BOLT 4-M24 (L=720)
二重ナット締め、フック付
4リブPL-9 h=150

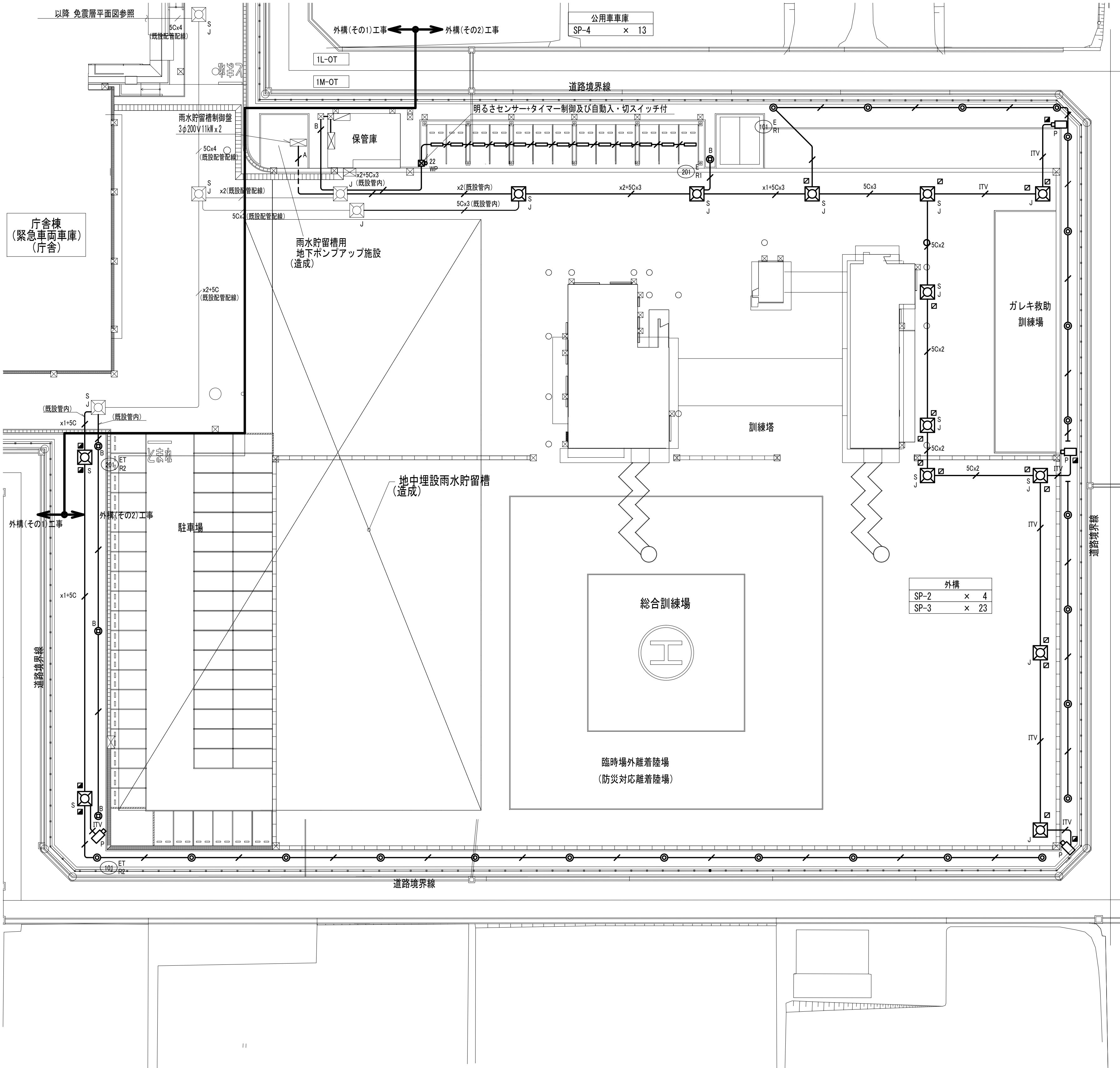
鉄骨架構詳細図 1/30



鉄骨架構詳細伏図 1/30



[illegible]



凡例

記号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	動力盤	
	雨水貯留槽制御盤	
	駐車場灯	SP-2
	庭園灯	SP-3
	ウォールライト (防雨型)	SP-4
	タンブラスイッチ 1P15A x1 (防雨型)	
	ITVカメラ	
	ハンドホール	H2-9 R (S) 2K-60
	ハンドホール セパレータ付	H2-9 R (S) 2K-60
	ハンドホール 重耐仕様	H2-9 R (S) 20K-60
	ハンドホール 重耐仕様 セパレータ付	H2-9 R (S) 20K-60
	アウトレットボックス 4角中浅	
	ブルボックス ジョイントボックス	
	天井隠ぺい配線	
	露出配線	
	地中埋設配線	
	配管配線 立上り 引下げ	
	埋設標 (コンクリート製)	
	埋設標 (鉄製)	

(注記)

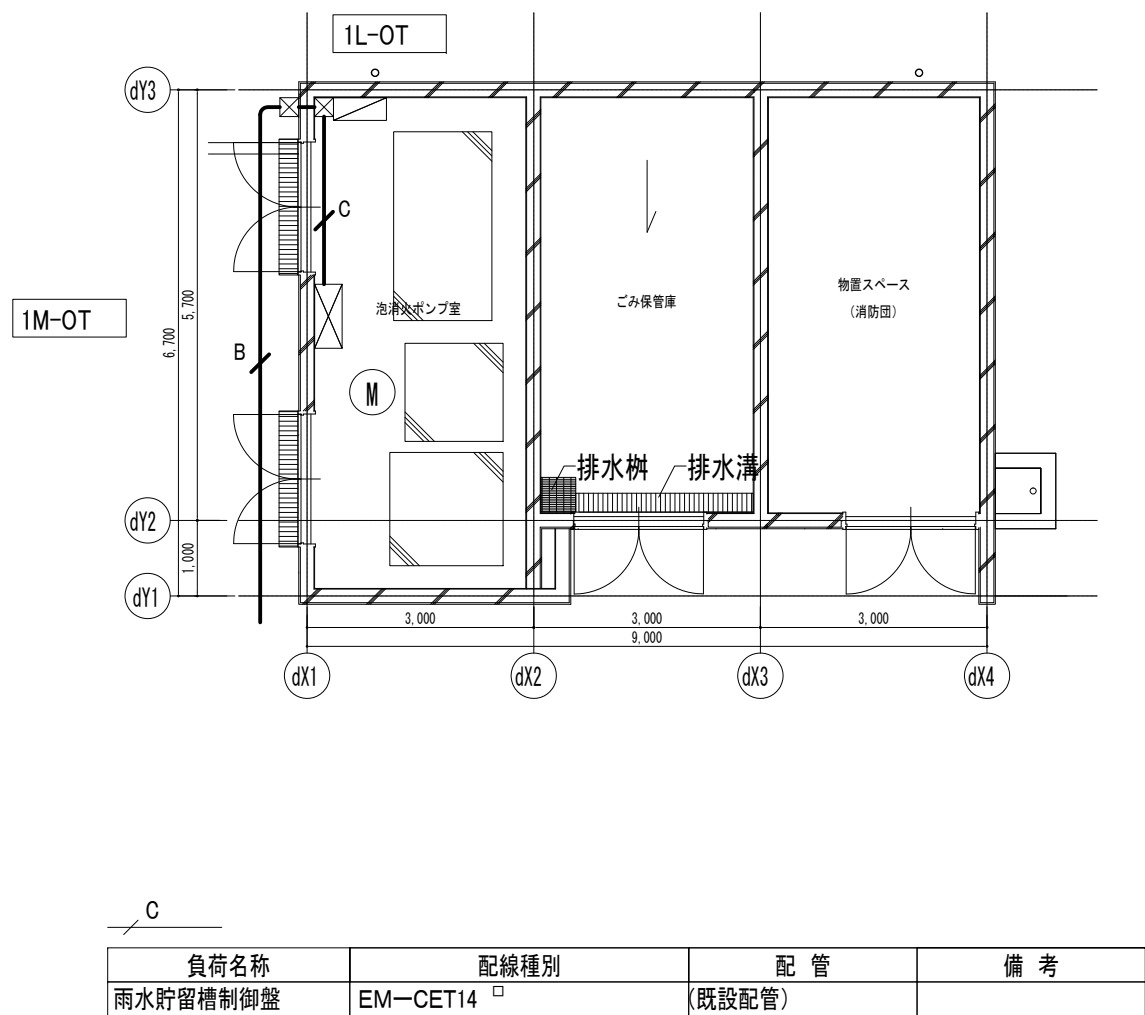
1. 図中、明記なき配管配線は下記の通りとする。

	EM-CE3.5-3C	保護管 (FEP30)
	EM-CE3.5-3C	保護管 (GZ22)
	EM-5C-FB	保護管 (FEP30)
	EM-CE3.5-3Cx n (FEP50)・(予備FEP50)	2条~5条
	EM-CE3.5-3Cx n (FEP50x2)・(予備FEP50)	6条~10条
	EM-CE3.5-3Cx n (FEP50)・(予備FEP50)	
	EM-5C-FBx n (FEP50)	
	EM-5C-FBx n (FEP50)・(予備FEP50)	

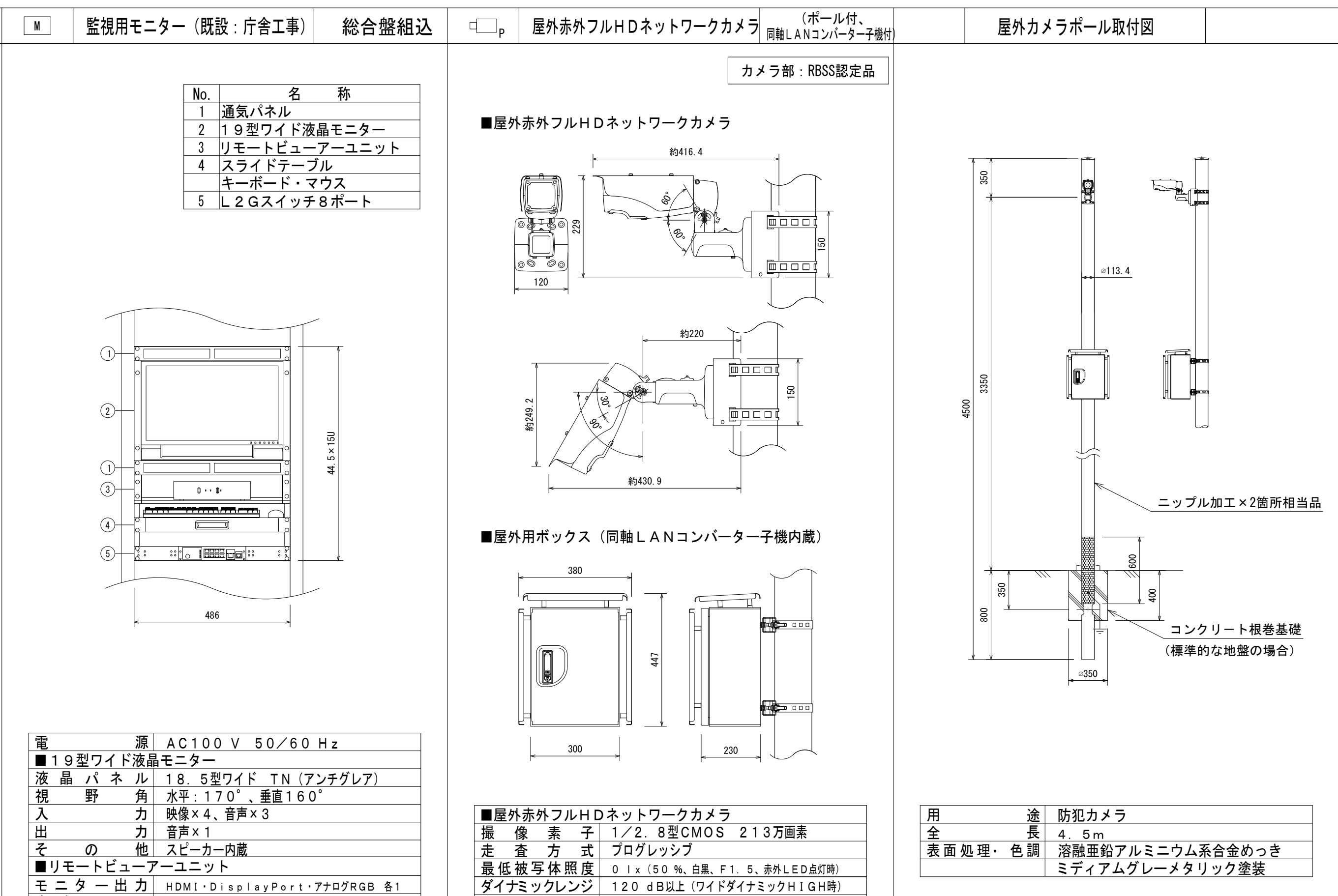
2. 特記なき地中配管の埋設深さはGL-600とする。

3. 地中埋設管路には埋設標及び埋設シート(2倍長)を設置すること。

保管庫平面図 1/100



[illegible]



	川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)		
	gE(2)	電気設備工事	A1 = NS A3 = NS
	03	監視カメラ設備 機器姿図	
		安井建築設計事務所	

凡例

- ITV

:

I T V 架（既設：庁舎工事）
- HUB

:

H U B 盤（既設：庁舎工事）
- p
- :
- 屋外フルHDネットワークカメラ（ポール付）

H

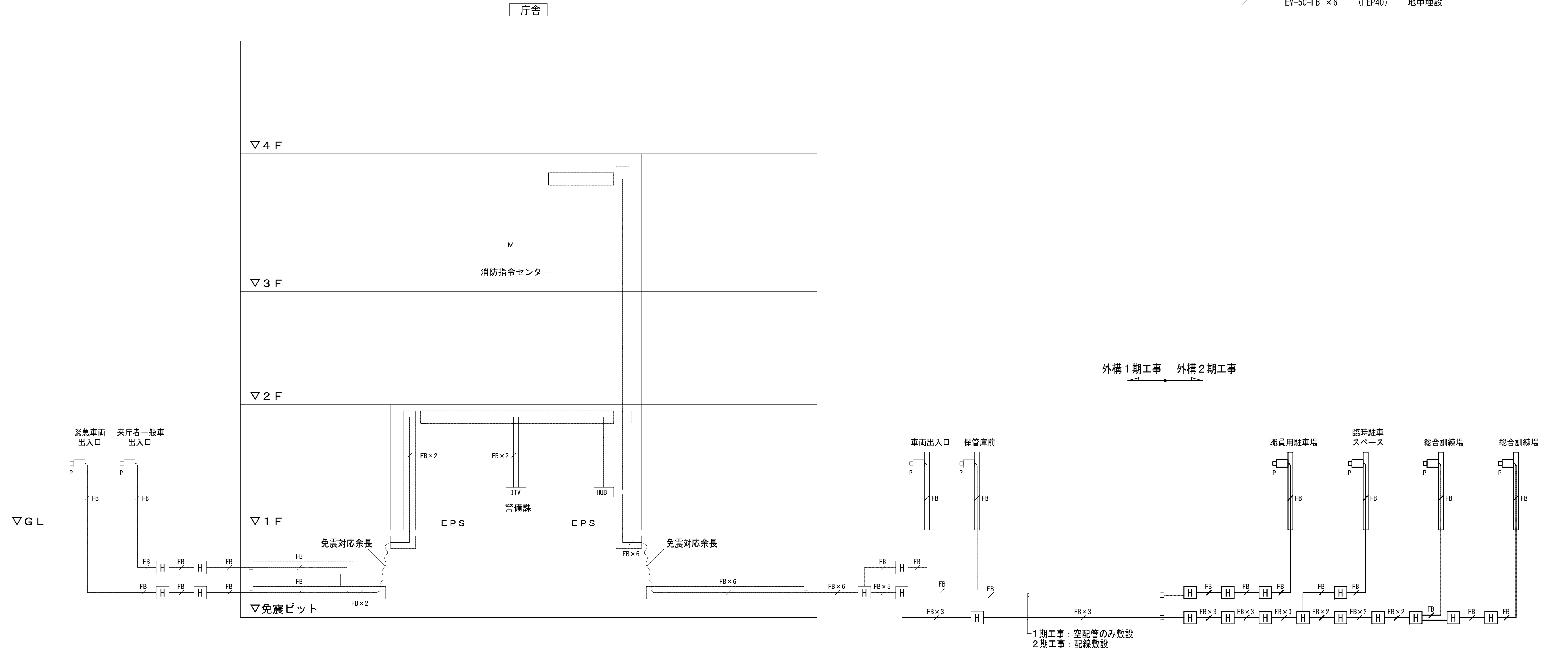
:

ハンドホール

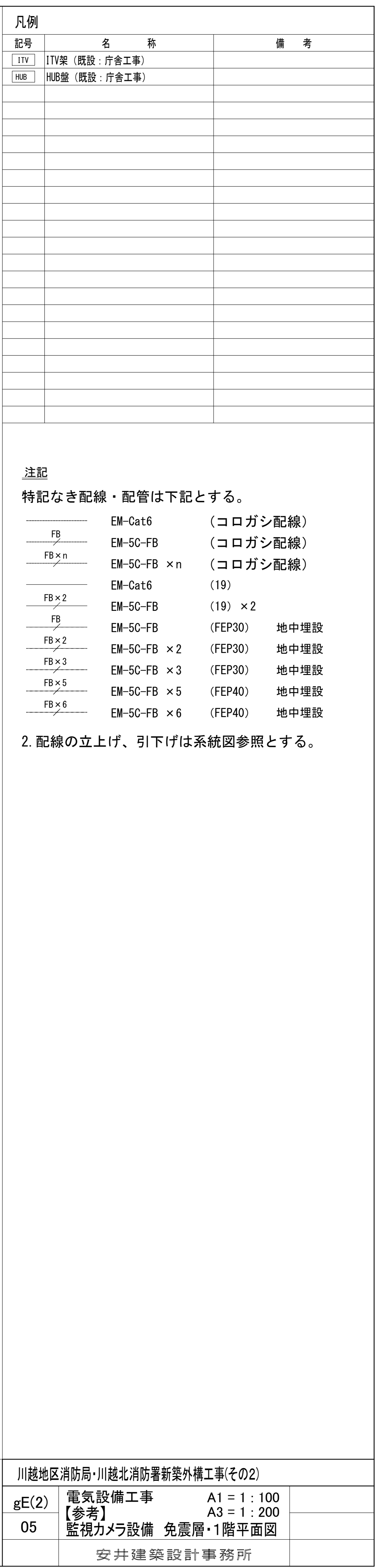
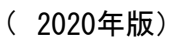
注記

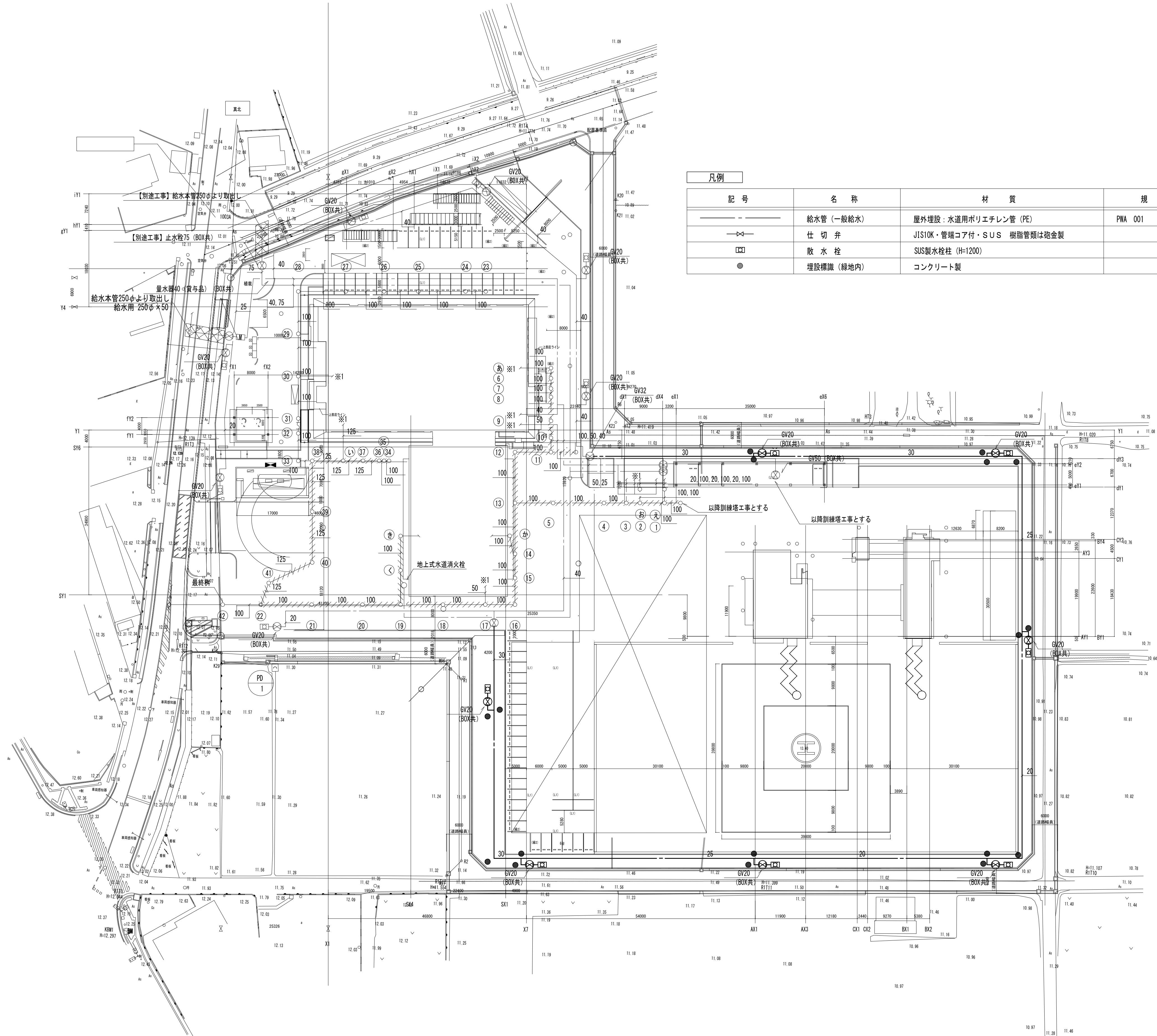
特記なき配線・配管は下記とする。

	EM-Cat6	（コロガシ配線）
FB	EM-5C-FB	（コロガシ配線）
FB × n	EM-5C-FB × n	（コロガシ配線）
	EM-Cat6	（19）
FB × 2	EM-5C-FB	（19） × 2
FB	EM-5C-FB	（FEP30） 地中埋設
FB × 2	EM-5C-FB × 2	（FEP30） 地中埋設
FB × 3	EM-5C-FB × 3	（FEP30） 地中埋設
FB × 5	EM-5C-FB × 5	（FEP40） 地中埋設
FB × 6	EM-5C-FB × 6	（FEP40） 地中埋設



川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)			
gE(2)	電気設備工事	A1 = NS	
04	監視カメラ設備 系統図	A3 = NS	
安井建築設計事務所			

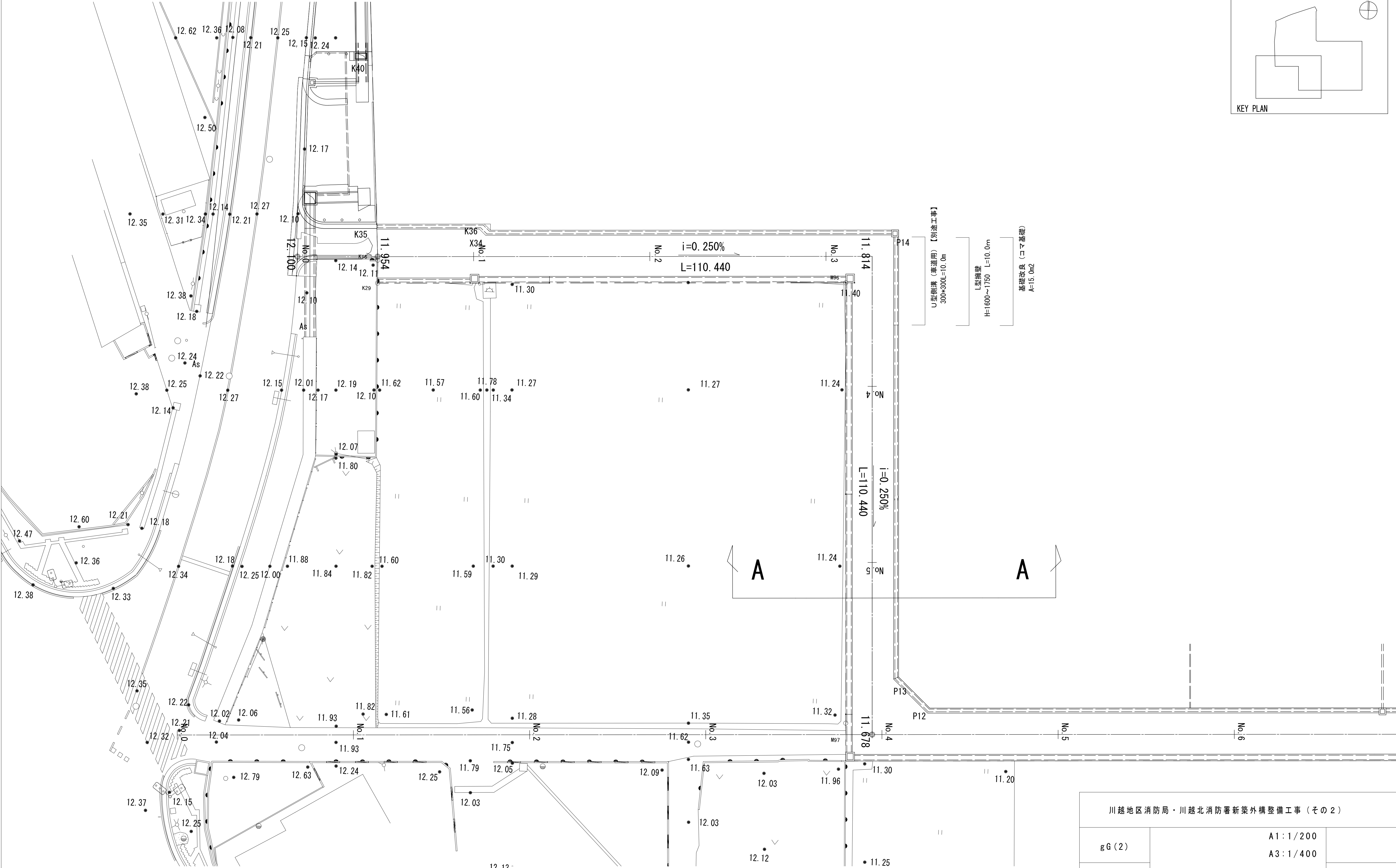
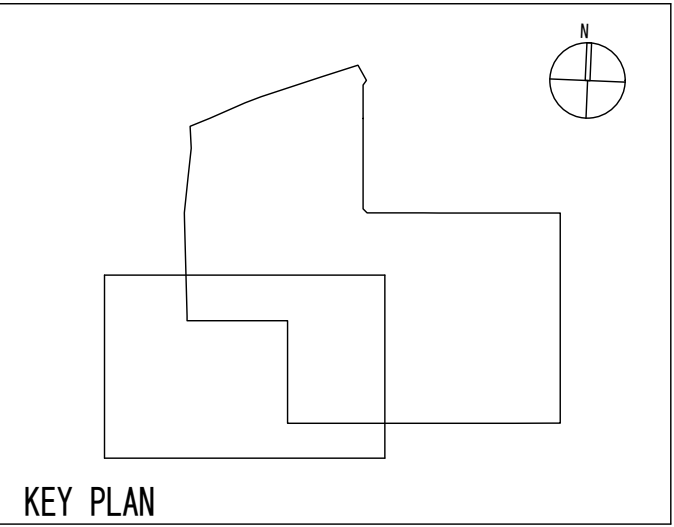




川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事(その2)

(2000年版)

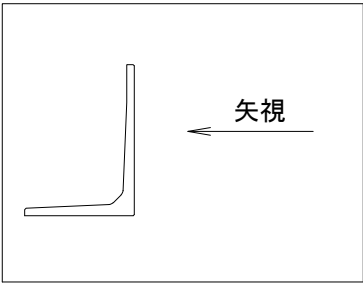
道路詳細平面図 市道3171号線



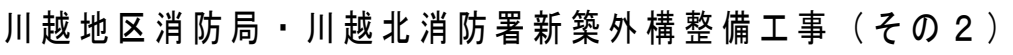
川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）		
g G (2)	A1: 1/200 A3: 1/400	
01	擁壁平面図	
安井建築設計事務所		

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

平面图



※擁壁の根入れは500mm以上を確保する

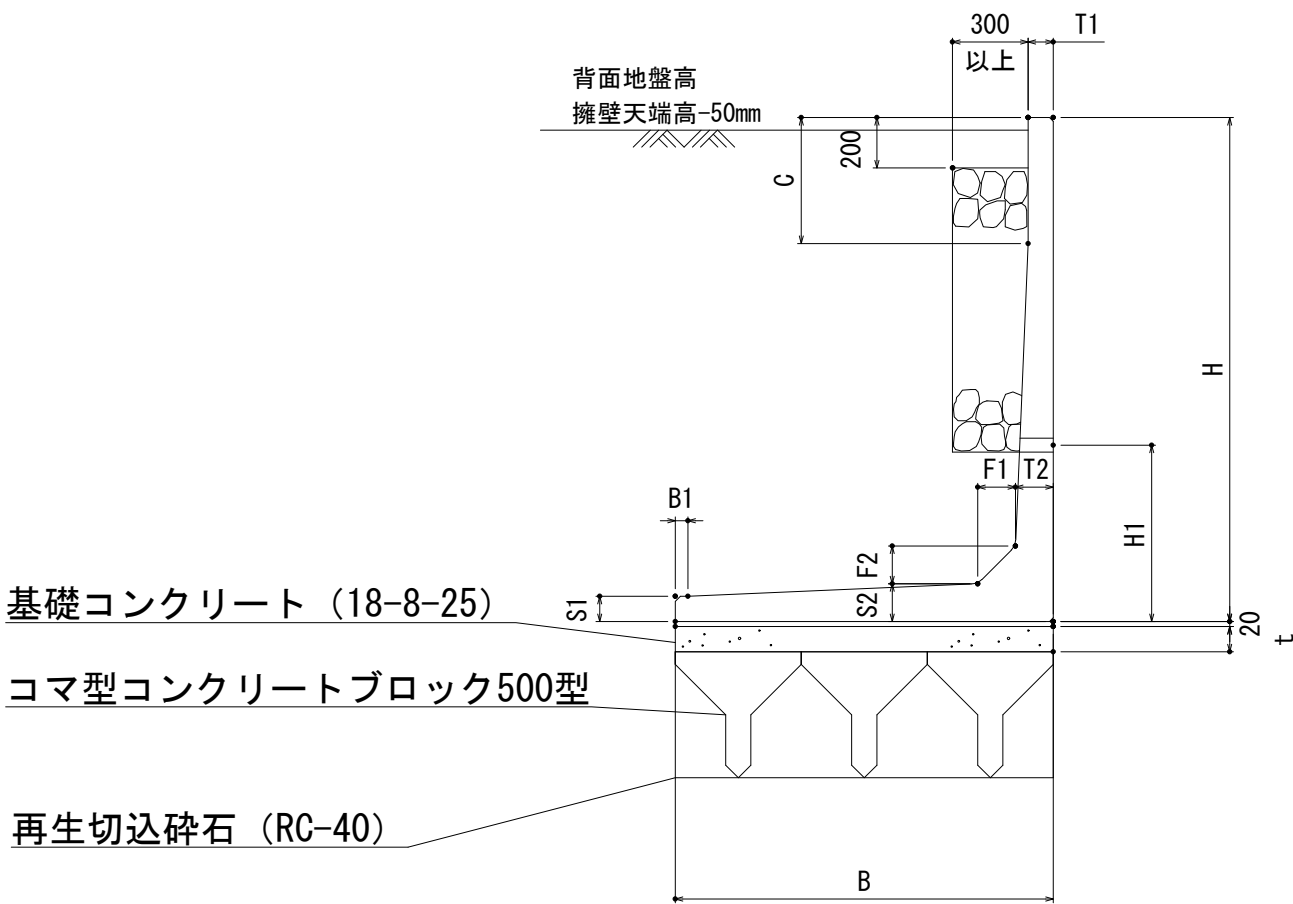


A1 : 1 / 200
A3 : 1 / 400

擁壁詳細図

安井建築設計事務所

標準断面図



設計条件（擁壁）		試行くさび法
項目	単位	設計値
背面形状	—	水位
上載荷重	kN/m2	10.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3 24.5
	土	kN/m3 18.0
土の内部摩擦角	度	30
滑動摩擦係数	—	0.6
外水位		なし

寸法表（擁壁1）

サイズ H x 公称長さ	寸法仕様 (mm)										
	B	B1	T1	T2	S1	S2	F1	F2	C	H1	t
1600 x 2000	1250	—	100	130	100	130	150	150	500	700	100
1700 x 2000	1300	—	100	140	100	140	150	150	500	700	100

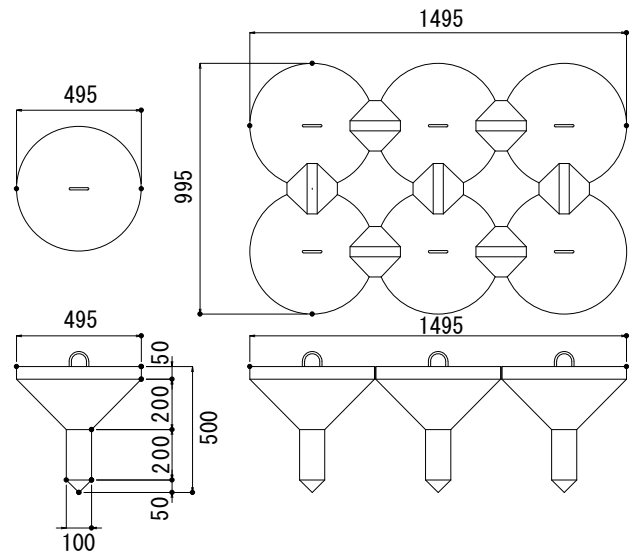
寸法表（擁壁2）

サイズ H x 公称長さ	寸法仕様 (mm)										
	B	B1	T1	T2	S1	S2	F1	F2	C	H1	t
1750 x 2000	1400	100	100	140	100	140	150	150	500	700	100

製品数量表（市道3171号線）【参考】

製品番号	サイズ		規格	数量	参考重量	摘要
	H	× L				
擁壁1						
25	1600	× 2000	標準	1 個	1520kg	
26～27	1700	× 2000	標準	2 個	1660kg	
擁壁2						
28～29	1750	× 2000	標準	2 個	1740kg	
合計				5 個		

コマ型コンクリートブロック基礎詳細図
コマ型コンクリートブロック500型



川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）

g G (2)

A1:1/30

A3:1/60

03

施設詳細図

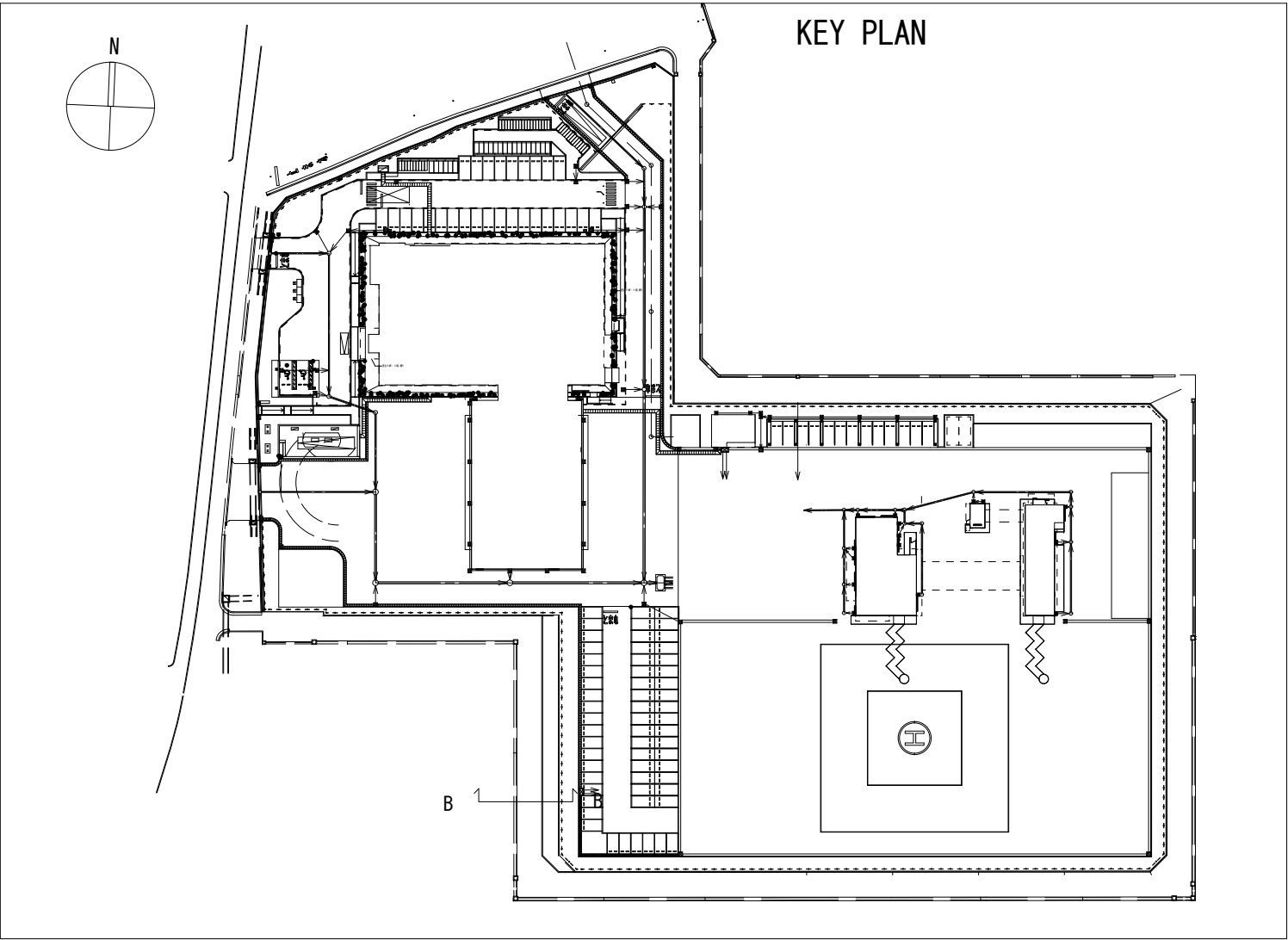
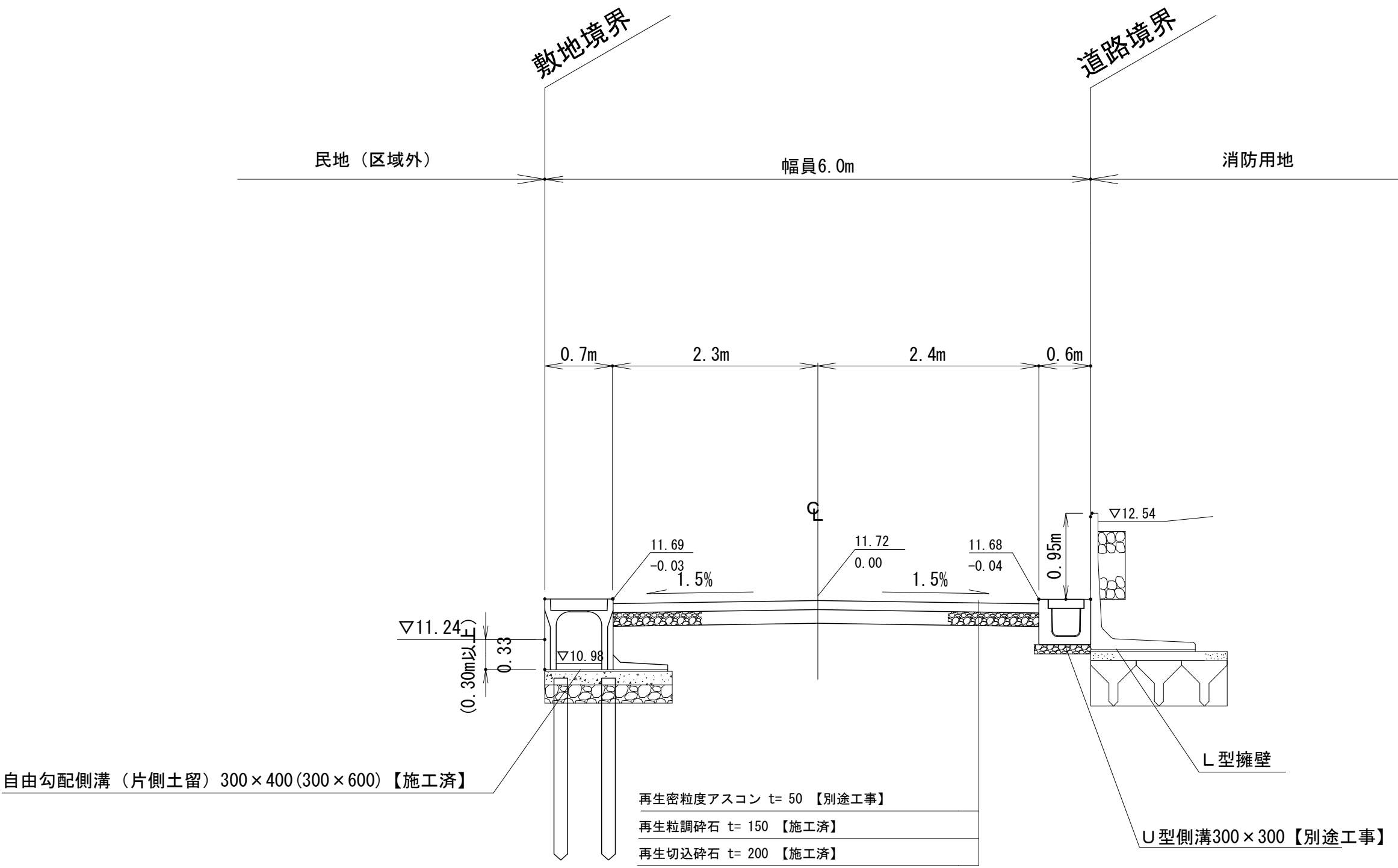
安井建築設計事務所

道路標準断面図
市道3174号線

A-A
市道3171号線 幅員6.0m

GH=11.24
FH=11.72

地下水位▽10.50
DL=10.00



川越地区消防局・川越北消防署新築外構整備工事（その2）		
g G (2)	道 路 標 準 断 面 図	
0 4		
	安 井 建 築 設 計 事 務 所	